はじめに

一冊の書物が，執筆者のすぐれた英知によってはぐくまれ，たゆまざる研鑽ののちに生まれ，また，多くの人々の労働によって編集・印刷・製本され，そしてしかもさらに幾人かの人手をかりて，やっと読者の手にわたる。こういう流通の過程を直接見てきた私は，どんな書物を手にした時でも，そのなりたちを想像して，必ず頭の下がる思いをするような習性となってしまった。

一冊の書物には，他の商品と異なった，執筆者はもちろん，それにたずさわった一連の人々の祈りにも似た，何ものかが，こめられているように思われてならない。

一冊の書物を，世におくり出すことによって，ささやかながら読者の研究の一助ともなり，人間形成の一部分の役割を果し，さらには，日本文化の一端にわずかなりとも寄与することを祈念しつつ，私は一冊一冊の書物を，たんねんに，精根こめて作っていきたい。

そして執筆者はもちろん，印刷者，製本者の労苦に対して報いたいと念ずるのみである。

図書出版　株式会社　成　文　堂
初代取締役社長　阿　部　義　任

目　次

新刊案内 ……3

記念論集 ……7
辞典・六法……18
法学一般……20
法哲学……24
法制史……36
憲　法……37
行政法・地方自治法……50
租税法……53
民　法……57
民事訴訟法……75
刑　法……78
刑事訴訟法 ……116
刑事政策・犯罪学・少年法 ……126
商　法 ……137
経済法 ……142
労働法 ……143
社会保障法 ……145
医事法 ……147
国際法・外交史 ……151
外国法 ……154
知的財産法 ……158
諸　法 ……160
環境法・環境問題 ……163
政治学 ……167
行政学・地方自治 ……174
アジア ……183
経済学 ……184
経済政策 ……188
国際経済・国際金融論 ……190
保険・海商法 ……191
経営学 ……195
社会学 ……199
教育学ほか ……206
哲学・心理学・宗教学 ……210
スポーツ・健康科学 ……212
歴史・語学・文学・随筆等 ……214
学会誌等 ……221

講座・シリーズ・選書一覧 ……224
僅少本一覧 ……234
品切本一覧 ……239
書名索引 ……255
常備店一覧 ……280

1.　本目録は，2023年９月現在流通している小社の書籍について，まとめたものです。
2.　各部門の配列は，なるべく日本十進分類法によるようにしましたが成文堂独自の配列も加味しています。なお内容紹介の最後に書籍コードと初刷発行年を〔　〕内に示してあります。
3.　書名索引を付し，読者の便宜をはかりました。
4.　巻末に小社出版物の全国常備店一覧を収めています。
5.　価格はすべて**本体価格**表示です。

新　刊　案　内

原田剛ほか編	民法の展開と構成 小賀野晶一先生古稀祝賀	728頁／17000円 →本誌17頁
早稲田大学法学会編	早稲田大学法学会百周年記念論文集［第一巻 公法・基礎法編］	528頁／12000円 →本誌17頁
早稲田大学法学会編	早稲田大学法学会百周年記念論文集［第四巻 展開・先端・国際法編］	410頁／9500円 →本誌17頁
早稲田大学法学会編	早稲田大学法学会百周年記念論文集［第五巻 人文編］	336頁／7500円 →本誌17頁
堅田研一編	法学入門	172頁／1800円 →本誌20頁
中山政義ほか著	法学［改訂版］	212頁／2000円 →本誌22頁
上野幸彦・古屋等著	国家と社会の基本法［第５版］	316頁／2500円 →本誌22頁
長谷川晃ほか編	法の理論41	308頁／4200円 →本誌35頁
君塚正臣著	憲法	656頁／4800円 →本誌37頁
後藤光男著	憲法と抵抗権	296頁／6000円 →本誌41頁
岡田順太ほか編	障害がある人が出会う人権問題	272頁／3000円 →本誌43頁
中村民雄編著	多様化するアメリカと合衆国最高裁判所	262頁／5500円 →本誌44頁
東裕著	憲法と非常事態の法理	296頁／5500円 →本誌45頁
北住炯一著	ドイツ連邦憲法体制の成立	508頁／9800円 →本誌46頁
岩本章吾著	行政法講義［第３版］	522頁／4800円 →本誌50頁

伊川正樹著	譲渡所得課税に関する基礎的研究	402頁／8000円 →本誌55頁
沈恬恬著	介入の技法	126頁／3000円 →本誌55頁
田山輝明著	民法総則［第4版追補版］	362頁／3300円 →本誌59頁
大場浩之著	物権法	240頁／2300円 →本誌62頁
長谷川貞之著	委任の任意解除権	330頁／6000円 →本誌68頁
大場浩之著	物権債権峻別論批判	140頁／3200円 →本誌72頁
宇都宮遼平著	訴訟物と損害賠償請求訴訟	410頁／8000円 →本誌77頁
山中敬一・山中純子著	刑法概説II各論［第2版］	342頁／3000円 →本誌79頁
上野幸彦・太田茂著	刑事法入門［第2版］	264頁／2200円 →本誌88頁
佐伯仁志ほか編	刑事法の理論と実務⑤	280頁／4200円 →本誌90頁
川端博著	死因究明の制度設計	608頁／13000円 →本誌96頁
山口厚ほか編	実務と理論の架橋	1028頁／24000円 →本誌97頁
山口厚著	犯罪論の基底と展開	250頁／5400円 →本誌98頁
甲斐克則著	法益論の研究	298頁／6000円 →本誌99頁
木崎俊輔著	相互闘争状況と正当防衛	384頁／8000円 →本誌100頁
関哲夫著	中止未遂における点と線	200頁／4500円 →本誌103頁
阿部力也著	共同正犯の構造	260頁／5500円 →本誌105頁
松宮孝明著	誤振込みと財産犯	270頁／5500円 →本誌110頁
石井徹哉編著	AI・ロボットと刑法	304頁／6500円 →品　切
安藤泰子著	刑法の分化史	800頁／17000円 →本誌111頁
クラウス・ロクシン著／吉田宣之訳	正犯の本質と行為支配	1120頁／25000円 →本誌114頁
小早川義則著	日米最高裁判決の交錯	136頁／3200円 →本誌120頁

守山正・安部哲夫編著	ビギナーズ刑事政策［第3版補訂版］	494頁／3000円 →本誌126頁
守山正・後藤弘子編著	ビギナーズ少年法［第3版補訂第2版］	440頁／2900円 →本誌126頁
川出敏裕・金光旭著	刑事政策［第3版］	588頁／3500円 →本誌126頁
山田由紀子著	対話の会20年の修復的司法実践	186頁／4000円 →本誌135頁
丸山泰弘編著	刑事司法・少年司法の担い手教育	90頁／800円 →本誌136頁
大谷實著	医師法講義	252頁／3200円 →本誌147頁
甲斐克則著	人体情報と刑法	382頁／3800円 →本誌148頁
熊本大学法学部編	熊本地震と法・政策	358頁／6000円 →本誌161頁
中尾巧編著	若手弁護士のための弁護実務入門2	396頁／2900円 →本誌161頁
奥田進一・長島光一編	環境法	346頁／3000円 →本誌163頁
梶原健嗣著	都市化と水害の戦後史	268頁／5500円 →本誌165頁
仲上健一・山本佳世子著	志津川湾と野川を歩く	66頁／1000円 →本誌166頁
伊藤達也・梶原健嗣著	長良川河口堰と八ッ場ダムを歩く	68頁／1000円 →本誌166頁
福田耕治編著	EU・欧州統合の新展開とSDGs	300頁／3200円 →本誌172頁
朝日大学大学院グローバルロジスティクス研究会監修	トラック運送事業の現状と未来	242頁／3000円 →本誌181頁
箱井崇史・松田忠大編著	船舶衝突法［第2版］	552頁／8000円 →本誌191頁

星野明雄著	アクチュアリー数理の基礎［数学］	404頁／5000円 →本誌192頁
榎木貴之著	交通事故損害賠償の法理と紛争解決手続	296頁／5500円 →本誌194頁
久塚純一著	ここに「感染症」がある［物語編］	194頁／2700円 →本誌199頁
久塚純一著	ここに「感染症」がある［探究編］	352頁／3600円 →本誌199頁
竹原幸太著	立ち直り・甦りの教育福祉学	276頁／6000円 →本誌207頁
日本スポーツ法学会編	東京2020オリンピック・パラリンピックを巡る法的課題	330頁／5000円 →本誌213頁
日比野幹生著	ドーピングの誘発と抑止	198頁／4500円 →本誌213頁
平塚卓也著	戦後体育行政の形成過程	128頁／2700円 →本誌213頁

記　念　論　集

中山研一先生古稀祝賀論文集［第一巻］

生命と刑法

A5判上製 406頁／6800円〔1423-2・97〕

中山研一先生古稀祝賀論文集［第二巻］

経済と刑法

A5判上製 378頁／6800円〔1424-0・97〕

中山研一先生古稀祝賀論文集［第三巻］

刑法の理論

A5判上製 346頁／6800円〔1425-9・97〕

中山研一先生古稀祝賀論文集［第四巻］

刑法の諸相

A5判上製 332頁／6800円〔1426-7・97〕

中山研一先生古稀祝賀論文集［第五巻］

刑法の展開

A5判上製 348頁／6800円〔1427-5・97〕

西原春夫先生古稀祝賀論文集［第一巻］

A5判上製 508頁／10,000円〔1465-8・98〕

西原春夫先生古稀祝賀論文集［第二巻］

A5判上製 484頁／10,000円〔1466-6・98〕

西原春夫先生古稀祝賀論文集［第三巻］

A5判上製 514頁／10,000円〔1467-4・98〕

西原春夫先生古稀祝賀論文集［第四巻］

A5判上製 514頁／10,000円〔1468-2・98〕

西原春夫先生古稀祝賀論文集［第五巻］

A5判上製 750頁／10,000円〔1469-0・98〕

鈴木辰紀先生古稀記念

現代保険論集

A5判上製 542頁／10000円〔4174-4・01〕

櫻井孝一先生古稀祝賀

倒産法学の軌跡と展望

A5判上製 594頁／12000円〔2394-0・01〕

光藤景皎先生古稀祝賀論文集［上巻］

A5判上製 536頁／10000円〔1569-7・01〕

光藤景皎先生古稀祝賀論文集［下巻］

A5判上製 530頁／10000円〔1570-0・01〕

三原憲三先生古稀祝賀論文集

A5判上製 1006頁／定価20000円〔1599-9・02〕

香川大学法学部創設二十周年記念論文集

A5判上製 340頁／5000円〔3182-X・03〕

三島淑臣教授古稀祝賀

自由と正義の法理念

A5判上製 576頁／12000円〔0362-1・03〕

小高剛先生古稀祝賀

現代の行政紛争

A5判上製 576頁／10000円〔0382-6・04〕

松島惠博士古稀記念

現代保険学の諸相

A5判上製 622頁／10000円〔4198-1・05〕

谷口安平先生古稀祝賀

現代民事司法の諸相

A5判上製 792頁／13000円〔2474-2・05〕

神山敏雄先生古稀祝賀論文集［第一巻］

過失犯論・不作為犯論・共犯論

A5判上製 712頁／13000円〔1727-4・06〕

神山敏雄先生古稀祝賀論文集［第二巻］

経済刑法

A5判上製 558頁／10000円〔1728-2・06〕

片岡寛光先生古稀祝賀

行政の未来

A5判上製 518頁／10000円〔3204-4・06〕

板橋郁夫先生傘寿記念

水資源・環境研究の現在

A5 判上製 636 頁／ 9000 円〔0408-3・06〕

岡野光雄先生古稀記念

交通刑事法の現代的課題

A5 判上製 658 頁／ 13000 円〔1749-2・07〕

鈴木茂嗣先生古稀祝賀論文集［下巻］

A5 判上製 834 頁／ 13000 円〔1768-3・07〕

鈴木敬夫先生古稀記念

北東アジアにおける法治の現状と課題

A5 判上製 436 頁／ 6300 円〔3251-8・08〕

石橋洋教授・小宮文人教授・清水敏教授還暦記念

イギリス労働法の新展開

A5 判上製 346 頁／ 6500 円〔3265-5・09〕

初宿正典先生還暦記念論文集

各国憲法の差異と接点

A5 判上製 730 頁／ 15000 円〔0498-0・10〕

福田雅章先生古稀祝賀論文集

刑事法における人権の諸相

A5 判上製 466 頁／ 10000 円〔1850-5・10〕

憲法学会50年記念

憲法における普遍性と固有性

A5 判上製 548 頁／ 11000 円〔0499-7・10〕

立石二六先生古稀祝賀論文集

A5判上製 1070頁／15000円〔1874-1・10〕

大谷實先生喜寿記念論文集

A5判上製 700頁／15000円〔1924-3・11〕

奥島孝康先生古稀記念論文集［第一巻（上篇）］

現代企業法学の理論と動態

A5判上製 668頁／14000円〔2599-2・11〕

奥島孝康先生古稀記念論文集［第一巻（下篇）］

現代企業法学の理論と動態

A5判上製 632頁／13000円〔2600-5・11〕

奥島孝康先生古稀記念論文集［第二巻］

フランス企業法の理論と動態

A5判上製 378頁／8000円〔2608-1・11〕

石山卓磨先生・上村達男先生還暦記念

比較企業法の現在

A5判上製 580頁／11000円〔2596-1・11〕

大谷孝一博士古稀記念

保険学保険法学の課題と展望

A5判上製 934頁／20000円〔4237-1・11〕

藤岡康宏先生古稀記念論文集

民法学における古典と革新

A5判上製 602頁／12000円〔2613-5・11〕

斉藤豊治先生古稀祝賀論文集

刑事法理論の探求と発見

A5 判上製 706 頁／ 15000 円〔1961-8・12〕

香川大学法学部創設30周年・法学研究院創設記念論文集

現代における法と政治の探求

A5 判上製 306 頁／ 6000 円〔3306-5・12〕

西村幸次郎先生古稀記念論文集

現代中国法の発展と変容

A5 判上製 374 頁／ 8000 円〔3312-6・13〕

市川兼三先生古稀祝賀論文集

企業と法の現代的課題

A5 判上製 432 頁／ 8500 円〔2666-1・14〕

堀龍兒先生古稀祝賀論文集

船舶金融法の諸相

A5 判上製 340 頁／ 8000 円〔2662-3・14〕

曽根威彦先生・田口守一先生古稀祝賀論文集［上巻］

A 5 判上製 942 頁／ 25000 円〔5106-9・14〕

曽根威彦先生・田口守一先生古稀祝賀論文集［下巻］

A5 判上製 992 頁／ 25000 円〔5107-6・14〕

津田重憲先生追悼論文集

刑事法学におけるトポス論の実践

A5 判上製 352 頁／ 8000 円〔5105-2・14〕

梅善夫先生・遠藤賢治先生古稀祝賀

民事手続における法と実践

A5 判上製 1212 頁／ 25000 円〔2655-5・14〕

田山輝明先生古稀記念論文集

民事法学の歴史と未来

A5 判上製 720 頁／ 18000 円〔2659-3・14〕

山口厚先生献呈論文集

A5 判上製 452 頁／9000 円〔5128-1・14〕

正井章筰先生古稀祝賀

企業法の現代的課題

A5 判上製 666 頁／ 17000 円〔2675-3・15〕

阪本昌成先生古稀記念論文集

自由の法理

A5 判上製 1034 頁／ 25000 円〔0580-2・15〕

野村稔先生古稀祝賀論文集

A5 判上製 808 頁／ 20000 円〔5143-4・15〕

円谷峻先生古稀祝賀論文集

民事責任の法理

A5 判上製 836 頁／ 20000 円〔2673-9・15〕

浅田和茂先生古稀祝賀論文集［上巻］

A5 判上製 994 頁／ 25000 円〔5189-2・16〕

浅田和茂先生古稀祝賀論文集［下巻］

A5判上製 868頁／25000円〔5190-8・16〕

岸田雅雄先生古稀記念論文集

現代商事法の諸問題

A5判上製 1176頁／27000円〔2692-0・16〕

三谷忠之先生古稀祝賀

市民生活と現代法理論

A5判上製 516頁／15000円〔2701-9・17〕

小口彦太先生古稀記念論文集

中国の法と社会の歴史

A5判上製 538頁／15000円〔3362-1・17〕

浦川道太郎先生・内田勝一先生・鎌田薫先生古稀記念論文集

早稲田民法学の現在

A5判上製 794頁／19000円〔2704-0・17〕

初宿正典先生古稀祝賀

比較憲法学の現状と展望

A5判上製 912頁／ 22000円〔0636-6・18〕

瀬川信久先生・吉田克己先生古稀記念論文集

社会の変容と民法の課題［上巻］

A5判上製 630頁／ 16000円〔2709-5・18〕

瀬川信久先生・吉田克己先生古稀記念論文集

社会の変容と民法の課題［下巻］

A5判上製 774頁／ 18000円〔2710-1・18〕

日高義博先生古稀祝賀論文集［上巻］

A5判上製624頁／ 15000円〔5263-9・18〕

日高義博先生古稀祝賀論文集［下巻］

A5判上製582頁／ 15000円〔5264-6・18〕

朝日大学法学部開設三〇周年記念論文集

A5判上製470頁／ 5000円〔3374-4・18〕

篠原敏雄先生追悼論文集

市民法学の新たな地平を求めて

A5判上製320頁／8000円〔0651-9・19〕

近江幸治先生古稀記念論文集

社会の発展と民法学［上巻］

A5判上製798頁／18000円〔2725-5・19〕

近江幸治先生古稀記念論文集

社会の発展と民法学［下巻］

A5判上製832頁／18000円〔2726-2・19〕

石川正興先生古稀祝賀論文集

刑事政策の新たな潮流

A5判上製564頁／15000円〔5281-3・19〕

久塚純一先生古稀祝賀

福祉社会へのアプローチ［上巻］

A5判上製740頁／17000円〔3386-7・19〕

久塚純一先生古稀祝賀

福祉社会へのアプローチ［下巻］

A 5 判上製 720 頁／ 17000 円〔3387-4・19〕

藤井俊二先生古稀祝賀論文集

土地住宅の法理論と展開

A 5 判上製 884 頁／ 20000 円〔2747-7・19〕

加藤哲夫先生古稀祝賀論文集

民事手続法の発展

A 5 判上製 1076 頁／ 25000 円〔2751-4・20〕

山田道郎先生古稀祝賀論文集

刑事立法の動向と法解釈

A 5 判上製 324 頁／ 8000 円〔5323-0・21〕

後藤光男先生古稀祝賀

公法・人権理論の再構成

A 5 判上製 348 頁／ 7500 円〔0696-0・21〕

寺崎嘉博先生古稀祝賀論文集［上巻］

A 5 判上製 512 頁／ 12000 円〔5342-1・21〕

寺崎嘉博先生古稀祝賀論文集［下巻］

A 5 判上製 512 頁／ 12000 円〔5343-8・21〕

高橋則夫先生古稀祝賀論文集［上巻］

A 5 判上製 1056 頁／ 20000 円〔5352-0・22〕

高橋則夫先生古稀祝賀論文集［下巻］

A 5 判上製 1038 頁／ 20000 円〔5353-7・22〕

憲法学会六十周年記念論文集

日本憲法学の理念と展望

A 5 判上製 424 頁／ 10000 円〔0700-4・22〕

小賀野晶一先生古稀祝賀

民法の展開と構成

A 5 判上製 728 頁／ 17000 円〔2792-7・23〕

早稲田大学法学会百周年記念論文集

［第一巻 公法・基礎法編］

A 5 判上製 528 頁／ 12000 円〔0709-7・22〕

早稲田大学法学会百周年記念論文集

［第二巻 民事法編］

A 5 判上製 484 頁／ 11000 円〔2786-6・22〕

早稲田大学法学会百周年記念論文集

［第三巻 刑事法編］

A 5 判上製 404 頁／ 9000 円〔5375-9・22〕

早稲田大学法学会百周年記念論文集

［第四巻 展開・先端・国際法編］

A 5 判上製 410 頁／ 9500 円〔3424-6・22〕

早稲田大学法学会百周年記念論文集

［第五巻 人文編］

A 5 判上製 336 頁／ 7500 円〔7112-8・22〕

辞　典・六　法

ベルント・ゲッツェ著

和独法律用語辞典〔第２版〕

A5判並製720頁／8000円

本書に収録されている語彙は，長年にわたる渉外弁護士として実際に扱った事件を素材として集めたものであり，法律用語だけでなく，経済雑誌または新聞の社会面に出てくるような用語も広く含まれている。この意味で本書は法律用語辞典というよりは，法律・経済辞典に近いものになっている。〔9224-６・12〕

中山研一編

刑事法小辞典〔第２版〕

B６判並製364頁／2300円

刑法や刑事訴訟法をはじめて学ぶときに，教科書や講義ノートのなかにでてくる専門用語の難しさに嫌気がさし，投げ出したいことがある。学生，警察官などの公務員，そして，一般市民にできるだけ難解な刑法や刑事訴訟法を理解していただくために，これらの分野での約1300項目を簡潔・平易に解説した。〔1620-０・03〕

日本更生保護学会編

更生保護学事典

A5判上製316頁／2800円

犯罪者の改善更生や社会復帰と社会内処遇，更には再犯の防止対策といった我が国の更生保護の実践と理論についての道筋を示す。日本更生保護学会設立10周年記念事業。

〔5341-4・21〕

大沢秀介・大林啓吾編

確認憲法用語

A5判並製150頁／800円

憲法を学ぶのに必要な専門用語を厳正して収録。これ一冊で，教科書や判例にでてくる憲法用語を十分理解できる。基礎的な用語に加え，最新の用語もフォローしており，学生のみならず，資格試験対策にも対応している。体系ごとにコンパクトにまとめてあり，わかりやすい用語集。〔0566-６・14〕

黒川哲志・下山憲治・日野辰哉編

確認行政法用語230〔第２版〕

A５判並製92頁／500円

行政法を学ぶために必要な基礎から最新の用語を精選し，具体例をまじえながら，わかりやすくコンパクトにまとめた用語集。学部や法科大学院の学生をはじめ，公務員試験・資格試験を目的とした人など，行政法の基本用語をわかりたい，マスターしたい人には欠かせない一冊。〔0591-８・16〕

増田英敏・加瀬昇一編

確認租税法用語250

A５判並製110頁／500円

租税法を理解するために必須の基本用語を平易かつポイントを絞って解説したハンディーな用語集。租税法の理論体系に基づいて基本用語を整理し，全体像が摑みやすいように工夫がなされている。初めて租税法を学ぶ学部の学生，法科大学院の院生，租税法の実務家である税理士にとって，必携の携帯用語集。〔0453-９・08〕

三好登・藤井俊二・鎌野邦樹・奥田進一編集

確認民法用語300

A5判並製128頁／600円

民法を理解するために，最低限知っておくべき基本的な概念や制度を，民法典の編別・章別に集めた用語集。できる限り身近な事例を挙げることで，民法を具体的にイメージできるような工夫がなされている。学部や法科大学院の初学者はもちろん，公務員試験や各種資格試験の受験生必携の画期的な教材。〔2460-2・04〕

佐伯仁志編

確認刑法用語250

A５並製102頁／500円

刑法を学ぶのに必要な基本用語250を選び出し，初学者にもわかりやすく解説したハンディーな用語集。刑法を法学部ではじめて学ぶ学生にとって，また，日本の大学で学ぶ留学生や，裁判員裁判が始まった今日では一般の方々にとっても，刑法に多数存在する難解な用語を理解するために最適な一冊。〔1902-１・11〕

石川正興・小野正博・山口昭夫編

確認刑事政策・犯罪学用語250

〔第２版〕

A5判並製126頁／500円

初版刊行後，犯罪者予防更生法と執行猶予者保護観察法の整理・統合等を目的として更生保護法が制定され，また少年法・少年院法等が改正された。こうした立法政策・法運用政策の変化に合わせて，新しい用語の追加をし，第２版を出版することにした。〔1867-３・10〕

甲斐克則編

確認医事法用語250

A５判並製108頁／500円

医事法の学習に必要な基本用語250を選び出し，分かりやすくコンパクトに解説した入門用語集であり，いつでもどこでも医事法が気軽に学べる「医事法の友」ともいうべき書である。大学や専門学校の学生のみならず，医療関係者や国民一般においても親しみをもって活用できる内容となっている。〔9210-９・10〕

黒川哲志・奥田進一・大杉麻美・勢一智子編

確認環境法用語230

A５判並製80頁／400円

環境法学習に必要な専門用語230を選び出し，明快に解説したコンパクトな用語集。環境権，汚染者負担原則，予防原則，持続可能な発展などの基本概念については，厚く説明を加えてある。環境法学習の過程で辞書的に利用したり，理解が曖昧な用語の意味を確認するのに適した一冊。〔3256-３・09〕

國谷知史・奥田進一・長友昭編

確認中国法用語250

A５判並製110頁／500円

中国法の学習において登場する専門用語250を選び出し，中国語を解せずとも明快に理解することのできるコンパクトな用語集。政治，経済，社会，文化等の多岐にわたる重要語句についても簡潔かつ詳細に解説を加えている。研究・学習や中国ビジネスの現場で活用できる最適の一冊。〔9221-５・11〕

法 学 一 般

佐伯宣親・高乗正臣・奥村文男編著

プラクティス法学実践教室Ⅰ

《法学・民法・刑法編》〔第5版〕

A5判並製382頁／2400円

「法学検定試験4級」合格のための学習教材を兼ねた標準的な「法学・民法・刑法」の教科書。検定試験の項目に準拠し，初学者のためにできる限り平易・簡潔に解説した。学習要点をキーワード，キーポイントとして示し，理解度を確認するために演習問題と解答・解説を，さらに巻末に法律用語の基礎知識を掲載した〔0574-1・15〕

高乗正臣・奥村文男編著

プラクティス法学実践教室Ⅱ

《憲法編》〔第4版〕

A5判並製296頁／1900円

「法学検定試験4級」合格からさらに3級を目指す学生・社会人のための学習教材を兼ねた標準的な「憲法」の教科書。扱う項目は検定試験の項目に準拠し，初学者のためにできる限り平易・簡潔に解説した。学習の要点をキーワード，キーポイントとして示し，理解度を確認するために演習問題と解答・解説を掲載した。〔0610-6・17〕

大谷實編著

エッセンシャル法学〔第7版〕

A5判並製348頁／2900円

一般市民が，各自の生活を豊かにし，社会の発展に寄与するために本当に必要な知識は何かという観点に立って叙述した，法学入門書の決定版。判例を数多く取り入れ，生きた法律を学ぶことができる。最新の知識を提供するために大幅な改訂を実施した。〔0640-3・19〕

田中淳子・大野正博編

法 学 入 門〔第2版〕

はじめて学ぶ法学

B5判並製170頁／1800円

実社会において関わる法律に焦点をあて，法律学の役割と必要性を実感できるように，身近で具体的な法律問題をピックアップし説明する。「学生が，自分で勉強できる教科書」の決定版。〔0689-2・21〕

武藤眞朗・多田英明・宮木康博著

法を学ぶパートナー〔第4版〕

46判並製274頁／1800円

法学の学習に求められる技術を集約した新しいタイプのテキスト。法令・判例の読み方，検索の方法，答案・レポートの書き方，裁判の流れなど，「法学の基礎」が身につくよう工夫がされている。高度な学習に入ってからも，本書を「パートナー」として携えていただきたい。〔0674-8・20〕

奥田進一ほか編著

法 学 入 門

A5判並製160頁／1500円

法学という学問分野をわかりやすくイメージさせ，「法を学ぶと何ができるのか」という側面から法学の全体像が把握できるようにコラム等を用いて工夫した，法を学ぶためのガイドブック。〔0625-0・18〕

堅田研一編

法 学 入 門

A5判並製172頁／1800円

憲法，民法，刑法，訴訟法などの実定法（学）が前提としている原理・原則，そしてそれらを基に構成されている法制度全体の構造をわかりやすく，かつ正確に説明した入門書。〔0713-4・23〕

高乗正臣著

保育者のための法学・憲法入門

B5判並製156頁／1800円

保育者を目指す学生たちの意見を取り入れ作り上げた法学・憲法学の入門書。各所に図版を取り入れ，難解な法律用語には振り仮名を振った。巻末では，保育現場で起きた事件の判例を紹介。

〔0657-1・20〕

城祐一郎著

医療関係者のための実践的法学入門〔第2版〕

A5判並製470頁／3200円

実際に裁判になった実例を紹介しつつ，医療研究者・医療従事者にとって最低限必要と思われる法学上の知識を提供し，自らの思考において深化させられるような問題提起を試みる入門書。

〔0703-5・22〕

竹下賢・福井康太編著

はじめての法学

B5判並製240頁／2100円

大学で法学を学ぼうとしている人や，法学上の重要なテーマについてあらためてよく考えてみたい人を対象とした教科書。トピックごとに事例式の課題を設け，具体的に考えながら，いつの間にか法の基礎にある重要問題について考えることができるように工夫。関連ホームページや参考文献の掲載も充実。〔0388-5・05〕

齊藤信宰編著

現代社会における法学入門〔第3版〕

A5判並製330頁／2600円

多くの基本的な判例をとりあげ，また現代社会のさまざまな問題に対処するために社会保障，福祉，少年犯罪などのテーマも取り入れ，平易な表現を使用した法学入門書。第3版では，あらたな執筆者を加え，最新の法改正に対応させた。

〔0555-0・13〕

トピックからはじめる法学編集委員会編

トピックからはじめる法学

A5判並製356頁／2500円

学び手にとって可能なかぎり身近な話題（トピック）をアカデミックに提供することで法学へアプローチする。学部を模索している受験生や，法学部への入学決定者などの事前教育に最適であると同時に，法学部1・2年生や，法に興味のある社会人などの学習，テーマ選びにも役立つ内容となっている。〔0493-5・10〕

三原憲三編著

市民のための法学入門〔第2版〕

A5判並製344頁／2800円

人あるところには，必ずそれを規律する法というものが存在する。本書は，市民として必要不可欠な法というものを，わかりやすく解きほぐした法学概説書である。法の一般理論に始まり，実定法について通説の立場から簡明に叙述し，判例も，最近のものを数多く採り入れている。〔0423-2・08〕

石渡哲・渡井理佳子著

シュタットプラン法学

A5判上製252頁／2500円

憲法，民法（財産法，家族法）および刑法の基礎的問題を説明して，読者（学習者）を法学の世界に誘う。法学という魅力にあふれる街の案内図（シュタットプラン）である。だれもが関心をもつような判例が取り上げられており，また，解説もわかりやすい。法学の教科書としても好適である。〔0391-5・05〕

鈴木敬夫・千葉卓・城下裕二・山口康夫・渡辺利治・吉川日出男・落合福司・久々湊晴夫・宇田一明・小川賢一著

やさしい法学〔第3版〕

A5判上製312頁／2700円

大学等の「法学」のテキスト。法哲学・憲法・刑法・民法・企業法・労働法など，法の全般について，分かりやすく説明。〈主な内容〉法とは何か／国家と国民／犯罪と刑罰／財産と契約／土地と建物／損害と賠償／家族と福祉／相続と遺言／企業と経営／労働と職場。

〔0328-1・01〕

小林忠正著

ステップアップ法学〔第2版〕

A5判上製412頁／3500円

法律学研究の第一歩である法学・憲法の全体に通ずる基礎的知識を，著者の学問的態度を失うことなく，平易に解説。できるだけすべての問題について歴史的な視点から考察している。第1部法学／第2部憲法。

〔0484-3・10〕

利光三津夫・林弘正著

法　　学〔追補第2版〕

法制史家のみた

A5判上製366頁／3200円

法制史と判例研究により日本人の法意識を解明することを目的とする「法学入門」。例えば，罪刑法定主義について，東洋的なものと，西洋的なものとの根本的差異に言及し，また大岡裁きにより，日本的道理と西洋的条理との基本的相違を明らかにする。従前の多くの法学に新風をふきこむ書といってよい。〔0677-9・20〕

三枝有・鈴木晃著

セットアップ法学〔第3版〕

A5判並製290頁／2500円

本書は法学入門書ではあるが，現実社会において機能する典型的法といえる憲法，民法，刑法の主要3法の概説ならびに重要論点にポイントを置きながら記述したものである。民法の「成年後見制度」に関する改正など，重要な法改正や学説・判例の変化に応じて改訂を加えた。

〔0401-6・06〕

中山政義ほか著

法　　学〔改訂版〕

法の世界に学ぶ

A5判並製212頁／2000円

法の基礎理論の説明から始まり，憲法，民法，刑法など主要な法からより具体的で身近な法へと向かう構成でわかりやすさに重点を置く。法律をこれから学ぶ学生のための入門書。

〔0719-6・23〕

長谷川日出世著

法の基礎概念と憲法〔第2版〕

A5判並製250頁／2500円

「法学・憲法」の名称でおこなわれている教養的科目のテキストとして書かれたもの。「法の基礎的概念」と「憲法」の二編から構成され，法概念の検討に重きが置かれると同時に，社会における法の在り方にも注意がはらわれている。また憲法についても，片寄のない形でコンパクトに纏められている。〔0531-4・12〕

長谷川日出世・土屋茂・中山政義著

やさしい法の学び方

A5判並製206頁／2000円

教養科目としての法学講義をどのように進めていくか，学生に法に関する基本的知識を身に付けてもらうにはどうすればよいか，専門分野でより具体的な法律問題をとりあげ，学生が社会で生じているさまざまな法律をめぐる紛争について学べるスキルの基になる最適の教科書。

〔0417-1・07〕

上野幸彦・古屋等著

国家と社会の基本法〔第5版〕

A5判並製316頁／2500円

本書は，あらゆる人の生活とその人生に接着する基本的な法の世界を描写するものである。国家の基本法としての憲法をはじめ，市民社会の基本法たる民法を中心に，紛争解決と権利実現に必須の裁判制度について，分り易く説明されている。具体的に日本の法律を学ぶガイドの役割を果す法学のテキスト。〔0722-6・23〕

愛知学院大学法学部同窓会編

身近な法律問題Q＆A

A5判並製110頁／1000円

難解な法律をもっと身近に感じてもらうための法律相談30回余りの結果を分析し，相談が多かった問題点を厳選，解説を加え，法的アドバイスを記す。本書を手にとって，法的な悩みの解消はもちろん，将来の紛争に巻き込まれないための予防策としていただきたい。

〔9262-8・17〕

宿谷晃弘編著
人権Q＆Aシリーズ1
学　校　と　人　権

A5判並製158頁／800円

人権について，できるだけ身近なテーマをひとつひとつ取り上げつつ，幅広い読者に，人権に関する基礎的な知識と問題意識を示す新シリーズの第1弾。

〔0521-5・11〕

宿谷晃弘・宇田川光弘・河合正雄編著
人権Q＆Aシリーズ2
ケ　ア　と　人　権

A5判並製192頁／1400円

支え合って生きてゆく人々の暮らしの中で欠かすことのできないケア。ケアのもつ大切さだけでなく問題点についても，人権の観点からQ＆A方式で平易に記述する。災害援助や国際活動をも視野に入れた注目の書。

〔0558-1・13〕

横藤田誠編著
広島大学公開講座
裁判所は「権利の砦」たりうるか

46判並製294頁／2600円

「権利の砦」としての裁判所はその役割を果たしているだろうか。本書は，司法制度改革の経緯を確認し，裁判の意味と機能について歴史的･比較法的な概観を行った後，憲法訴訟，行政関係訴訟，消費者関係訴訟，裁判員制度，医療訴訟に関する注目すべきトピックを具体例をふまえて解説する。

〔0519-2・11〕

横山信二ほか著
広島大学公開講座
政治，社会の変化に法はいかにして対応しているか

46判並製224頁／2200円

政治の変化，親族法に関わる民法の規定の合憲性，社会的弱者をめぐる変化，国の税収といったテーマと「社会を統治する」ことに関わる基本法である公法の基本原理との関係を検討する。

〔0614-4・17〕

近江幸治著
学術論文の作法〔第3版〕

論文の構成・文章の書き方・研究倫理

46判並製284頁／2500円

論文執筆の手引書。論文，リサーチペーパー，答案などの文章表現の技術と研究倫理，学生が最も必要としている勉学上のノウハウを1冊に集約。

〔2776-7・22〕

近江幸治・弘中惇一郎編著
学生のための法律ハンドブック

弁護士は君たちの生活を見守っている！

46判並製298頁／1800円

大学に入学したらこの1冊。有意義な学生生活を送るために，弁護士法人早稲田リーガル・クリニックと弁護士法人法律事務所ヒロナカが学生に贈る法律の啓蒙書。

〔0631-1・18〕

法　哲　学

亀本洋著
法学叢書8
法　哲　学
A 5 判上製642頁／4500円

判例と古典を読者とともに読み解きながら，法と国家の役割，法的思考，法と経済学，分配の正義について考える。宮沢俊義，利息制限法判例，人権宣言，アリストテレス，ロック，ヒューム，アダム・スミス，ミル，メンガー，シュンペーター，ハイエク，ロールズ，ノージック，D・ミラー等を素材に検討する。〔0515-4・11〕

酒匂一郎著
法　哲　学　講　義
A 5 判上製494頁／5000円

法哲学が一般的に取り扱う「法の概念」「法と正義」「法的思考」という三つの大きな問題群に加え，最新のテーマも盛り込み解説する。法学部，法科大学院における法哲学講義に最適の教科書。〔0648-9・19〕

河見誠著
新版　現代社会と法原理
共生社会の自由，生命，福祉，平等，平和を求めて
A 5 判上製390頁／3400円

現代社会における諸問題解決のための「法原理」及び自らの生き方を創り上げていく「人間関係の原理」の検討をコンセプトとして，「共生とケア」を共通の視座と姿勢に据えて考察を加える。〔0653-3・19〕

西村清貴著
法　思　想　史　入　門
A 5 判並製196頁／2000円

「人間はいかに生きるべきか」，「人間にとって正しい生き方とは何か」という哲学の問いと，法はどのように関わるのか。このような観点から法思想史を概観する。初学者に最適な入門書。〔0673-1・20〕

ホセ・ヨンパルト著
法　哲　学　案　内
A 5 判並製312頁／2500円

法律家でさえ敬遠しがちな法哲学について，普通の読者を対象として，法と国家に関する基本的な問題を分かり易く，できるだけ面白く紹介する狙いで書かれたもの。東洋の思想と日本の特殊な問題点も考慮し，「生ける法」の哲学としての法哲学へ読者を案内する。〔0218-8・93〕

鈴木敬夫著
法　哲　学　の　基　礎
ラートブルッフの法哲学
A5判上製194頁／2500円

戦後東アジアの民主主義と人権擁護にとって，ラートブルッフ法哲学の果たした役割は甚大である。本書はラートブルッフの法的確信，「相対主義……それは普遍的な寛容である。しかし不寛容に対してまで寛容であることはできない」を法哲学の基礎にすえて，人間の尊厳と国家権力の在り方を考える。〔0344-3・02〕

ホセ・ヨンパルト著
成文堂選書49
法哲学で学んだこと
一法学者の回顧録
46判並製318頁／2500円

「法の哲学で現行法の問題」と「過去の知恵で将来の可能性」を考えるのが，本書の狙いである。〔0447-8・08〕

ホセ・ヨンパルト著

社 会 ・ 仕 事 ・ 人 生

知られていることを考える

4 6 判並製206頁／1800円

人間は社会的動物と働く動物でもある。だがこれだけであれば，動物の群の一匹になるはずである。しかし，人間は自分の人生の唯一の持ち主であり，自分で考えるのは人間の強さである。考えることによってのみ，人間は社会と仕事の奴隷にならないで，自分の生き甲斐も発見することができる。〔0428-7・07〕

ホセ・ヨンパルト著

成文堂選書44

正義の感覚・理論・実現

法律は正義を実現しているか

46判上製232頁／2300円

人間の正義感覚は敏感なものであり，何も勉強せずに，すぐ正と不正を示す。しかし人間は理性を有しているから，その感覚は大昔から理論化ないし合理化されることになったが，未だに完全な正義はつくられていない。それでも，法律を通してこの世をよりよいものにするのは可能である。〔0400-8・06〕

藤川吉美著

正義の研究 2

ロールズ哲学の全体像

公正な社会の新しい理念

A 5 判上製292頁／2500円

社会の新たなパラダイムの１つとなりつつあるロールズ哲学の全体像を，その哲学史的意義，さらには，現代の様々な解釈を参考に検討する。

〔6055-2・95〕

藤川吉美著

正義の研究 3

社 会 思 想 史

価値基準の進化

A 5 判上製268頁／2500円

すべての判断は一定の価値基準を前提している。小著はこの価値基準に光を当て，古代ギリシアから今日までの主な基準の実式化を試みたもの。各時代の考え方のパラダイムがいかに進化してきたか，その延長として21世紀の価値基準がいかにあるべきかが示唆されよう。社会の興亡は選ばれた価値基準の関数である。〔6063-3・97〕

藤川吉美著

正義の研究 4

政 策 原 論

A5判上製216頁／2500円

政策とは舵取りをいうが，正しい舵取りには正しい羅針盤が必要であるように，正しい政策にも正しい羅針盤が不可欠である。それは何か。社会的協力のグローバル化・高度情報化の時代に相応しい羅針盤は何か。本書はその均衡解を求めて哲学的・思考実験的な探求を試みた一試論である。〔6078-1・03〕

藤川吉美著

正義の研究 5

合 意 形 成 論

A5判上製320頁／3000円

本書『合意形成論』は一連の正義の研究１～４を総括し，①ジャングル状態，②力の正義と争奪戦，③猛獣から人間へ，④合意形成への途，⑤合意形成の方法，⑥公正な政策の諸要件，⑦競争から協力へ，⑧世界政府の不可欠性などに検討を加えた労作である。

〔6089-4・08〕

藤川吉美著

正義の研究 6

世 界 政 府 論 考

その論理と倫理

A5判上製318頁／5000円

ソクラテスの弁証術に学び，人類は英知を結集して後続世代のため自発的・主体的に社会的協力によって現在の困難な状況を抜け出す途を模索すべき義務がある。世界的協力の現状に鑑み「世界政府」の論理と倫理を理解することを説く渾身の書。

〔0548-2・13〕

宗岡嗣郎著

久留米大学法政叢書10

リーガルマインドの本質と機能

A5判上製340頁／5300円

「リーガルマインド」とは何か。このことはこれまで充分に考察されたことはなかった。本書は，民刑事法・国賠法・教育法といった領域から具体的な問題点をとりあげながらリーガルマインドの本質に迫り，法的価値判断においてはたらくリーガルマインドの機能の仕方をあきらかにしたものである。〔1593-X・02〕

高橋広次著
南山大学学術叢書
アリストテレスの法思想
その根柢に在るもの
A5判上製434頁／8500円

形而上学，倫理学，政治学関連に多くの文献を残すアリストテレスに関し，主なテーマを「知慮」と「正」に選んで，その法思想，立法学を紐解く。
〔0586-4・16〕

西嶋法友著
久留米大学法政叢書6
ルソーにおける人間と国家
A5判上製228頁／4600円

『社会契約論』の体系を法実証主義とする解釈を斥け自然法原理に貫かれていることを論証すると共に，啓蒙期自然法学とも異なる論理枠組みの独自性を照らし出す。ルソー独自の認識論を軸に一般意思説や主権論の分析を試みたルソー研究者必読の書。
〔0294－3・99〕

西嶋法友著
久留米大学法政叢書20
続・ルソーにおける人間と国家
A5判上製224頁／4000円

ルソーを独自の自然法論者とする立場からのルソー研究とその成果を踏まえたルソーの善認識論を念頭において，戦後日本憲法学の人権基礎づけを検討する研究書。
〔0684-7・21〕

中村博雄著
カント批判哲学による「個人の尊重」（日本国憲法13条）と「平和主義」（前文）の形而上学的基礎づけ
A5判上製328／5700円

日本国憲法の基本原理（個人の尊重と平和主義）の哲学的根拠は何か？　これは普遍的原理といえるか？　それは理論においては正しくても実践にとって役に立たないのではないか？　日本国憲法の基本精神は単なるオプティミズムか，それとも21世紀の希望の光か？　これらの形而上学的問題にカントが答える。
〔0452-2・08〕

小林正士著
ヘーゲル『法哲学』と市民法学の原理
A5判上製218頁／4700円

ヘーゲルの哲学，思想を「主体性の原理」という観点と，「共同性の原理」という二つの観点から探りつつ考察を行い，「市民法学」の観点から法哲学的に「法の基礎」を探究する研究書。
〔0692-2・21〕

堅田研一著
法・政治・倫理
デリダ，コジェーヴ，シュトラウスから見えてくる「法哲学」
A5判上製290頁／5700円

「始源＝目的論」の孕む問題とその批判から現れる「歴史の終わり」における人間のあり方という問題系，さらに，これらをめぐるデリダ，シュトラウス，コジェーヴの議論が，グローバリゼーションの原理的なレベルでの解明にとって重要であることを示す。哲学としての法哲学を意識した原理的な問いかけ。
〔0469-0・09〕

河見誠著
自然法論の必要性と可能性
新自然法論による客観的実質的価値提示
A5判上製272頁／5700円

20世紀後半に登場したグリゼイ，フィニスらによる新自然法論に関する我国初の本格的研究。現代法理論の展開の中での新自然法論の位置づけ，新自然法論による価値提示の解明，新自然法論が開く法的世界の可能性と修正すべき点，アクィナスから見た客観的実質的価値提示の現代的意義を論じていく。
〔0467-6・09〕

吉田脩・石司真由美編
自然法と国際法
ホセ・ヨンパルト教授著作集
A5判上製154頁／4000円

ホセ・ヨンパルト教授は，とりわけ法哲学の分野において研究を積み重ねてこられたが，その中には，国際法史に関する著作も数多く含まれている。本書は，現在では入手困難となったこれらの業績を体系的にまとめあげるとともに，書下ろしの「自然法と国際法」を加え，自然法と国際法との史的かつ論理的な結びつきにつき，新たな法的視座を提起しようとするものである。
〔0524-6・11〕

山田秀著
熊本大学法学会叢書13
ヨハネス・メスナーの自然法思想
A5判上製378頁／5300円

Ｊ・メスナーの巨大な社会倫理学体系を成す『自然法』と『文化倫理学』を踏まえ，伝統的自然法思想の根本特徴とメスナー自然法思想の独一性を多方面から浮き彫りにする意欲作。
〔0559-８・14〕

山田秀著
熊本大学法学会叢書16
人　間　と　社　会
自然法研究
A5判上製492頁／8000円

ヨハネス・メスナーを代表的主唱者の一人として数える伝統的自然法論の立場から，一般的論題に限らず，家族，教育，東西思想に見られる自然法的顕現形態などについて考察する研究書。
〔0646-５・19〕

澤登文治著
南山大学学術叢書
フランス人権宣言の精神
A5判上製438頁／6000円

フランス人権宣言の基礎となる思想や原理は何か？アメリカ独立宣言やバージニア権利章典を真似したものなのか？この問いに答えるために，フランス人権宣言を起草した1789年国民会議の議事録を丹念に探究し，その議論には「三十人委員会」が作った一つの大きな流れがあったことを突き止める。
〔0419-５・07〕

出水忠勝著
名城大学法学会選書９
現 代 北 欧 の 法 理 論
A５判上製224頁／4000円

北欧を代表する法理論としてはウプサラ学派が知られるところであるが，ウサプラ学派は必ずしも北欧に於いて幅広く受け入れられているわけではない。本書は北欧に於ける多様な法理論の動向を踏まえながら，ウプサラ学派が北欧法学に於いて占める位置とその法理論上の特質について論じたものである。
〔0501-７・10〕

平田勇人著
信義則とその基層にあるもの
A5判上製302頁／5500円

本書は，①科研費（重点領域研究）「法律エキスパート」において研究してきた内容（信義則に基づく法的推論，信義則をめぐる背景知識）と，②哲学・心理学・社会学・民事調停・国際契約法・構造的思考との関係で論じられた諸論文，が収められており，それらを通して法解釈の基本的指針の抽出が試みられている。
〔2502-１・06〕

湯川益英著
契約規範と契約の動機
A ５判上製276頁／6000円

契約責任の時間的拡張現象は，古来，契約内容から排除されていた契約の動機が，近現代社会における商品の多様化・多機能化と分業社会における市民間の格差を反映して，契約内容へと取り込まれてゆくことの正当化の現れである。本書は，こうした契約責任観に基づき，新たな契約責任の体系を模索する。
〔2612-８・11〕

岡嵜修著
レッセ・フェールとプラグマティズム法学
19世紀アメリカにおける法と社会
A ５判上製266頁／5300円

19世紀初頭のアダム・スミスの思想を下にレッセ・フェールを唱えつつ，リアリズム法学隆盛以前のアメリカにおける社会と法学の動きを，時代と資本主義社会構造の発展への急速な変化を視野に入れつつ描き出した意欲作。
〔0551-２・13〕

西村清貴著
近代ドイツの法と国制
A5判上製270頁／6000円

ゲルバー・ラーバント・ギールケの国家法人論，議会制論，権利論の考察を手かがりに，それらの指導的理念を明らかにし，よって，19世紀ドイツ国法学の基層を探求しようとするもの。
〔0617-５・17〕

西村清貴著

ラートブルフ・テーゼ

A5判上製238頁／5200円

20世紀を代表するドイツの法哲学者グスタフ・ラートブルフの法哲学，とりわけ，彼のいわゆる「ラートブルフ・テーゼ」を，19世紀末頃から20世紀前半における法（哲）学という文脈に置くことにより，より精確に理解することを目的とする。

〔0706-6・22〕

徳永賢治著

南島法と多元的法体制

A5判上製336頁／8000円

日本列島も含む太平洋地域の法にはどのような特徴があるのか。国家制定法だけではなく，成文化されていない慣習法という共同法理の「メガネ」を使って多角的に法的世界の一端を見る試み。

〔0609-0・17〕

亀本洋著

新基礎法学叢書1

格差原理

A 5 判上製236頁／3800円

政治的リベラリズムへの転回後もなお，格差原理がロールズ正義論の中核にあることを説く。最も恵まれない人々に最も有利な社会構造を求める格差原理は，格差縮小の要求，互恵性の観念，恵まれた人からの搾取等を含意するのか。これらの問題を徹底的に探求する。

〔0527-7・12〕

伊藤泰著

新基礎法学叢書2

ゲーム理論と法哲学

A 5 判上製280頁／4800円

人びとはどのような状況のもとで新たな憲法上の権利を望むのか。彼らにとって多数決制度とはどのような意味をもつのか。法哲学の諸問題をゲーム理論を通じて考えようとする試み。

〔0528-4・12〕

木原淳著

新基礎法学叢書3

境界と自由

カント理性法論における主権の成立と政治的なるもの

A5判上製236頁／4500円

本書はカントの理性法構想を共和主義の視点から読み直す。「外的な私のもの」に発する個人主義的所有論が，近代的領土国家や主権の優越，パトリオティズムの観念を要請していく構造を解明する。その上で世界市民主義を，共和主義の過剰を緩和する契機として再定位し，フローバル化を見据えた法秩序構想の基礎を提示する。〔0529-1・12〕

高橋文彦著

新基礎法学叢書4

法的思考と論理

A 5 判上製272頁／5000円

法的思考の論理は三段論法ではない!?　実定法学・法実務から距離を置く法哲学者の立場から，論理学的・哲学的な諸問題について法論理を対話的な非単調論理として捉え直す注目の書。

〔0550-5・13〕

大塚滋著

新基礎法学叢書5

説き語り法実証主義

A5判上製282頁／5500円

学的認識の対象は実定法だけであり，自然法は排除されるとする反自然法論・実定法一元論こそが法実証主義の核心だとの立場から，平易な語り口で，ケルゼンなどの古典家の理論を徹底的に解剖する。法実証主義を論じる者の必読書。

〔0563-5・14〕

濱真一郎著

新基礎法学叢書6

法実証主義の現代的展開

A5判254頁／4200円

法実証主義者であるH.L.A.ハートおよびその理論的継承者たちと，法実証主義に批判的なロナルド・ドゥオーキンのあいだの論争を検討することを通じて，「法実証主義の現代的展開」の一端を描き出そうと試みる。

〔0565-9・14〕

亀本洋著
新基礎法学叢書 7
ロールズとデザート
現代正義論の一断面
A5判上製268頁／3900円

ロールズに始まる現代正義論を desert という観念で切り取り，現代の自由民主主義社会において，各個人が平等な地位をもつ市民であるとはどのようなことかについて考察する。

〔0573-4・15〕

西野基継著
新基礎法学叢書 8
人間の尊厳と人間の生命
A5判上製322頁／4000円

死への存在としての人間存在の有限性から逆説的に構成される「かけがえのなさ」に，人間の尊厳の哲学的根拠を見出す。人間の尊厳，人間の生命，両者の交錯した諸相を明らかにする研究書。

〔0589-5・16〕

大塚滋著
新基礎法学叢書 9
イェーリングの「転向」
A5判上製246頁／4500円

法実証主義・概念法学が社会を見下した制定法絶対主義と誤解されたことを契機に，ドイツにおける19世紀概念法学，とりわけイェーリングの法学方法論を研究主題とする著者の思考の歩み。

〔0595-6・16〕

竹下賢著
新基礎法学叢書10
法秩序の効力根拠
A5判上製276頁／3900円

法の時空的妥当という事態が法的現実にとっては本質的である。平和の希求や自由思想を圧倒する事実に鑑み，法秩序の効力根拠を問うことを通じて法的支配の正当性を究明する法哲学書。

〔0596-3・16〕

亀本洋著
新基礎法学叢書11
ドゥオーキン「資源の平等」を真剣に読む
A5判上製336頁／4600円

法哲学者の立場から，現代正義論に関心がある人々，とりわけ，ドゥオーキンの正義論を理解するのに苦しんでいる人々に贈る，ドゥオーキンの平等論の解明をめざす苦闘の記録。

〔0601-4・16〕

大塚滋著
新基礎法学叢書12
憲法改正限界論のイデオロギー性
A5判上製240頁／4500円

法的世界の客観的な構造とそこに置かれている位置を自覚的に把握した上に構築されている純粋法学が，静態理論的視点から枠理論に基づいて行った，わが憲法学に関するイデオロギー批判。

〔0619-9・17〕

濱真一郎著
新基礎法学叢書13
バーリンとロマン主義
A5判上製242頁／4200円

英国の思想史家バーリンのロマン主義研究の概要を整理し，バーリン自由論の基本的特徴を描き出すことを通じて，哲学的研究と思想史的研究が交錯し補完し合っていることを明らかにする。

〔0618-2・17〕

佐藤遼著
新基礎法学叢書14
法律関係論における権能
A5判上製222頁／4000円

二人格間の法的地位の相関関係としての「法律関係」を記述するために必要な概念，特に「権能」の概念に着目して，学説史と理論的考察の両面から検討した研究書。

〔0623-6・18〕

土井崇弘著
新基礎法学叢書15
ハイエクの伝統論の再構成
日本文化のなかでの自由社会の擁護
A5判上製278頁／5500円

川島武宜が提起した問題意識を念頭に置き，日本の伝統・文化を考慮しつつ自由社会を支える根本的な観念・制度原理を擁護する提言を探求するためにハイエクの伝統論を再構成する研究書。

〔0639-7・19〕

堅田研一著
新基礎法学叢書16
コジェーブの法哲学
普遍等質国家における正義
A5判上製300頁／6000円

戦後のフランスの思想界に決定的な影響を与え，近年改めてその思想が注目されているヘーゲル講義で有名なアレクサンドル・コジェーヴの著作『法の現象学』に関する一つの読解を提示する。

〔0650-2・19〕

北村幸也著
新基礎法学叢書17
裁判と法律のあいだ
ドイツ憲法の視角から
A5判上製352頁／6000円

法律に拘束されている（はずの）裁判官の手による《裁判による法形成》を主題として，現代のドイツ法における重要な議論の様相をできるだけ詳細かつ明瞭に描き出すドイツ法研究の成果。

〔0658-8・20〕

濱真一郎著
新基礎法学叢書18
ハート対ドゥオーキン論争のコンテクスト
A5判上製244頁／5500円

司法的裁量をめぐるH.L.A.ハートとロナルド・ドゥオーキンの論争。20世紀後半の英語圏における法哲学上の最重要の論争を，当時の文脈の中に位置づけた上で，その論争の行方を探る。本書では「ハート対フラー論争」にも再注目する。

〔0676-2・20〕

重松博之著
新基礎法学叢書19
ヘーゲル承認論と法
A5判上製296頁／5800円

ヘーゲルの最初の法哲学ともいうべきイェーナ前期の「自然法論文」と『人倫の体系』，さらに，その思想の根底をなすであろう青年期の神学論を起点とするヘーゲル法哲学研究の成果。

〔0679-3・21〕

菊地諒著
新基礎法学叢書20
「法と経済学」の揺籃
A5判上製274頁／5500円

主に19世紀後半から20世紀前半のアメリカ合衆国を素材として，法学と経済学を統合しようとする試みの系譜を描き出し，思想的な検討を加える研究書。

〔0688-5・21〕

若松良樹著
新基礎法学叢書21
醜い自由
ミル『自由論』を読む
A5判上製208頁／4000円

自由の価値を論証しようとするならば，醜くても自由には価値があることを示さなくてはならない。この主張の論証へ向けて，本書は，ジョン・ステュアート・ミルの『自由論』を伴走者として走り出す。

〔0695-3・21〕

伊藤泰著
新基礎法学叢書22
憲法上の権利の政治経済学
A5判上製280頁／5600円

日本国憲法上の権利に関わる諸問題について，憲法上の基本的権利の論理の中に潜む経済学的な側面に，多様な論理の集合体である経済学の枠組みからの分析を行おうと試みる論文集。

〔0698-4・22〕

ニール・マコーミック著・亀本洋他訳

判決理由の法理論

A 5 判上製366頁／3800円

本書は，実際の裁判の複雑なあり方を適切な判例を引用しながら，よい判決を書くためにはどうすればよいのかを探求する。法的思考理論の大家マコーミック教授の渾身の力作である。

〔0468-3・09〕

原秀男・ホセヨンパルト・三島淑臣編

法の理論 2

A 5 判上製290頁／2800円

《主な内容》ホッブスにおける法と国家㈠／水波朗　老子とアナーキズム／長尾竜一　純粋法学の根拠への帰回㈡／高橋広次　法社会学との関係における法哲学／田中茂樹　権利は科学的概念か（千葉正士教授に対する二，三の疑問）／佐藤節子　佐藤節子・田中茂樹両教授の批評によせて／千葉正士ほか　〔0040-1・82〕

原秀男・ホセヨンパルト・三島淑臣編

法の理論 3

A 5 判上製280頁／2800円

《主な内容》法的に空虚な領域の理論／金沢文雄　ホッブスにおける法と国家㈡水波朗　ソクラテスの死／森際康友　現代日本の法哲学教科書／葛生栄二郎　ヴォルフ・パウルの批判的法理論について／酒匂一郎　法的に自由な領域の理論再批判／山中敬一　純粋法学の構造／大塚滋　ほか　〔0041-X・83〕

原秀男・ホセヨンパルト・三島淑臣編

法の理論 4

A 5 判上製228頁／3000円

《主な内容》「法哲学」と「法理学」／八木鉄男　「批判的峻別論」偶感／菅野喜八郎，正義と平和／平野敏彦訳国際政治学から観た日本国憲法第九条／五味俊樹　憲法第九条の変遷の問題／ホセヨンパルト　なぜ，今自然法論を／阿南成一　社会主義法制下における法および道徳と社会共同生活の原則／他　〔0042-8・84〕

ホセヨンパルト・三島淑臣編

法の理論 5

―原秀男博士追悼論集―

A 5 判並製288頁／3000円

《主な内容》原秀男教授の人と思想／鈴木敬夫　アイデンティティ法原理／千葉正士　国家の使命・可能性・限界／山田秀訳　N．ルマーンのシステム理論と正義問題／駒城鎮一　木村亀二の死刑違憲論について／初宿正典現代の概念法学／大塚滋　我国における法律行為概念の成立に関する理念史的考察／新井誠他〔0043-6・85〕

ホセヨンパルト・三島淑臣編

法の理論 7

A 5 判並製294頁／3000円

《主な内容》イマヌエル・カントと抵抗権のパラダイム転換／福井徹也訳「平等者として扱われることへの権利」について／小谷野勝巳　権利概念に関する一考察小林公　ヨーロッパ人権条約における信教の自由／アントニ・コシチ　曖昧な法概念のアナトミア／増田豊　レトリックによる合意形成・序説／小畑他〔0045-2・86〕

ホセヨンパルト・三島淑臣編

法の理論 8

A 5 判並製258頁／3000円

《主な内容》合理性問題の一考察／岩倉正博　脱工業化社会における正統性の危機／樫沢秀木訳　行為責任・性格責任・人格形成責任／森村進　東洋法思想史の課題と方法／鈴木敬夫訳　ルター自然法論の形成と論理／伊藤平八郎　競走と秩序／桂木隆夫　脳幹死説への疑問／金沢文雄ほか。　〔0134-3・87〕

ホセヨンパルト・三島淑臣編

法の理論 9

A 5 判並製302頁／3000円

《主な内容》自然法の継承としての法実証主義佐藤節子／自然法の再討議　ヴァージニア・ブラック（訳）酒匂一郎　神原和宏／ハード・ケース処理に関する裁判官の役割　松平光央／中国における社会主義の現代化と法沈宗霊（訳）中村浩爾ほか

〔0147-5・88〕

ホセヨンパルト・三島淑臣編

法 の 理 論 10

A 5 判並製292頁／3689円

《主な内容》寛容について／解釈という賢慮の仕事／ホッブズによるコークの Artificial Reason 批判について／介入主義法の限界とその手続化／法の実定性と禁止の錯誤／〔反論と意見〕行為責任論再説／「自然法論の継承としての法実証主義」／ヨンパルト教授の批判に答えて／水波朗著『トマス主義の法哲学』。 〔0175-0・90〕

ホセヨンパルト・三島淑臣編

法 の 理 論 11

A 5 判並製302頁／3689円

《主な内容》文化的に制約された行動秩序の解体と変貌／法は当為か存在か／ポスト・モダンとニヒリズム／国家の自由裁量と刑罰権の理解／現代中国法哲学の課題／〔反論と意見〕反省・主体・権利／意識下の新カント派観念論 〔0190-4・91〕

ホセヨンパルト・三島淑臣編

法 の 理 論 12

A 5 判並製242頁／3689円

《主な内容》死刑廃止への提言／条理もしくは道理について／法規範の超越論的妥当根拠／自然法論の歴史と法学上の自然法の歴史性／「実定法学」と「哲学」との間／初期ヘーゲルにおける近代自然法学の批判と再構成／ジョン・フィニス自然法論の基本構造／〔反論と意見〕桂木隆夫『自由社会の法哲学』ほか 〔0210-2・92〕

ホセヨンパルト・三島淑臣編

法 の 理 論 13

A 5 判並製260頁／3689円

《主な内容》いま話題のコンセンサスについて／エホバの証人の輸血拒否とパターナリズム／「立憲政体の冷熱」／コーポレーションとしてみたイングランド国教会の諸相：近代国家論の背景／〔反論と意見〕「書かれた自然法」という考え方／社会哲学の立場ほか 〔0222-6・93〕

ホセヨンパルト・三島淑臣編

法 の 理 論 14

A 5 判並製236頁／3689円

《主な内容》文化的進化の産物としての法／違法判断の実践性と法的価値発見／初期ヘーゲルにおける近代自然法学の批判と再構成／荀子／〔反論と意見〕『今話題のコンセンサスについて』を読んで／合意についての合意について／合意が得られると，どうなるか／ファンタスマ理論と法的比喩論／ほか 〔0227-7・94〕

ホセヨンパルト・三島淑臣編

法 の 理 論 15

A 5 判並製260頁／4000円

《主な内容》西欧的憲法理解に対する南側のオールターナティヴをめぐって／法の主体的意義／環境破壊の意識構造／法に従うことは道徳的義務か／ローマ法学史上の二学派をめぐって／〔反論と意見〕死刑のパラドックス／道理の伝統と変化／良心の自由はどれほど法的に保障され得るかほか 〔0243-9・95〕

ホセ・ヨンパルト・三島淑臣・笹倉秀夫編

法 の 理 論 16

A 5 判並製292頁／4000円

人間社会，法律と法哲学に関する次の基本問題は課題又は議論される。社会システム理論の長所と短所。リベラリズムと正義・平等。論理的自然法としての黄金律。良心の自由とその法的保障。生命倫理と法律。法哲学研究と大学における法哲学教育。法哲学について国内国外の22人実定法学者の意見も紹介される。 〔0259-5・97〕

ホセ・ヨンパルト・三島淑臣・笹倉秀夫編

法 の 理 論 17

A 5 判並製250頁／4000円

《主な内容》「補完性原理」のトマス主義社会倫理学的考察（宮川俊行）／ポストモダニズムと正義論（長谷川晃）／自己決定権の限界（秋葉悦子）／日本から見た世界の現代法哲学・法理論の分裂とその原因（ホセヨンパルト）ほか。 〔0273-0・97〕

ホセヨンパルト・三島淑臣・笹倉秀夫編

法 の 理 論 18

A5判並製318頁／4200円

法哲学事始め―西周・加藤弘之・穂積陳重の思想史として　堅田剛／法実証主義における規範性・道徳・法的責務―英国と欧大陸の法思想についての比較法的一考察　ジョージ・ムスラキス（山崎康仕訳）／法解釈の客観性とポスト・モダン　駒城鎮一／憲法八九条後段と「協働」社会　青柳幸一／ほか　〔0293－5・99〕

ホセヨンパルト・三島淑臣・笹倉秀夫編

法 の 理 論 19

A5判並製258頁／4200円

生命倫理における基礎論の再考（その二）　ホアンマシア／胎児は憲法上の権利を持つのか　中山茂樹／ドイツ人工妊娠中絶法における胎児条項をめぐる問題　松尾智子／再び，「個人の尊重」と「人間の尊厳」は同じか　ホセヨンパルト／現代刑事法の論理構造　刑法理論史研究会／ほか　〔0310－9・00〕

ホセヨンパルト・三島淑臣・笹倉秀夫編

法 の 理 論 20

A5判並製228頁／4000円

価値と法規範　ロドリゲス・パンイアグア／人間の尊厳と基本的人権㈡　水波朗／ハンナ・アレントにおける「疎外」論の構造　伊藤洋典／ドゥウォーキンの法概念論の批判　森村進／人格的自律権の哲学的考察　中村博雄／事実からのみ当為は導出される　坂本百大／伝統知としての自然法　葛生栄二郎／ほか　〔0325-7・00〕

ホセヨンパルト・三島淑臣・笹倉秀夫編

法 の 理 論 21

A5判並製284頁／4000円

グスタフ・ラートブルフ『法哲学』後書き草稿　陶久利彦・足立英彦訳／ジョージ・ローソンの「憲法」概念　山本陽一／新自然法論と反還元主義　河見　誠／世界および日本における死刑制度の現況　辻本衣佐／法哲学プロパーと死刑の問題　ホセ・ヨンパルト／制度としての法と法律学　狩野道徳／ほか　〔0338-9・01〕

ホセヨンパルト・三島淑臣・長谷川晃編

法 の 理 論 22

A5判並製312頁／4000円

もうひとつの正義構想に向かって（住吉雅美）ハイエクにおける立憲主義についての一考察（土井崇弘）世俗化過程としての国家の成立（ペッケンフェルデ／桜井健吾訳）法解釈における事物の本性論，あるいはアブダクション（駒城鎮一）事実と真実（平田元・宗岡嗣郎）法服従（N・ブリースコルン／三島淑臣監訳・塩見佳也訳）ほか〔0360-5・03〕

ホセヨンパルト・三島淑臣・長谷川晃編

法 の 理 論 23

A5判並製220頁／3800円

実践的法妥当論（一）（森際康友）／仮想的保険と倫理的リベラリズム―R・ドゥオーキンの平等論の一断面―（長谷川晃）／価値多元論と恐怖のリベラリズム―バーリンとシュクラーの比較を通して―（濱真一郎）／グローバルな正義論―人権論からのアプローチ―（竹村和也）ほか　〔0376-1・04〕

ホセヨンパルト・三島淑臣・長谷川晃編

法 の 理 論 24

A5判並製214頁／3800円

エゴイスト〈脱自〉のとき　住吉雅美／権利保護の意義と限界　浅野有紀／「恒久の平和」（日本国憲法前文）の形而上学的解明　中村博雄／グローバルな正義　宇佐美誠／医療における患者の個人情報保護システムの法理論的検討　増成直美ほか　〔0395-8・05〕

ホセヨンパルト・三島淑臣・竹下賢・長谷川晃編

法 の 理 論 26

特集《人間の尊厳と生命倫理》

A5判並製226頁／3800円

特集：Ⅰ　人体構成体の取扱いと「人間の尊厳」　甲斐克則　Ⅱ　「人間の尊厳と人間の生命」試論　西野基継　Ⅲ「遺伝情報」及び「承諾」と「人間の尊厳」　只木　誠　Ⅳ「死の迎え方」と自己決定権　山崎康仕　Ⅴ　ハビトスとしての人間の尊厳―人間の尊厳とケア倫理―　葛生栄二郎ほか　〔0431-7・07〕

ホセヨンパルト・三島淑臣・竹下賢・長谷川晃編

法 の 理 論 27

特集《日本国憲法をめぐる基本問題》

A 5 判並製254頁／3800円

I 民主主義と立憲主義 青山治城／II 民主主義の「質」と憲法学 高作正博／III 尊厳と二四条の可能性 岡野八代／IV 予防原則と憲法の政治学 中山竜一〔論文〕— グローバルな正義・再論 宇佐美誠

〔0449-2・09〕

ホセヨンパルト・三島淑臣・竹下賢・長谷川晃編

法 の 理 論 28

特集《今，刑罰を考える》

A 5 判並製262頁／3800円

I 刑罰から国家を考える（宗岡嗣郎） II 国家刑罰権の正当化（瀧川裕英） III 国営刑罰の論理と心理（宮本弘典） IV 刑罰に関する小講義（小林憲太郎） V スペインの刑罰制度の抜本的な改革について・ノート（ホセ・ヨンパルト）

〔0474-4・09〕

ホセヨンパルト・三島淑臣・竹下賢・長谷川晃編

法 の 理 論 29

特集《私的自治：私・個人とは何か》

A 5 判並製224頁／3800円

I 私的自治の歴史（石川真人） II 私的自治とは何か，また何のためか（森村進） III 関係的契約理論による損害賠償論の試み（山本顯治） IV 対話的私的自治の可能性へ向けて（和田仁孝）ほか

〔0500-0・10〕

ホセヨンパルト・三島淑臣・竹下賢・長谷川晃編

法 の 理 論 30

記念特集《21世紀の法・社会・国家》

A 5 判並製310頁／3800円

I 自由主義は反自由主義を包摂できるか（嶋津格） II 環境国家の理念からみたローカル・コモンズ（竹下賢） III ヴェーバーの非「正義論」的社会政策思想（今井弘道） IV 二一世紀の法の概念（長谷川晃） V 法化としての世界化（酒匂一郎）

〔0522-2・11〕

竹下賢・長谷川晃・酒匂一郎・河見誠編

法 の 理 論 31

特集《公共性と法》

A 5 判並製270頁／3800円

I 主権と領域主権（稲垣久和） II 法，公共性，社会的同質性（大野達司） III 法と公共性（橋本 努）

〔0538-3・12〕

竹下賢・長谷川晃・酒匂一郎・河見誠編

法 の 理 論 32

特集《ケアと法》

A 5 判並製282頁／3800円

I ノモスとピュシスの再考（品川哲彦） II ケアの意味の核にあるもの（高橋隆雄） III ケア倫理と自然法（葛生栄二郎） IV ケアの倫理と関係性（野崎亜紀子），論文 ファインバーグのデザート論（亀本洋）ほか。

〔0557-4・13〕

竹下賢・長谷川晃・酒匂一郎・河見誠編

法 の 理 論 33

特集《日本国憲法のゆくえ》

A 5 判並製272頁／3800円

I 九条問題再説（井上達夫） II 憲法改正限界論の限界をめぐって（大屋雄裕） III 「公共の福祉」の再検討（鳥澤 円），論文 特別なものとしての不作為犯？（山下裕樹）ほか。

〔0571-0・15〕

竹下賢・長谷川晃・酒匂一郎・河見誠編

法 の 理 論 34

特集《創る法と成る法》

A 5 判並製302頁／3800円

I 立法をめぐる近代イギリスの法思想（戒能通弘） II J・S・ミルと創る法／成る法（村林聖子） III 一九世紀プロイセン裁判所における法形成（鈴木康文） IV 立法の思想史（石部雅亮）ほか。

〔0583-3・15〕

竹下賢・長谷川晃・酒匂一郎・河見誠編

法 の 理 論 35

特集《例外状況と法》

A5判並製272頁／3800円

川口浩一「例外状態に関する思考実験としての『トロリー問題』」／松生光正「国家と緊急救助」／安達光治「例外状態と緊急事態条項」／西村清貴「例外状況と秩序」，〔論文〕北村幸也「ドイツにおける『裁判官による法の継続(?)形成』についての覚書き」／椎名智彦「法道具主義再考」ほか。

〔0605-2・17〕

長谷川晃・酒匂一郎・河見誠編

法 の 理 論 36

特集《ネオ・プラグマティズムと法》

A5判並製312頁／3800円

岡本裕一朗「自然主義と規範主義のはざま」／大河内泰樹「規範と解釈」／高橋洋城「規範のパラドクスから規範のプラグマティクスへ」／毛利康俊「法的思考において結果を考量することのやましさについて」，〔論文〕菅原寧格「中国における〈市民社会〉と〈法〉の行方」／河見誠「自立・自律・存立」など。

〔0629-8・18〕

長谷川晃・酒匂一郎・河見誠編

法 の 理 論 37

特集《リスク社会における自由と協働の秩序》

A5判並製324頁／3800円

嶋津格「リスクと『安全・安心』」／橋本努「リスク認識とイデオロギー」／川瀬貴之「リスクとリスク対処の類型」／野崎亜紀子「自由を規制する理由・再考」〔論文〕荒井真「ルドルフ・フォン・グナイストの『自由弁護士論』」など。

〔0647-2・19〕

長谷川晃・酒匂一郎・河見誠・中山竜一編

法 の 理 論 38

特集《生命医科学の発展と倫理的法的社会的問題》

A5判並製242頁／3800円

瀬戸山晃一「遺伝子差別と平等」／林芳紀「ドーピングとエンハンスメント」／伊吹友秀「優れた子ども／よい子どもを選ぶことと創ることの倫理」／鈴木慎太郎「生殖医療技術と身体の資源化・商品化」〔論文〕森悠一郎「ソフィア・モローの熟慮的自由説の批判的検討」／山本健人「公的判断過程における宗教」

〔0669-4・20〕

長谷川晃・酒匂一郎・河見誠・中山竜一編

法 の 理 論 39

特集《「動物の権利」論の展開》

A5判並製276頁／3800円

浅野孝治「動物権利論と捕食の問題」／鬼頭葉子「動物権利論の拡張可能性について」／久保田さゆり「動物倫理の議論と道徳的地位の概念」〔論文〕松島裕一「法律の精神について」／吉良貴之「行政国家と行政立憲主義の法原理」ほか。

〔0685-4・21〕

長谷川晃・酒匂一郎・河見誠・中山竜一編

法 の 理 論 40

特集《カントにおける法秩序と他者》

A5判並製270頁／3800円

木原淳「所有秩序と他者」／網谷荘介「国際法の他者」／瀧川裕英「カントと『正しい植民地』」〔論文〕西村清貴「グスタフ・ラートブルフにおける法的安定性について」／森悠一郎「ナンシー・フレイザーの『普遍的ケア提供者モデル』擁護論はどこまで成功しているか？」ほか。

〔0697-7・22〕

長谷川晃・酒匂一郎・河見誠・中山竜一編

法 の 理 論 41

特集《法実証主義の比較思想史》

A5判並製308頁／4200円

内野広大「国制における実定法と実定道徳」／椎名智彦「ホウムズとフラー」／西村清貴「ラートブルフ・テーゼとドイツにおける法実証主義」／荻野奈緒「ドゥモロンブにおける『法』とその適用」／近藤圭介「反規範主義的で，反意志主義的で，反国家主義的な法実証主義」ほか。

〔0718-9・23〕

法　制　史

島善高著

律令制から立憲制へ

A 5 判上製380頁／3500円

形骸化しながらも律令制は明治初年まで続いていたとの認識から，「律令制から立憲制へ」という問題関心の下にまとめたもの。第一章　幕末に甦る律令，第二章　副島種臣と明治初期法制，第三章　江藤新平の国法論，第四章　井上毅のシラス論註解，第五章　天佑と Gottesgnadentum，ほか　〔0463- 8 ・09〕

栗原眞人著

香川大学法学会叢書 8

一八世紀イギリスの刑事裁判

A 5 判上製418頁／7000円

一八世紀イギリスのオールド・ベイリにおいて，国家法によることなく刑事司法の担い手達（裁判官，弁護士，陪審）が生み出した変化，すなわち，当事者対抗主義的な公判構造への転換過程と，証拠法の形成過程を検証する。　〔0526-0・12〕

姫嶋瑞穂著

明治監獄法成立史の研究

欧州監獄制度の導入と条約改正をめぐって

A 5 判上製324頁／6500円

明治 5 年「監獄則」から明治41年「監獄法」に至る近代日本監獄法の展開を条約改正交渉と関連付け，新たな視点からアプローチする。「行刑の国際化」と「日本型行刑」の調和に向けた監獄法の立案・修正について検討し，日本近代法体系において監獄法がどう位置づけられるのか新たな見通しを提示する。　〔1918-2・11〕

高塩博著

國學院大學法学会叢書 2

近世刑罰制度論考

社会復帰をめざす自由刑

A 5 判上製352頁／5500円

江戸時代の自由刑を考察した研究書。社会復帰をめざす自由刑は，十八世紀中葉，熊本藩に誕生し，ついで佐賀藩・会津藩がこれを採用し，幕府も無宿を対象とする人足寄場を開設した。すると，少なからぬ藩がこの自由刑を実施し，やがて明治初年の懲役刑にその趣旨が継承された。　〔0539- 0 ・13〕

高塩博著

近世諸藩の法と刑罰

A 5 判上製480頁／9000円

本書は，尾張国名古屋藩，肥後国熊本藩，陸奥国の会津藩・白河藩・二本松藩および下野国黒羽藩の六藩について，その法と刑罰を考察した論考である。新出史料を紹介することによって藩法の一端を明らかにしようとする。　〔0694- 6 ・21〕

岡田昭夫著

明治期における法令伝達の研究

A 5 判上製390頁／8000円

公文式発令以前に発令された諸法令を調査・収集して目録索引を編纂するという国立国会図書館における「日本法令索引（明治前期編）」の編纂作業を契機として，明治期の法令伝達に関するさまざまな疑問点を調査・研究し一書とした意欲作。　〔0542- 0 ・13〕

松田恵美子著

伝統中国と近代法、人

A 5 判上製330頁／7000円

近代法が前提とする理性的な人とは異なる「現実の人」を基底とした時，法は如何にして秩序をもたらしうるのか。伝統中国の徳，礼，法によって考える。　〔0654- 0 ・19〕

憲　　法

佐藤幸治著
法学叢書7
日本国憲法論〔第2版〕
A5判上製772頁／4800円

渾沌とした時代の中で，憲法現象の本質を鋭く丁寧に読み解き，わが国の立憲主義が血肉となるため心血を注いだ渾身の書。佐藤憲法学の集大成！

〔0672-4・20〕

佐藤幸治編著
大学講義双書
憲　法　I
総論・統治機構
A5判上製420頁／3204円

学説状況をできるだけ客観的に記述することをベースにし，執筆者の独自の見解を開陳させた。現代の論点をすべて網羅し，最新の判例を折り込んだ，現代憲法の集大成ともいうべき，最新の体系的基本書。法学部学生の教科書に適しているばかりでなく，司法試験受験生にも必読の書である。

〔0049-5・86〕

佐藤幸治編著
大学講義双書
憲　法　II
基本的人権
A5判上製500頁／3400円

Ⅰ〔総論・統治機構〕に続き基本的人権についてまとめたものである。学説，判例状況の客観的な記述をベースに執筆者独自の見解が展開され，類書にない新しい視点や分析枠組を提供するものである。人権をめぐって哲学，倫理学など多方面で行なわれている，特に欧米の議論にも考察の目が向けられている。

〔0146-7・88〕

初宿正典著
法学叢書2
憲　法　2　基本権〔第3版〕
A5判上製566頁／3700円

基本権規定を識知する待望の第3版。日本国憲法の保障するさまざまな《基本権》を，ごく最近の判例までフォローして，わかりやすく解説した体系的教科書。

〔0497-3・10〕

初宿正典編著
基本判例憲法25講〔第4版〕
A5判上製478頁／3300円

日本国憲法の保障するさまざまな《基本権》を，ごく最近の判例までフォローして，わかりやすく解説した体系的教科書。

〔0582-6・15〕

君塚正臣著
憲　法
日本国憲法解釈のために
A5判上製656頁／4800円

学習を促進するための図表や重要判例を加え，論述の際の注意点や周辺事項などを丁寧に解説する。法学部生から司法試験受験生まで，法律学としての憲法学習の基軸となる教科書。

〔0710-3・23〕

松浦一夫・奥村公輔編著
憲　法　概　説〔第2版〕
A5判並製484頁／3000円

初学者を対象とした入門書。各章の「ねらい」を冒頭で明示し，中立的な立場から諸学説を簡明に説明することを心がけるとともに，図・表を適所に挿入することで読者の理解に配慮。執筆者それぞれの講義体験を踏まえて，教科書として過不足のない説明がなされている。

〔0675-5・20〕

吉田仁美編

スタート憲法〔第3版〕

B5判並製154頁／1600円

はじめて憲法を学ぶ人，法律を専門としない人が憲法を学ぶための入門書。学説をわかりやすく解説し，判例を簡単に紹介するほか，具体的な設問を設けて内容に興味をもてるようにし，資料を多く取り上げて，憲法の意味を実社会と結びつけて考えられるようにした。

〔0668-7・20〕

大沢秀介・葛西まゆこ・大林啓吾編

憲法.com

A5判上製310頁／2800円

憲法に興味を持つ中級者むけの問題演習教材。各セクションでは，冒頭に日本の判例をベースにした設問が示されています。読者はその設問を解くために必要な知識を，諸外国における議論との比較を踏まえた丁寧な解説を読むことによって効率よく学び，設問の検討を通じて問題発見能力を習得できます。

〔0494-2・10〕

大沢秀介編

はじめての憲法

B5判並製250頁／2200円

大学で憲法の講義をとっている人や，これから本格的に学ぼうとしている人を対象にした入門書。憲法学の主要なトピックを，具体的な設問とその解答へ至るプロセスを楽しく学んで理解し，さらにより広くまた深く学びたい人のために，対論セクションや関連ホームページを掲載し，便宜を図った。

〔0357-5・03〕

大沢秀介編著

判例ライン憲法〔第2版〕

B5判並製256頁／1800円

憲法を学ぶとは，憲法の考え方を論理的に展開する力を身に付けること。そのために必要な基本的憲法判例を厳選してまとめた一冊。第2版を出版するに当っては，最新の判例集となるように掲載する判例の見直しを行うとともに，判例8件（うち差し替え1件）が新たに追加された。

〔0508-6・11〕

岡田順太・淡路智典・今井健太郎編著

判例キーポイント憲法

B5判並製132頁／1300円

憲法が施行されて70年余りの間に，裁判所で扱ってきた数多くの憲法に関する判例について，若手の憲法学者が中心となって，憲法判例を思いっきりやさしく噛み砕いて記述した教科書。

〔0666-3・20〕

蛯原健介著

オンライン学習時代の憲法入門

46判上製264頁／2600円

2020年度のオンライン授業における学生とのやりとり，コンテンツをもとに執筆。基本的人権を中心に，具体的な素材を取り扱うことで，興味をもって学習できるように工夫されている。

〔0678-6・21〕

藤井正希著

憲法口話

A5判並製250頁／2500円

日本国憲法の基本構造や基本原理を楽しみながら理解し，身につけることを目指して，憲法の基本事項を網羅，重要判例にもできる限り言及する。全15回の口語形式でまとめられた，教養としての憲法教科書。

〔0670-0・20〕

片上孝洋編著

現代憲法25講

A5判並製374頁／3200円

各講に「本講の内容のあらまし」「設問」「参考文献」を付し，憲法の基本的な内容，判例・学説といった知識をより深め，憲法の役割や機能を正確に理解できるよう配慮した教科書。

〔0665-6・20〕

西修編著

エレメンタリ憲法〔新訂版〕

A5判上製334頁／2800円

いわゆる通説的解釈にとどまらず，編者らの独自の解釈論も展開されている出色の憲法教科書。各章・各節の「ねらい」と「チャート」，理解を容易にする「トピック」，用語解説，そして最新かつ豊富な判例やデータがコンパクトに提示され，知的好奇心と知的満足感を満たすように編さんされている。〔0443-0・08〕

長谷川日出世著

基礎日本国憲法〔改訂版〕

A5判並製372頁／2500円

日本国憲法を学ぶ法学部学生はもちろんのこと，公務員試験を目指す他分野専攻の学生をも視野に入れ，これらの学生が必要とする範囲でできる限り理解しやすいように解説する入門書。〔0607-6・17〕

塩津徹著

比較憲法学〔第2版〕

A5判並製350頁／2800円

世界の中の日本国憲法の位置を検証する比較憲法学。総論では大統領制と議院内閣制，一院制と二院制などの類型的比較。各論ではイギリス，アメリカ，ドイツ，フランス，中国，韓国，EUの憲法について詳述。第2版では近年の各国の憲法改正，状況の変化を踏まえて新たな議論を展開。〔0520-8・11〕

阿部竹松著

アメリカ憲法〔第3版〕

A5判上製774頁／5000円

著者長年のアメリカ憲法学研究の集大成。待望の第3版。州政府と基礎自治体の組織と権能に関する解説を加え，内容が一段と充実。憲法修正や判例によって憲法がどのように変遷してきたかにつき条文に順じて注釈論述。各条文制定当時の社会背景や政治慣行，条文の背景にある政治哲学諸原理についても説明。〔0553-6・13〕

藤井俊夫著

憲法と人権 I

A5判上製404頁／2900円

本書では，基本的人権にかかわる論点の仲で総論にあたる部分のほか，新しい人権，選挙権など各論の一部を取り上げた。総論ではできるだけ大局的な視野で課題の把握ができるように配慮した。また，各論ではプライバシー権，消費者の権利など新しい人権にかかわるテーマの説明に多くの分量をとった。〔0440-9・08〕

藤井俊夫著

憲法と人権 II

A5判上製384頁／2900円

本書では，人権各論とりわけ憲法の明文で保障されている精神的自由，経済的自由，人身の自由及び社会権を取り上げた。時代の変化に対応した新しい問題もできるだけ具体的な形で説明するようにした。また，さまざまな形の違憲審査に関する議論との関係を意識して多くの判例を取り上げて検討している。〔0441-6・08〕

藤井俊夫著

憲法と政治制度

A5判上製510頁／3500円

憲法の定める政治制度全般を取り上げた。その中でそれぞれのテーマにかかわる基本原理の意義を明らかにし，また，それらの相互関係について問題提起した。さらに，憲法を取り巻くさまざまな法律との関係で憲法の原理がどのような形で実現され，あるいは制約されているかをできるだけ具体的に説明した。〔0470-6・09〕

藤井俊夫著

憲法と国際社会〔第2版〕

A5判上製440頁／3000円

国連の活動と憲法との関係を強く意識しつつ平和主義および国際的人権保障の問題をとりあげたもの。本書は「憲法と国際社会」にかかわるテキストとするだけでなく，より一般的にこれらの課題を若い人々に考えてもらうための素材として用意した。第2版では，緊急事態法制など最近の動向を追加した。〔0390-7・05〕

藤井俊夫著

情報社会と法〔第2版〕

A5判上製422頁／2900円

マス・メディアと人格権，インターネット上の権利侵害，通信傍受法，住基ネットと自己情報コントロール権，個人情報の保護法制，情報公開制度などの憲法的課題のほか，不正アクセス禁止法，電子取引，著作権その他の知的財産権など情報社会の法的課題について，法改正等の動向を取り込みつつ解説した。〔0371-0・04〕

藤井俊夫著
成文堂選書46

学校と法

46判上製282頁／2300円

子どもの権利条約や子ども保護のための法律を紹介し，学校事故，いじめ，体罰，危機管理，情報公開，個人情報保護など学校をめぐる法律問題について説明した。また，子どもの権利制限の根拠や手続など学校における各種の事例の中での課題を示すことにより人権感覚をみがくための問題提起をした。〔0426-3・07〕

藤井俊夫著

司法権と憲法訴訟

A5判上製392頁／2800円

司法権と裁判所，法律上の争訟の要件，司法権の限界，違憲立法審査権の意義，違憲審査の方法及び判決技術，違憲審査基準論，違憲審査の限界，訴訟事件における憲法問題の現れ方の違いなどについてさまざまな判例を取りあげながら理論的な整理をした上で，今日的な課題について問題提起をした。〔0416-4・07〕

斉藤静敬著

憲法要説

A5判上製182頁／2700円

本書は，日本国憲法の原理や，その意味・内容を平易に解説することにより，誰にでも理解できるような理論的展開に心がけ，全体を通して，可能な限り，今日の通説的な立場を基調とし，また，問題の解明に資するため，必要に応じて主要な判例を引用している。〔0281-1・98〕

高乗正臣・佐伯宣親著

現代憲法学の論点〔第2版〕

―判例から学説へ―

A5判上製352頁／3000円

「初学者が興味を抱いて自らの手で憲法学の扉を開くことができる書物」。これが本書の執筆意図である。各章の「論点」に関する「主要判例とその他の判例」の要旨を掲載して裁判所の考え方を明かにし，「学説と考え方」においてテーマに関する解説を加えた。新しいタイプの現代憲法学の入門書である。〔0313-3・00〕

小林昭三著
成文堂新書3

首相公選論入門〔改訂版〕

新書判並製198頁／1400円

首相公選の必要性と，それに伴う議会と内閣の関係の変革を政治制度論的に意味づけ，こんにち的適応性について論じる。また，憲法改正によらない首相公選手法の無理・不適切を明らかにし，近代西洋と違う精神風土におけるわが国政治制度の可能性を，天皇制と折り合う公選首相という関わりで探る。〔0331-1・01〕

後藤光男著

永住市民の人権

地球市民としての責任

A5判上製294頁／5800円

人権を巡る歴史を踏まえたうえで法理論を徹底し，憲法学・行政法学で扱われる外国人の人権について検討する。判例・通説の常識を疑い，外国人の人権問題について再考を迫る研究書。

〔0594-9・16〕

後藤光男著

政教分離の基礎理論

人権としての政教分離

A5判上製338頁／6500円

日本国憲法上の信教の自由について言及しつつ，国家と宗教の分離に関する歴史的意義，規範内容，さらに現代的問題について分析・検討する論文集。

〔0635-9・18〕

後藤光男著

人権としての平和

平和的生存権の思想研究

A5判上製278頁／5600円

平和を人権として再構成し，日本国憲法が定める前文の「平和のうちに生きる権利」と９条の「非武装平和主義」が提起する問題点について，多くの関連文献を参照・引用しつつ叙述する研究書。

〔0652-６・19〕

後藤光男著

憲法と抵抗権

「憲法の番人」は誰か

A5判上製296頁／6000円

抵抗権の本質と法的性格，日本国憲法における抵抗権の考え方，抵抗権と基本的人権・国民主権との関係，市民的不服従との関係，憲法保障との関係を体系的に検討する。

〔0714-１・23〕

後藤光男著

学際レクチャーシリーズ22

共生社会の参政権

地球市民として生きる

46判上製246頁／2900円

地球市民と共生社会をキーワードに，国際人権法の生成と展開を概観し，日本国憲法の先駆性を地球社会の大きな流れの中に位置づける。そして，外国人の人権，参政権と公務就任権，住民訴訟の意義と機能を検討して，地方自治体，国家，国際社会での人権保障のあり方を考える。

〔0302-８・99〕

後藤光男・髙島穣編著

人権保障と国家機能の再考

憲法重要問題の研究

A5判上製328頁／3600円

憲法学における総論，人権，統治の全範囲から重要問題をピックアップし，様々な専門の学問的背景を持つ研究者が独自の視点から考察を進め，掘り下げて検討する。

〔0664-９・20〕

百地章著

成文堂選書29

政教分離とは何か

争点の解明

46判上製372頁／3200円

『憲法と政教分離』に続く著者の第二論文集。宗教団体の政治活動の限界（書き下し），政教分離と少数者の信教の自由，愛媛玉串料訴訟最高裁判決，憲法と大嘗祭，主基斎田抜穂の儀参列訴訟（書き下し）など，政教分離をめぐる重要な争点を徹底的に解明した。「政教分離とは何か」を考える上での必読書。

〔0276-５・97〕

百地章著

成文堂選書42

靖国と憲法

46判上製276頁／2500円

愛媛円玉串料訴訟，首相の靖国神社参拝，国立追悼施設建設などの最近の靖国神社問題について，憲法学の立場から徹底的に解明。政教分離をめぐる最近の判例の動向や今後の課題についても言及している。靖国神社問題について歴史的事実と国際的評価を踏まえ，バランスのとれた視点から論じた好著である。

〔0366-4・03〕

百地章著

成文堂選書50

憲法と日本の再生

46判上製230頁／2300円

憲法と国家にかかわる重要問題，「国旗国歌と思想・良心の自由」「女系天皇」「第９条」「靖国問題」「人権擁護法」「憲法改正問題」などについて，争点をわかりやすく解明した。これを読めば，現在話題となっている憲法問題が良く理解できよう。憲法問題への導入書として一般読者向けにも最適。

〔0460-７・09〕

西　修著

日本国憲法成立過程の研究

A5判上製422頁／6000円

①日本国憲法成立過程における極東委員会の役割と限界，②憲法９条の成立経緯，③日本国憲法の記述に関する連合国総司令部の検閲の実際を主内容とする。これまで盲点とされていた諸点につき，１次資料を駆使して詳細に分析された力作。日本国憲法成立過程研究のための永久保存版というべき必読書。

〔0370-2・04〕

荒邦啓介著

明治憲法における「国務」と「統帥」

統帥権の憲法史的研究

A5判上製450頁／7400円

《権力の割拠性》という明治憲法下の統治構造の一大特色を背景として，その中から「国務」と「統帥」との分立構造を特に取り出し，両者の《調和》をめぐる議論を追う研究書。

〔0621-2・17〕

西 修著

現代世界の憲法動向

A5判上製388頁／5300円

世界の憲法動向を「平和主義」「改正の実際」「90年以降に制定された諸国憲法の特質」などの視点から広角的に分析すると同時に，コソボ，ブータンなどの新憲法から米独仏などの諸国憲法の最新の改正状況までを網羅。付論として政府の9条解釈を再検証，類書のない比較憲法研究の必読書

〔0502-4・10〕

藤井樹也著

「権利」の発想転換

A5判上製456頁／7500円

(解釈学)的アプローチの憲法理論とはなにか？ 従来の憲法学とはことなる新視点から，憲法上の「権利」の基礎理論を探究し，憲法訴訟論後への新たな理論を構築する。新世紀にむけ，憲法解釈方法論，権利基礎論，私人間効力論，自己決定権論，生存権論など，憲法学上の重要問題の解明をめざす。

〔0280-3・98〕

松浦一夫著

ドイツ基本法と安全保障の再定義

連邦軍「NATO域外派兵」をめぐる憲法政策

A5判上製324頁／4000円

冷戦後の「同盟」の変質に対応するドイツの憲法政策を多角的に分析。日米安保と平和憲法の将来を考える。《内容》冷戦後の欧州安全保障構造の再編とドイツ，「NATO域外派兵」をめぐる改憲論争，ドイツ連邦憲法裁判所「NATO域外派兵」合憲判決，冷戦後の憲法政策の日独比較と21世紀への指針，等。

〔0278-1・98〕

齋藤康輝著

政党の憲法的融合論

A5判上製232頁／4000円

国民本位の政治＝民主主義の実現という視点から，憲法と政党に関する諸テーマを体系的に考察。政党助成，代表論，党議拘束，移党による議席喪失の是非，ライプホルツの政党国家論などの理論的検討に加え，最近のわが国における憲法調査会の議論を踏まえ，政党の立憲化について今後の課題を提示した。

〔0398-2・06〕

新井信之著

香川大学法学会叢書11

憲法と国際人権の諸相

子ども・家族・外国人の日米比較

A5判上製526頁／9000円

国際人権の国内的保障を目的として，グローバル時代といわれる昨今の法的諸問題への解決に向けた理論的枠組を憲法及び国際人権法の観点から再構築し，今後の課題と展望を探る論文集。

〔0699-1・22〕

立正大学法学部・法制研究所編

グリーンブックレット14

グローバルにみた日本のLGBTと人権保障

A5判並製66頁／800円

立正大学法学部・法制研究所共催2020年度公開講演会『グローバルにみた日本のLGBTと人権保障』（2021年1月23日開催）の記録。

〔9281-9・21〕

高乗正臣著

人権保障の基本原則

A5判上製250頁／5000円

従来，人権制約正当化事由としての「公共の福祉」概念が他者加害禁止原理に傾斜してきた点を再検討し，内在的制約のほか国家的ないし社会的法益による人権制約の妥当性に関する試論的考察を展開，人権保障と公益との調整を考究する。このほか，外国人の参政権，政教分離原則に関する論文を収録。

〔0432-4・07〕

高乗智之著

憲法と教育権の法理

A５判上製336頁／6700円

教育権論争が抱える本質的問題について憲法学の視点から考察する。国民教育権説が依拠する教員の教育の自由説や学習権説等に憲法解釈論から批判的検討を加え，健全な国民の育成が民主的憲法秩序維持のために有益かつ不可欠であるとの立場から，教育権の法的性質とその限界について論究した書。〔0462-１・09〕

西原博史編

パースペクティヴズ５

監視カメラとプライバシー

A５判並製100頁／600円

街角で密度を高め，高機能になっていく監視カメラ網。急速に進歩する技術に判例や法理論は対応できているのか。監視カメラが持つ犯罪予防の効果は認めつつ，早大生の意識調査も踏まえ，生活に侵入してくる他者の目をコントロールできる法的な枠組を探る。早稲田大学社会科学部のゼミ発・提言！〔0456-０・09〕

杉山有沙著

障害差別禁止の法理

A5判上製318頁／5600円

他者依存的ではなく，主体的な個人としての障害者像を前提として，憲法14条１項が禁止すべき“障害差別”の射程と，障害差別禁止法理における平等権保障の規範的枠組を考察する研究書。

〔0592-５・16〕

杉山有沙著

日本国憲法と合理的配慮法理

A5判上製304頁／5500円

日本国憲法における「弱者」の存在を明確にすることによって，平等権保障としての「合理的配慮」の法的規範構造を明らかにし，日本国憲法論への具体的な応用可能性を提示する研究書。

〔0656-４・20〕

岡田順太・淡路智典・杉山有沙編

障害がある人が出会う人権問題

A5判並製272頁／3000円

憲法，障害法，社会福祉法，障害者福祉論等を学ぶ大学生や，障害を持つ人，その家族，福祉関係者，法律家が，体系的に人権理論を展開している憲法学の観点から,「障害のある人の人権」を学ぼうとするもの。

〔0721-９・23〕

徳永達哉著

熊本大学法学会叢書17

国家のシンボルとシンボリック・スピーチ

A5判上製330頁／6000円

憲法学的視座のもと，国家のシンボルに備わる独特の情報伝達機能に注目することで明らかとなる，それを用いた表現の自由と，それに向きあう個人と国家との関係を解き明かす論文集。

〔0671-７・20〕

新井誠著

議員特権と議会制

フランス議員免責特権の展開

A5判上製278頁／5000円

国会議員の免責特権について定める日本国憲法511条は，いかなる規範的意味を持つのか。本書は，同規定をめぐる解釈の新たな可能性も視野に入れつつ，これまであまり研究されることのなかったフランス議員免責特権をめぐる歴史的及び理解的展開と現代的理解について紹介し，検証を加える。〔0433-１・08〕

大林啓吾著

アメリカ憲法と執行特権

A５判上製332頁／5200円

アメリカにおける執行特権に関する研究書。アメリカでは，司法府や立法府が情報開示を求めた際，大統領がこれを拒絶できる執行特権が存在する。この特権は憲法上黙示であるにもかかわらず，これまで認められてきた。本書では，執行特権の根拠やその限界を明らかにし，権力分立原理の動態を考察する。〔0451-５・08〕

大沢秀介・大林啓吾編

アメリカ憲法判例の物語

A5判上製656頁／8000円

アメリカ憲法に関する最近の代表的な判例を取り上げ，その判例法理，当該判例を生み出した政治的・社会的状況等を踏まえて分析することをねらいとした。アメリカ判例法理の動向を一種の物語の中で明らかにしようとする研究書。

〔0560-4・14〕

大沢秀介著

アメリカの司法と政治

A5判並製378頁／3000円

合衆国における司法，とくに連邦最高裁と政治部門との関係について，建国期から現代までの歴史を検討し，その変遷の概要を明らかにする。アメリカの司法と政治を結び付ける概説書。

〔0599-4・16〕

大林啓吾・見平典編

最高裁の少数意見

A5判上製382頁／6000円

主に憲法判例における日本及び諸外国の最高裁判所の少数意見を横断的に分析し，法廷意見（多数意見）との対比も試みながら，少数意見の実態，その意義や課題を考察する画期的研究書。

〔0598-7・16〕

大沢秀介・大林啓吾編著

アメリカ憲法叢書2

アメリカ憲法と公教育

A5判上製582頁／7500円

教育内容と憲法，教育と政教分離，学校における表現の自由，学校と子供の権利の4部構成で，1つの判例を基点に，社会的政治的背景や先例の流れを踏まえつつ，その意義や射程を分析する。

〔0603-8・17〕

大沢秀介・大林啓吾編

アメリカ憲法叢書3

アメリカ憲法と民主政

A5判上製638頁／9000円

個々の論点に関する判決に光を当て，アメリカの民主主義の動揺に深くかかわっている選挙制度を中心に，司法がどのような判断を行ってきたのかを考察する。

〔0693-9・21〕

大沢秀介・大林啓吾編著

アメリカの憲法問題と司法審査

A5判上製308頁／4500円

アメリカにおける憲法問題についての連邦最高裁の判断をめぐる議論の展開を司法審査との関係を踏まえながら考察する。各分野を専門としている研究者による現時点での知的営為の結晶。

〔0602-1・16〕

大林啓吾・溜箭将之編著

ロバーツコートの立憲主義

A5判上製400頁／6000円

アメリカの判例法理はどのような状況にあり，21世紀の連邦最高裁はどこへ向かおうとしているのか。ロバーツコートの特徴を踏まえて10年間の憲法判例を考察し，今後の行方を検討する。

〔0604-5・17〕

中村民雄編著

多様化するアメリカと合衆国最高裁判所

ロバーツ・コートの軌跡と課題

A5判上製262頁／5500円

現代の重要な憲法問題について，21世紀初頭のいわゆるロバーツ・コートによる社会の錯綜的多様化を背景とする重要問題に対する判断の実績や変化を中心に観察，論評する。

〔0716-5・23〕

大林啓吾・柴田憲司編

憲法判例のエニグマ

A5判上製418頁／6500円

憲法判例について，疑問点を取り出し，判例をベースにするとどのような答えが出るのかを考察・検討し，憲法判例をどのように発展させていくかについて考える素材を提供する試み。

〔0632-8・18〕

大林啓吾編著

アメリカの憲法訴訟手続

A5判上製384頁／8000円

アメリカでは具体的にどのような憲法訴訟の手続が存在し，いかなる制度を採用しているのかという点に光を当て，同国の憲法訴訟手続の制度と仕組みを明らかにしようと試みる。

〔0655-7・20〕

阪本昌成著

新・近代立憲主義を読み直す

46判上製238頁／2300円

第Ⅰ部近代立憲主義のふたつの流れ（合理主義と伝統主義），第Ⅱ部立憲主義の転回（フランス革命とG・ヘーゲル）の2部構成からなり，自然状態から市民社会を人為的に作りあげようとする思想の流れとは別に，もうひとつの啓蒙の思想があるのだということを明らかにする。

〔0448-5・08〕

片上孝洋著

近代立憲主義による租税理論の再考

――国民から国家への贈り物――

A5判上製350頁／7000円

憲法と租税に関わるさまざまな局面を，歴史的・思想的・解釈論的・原理的研究を踏まえた上で，総合的・学際的な視点から丹念に読み解き，日本国憲法にふさわしい租税概念を探求する。

〔0568-0・14〕

大沢秀介監修

入門　安全と情報

A5判並製200頁／2000円

市民生活の安全のためには，情報の利活用や複数機関による共有などが不可欠となる一方，「自由」のためにはその適切な統制も必要であるとの問題関心から，議論の成果をまとめた入門書。

〔0576-5・15〕

初宿正典著

日独比較憲法学研究の論点

A5判上製620頁／9000円

フランクフルト憲法からドイツ連邦共和国基本法に至る160年以上にわたるドイツの憲法を特徴づける諸問題を，わが国の憲法との比較法的観点から詳細に検討する。

〔0569-7・15〕

初宿正典著

カール・シュミットと五人のユダヤ人法学者

A5判上製590頁／9000円

19世紀後半以降のドイツ憲法史ないし政治・社会史的な観点に基づき，カール・シュミットと個人的にも学問的にも様々な関わりを持ち，激動の時代を生きた五人のユダヤ人法学者を追う。

〔0600-7・16〕

東（ひがしゆたか）　裕　著

憲法と非常事態の法理

不文の緊急権としての「必要性の原理」の立憲化

A5判上製296頁／5500円

フランス憲法における緊急権，フィジーを中心とする不文の緊急権「必要性の展開」及び日本国憲法における国家緊急権の立法化を巡る考察の三部構成で国家緊急権の立法化の問題を探る。

〔0717-2・23〕

篠原永明著

秩序形成の基本権論

A5判上製310頁／6000円

憲法の自由保障の意義の確認から，基本権規定の客観法としての内容の検討を経て，憲法上の権利の導出へ。「秩序形成の指導原理としての自由」という足場から基本権論全体を眺める。

〔0683-0・21〕

北住炯一著

ドイツ連邦憲法体制の成立

連合国・基本法・連邦主義

A5判上製508頁／9800円

民主主義が混迷状況にある今日，戦後ドイツの基本法（憲法）によって制度化された連邦制の成立過程を追究し，これを通じてドイツ連邦共和国の民主主義体制誕生の一端を明らかにする。

〔3425-3・23〕

北原仁著

占領と憲法

カリブ海諸国，フィリピンそして日本

A 5 判上製336頁／6000円

合衆国の領土拡大の方法は，購入，合併，征服等と多様であるが，米西戦争の結果占領したキューバ，プエルトルコ，フィリピン等には合衆国憲法にならった組織法を制定し，また植民地に独自の憲法の制定を認めた。日本国憲法制定の理解を深めるために，この合衆国の膨張過程における憲法原理を考察した。

〔0517-8・11〕

山本陽一著

立憲主義の法思想

―ホッブズへの応答―

A 5 判上製292頁／5000円

イギリスにおける17世紀の憲法闘争および19世紀の法典化とこれら二つの運動をつなぐ出来事としてホッブズの再生を扱い，立憲主義の思想史的点描を行う。比較のため，末尾で日本の立憲主義にふれる。

〔0478-2・10〕

時本義昭著

国民主権と法人理論〔補訂版〕

カレ・ド・マルベールと国家法人説のかかわり

A 5 判上製384頁／7000円

国家法人説を否定してきたわが国の戦後の憲法学界には国家の法的枠組みに関する考察が欠如しているという現状を前に，法人を支える客観的利益の実在性を主張するフランス的な法人実在説という分析枠組みを用いて，ドイツの国家法人説とそれを共和制化したフランスの国民主権論とを詳細に検討する。

〔0659-5・20〕

時本義昭著

法人・制度体・国家

オーリウにおける法理論と国家的なものを求めて

A5判上製458頁／9000円

前著『国民主権と法人理論』で扱ったカレ・ド・マルベールの対極に位置するオーリウの法理論と法的国家論を法人理論により分析。フランス第三共和制下憲法理論のもう一つの側面を抽出する。

〔0585-7・15〕

時本義昭訳

カレ・ド・マルベール

法律と一般意思

A 5 判上製250頁／7000円

フランス第３共和制期の古典的な憲法理論書であり，1789年人権宣言で提示された一般意思の表明としての法律という原理を分析概念として，非民主的な議会主権という第３共和制下の憲法体制の特徴を鮮明に描き出すとともに，それに対する民主的な方向での改革案を示して第５共和制憲法に影響を与えた。

〔0516-1・11〕

時本義昭著

フランス近代憲法理論の形成

ロッシからエスマンへ

46判上製290頁／5400円

著者の前二著『国民主権と法人理論』『法人・制度体・国家』に先行する時期を論じることによって，わが国の憲法学界に有益なフランス近代憲法理論史を提示する研究書。

〔0627-4・18〕

土屋清著

憲法学の新たなパラダイムを求めて

A 5 判上製282頁／3200円

本書は，憲法学の「パラダイム」転換という遠大な旅路の途中で，惜しくも急逝した新進気鋭の憲法研究者の遺稿を集めたものである。珠玉の論文の数々から，彼が着実にその歩を進めていたことがわかる。浦田賢治，奥平康弘，戸波江二，樋口陽一といった故人所縁の研究者からの追悼文も合わせて収録する。〔0496-6・10〕

伊藤健著

違憲審査基準論の構造分析

A 5 判上製440頁／8000円

違憲審査基準を構成要素に分割し，それぞれの性質・意味内容を確定していくことを通じて，違憲審査基準をどのように適用すべきかを検討するとともに，その実体，有り様を探究する。〔0681-6・21〕

牟憲魁著

アジア法叢書29

中国における違憲審査制の歴史と課題

A 5 判上製272頁／5000円

違憲審査制の仕組み，司法制度のあり方，民主主義への移行期における違憲審査制の機能という視点から論ずる。〔0476-8・09〕

見平典著

違憲審査制をめぐるポリティクス

現代アメリカ連邦最高裁判所の積極化の背景

A 5 判上製236頁／4500円

アメリカ連邦最高裁判所が20世紀後半に，違憲審査制を積極的に運用するに至った過程と背景を学際的に解明する。それを通して，違憲審査制と民主政治の関係や，わが国違憲審査制の活性化の方策といった，違憲審査制をめぐる理論的・制度論的諸課題に新たな視点と知見を提示する。違憲審査制に関心を持つ人必読の書。〔0532-1・12〕

水島朝穂・金澤孝編

憲法裁判の現場から考える

A 5 判並製168頁／2000円

著名な憲法裁判に直接・間接に関わった当事者による生きた憲法裁判論。長沼ナイキ基地訴訟，朝日訴訟，家永教科書検定訴訟，在外邦人選挙権制限違憲訴訟を通じて，憲法がどのように活かされてきたかを考える。奥平康弘氏による憲法裁判の現代的読み解きを含む，「横川敏雄記念公開講座」の完全収録。〔0523-9・11〕

平岡章夫著

多極競合的人権理論の可能性

「自己決定権」批判の理論として

A 5 判上製262頁／4800円

「自己決定権」という美名に潜む落とし穴とは？「多極（多元）主義」的政治観をベースに，権力関係に敏感な新しい人権理論を構築する意欲作。学際的アプローチによる多方面からの徹底した「自己決定権」批判は，現代人必読。〔0552-9・13〕

上田健介著

首相権限と憲法

A 5 判上製422頁／7000円

日本の首相の地位と権限に関して，英独の比較法研究や憲法史的考察を踏まえ，憲法上の理解の再構成を試みた意欲作。従来の解釈枠組みの特徴と問題点を剔出し，これを再構成するとともに，制度構想をも提示する。政官関係を視野に入れ，行政組織の編成権や職員の人事権の在り方についても考察を加えた。〔0554-3・13〕

富井幸雄著

海外派兵と議会

日本，アメリカ，カナダの比較憲法的考察

A 5 判上製670頁／9000円

安全保障の柱となる自衛隊の有用な活用。自衛隊の海外活動等に関する国会承認の立法論を視野に入れつつ，海外派兵に議会はどのように関わるべきなのかを憲法学的に考察する注目の書。〔0544-4・13〕

渡邊亙著
名城大学法学会叢書13
法律の留保に関する比較研究

憲法上の原則である「法律の留保」について，ドイツにおける「行政権に対する統制原理」と理解したうえで，その射程を明らかにし，憲法上の要請としての構造や帰結を追究する論文集。

A 5 判上製320頁／5000円 〔0638- 0 ・19〕

肥田進著
名城大学法学会選書11
集団的自衛権とその適用問題
「穏健派」ダレスの関与と同盟への適用批判

我が国の外交・安全保障問題の主要論点である集団的自衛権の概念や適用対象の再検討が必要との問題意識のもと，集団的自衛権の原点に立ち返って，その創設過程を検討する研究書。

A 5 判上製376頁／6000円 〔3332- 4 ・15〕

初宿正典・須賀博志編訳
原典対訳連邦憲法裁判所法

ドイツの裁判を知る必須文献。「連邦憲法裁判所法」,「連邦憲法裁判所規則」および関連法令の最新の条文を原典対訳の形で示す。ドイツ語と日本語の事項索引も充実した便利な参考書。

A 5 判並製226頁／2800円 〔0364- 8 ・03〕

ゲーアハルト・ライプホルツ著
初宿正典・柴田尭史訳
ライプホルツの平等論

恣意の禁止としての平等原則は，行政権や司法権を拘束するのみならず，立法者（法定立機関）の恣意的な立法行為をも禁止しているとするライプホルツの『平等論』の全貌を提示する。

A5判上製346頁／7500円 〔0645- 8 ・19〕

ゲアハルト・ライプホルツ著
渡辺中・廣田全男監訳
代表の本質と民主制の形態変化

民主主義における政治的意思がどのようにして形成されるかをテーマとして，現代国家における民主主義，選挙や政党の役割，議会や議員の地位を検討するうえで基本的な論点を提供する。

A5判並製208頁／2500円 〔0579-6・15〕

エリック・バーレント著　佐伯宣親訳
英 国 憲 法 入 門

「憲法とは何か」の問いかけからはじめて，主として，アメリカ，ドイツ，フランス等の憲法典と比較しつつ，また英国憲法に対する欧州共同体法の影響を考慮しつつ，法典化されていない英国憲法の運用の実際と問題点を明らかにした，英国の大学における憲法学の初学者を対象とする，英国憲法の入門書。

A5判上製264頁／3300円 〔0380-X・04〕

ワルター・ハラー著／平松毅・辻雄一郎・寺澤比奈子訳
ス イ ス 憲 法
比較法的研究

独・墺・米・仏・伊・西などの憲法の沿革，背景，運用などを随所に引用し，スイス憲法の特色を紹介する。日本国憲法を国際的視野から評価する座標軸ともなる比較憲法学の研究書。

A5判上製272頁／4800円 〔0564-2・14〕

後藤光男・北原仁監訳
翻訳叢書32
トマス・ジェファソンと議会法

ジェファソンは，アメリカ独立宣言の起草者として，また，連邦憲法に強い影響を与えた人物として著名であるが，同時に「議会慣行手引」を著した。この手引は今日でも上院規則の一部となっており，アメリカ合衆国・イギリスの議会制度の形成過程を理解するうえで不可欠の文献である。

B6判並製206頁／3300円 〔0436- 2 ・08〕

E. F. マック＝グレゴル著　北原仁訳
翻訳叢書33
憲　法　訴　訟　法
ヨーロッパとラテン・アメリカにおける学問としての起源と発展
B 6 判並製224頁／3300円

イタリアとスペインのたちは，ケルゼンによる憲法訴訟を発展させ，これをラテン・アメリカ諸国に紹介した。ラテン・アメリカでは，メキシコ起源のアムパーロ制度（人権救済訴訟）が確立しており，フィクス＝サムディオは，両者を融合して，今日のラテン・アメリカの憲法訴訟法の隆盛に貢献した。〔0479-9・10〕

行政法・地方自治法

藤井俊夫著

行政法総論〔第5版〕

A 5 判上製498頁／3000円

行政法に関する基本的な考え方を理解してもらうための教科書として，全体としては平易・簡潔な記述がはかられているが，いくつかの重要課題についてはできるだけ判例を取り入れながら掘り下げて論じられている。また，常に憲法を出発点として行政法の規範体系が構成されているのも，本書の特色である。〔0481-2・10〕

岩本章吾著

行政法講義〔第3版〕

A 5 判並製522頁／4800円

複雑な現代行政の具体的展開を，ただ羅列的に紹介するのではなく，体系的・有機的に整理して分かりやすく解説。行政争訟の分野も，目覚ましく変革する立法・判例を踏まえて最新状況を詳解。学部・法科大学院での行政法の講義教材として最適の書。〔0715-8・23〕

小林博志著

行政法講義

A5判上製258頁／2800円

従来の行政法学を基本に，地方分権，電子政府や市民参加など行政の新しい動きや，政策と行政法学との関係など新たな論点に触れながら，行政活動を分かりやすく解説。行政事件訴訟法の改正，行政個人情報保護法や最新の最高裁判例を踏まえた最新の内容。司法試験や公務員試験に必要な208の判例を掲載。〔0377-X・04〕

首藤重幸・平川英子編

行政法総論

A5判並製410頁／3400円

多種多様な行政活動を取り巻く，膨大な数の行政法規を整理，分類し，その仕組みを解明する行政法総論に関する基礎的な知識や基本判例を理解するための情報を提供する基本書。〔0705-9・22〕

片上孝洋・兼平裕子・西村淑子・藤井正希編著

現代行政法25講

A5判並製386頁／3200円

「市民と行政活動」「行政統制のシステム」「行政の外縁」に関する25のテーマを選定し，分かりやすく解説する。大学講義や公務員研修において行政法を学ぶ人のためのテキスト。〔0702-8・22〕

吉野夏己著

紛争類型別行政救済法〔第3版〕

A 5 判並製575頁／4700円

本書は，基本的な行政法総論の理解と個別法の理解とは密接不可分の関係にあるとの前提に立ち，まず特定の法領域の基本構造を解説した上で，実際的な問題演習にあたるという構成をとる。行政法各論を意識したテキストとして他に類例を見ないものとなっており，司法試験，公務員試験に最適である。〔0535-2・12〕

藤井俊夫・黒川哲志編

はじめての行政法

B5判並製194頁／1800円

行政法をはじめて学ぶ人のために書かれた本です。「法治主義」，「適正手続」，「行政の透明性」などの行政法の基本原理が，自然と理解できるように工夫が凝らされています。随所に散りばめられたコラムによって，専門用語が解説され，複雑な仕組みも図表化されて，初学者の理解を助けています。〔0384-2・05〕

駒林良則・佐伯彰洋編著

地方自治法入門〔第２版〕

A5判並製248頁／2000円

地方分権改革という制度改革や人口減少を受けて大きな変容を迫られる地方自治法について，講義で取り上げる主要なテーマ，重要判例について論述する。地方自治法テキストの決定版。

〔0682-３・21〕

鈴木秀洋編著

行政法の羅針盤

B5判並製376頁／2700円

理解が難しい行政法に関して，その全体像の理解とどのような課題にも向き合える思考の土台となる基礎知識習得の徹底を目指す。初学者，公務員受験者にとって全体の総復習に有用な基本書。

〔0667-０・20〕

後藤光男編著

地方自治法と自治行政〔補訂版〕

A５判並製292頁／2700円

2007年の地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行や地方自治法改正を受けて必要最小限の補正を施したもの。

〔0457-7・09〕

後藤光男編著

行政救済法論

A５判上製362頁／3200円

行政訴訟，行政事件訴訟，国家賠償，損失補償という行政救済法における各論点の原理的問題と現代的課題を扱う概説書。人権保障の観点からより掘り下げた検討を行って読者に提示する。

〔0577-２・15〕

後藤光男編著

人権保障と行政救済法

A５判並製398頁／3200円

行政救済法の重要論点について，人権保障の観点からより掘り下げた検討をする。平成16年の行政事件訴訟法の改正点を中心として，国家賠償，損失補償，行政不服申立，行政手続法などの現代的課題を扱い，行政法・行政救済法の学習用テキストとして最適。行政実務に携わる人にも活用が期待される。

〔0475-１・10〕

久末弥生著

都市災害と文化財保護法制

46判上製160頁／2800円

「文化財と災害」「文化遺産と現代都市の共存」「大規模都市災害とネットワーク構築」「世界文化遺産の保護をめぐる課題」の構成で，災害に対応する文化財保護法制の在り方を検討。

〔0662-５・20〕

斎藤千加子著

行政争訟と行政裁判権

A５判上製318頁／6500円

行政裁判所なきわが国で行政事件の管轄をどう位置づけるか。民事訴訟法から独立していない現行行政事件訴訟法下，行政事件の管轄が不分明，不安定で，訴訟による解決が機能しない現実を直視し，管轄問題から行政裁判所を設立したフランスにおける司法裁判所との管轄分担における準則の形成を対比する。

〔0372-９・04〕

平松毅著

各国オンブズマンの制度と運用

A５判上製540頁／6500円

世界各国に存在する警察，監獄，平等，医療，人権，金融，保険，報道，消費者，個人情報，地方自治，児童など，様々な種類のオンブズマンの活動，具体的事例が，詳しく紹介され，オンブズマンのイメージに転換を迫ると同時に，諸外国国民の知られざる生活実態に驚かされる。

〔0525-３・11〕

本田博利著
愛媛大学法学会叢書15
基地イワクニの行政法問題
A 5判上製404頁／6000円

オスプレイ駐機に揺れる“基地イワクニ”。米軍再編下，厚木からの空母艦載機移駐により極東最大の航空基地に変貌する基地機能強化の動向を詳述し，それに反対する市民の爆音訴訟と並ぶ3つの行政訴訟（滑走路埋立て，米軍住宅建設，県市密約）の詳細な理論的根拠を提示して裁判の推移をたどった注目の書。　〔0537-6・12〕

正木宏長著
行政法と官僚制
A5判272頁／4500円

行政法の観点から見た権力分立の中での官僚制の専門性，行政法学と隣接諸学問とりわけ行政学との関係，ニュー・リーガルリアリズムに関する著者の日米比較法研究の成果。100年を超えるアメリカ行政法の歴史を俯瞰する意欲作。
〔0556-7・13〕

兼平裕子著
英国司法審査とＥＵ法
A5判上製286頁／5700円

英国司法審査とEU法，英国･EUおよび日本における原子力発電，英領タックスヘイブンを利用した租税回避などの諸問題を分析し・今後の課題を検討する研究書。
〔0637-3・19〕

租　税　法

増田英敏編著

基本原理から読み解く租税法入門

A5判並製266頁／2400円

租税法の基本原則である租税公平主義と租税法律主義の視点から租税法を俯瞰し，難解とされる租税法を体系的に理解できるよう，コラムや図表を効果的に配置した租税法入門書の決定版。

〔0567-3・14〕

増田英敏著

租 税 憲 法 学〔第3版〕

A5判上製440頁／3200円

租税正義は租税法の適正な解釈・適用により実現する。憲法を法的根拠とする租税公平主義と租税法律主義は，租税法の適正な解釈・適用に不可欠な基本原則である。本書のコンセプトはこの点にある。本書の完結版となる今回の改訂では，「税理士の職務と責任」，そして，「租税法研究方法論序説」の2章を加筆した。〔0402-4・06〕

増田英敏著

リーガルマインド租税法〔第5版〕

A5判上製784頁／4500円

理論編に消費税の章を加筆し，実例編で新たな重要裁判例を踏まえてアップデートを図り，租税法の基礎理論を租税正義の視点から解明する。租税法研究に不可欠の書，待望の第5版。

〔0649-6・19〕

図子善信著

新 税 法 理 論

優しい税法

A5判並製204頁／2500円

第1編で主として税法全体の理論を考察し，第2編では主要税目である，所得税，法人税，消費税について，第1編の理論を基礎としつつ，その問題点と新しい考え方を提示する。

〔0624-3・18〕

図子善信著

久留米大学法政叢書14

租 税 法 律 関 係 論

A5判上製374頁／5000円

本書は，税法学の基礎問題である税概念，課税権，租税法律関係は権力関係か債権債務関係か等を解明し，さらに特定の租税法律関係に新説を唱える。従来の税法学の枠を越え，国家，権力，行政の本質に論及する新たな租税法律関係の体系的理論書であり，税法・行政法・憲法の学徒には不可避の書である。〔0378-8・04〕

田中敏行編著

テキスト法人税法入門

A5判並製186頁／1900円

法人税法の基本的事項を中心に制度と理論の両面から分かりやすい解説を心がけ，章ごとの確認練習問題で理解を深めると共に，コラムで該当章の関連事項や重要判例等を紹介する入門書。

〔0613-7・17〕

関本大樹著

久留米大学法政叢書19

租 税 法 と 数 理

A5判上製350頁／5000円

ストック・オプション，スワップ取引やFX取引等について金融工学的観点から金融取引の課税上の取扱いに関して分析的に検討し，広く租税法分野への数理学的アプローチを目指す論文集。

〔0570-3・15〕

北野弘久編

質問検査権の法理

A５判上製688頁／10000円

本書は，第一線税法学者と税務実務専門家との共同研究の成果をとりまとめたもので，豊富な学説・判例・個別事例を生のかたちで集大成し，多角的検討を加えて，質問検査権の法理の体系的解明を意図している。読者は本書により，税務調査に，いかに対処すべきかについて，的確な示唆を与えられるであろう。〔0100-９・74〕

佐藤正典著

欧州連合の投資税制

A5判上製188頁／2800円

本書は，EU 投資税制の多面的な構造・機能を解明するため，共同体の課税権限，EU 司法裁判所の判例，租税政策の形成プロセス，各国制度の現状を取り上げる。議会資料・各種報告書・EU 司法裁判所判例などフランス語圏の原資料に依存，なお EU の投資税制を網羅的に取り上げた著作としてはわが国初。〔0414-０・07〕

酒井貴子著

法人課税における租税属性の研究

A５判上製246頁／5500円

組織再編や連結税制の利用に伴う租税属性の問題について，アメリカ法を参考に徹底分析された研究書。合併や連結加入に伴う繰越欠損金の承継問題だけでなく，かつてアメリカで話題となったサン・オブ・ミラー・トランザクションを巡る議論も踏まえて，わが国法人税制の発展に向けた課題が示されている。〔0510-９・11〕

小塚真啓著

税法上の配当概念の展開と課題

A5判上製216頁／4000円

税負担軽減措置が配当のみを対象とすることの多い税法上の配当概念。その現状の正当化が困難となっている現在，所得税・法人税のあるべき姿を見据える上で有用な視座を提示する。

〔0588-８・16〕

住永佳奈著

課税の契機としての財産移転

A5判上製120頁／3200円

米国の所得課税において，取引におけるどのような契機や特色が，財産の含み損益へ課税する根拠となっているか，すなわち，取引の性質が課税のあり方へ及ぼす影響を考察する研究書。

〔0642-７・19〕

田中晶国著

所得の帰属法理の分析と展開

A5判上製226頁／4000円

所得課税において，所得と納税義務者との結びつきを表す「帰属」に関する議論が決着をみていない現在，「所得の帰属」とは何か，を正面から見据えて再度問い直すことを試みる研究書。

〔0641-０・19〕

田中晶国著

課税要件法の理論と課題

A5判上製232頁／4800円

私法上の法律関係及びそれから離れて，経済的利得を測定・捕捉し，課税要件の充足を判断するという二つの経路を，実体法的規準となる課税要件として形成し，提示することを試みる論文集。

〔0708-０・22〕

谷口智紀著

知的財産権取引と課税問題

A５判上製298頁／5200円

本書は，憲法原理である租税公平主義と租税法律主義の視点から，知的財産権取引の課税問題を整理し，具体的な訴訟事例を綿密に検討，知的財産権課税のあり方を提示する。また，知的財産権課税を巡る日本法の不備をも指摘するとともにアメリカ租税法との比較法研究を通して立法による法整備の方向性についても提案する。〔0540-６・13〕

谷口智紀著

知的財産権取引と租税回避

A5判上製300頁／6000円

租税法の基本原則である租税公平主義と租税法律主義の視点から，知的財産権取引の課税理論を検証し，喫緊の課題である知的財産権の国際取引を巡る租税回避問題とその対応を解明する。

〔0660-1・20〕

山本直毅著

課税所得の認識原理の研究

A5判上製404頁／8000円

基本原則である租税公平主義と租税法律主義で体系化された租税法によってのみ納税者の権利は保護されるとの視点から，所得課税における課税所得の認識基準の問題を検討する研究書。

〔0661-8・20〕

倉見智亮著

課税所得計算調整制度の研究

A5判上製448頁／6500円

稼得された経済的成果の喪失，計算の誤りなどにより納税すべき税額が減少した場合における，過年度・現年度に係る課税所得計算のあり方について，米国法との比較を試みる。

〔0680-9・21〕

橋本彩著

教育支出に対する課税問題

A5判上製144頁／3500円

従来，我が国ではあまり議論されてこなかった教育支出に対する課税の問題を，日本および米国の所得課税における議論や制度を万遍なく検討し，分析することを通して検討する。

〔0687-8・21〕

伊川正樹著

名城大学法学会選書14

譲渡所得課税に関する基礎的研究

A5判上製402頁／8000円

課税の趣旨である増加益精算課税説と現行法令との関係を整理し，課税の趣旨が個別問題の解釈にどのような影響を与えているかを検討する。

〔0712-7・23〕

沈恬恬（しんてんてん）著

介　入　の　技　法

課税要件論再考

A5判上製126頁／3000円

租税法固有の研究対象領域において，その中心に位置付けられる課税要件論をひとつの関係性（一連の出来事）として捉え直し，この関係性への税法的介入の意義を問う。

〔0711-0・23〕

増田英敏編著

租 税 憲 法 学 の 展 開

A5判上製966頁／12000円

租税法学の重要な基本問題である租税法の解釈・適用をめぐる租税法律主義と租税公平主義の相克と調整の問題について，租税法の基本原則の視点から，その解釈・適用を検討する研究書。

〔0622-9・18〕

奥谷健著

市場所得と応能負担原則

応能負担原則の二元的構成

A5判上製320頁／5000円

「担税力」「所得」概念の多義性から，税法の基本原理である応能負担原則の問題点を解消するために，所得に法的な観点から一定の制限を加え，実行可能なものとすることを試みる論文集。

〔0634-2・18〕

石田和之著
商学研究叢書 1
地 方 税 の 安 定 性
A 5 判並製178頁／2000円

実証分析によって税収の安定性を推計すると共に税収の安定性に関する仮説を検証する。制度分析と実証分析を併用して地方税制度の税収調達機能を税収の安定性から明らかにする有益書。
〔4253- 1 ・15〕

新井隆一著
税法評論 5
税法からの問　税法からの答
46判上製272頁／2000円

税法の問題は　税法の中から回答を探し出す　これが王道である　外からみて解釈などすると道を誤ることにもなりかねない　理くつに走って答を引き出そうとすると邪道に陥るおそれなきにしもあらずである　心を澄まして税法に立ち向かえば　おのずから正解を得ることができる（略）
〔0450- 8 ・08〕

新井隆一著
税法評論 6
新型消費税　改修所得税
46判上製234頁／2800円

多額所得者・高額資産所有者・金持ちが多く負担をする新型の消費税。税額還付とか給付とか，納税者番号とか大袈裟な仕掛けの要らない新型の消費税。理論的にも実際上も問題ありと，学者も実務家も必ずや不賛成であろう。それでも少額所得の消費者のため提案をする新型の消費税。
〔0504- 8 ・11〕

浦野広明著
グリーンブックレット 2
税務行政における予防法学の実践
所得税に関する事例研究
A 5 判並製104頁／800円

税務調査や税務争訟において納税者の権利を守るためには，納税者や納税者の代理人たる税理士の権利主張が重要な意味を持つ。本書は，納税者の権利救済手段として，「浦野方式」とも呼ばれる請願権の行使方法を紹介する。豊富な請願書の具体例は，実務家にとっても貴重な参考事例となるであろう。
〔9197-3・10〕

民　　法

今尾真・大木満・黒田美亜紀・伊室亜希子編著

フレッシャーズのための民事法入門

〔第２版〕

A5判並製292頁／2600円

法学部生に限らず，大学に入学して初めて法律を学ぶ学生が，14回の講義で民事法をひと通り修得することができる。まさに「フレッシャーズのための」教科書。
民法その他の法改正に完全対応！

〔2761-３・20〕

近江幸治著

民　法　講　義　0

ゼロからの民法入門

A ５判上製304頁／2800円

法律にまったく接していない新入生や他学部学生の初歩的疑問に答える「民法入門」と，一般人にとって最低限必要な“教養としての民法”を説く「民法概論」との２部構成により，初心者を民法の世界へといざなう『民法講義』のファーストステップ。

〔2618-０・12〕

近江幸治著

民法講義 I（民法総則）

〔第７版〕

A5判上製418頁／3300円

民法の基礎理論を重視して，バランスのよい解釈論を展開――。「民法総論」の高度な理論を明快に説く。第７版では，錯誤制度の体系的変更，債権消滅時効制度の再構成など，制度の根幹に関わる重要な法改正に対応した。

〔2716-３・18〕

近江幸治著

民法講義 II（物権法）

〔第４版〕

A5判上製322頁／2800円

民法の基礎理論を重視して，バランスのよい解釈論を展開。我われは「物」を法律的にどのように「支配」するのかを，体系的に整理し，図説も用いてわかりやすく解説する。民法改正に全面対応。

〔2754-５・20〕

近江幸治著

民法講義 III（担保物権）

〔第３版〕

A5判上製404頁／3300円

「担保」とは何か。債権保全制度としての担保法を体系的に整序し，他方で，それらが形成されてきた歴史的・経済的背景を説き明かし，わが国の金融担保制度の全体像と展望を提示する。民法改正に全面対応。

〔2755-２・20〕

近江幸治著

民法講義 IV（債権総論）

〔第４版〕

A ５判上製352頁／3200円

経済社会における「債権」の機能ないし役割を念頭に置きながら，「債権」制度の歴史と判例・学説の理論的展開を詳しく論述。改正民法を体系的に整序し，図説を用いてわかりやすく解説する。民法改正に全面対応した待望の第４版。

〔2758-３・20〕

近江幸治著

民法講義 V（契約法）

〔第４版〕

A ５判上製384頁／3000円

契約法の新しい流れをフォローし，特に消費者契約関係は新たな視点の下に再構成した。民法の基礎理論を重視して，民事紛争の解決を導く解釈論を展開。卓越した民法基本書である。民法改正に全面対応。

〔2778-１・22〕

近江幸治著

民法講義Ⅵ（事務管理・不当利得・不法行為）

〔第３版〕

A5判上製290頁／3000円

民法の基礎理論を重視して，バランスのよい解釈論を展開――。「事務管理・不当利益・不法行為」の高度な理論を明快に説く体系書。2017年の債権法改正を踏まえて，「給付不当利得」制度の導入と新設規定の意義，不法行為制度の現代的展望などについて，制度的・理論的な体系的整序を試みる。〔2718-７・18〕

近江幸治著

民 法 講 義 Ⅶ（親族法・相続法）

〔第２版〕

A５判上製412頁／3200円

「民法講義シリーズ」完結!! 好評を得ている講義シリーズの最終巻となる家族法（親族法・相続法）である。家族法の複雑な仕組みをバランスよく丁寧に解説した分かり易い教科書。また，前著の財産法との共通の規範理念をもって，親族法規範・相続法規範を観察し，解釈に反映している。〔2672-２・15〕

清水元著

プログレッシブ民法［物権法］

〔第２版〕

A5判上製226頁／2200円

豊富な判例の紹介を通じて判例理論の到達点を客観的に明らかにするとともに，通説の徹底的な検証を試みる意欲的な物権法の体系書。初学者の理解の便宜のために図解を多用した懇切丁寧な説明にくわえ，より深く学びたい者のために，解題を付して文献の紹介をした。LS・法学部学生の学修に最適な１冊。〔2583-１・10〕

清水元著

プログレッシブ民法［担保物権法］

〔第２版〕

A5判上製338頁／2900円

豊富な判例の紹介を通じて判例理論の到達点を客観的に明らかにするとともに，学説の最新の動向を視野に入れて，学理的問題の徹底的な検証を試みる意欲的な担保物権法の体系書。より深く学びたい者のために，解題を付して文献の紹介をした。LS・法学部学生の学修に最適な１冊〔2640-１・13〕

清水元著

プログレッシブ民法［債権総論］

A５判上製360頁／2900円

理解の便宜のため図解を多用するなど平明な叙述を心がけている。判例の到達点を示し，通説的見解を中心として叙述を心がけ，さらにその妥当性を検証している。〔2585-５・10〕

清水元著

プログレッシブ民法［債権各論Ⅰ］

A５判上製314頁／2900円

プログレッシブシリーズ待望の契約法。通説的見解と判例の現在の到達点を客観的に示す。全体にわたって平明な論述を心がけることで読者の理解を促しつつ，進化し続ける契約法の最前線へと誘う。基本書として最適な一冊。〔2620-３・12〕

清水元著

プログレッシブ民法［債権各論Ⅱ］

A５判上製388頁／3500円

進展の著しい債権法のさらなる進化を試みる意欲的体系書。通説的見解と判例理論の到達点を客観的に示すだけでなく，一歩進めて自説を展開する。法学部生，法科大学院生に最適の一冊。〔2671-５・14〕

松原哲著

民法ファーストステージ

A５判並製176頁／1800円

民法の理解に必要な事項を厳選して論述。理解を助けるための補足や，関連する事項を注によって補いながら，民法の基礎が確実に身につけられるように工夫した入門書。〔2753-８・20〕

髙橋眞著
入門シリーズ
入門債権総論

A5判並製404頁／3200円

難解な債権総論を「抽象的な部分は具体的に，込み入った部分はシンプルに」という方針のもと，口述形式と設例の活用を通じて，通読しやすく工夫した。債権総論の入門書。

〔2642-5・13〕

松井宏興著
民法講義2
物権法〔第2版〕

A5判上製308頁／2700円

学修する者にとって最も重要で難解な物権変動論に多くのページを割き，単に判例・通説のみならず私見を展開する。簡単な設例を随所に採り入れ，平易に叙述した物権法テキストの決定版。

〔2760-6・20〕

松井宏興著
民法講義3
担保物権法〔第2版〕

A5判上製260頁／2500円

本書は，法科大学院にいける1年次の講義だけではなく，学部における講義をも念頭に置いて書かれた担保物権法の教科書である。そのため，随所に設例を設け，具体的な事例をとおして説明を行なうとともに，叙述の順番も担保物権の代表的なものである抵当権から始めるなどの工夫を施している。

〔2734-7・19〕

松井宏興著
民法講義4
債権総論〔第2版〕

A5判上製344頁／3000円

学習する者にとって抽象的な理論の多い債権総論の理解の一助として，簡単な設例を随所に採り入れ，平易に叙述する。法科大学院・法学部生にとって必読の債権総論テキスト。

〔2748-4・20〕

田山輝明著
民法要義1
民法総則〔第4版追補版〕

A5判並製362頁／3300円

新成年後見法の解説を含む民法総則の教科書。

〔2794-1・23〕

田山輝明著
民法要義2
物権法

A5判上製270頁／3000円

民法総則，担保物権法，債権総論，契約法，事務管理・不当利得・不法行為に続き，本書をもって「民法要義シリーズ」財産法分野堂々完結。最新の判例・学説を盛り込んだ体系書。2004年の不動産登記法の大改正に対応。

〔2624-1・12〕

田山輝明著
民法要義3
担保物権法〔第3版〕

A5判上製252頁／2700円

学説・判例は常に展開しているので，その点の補充がなされなければ，教科書として利用することができない。担保物権の領域は，経済，特に金融と密接な関連を有しているので，判例の変化や立法的対応も頻繁である。第3版における改定もこの点を中心に行なった。

〔2644-9・13〕

田山輝明著
民法要義4
債権総論〔第3版〕

A5判上製296頁／2700円

本書第2版の刊行後における考慮すべき最も大きな要素は，判例の蓄積である。特に，利息制限法関連の判例などは，その内容を簡潔に紹介するだけでもかなりの紙幅を要するので，単なる補訂では済まなかった。新しい立法にも簡潔に触れ，重要な参考文献も追加し，多少は読み易くなるようにも配慮した。（はしがきより）〔2603-6・11〕

田山輝明著
民法要義5
契　約　法

最新の判例・学説を盛り込んだ体系書の最新版。次第に古典になりつつある，諸先輩の教科書・体系書の良さを生かしつつ，若い学生諸君にとっても読みやすい教科書になるように叙述。

A5判上製388頁／3000円　〔2493-9・06〕

田山輝明著
民法要義6
事務管理・不当利得・不法行為
〔第3版〕

不法行為の領域は新しい裁判例が多く，内容も新しいものがかなり見受けられる。改訂に当たり，叙述が詳細になりすぎないように心掛けた。また新しい重要判例は見落とさないように参照してコメントした。そのうえで，新しい不法行為の類型ないし現象（ハラスメント等）も拾った。

A5判上製346頁／3000円　〔2689-0・16〕

副田隆重・中舎寛樹・山﨑敏彦著
新・民法学1総則
〔第3版補訂〕

それぞれの制度が実際にどのように機能しているかということから説明する。理解を深めるため図表・資料を掲げる。難解な法律用語をわかりやすく説明するなど，初学者に民法総則の基礎知識を身につけて貰うことを狙いとする。法人の改正に対応した第3版。

A5判並製314頁／2600円　〔2580-0・10〕

清水元・山野目章夫・良永和隆著
新・民法学2物権法
〔第4版〕

平成18年に第3版を出してから4年が経過し，物権法とりわけ担保物権法の近年の進展は著しいものがあり，非典型担保は新しい形態が生まれ，判例も多数現われているのでホローして，よりアップ・トゥー・デートした最新の物権法テキスト。

A5判並製352頁／2900円　〔2602-9・11〕

織田博子・後藤巻則・執行秀幸・山崎敏彦著
新・民法学4債権各論

社会で現実に生起する諸問題に対処できるような考え方の基本を示すことに重点をおき，重要な事項については最近の判例・学説の動向を踏まえて通常の教科書よりも詳しく扱っている。大学の講義を受講する人，司法試験受験者，さらに独力で債権各論を勉強する人々にも役立つものを目指している。

A5判並製420頁／3400円　〔2425-4・06〕

石口修著
民法要論Ⅰ
民法総則

民法債権法改正により民法総則分野に相応の整備が施されたことを受けて，改正規定に関して，従来の制度とその趣旨，解釈上の議論を踏まえつつ平易に解説する。法学部生必読の基本書。

A5判並製502頁／4000円　〔2733-0・19〕

石口修著
民法要論Ⅱ［物権法］

資本主義経済における私法の役割として重要な物権的法秩序と取引安全との調整を中心に論じる。抽象概念の開陳・解説を避け，読者に必要不可欠な情報を提示することに配慮した基本書。

A5判上製514頁／4000円　〔2702-6・17〕

石口修著
民法要論Ⅲ［担保物権法］

抵当権をめぐる諸問題に対する判例法理の発展による法改正を踏まえ担保物権を解説する。主要な制度には，その冒頭と問題点ごとに簡単な設例を掲げ，読者の自学自習に配慮した基本書。

A5判並製352頁／2900円　〔2680-7・16〕

堀竹学・吉原知志著

新民法の分析 III
債権総則編

A5判並製240頁／2500円

2017年の民法改正の主要領域である債権総則について，学説と判例，改正法検討過程の議論を分析し，解釈上の問題点を批判的に考察する。新民法を「分析」する全6巻，順次刊行予定！

〔2743-9・19〕

芦野訓和ほか著

スリーステップ債権各論

A5判並製400頁／3200円

債権各論（契約，事務管理・不当利得・不法行為）について，「構造」「展開」「研究」の三段階で構成し，その原理・原則を理解し，判例や学説での解釈を分かりやすく解説する教科書。

〔2780-4・22〕

常岡史子・小柳春一郎編

基本民事法

A5判並製258頁／2300円

民法（財産法，家族法）を中核に据えつつ，商法，労働法，民事訴訟法，民事執行法，知的財産権法をカバーし，さらに法制史，法哲学の視点からの分析も加えた密度の濃い「民事法入門」教科書。基礎的知識の習得とともに，具体事例をもとにした体系的解説により，鳥瞰的視野から民事法をとらえる力を養う。

〔2480-7・05〕

藤村和夫著

契約法講義〔第2版〕

A5判並製276頁／3000円

民法典の規定に即し，伝統的な構成に従った最新の教科書。豊富な裁判例を引用しつつ客観的かつ具体的に展開される叙述は契約法の基礎を的確に理解するのに最適。また，民法における契約法の位置付けや消費者契約法にも言及するほか，近時の法改正にも対応しており，司法試験受験生等にも有用な一冊。

〔2677-7・15〕

丸山英気・三好登著

民法概説〔第6版〕

A5判上製348頁／2800円

平成23年の民法改正における親権停止制度の創設，家事事件手続法の制定など，最新の法改正に対応した。生活の行為規範・裁判規範として定着している民法全般にわたって，できるだけ分かりやすく説明し，初学者の理解を助ける。

〔2634-0・13〕

三好登・平山也寸志著

民法判例入門

A5判並製322頁／2800円

民法を解釈するうえにおいてなぜ判例を研究する必要があるのか，条文との関係，当該判例の位置付け等，民法全般にわたる41の主要テーマごとに具体的な判例を数多くあげてわかりやすく解説した民法をはじめて学ぶ人のための判例入門書。

〔2409-2・02〕

鎌野邦樹著

現代民法学〔第2版〕

46判上製228頁／2200円

民法の総則・物権・債権を日常生活の具体的場面（不動産の法律関係，売買の法律関係，金融の法律関係）に則して平易に解説した入門書。民法改正，任意後見契約法，NPO法，良質賃貸住宅供給促進特別措置法（定期借家）など最新の立法を織り込み，また，マンション建替えや商工ローン問題にも言及する。

〔2470－X・05〕

小賀野晶一著

基本講義 民法総則・民法概論〔第2版〕

A5判並製336頁／2800円

民法総則における人，物，権利の規律を基礎に，民法概論（財産法）として，人と人の関係（債権法），人と物との関係（物権法）について概観し，民法の規範定立を試みる。法学部生に最適な教科書。

〔2763-7・21〕

小賀野晶一・亀井隆太著

基本講義 契約・事務管理・不当利得・不法行為

A5判並製266頁／2600円

初学者が自分で読み進めることができるよう，分かりやすく説明する。また，問いかけや，事例を挙げてからの説明も多く取り入れ，問題意識をもって具体例に学べるように工夫されている。

〔2767-5・21〕

小賀野晶一著

現代民法講義〔第3版〕

A5判並製404頁／3500円

民法典の解説はシンプルに，解釈論の広がりは判例法で追求する，自立型民法教科書を提案。総則，物権，債権の各分野を，民法典・条文の順序に従って解説する。第3版では叙述と構成を改善し，債権総論に解説を加えた

〔2565-7・09〕

小賀野晶一編著

判例から学ぶ不法行為法

B5判並製224頁／2200円

判例から不法行為法を学ぶことに徹したシンプルな判例集。プロの裁判官の判断過程と結論を判決原文を通して丁寧に学び，判例不法行為法をより深く理解する。民法のほか，国賠法，自賠法，製造物責任法に関する判例も収録。法科大学院学生と民法学習等に等しく有用な新しいタイプの参考書を提案する。

〔2575-6・10〕

藤井俊二著

クルツ・レーアブーフ民法総則〔第2版〕

A5判上製336頁／3000円

民法学習の難しさは，条文が多く，判例・学説が多岐にわたる点にある。本書は，抽象的な条文を，具体的な日常の取引関係に生じる問題に適用できるよう，多くの判例に言及しつつも，学説については，必要最小限度の言及にとどめ，読者が民法解釈の基本を理解できるよう工夫している。

〔2749-1・20〕

小川賢一・落合福司・久々湊晴夫・山口康夫・吉川日出男著

やさしい民法〔第2版〕

A5判上製304頁／2700円

具体的な例をもとに民法全体をやさしく解説。法学部以外で民法を学ぶ人を対象とした標準的なテキスト。公務員試験や各種国家試験の勉強などにも最適。今回，成年後見制度の改正や消費者契約法の制定などを機に，内容を一新した。

〔2399-1・01〕

松岡久和著

法学叢書9

物権法

A5判上製338頁／2800円

狭義の物権法および関連する特別法に規定された制度やルールが，どういう目的で作られ，具体的にどういう形で機能しているかについて，判例・学説の現状を概説し，批判的に考察する。

〔2700-2・17〕

大場浩之著

物権法

A5判上製240頁／2300円

理論的・実務的に重要な，物権種類論・物権効力論・物権変動論の問題群に分けて議論を展開する。図表を多用し重要判例も網羅。

〔2798-9・23〕

宇都宮充夫著

物権法

その解釈と判例

A5判上製202頁／2500円

本書は，民法の現代用語化に的確に対応するため刊行されたものであり，大学での講義用の教科書として，学生諸君が物権法の基本的骨組みを理解し，体系的に掌握できるように工夫した解説書である。従って，ここでは，抽象的な理論に偏ることなく，具体的な事例を通してその解釈と判例を重視している。

〔2484-X・06〕

久々湊晴夫・落合福司・甲斐義弘著

やさしい家族法

A5判上製388頁／2900円

高齢者や障害者の福祉，さらには女性や子供の福祉など，個々人の幸福に家族法がより積極的な役割を果たすことが求められてる。すなわち，「近代市民社会の家族法」から「現代福祉社会の家族法」への転換である。本書は，そのような新しい社会の家族法について，やさしく解説。〔2427-0・03〕

久々湊晴夫・落合福司・笠原克也著

判例家族法

A 5 判並製402頁／3200円

法学部および法科大学院の家族法（親族法・相続法）のテキスト。判例をもとに家族法の理論と実務を学ぶ。離婚と財産分与，親子関係の存否，遺産相続など，家族間の紛争を解決するには，民法の体系を理解するとともに，判例を理解することが必要。判例を法的安定性と個別的妥当性の両面から考察する。〔2581-7・10〕

田山輝明著

口述法律学シリーズ

口述 契約･事務管理･不当利得〔第2版〕

A 5 判上製606頁／3600円

定評ある『契約法』（民法講義案Ⅴ）に続いて書かれた，口述シリーズの一冊である。著者が実際に大学で行なった一年間の講義に補筆することで，一層親しみやすく，分かりやすい叙述がなされている。入門書としてはもとより，一通り学習を終えたあとのまとめとしても好適である。〔2298-7・97〕

円谷峻著

不法行為法･事務管理･不当利得〔第3版〕

判例による法形成

A 5 判上製390頁／3300円

基本判決・重要判決の事実関係と判決理由を詳しく紹介し，その意義，評価について読者に判断してもらい，判例法の展開を理解してもらうよう構想。また，効果的な学習を行えるよう，問題を設けている。〔2693-7・16〕

円谷峻著

債権総論〔第2版〕

判例を通じて学ぶ

A5判上製448頁／3500円

法科大学院の未修者や専門課程の学部生を対象に，体系的思考性を養ううえで「債権総論」を学ぶことの重要性を踏まえて，債権総論の体系を尊重しつつ，判例の動向，判例法による法形成を中心に論述した教科書。〔2591-6・10〕

藤井俊二・宮﨑淳著

レクチャー民法学 債権各論〔第2版〕

A5判並製394頁／3000円

抽象的な民法のなかでも特に学習が困難だといわれる債権各論の分野について，法学部の学生にも理解しやすく解説された教科書。契約序論から不当利得まで全25回をレクチャー。初学者や自習者の理解を助けるよう多数のケースを例示して，具体的に問題を解決しながら議論を進めるよう工夫がなされている。〔2741-5・19〕

原田剛著

債権各論講義

A5判並製496頁／3900円

民法典の解釈を中心とした自主学習に配慮する教科書。民法債権法改正の内容を示し，債権総論，民法総則との関連を示唆すると共に，民法の歴史性，判例法理の積み重ねとその到達点を示す。〔2772-9・21〕

小林忠正著

民法総則

A5判上製216頁／2000円

最新の改正（公益法人三法）を踏まえて，著者がこれまで蓄積された講義ノートを基に丹念に纏めた民法総則の分かり易い教科書。〔2517-6・07〕

髙橋眞著
法学叢書6
担保物権法〔第2版〕
A5判上製348頁／2800円

判例や法律が大きく変容する現在，担保法内在する論理を自らのものにしてこそ，新たな問題に立ち向かうことができる。本書は，担保物権法の諸制度の目的や諸概念の内容に立ち返り，「なぜそのように考えるべきか」を確かめながら丁寧に解説する。担保物権法の基本からじっくり考えたい読者に絶好の書。〔2586-2・10〕

髙橋眞著
判例分析による民法解釈入門
A5判並製258頁／2800円

判例の分析を中心として，ゼミナールなどの場で民法の諸制度の知識を使って具体的な事例について判断しようとするときに，どのように民法の解釈と適用をするかを考えるための入門書。〔2717-0・18〕

板橋郁夫ほか編
民法判例30講
〔民法総則・物権法〕
A5判並製270頁／2700円

判例の存在は二重の意味で重要である。1つは，制度的・理論的な意味で果してきている役割であって，2つには，判例が読みものとして一般市民に徐々に親しまれている事実，これが法律学の理解にどれほど役立っているか計り知れないものがある。〔2374－6・00〕

板橋郁夫ほか編
民法判例30講
〔債権法〕
A5判上製268頁／2700円

法学部の演習用教材として基本判例30件を厳選し，これに新進気鋭の研究者による解説が加えられている。類書よりも事実関係を詳細に記し，解説を簡潔にして，レポーターが解説にとらわれずに自由な発想でゼミ発表ができるように工夫している。法科大学院の総合科目の教材としても十分に活用できる。〔2455-6・04〕

石崎泰雄・渡辺達徳編
新民法講義2
物権・担保物権法
A5判上製508頁／3500円

最新の判例・学説をフォローし民法の到達点を示す，漸新・気鋭の執筆陣による「新民法（典）講義」シリーズ（全5巻）の第1弾。多くの具体的「ケース」（設例）と明解な「図解」の導入による法制度・内容のヴィジュアル化とその理解度の飛躍的向上を実現。「新民法典」時代の到来に備えた新しい教科書。〔2592-3・10〕

石崎泰雄・渡辺達徳編
新民法講義5
事務管理・不当利得・不法行為法
A5判上製318頁／3200円

最新の判例・学説をフォローし民法の到達点を示す。漸新・気鋭の執筆陣による「新民法(典)講義」シリーズ（全5巻）の第2弾。多くの具体的「ケース」（設例）・明解な「図解」の導入により法制度・内容のヴィジュアル化とその理解度の飛躍的向上を実現。「新民法典」時代の到来に備えた新しい教科書。〔2601-2・11〕

山﨑敏彦著
債権法各論講義
要件事実論的アプローチ
A5判並製644頁／3900円

裁判における「民法規範の役割」を民事訴訟制度のあり方に関連させて明解に論じる。重要判例を詳細に紹介し，さらに「要件事実論的アプローチ」で攻撃・防御のモデルを示す。民法（債権法）改正の動きにも対応した債権各論基本書の決定版。〔2616-6・13〕

近江幸治・椿寿夫編著
強行法・任意法の研究
A5判上製726頁／14000円

法律の規定に反する合意（契約）はどこまで許されるのか。民法学の古典的テーマである「強行法・任意法」について，現在の判例・学説の状況を横断的に鳥瞰して理論的に検討した，21名の研究者による26項目にわたる論文集。〔2721-7・18〕

磯村保ほか編

法律行為法・契約法の課題と展望

A5判上製720頁／15000円

法律行為法・契約法の分野において，民法（債権関係）改正法が施行された今日，最先端の課題分析とその発展の方向を展望し，学界・法曹・取引実務に新たな寄与をなす論文集。

〔2783-5・22〕

長坂純著

契約法規範の変容と責任法理

A5判上製402頁／8000円

改正民法において，学説・裁判実務において通用されてきた契約法規範が変容された法理に関して検討し，諸論点に関する議論状況を踏まえて理論的到達点を明らかにする論文集。

〔2785-9・22〕

古谷英恵著

錯誤とリスク負担

A5判上製426頁／8500円

アメリカ契約法上の「錯誤のリスク負担」要件の史的展開を辿り，その理論的根拠と判断基準を探求する。日本における動機錯誤の要件をリスクの観点から考究した研究書。

〔2781-1・22〕

谷江陽介著

締約強制の理論

契約自由とその限界

A5判上製188頁／3800円

締約強制による契約自由に対する制限を根拠づけるものは何か。従来，公共事業を中心として展開してきた締約強制論を放送受信契約，電力自由化という新たな観点から検討する。

〔2685-2・16〕

平田厚著

建築請負契約の法理

A5判上製302頁／5500円

建築請負契約の成立から終了に至るまでの法的諸問題に関し，裁判所をもとに実務上の問題点を考察する。建築請負契約における請負人の責任を一種の専門化責任として捉え，情報提供義務と瑕疵担保責任を軸に論じる意欲作。

〔2650-0・13〕

原田剛著

売買・請負における履行・追完義務

A5判上製418頁／8000円

第一部「ドイツ民法における売主の追完義務の射程」，第二部「瑕疵ある建物に対する不法行為責任」，第三部「請負における履行上の問題」の構成で，債権法改正にも言及する研究書。

〔2707-1・17〕

渡邉拓著

性質保証責任の研究

A5判上製436頁／7800円

ドイツ・フランスにおける性質保証責任を詳細に検討し，日本法への提言を行う。

〔2681-4・15〕

藤田寿夫著

香川大学法学会叢書10

表示責任と債権法改正

表示責任論研究序説

A5判上製352頁／6000円

わが国の民法改正を前提として，最近のフランスとドイツの改正の動向を参照しつつ，自己決定権を中心として契約成立過程における当事者間の表示責任に関する論稿をまとめた研究書。

〔2714-9・18〕

深谷格著

相殺の構造と機能

A5判上製412頁／7000円

最高裁昭和45年大法廷判決を契機とする判例の集積をもとに，日本法における相殺の構造と機能の関係を論じる。比較法的考察を加えつつ日本法における相殺制度の系譜をたどり，担保的機能がもともと相殺に予定されていたのかを探る渾身の論文集。

〔2633-3・13〕

深谷格ほか編著

生と死の民法学

A5判上製610頁／14000円

民法学の観点から，「生と死をめぐる諸問題」を対象とし，高齢期が長期化していることから「生と死」を時間的な幅のある概念，プロセスとして捉え，高齢者や死に直面した人の私的自治と実定法上の制度との関係や，高齢者・死者の周囲の人の利害調整問題等を総合的に検討するもの。

〔2787-3・22〕

円谷峻編著

民法改正案の検討　第1巻

A5判上製322頁／6000円

今日的社会の変容，諸外国の民法典改正の動向，国連統一売買条約などの影響を受けて議論されている「債権法改正の基本方針」の改正提案について，種々の視点から検討した「民法の改正を考える」研究会の成果。全3巻。

〔2632-6・13〕

円谷峻編著

民法改正案の検討　第2巻

A5判上製396頁／6500円

〔2637-1・13〕

円谷峻編著

民法改正案の検討　第3巻

A5判上製492頁／7300円

〔2638-8・13〕

前田達明編

史料民法典

A5判上製1934頁／38000円

明治維新以後，現行民法典の立法作業過程で作られたものから，施行後の改正作業で成立した平成15年までの，一世紀以上にわたる民法変遷過程の条文を完全に集大成したもの。さらに同一法系にある中華民国民法，旧満州国民法，韓国民法を収録。

〔2440-8・04〕

前田達明監修／髙橋眞ほか編

史料債権総則

A5判上製802頁／20000円

法典調査会の審議を，現行民法の条文ごとに要約して通読しやすくするとともに，当時参照された外国法文の翻訳，個別法規，大審院判決等の史料を併せて掲載する。旧民法のどの部分を何ゆえに改めるか，民事訴訟法との関係をどう考えるか等，多角的な議論は，民法改正論議のあり方に有益な示唆を与える。

〔2588-6・10〕

吉田克己編著

物権法の現代的課題と改正提案

A5判上製796頁／12000円

所有者不明土地問題，動産・情報を中心とする無体財の重要性，集合的利益などの新たなタイプの財の登場という「財の多様化」に向き合う物権法の再構築を模索し，改正提案を検討する。

〔2766-8・21〕

新美育文・浦川道太郎・畑中久彌編

不法行為法研究①

A5判上製246頁／5000円

特集 現代社会における共同不法行為論「公害訴訟における共同不法行為論」大塚直／「アスベスト被害と共同不法行為論」山口斉昭／「因果関係論の新たな局面」新美育文。そのほか，論説２本，判例評釈１本収録。

〔2759-0・20〕

新美育文・浦川道太郎・畑中久彌編

不法行為法研究②

A5判上製272頁／5400円

特集 取引的不法行為，純粋経済損失のいま「取引的不法行為及び純粋経済損失をめぐる我が国の議論状況」鈴木清貴／「取引的不法行為と純粋経済損失の算定基準」白石友行／「風評損害と純粋経済損失」古谷英恵。そのほか，論説，判例評訳。

〔2773-6・21〕

新美育文・浦川道太郎・畑中久彌編

不法行為法研究③

A5判上製260頁／5400円

特集 損害賠償論の現代的課題　「連帯責任と分割責任」渡邉知行／「後遺障害を負った被害者の死亡と逸失利益及び介護費用」北河隆之／「損益相殺」仮屋篤子／「保険代位と弁済者代位」古笛恵子／ほか。

〔2788-0・22〕

石田喜久夫著

民法研究第十一巻

現代の契約法〔増補版〕

A5判上製268頁／4300円

20年まえ好評を以て迎えられた本書は，現在に至るまで断続的にではあっても，増刷が要望されてきた。そこで，「再交渉義務論」「行為の要素に関する合意」を増補したうえ，変化のはげしい今日において本書のもつ意義について簡潔なコメントを付し，装を新たにして刊行した。

〔2390-8・01〕

田山輝明著

成年後見法制の研究

B5判並製548頁／4000円

著者の十数年にわたる成年後見法制の比較法的研究の集大成。下巻に収録しているドイツ・オーストリアに関する研究を基礎にして，日本法の改正へと展開している（上巻）。法律の解説にとどまらず，その成立の背景，立法の精神を学ぶには最適の本である。今後の成年後見法の発展の方向をも示す著作である。

〔2368－1・00〕

田山輝明著

続・成年後見法制の研究

B5判並製378頁／2500円

『成年後見法制の研究』の続巻である。前半では，日本の成年後見制度の史的点描を行い，日本固有の後見概念と西洋法の後見概念とが，「後見」という漢字によって表現され，その内容の検討は未だ不十分であるとし，後見制度の普及のためにも検討が必要であるとする。後半では新法の解釈論を展開している。

〔2404-1・02〕

青木仁美著

オーストリアの成年後見法制

A 5 判上製416頁／7600円

オーストリアにおける成年後見法制を明らかにし，日本法と比較することによって，日本における成年後見制度が今後発展すべき方向を提示する。

〔2665-4・15〕

前田達明著

成文堂選書１

愛と家庭と

―不貞行為に基づく損害賠償請求―

46判上製336頁／3000円

夫が，妻が，他の異性に愛を求めたとき，法は如何にこれを受け止めるべきか。人間の本性に根差す愛情の世界と現代社会の家族制度との確執に，該博な比較法研究を基礎として，民事法学の世界から鋭い分析を行なう画期的野心作。

〔2030-5・85〕

前田達明著
民法研究第二巻
民 法 学 の 展 開
A5判上製368頁／6000円

法解釈方法論と主張・立証責任の分配（方法篇），意思原理の淵源，家族法の歴史と英米法私法史の概要（歴史篇），医療契約と振込契約，違法性と過失の重要論点，詐害行為取消権（解釈篇）についてのポレミークで且つ透徹した論理を展開する前田民法学の集大成たる珠玉の論文集
〔2629-6・12〕

前田達明著
民法学研究第３巻
続・民法学の展開
A5判上製374頁／6000円

価値判断の基準とその論理に適った言語表現が求められる法解釈方法論，主張・立証責任に基づく証明負担を論ずる証明責任論，母法たるドイツ民法史論の３部から成る前田民法学の集大成。
〔2705-７・17〕

小賀野晶一著
成文堂選書55
民法と成年後見法
人間の尊厳を求めて
46判上製284頁／2800円

成年後見法を民法現代化のなかで捉え，身上監護制度を社会福祉や医療と関連する民法制度として位置づける。取引の動的安全と合理性を徹底して追求する民法論から，人間の尊厳を実現する民法論への展開を説き，地域社会における民法と成年後見法のあり方を平易に語る民法啓蒙書
〔2619-７・12〕

一木孝之著
委 任 契 約 の 研 究
A5判上製282頁／5500円

民法上の委任が事務処理契約の原型・役務提供関係の受け皿として位置づけられるゆえんを，性質論の観点から考察し，個別規定の解釈にとって重要となり得る視座の獲得を目指す。
〔2762-０・21〕

柳勝司著
名城大学法学会選書10
委 任 に よ る 代 理
A5判上製298頁／4700円

委任による代理という私見を，わが国の民法に適用できるかという視点から理論的検討を行い，実際の取引における個々の問題に対して妥当な解決を得ることができるかを検証する。理論と実務の架橋を目指す。
〔2622-７・12〕

長谷川貞之著
委 任 の 任 意 解 除 権
A5判上製330頁／6000円

民法制定から近時の債権法改正までをフォローし，任意解除権の規範的性質，適用範囲，解除できない委任，損害賠償の要否の問題を明らかにし，解除権行使のための判断枠組みを提示する。
〔2790-３・23〕

石口修著
久留米大学法政叢書15
所有権留保の現代的課題
A5判上製390頁／5800円

第１部で所有権留保の起源について古代ローマ法までさかのぼってその淵源を探り，第２部で単純な所有権留保に関する当事者間の諸問題を検討する。第３部ではドイツで商慣習化している延長された所有権留保に関する諸問題を扱う。
〔2488-2・06〕

石口修著
所 有 権 留 保 の 研 究
A5判上製346頁／5500円

非典型担保として位置づけられている所有権留保と譲渡担保を比較・検討し・わが国の学界，実務界に対し，その本質ないし各種の類型に関する正確な理解を喚起することを目指す研究書。
〔2732-３・19〕

多田利隆著

対抗の法理と信頼保護の法理

A 5 判上製298頁／5500円

不動産の物権変動について登記対抗要件主義を定めた民法177条の適用範囲をめぐる解釈論において，いわゆる対抗関係構成と信頼保護構成という異なる立場の間の架橋を試みる論文集。

〔2727-９・19〕

藤井俊二著

借地借家法研究２

借地権・借家権の存続保護

A 5 判上製312頁／6000円

規制緩和の潮流の中で，借地権・借家権の存続保護は動揺している。本書では，借地権の存続保護の変容と定期借地権の比較法的検討，定期借地権規定の解釈と実際の機能を論じ，近時のドイツ住居賃貸借法における改正動向を紹介し，定期借家制度を批判的に検討して，借家権の存続保護の必要性を論じる。〔2498-X・06〕

平田厚著

借地借家法の立法研究

A5判上製278頁／5000円

わが国における不動産活用のあり方にとって非常に重大な影響を及ぼしている借地法・借家法の制定前から今日までの借地および借家に関する法制度の立法事実を検証し，借地借家法の現代的な意義とあり方を検討する研究書。

〔2664-7・14〕

太田昌志著

敷金契約の法理

A5判上製384頁／7000円

ドイツの借家法制の観点から日本の借地借家法制を考察し，とくに，ドイツの敷金制度を細かく分析することで，日本の敷金の分別管理についての議論を展開する。

〔2775-0・21〕

小柳春一郎著

震災と借地借家

都市災害における賃借人の地位

A5判上製430頁／7000円

阪神・淡路大震災では罹災法（昭和21年法律第13号）が適用され，罹災借家人に優先借地権，優先借家権等を与え，議論を呼んだ。本書は，罹災法が戦災処理のため成立し，現在では問題が多いことを立法過程・裁判例・学説の徹底的検討を基礎に指摘する。平成15年度日本不動産学会著作賞受賞。〔2415-7・03〕

小柳春一郎著

仏日不動産法の現代的展開

―所有者不明・無主不動産・土地所有権放棄・相続登記未了―

A5判上製386頁／6500円

近時関心が及ぶようになってきた所有者不明，相続登記未了，所有権放棄，空き家，土地境界不明の問題に関して，立法，判例に動きのあるフランス法及び日本法の現代的展開に関する研究書。

〔2768-２・21〕

佐野彰著

イギリス離路法理の変革

――離路法理の契約法への同化――

A5判上製236頁／5000円

離路法理は，契約法の準則と異なる独自の法準則であって，実際上妥当性を欠くといわれて久しい。ようやく20世紀末，同法理は契約法に統合同化され，消滅することとなる。この“統合同化”が何故，どのようにしてなされるにいたったかは，離路法理百年の軌跡をたどることによって明らかにされる。〔2430-0・03〕

浦川道太郎著

ドイツにおける危険責任

A5判上製436頁／8400円

産業革命以降の危険技術等による事故被害の補償に資する無過失損害賠償責任（危険責任）に関する論文に新たな知見を加え，技術社会の発展の中での危険責任の意義と限界を探究する。

〔2771-2・21〕

藤岡康宏著

損害賠償法の構造

A5判上製812頁／12000円

《契約の時代》において不法行為が担うべき役割は何か。本書は，不法行為の基本構想，損害賠償と差止，補償制度など不法行為の全体像を論じ，全法秩序を踏まえた法発展の必要性を構想する。ロースクールの登場により何がどう変わるのか。本書は変革の時代に備える不法行為研究の集大成である。〔2403-3・02〕

都筑満雄著

複合取引の法的構造

A5判上製360頁／6000円

複数の契約より成る複雑で高度な取引，すなわち複合取引の常態化，契約法上の諸原則を動揺させずにはおかない。本書は，この優れて現代的な取引事象が提起する法的問題と諸原則に及ぼす修正とを明らかにし，この複合取引の法的構造の解明を試みる，今後の同取引の法的考察の基盤となるものである。〔2527-5・07〕

菅富美枝著

新消費者法研究

脆弱な消費者を包摂する法制度と執行体制

A5判上製236頁／4000円

判断能力が不十分になっても社会生活をあきらめさせられることなく，消費社会においてなおも脆弱な消費者がアクティヴな法主体であり続けるための法制度・社会制度を探求する研究書。

〔2712-5・18〕

臼井豊著

戦後ドイツの表見代理法理

A5判上製248頁／3700円

本書は，「本人の帰責性」の具体的内容・理解に関する混迷から脱するため，無秩序な利益・価値衡量的解釈に荷担した古典的権利外観理論の有効性を含めて，代理法に特化した法的構成，とくに帰責根拠の理論的・体系的解明に挑んできた戦後ドイツの表見代理論を紹介・分析した，研究のプロローグである。〔2420-3・03〕

小林忠正著

日本家族法史論

A5判上製234頁／5000円

民法とくに家族法の歴史的な観察を試みることを主体としている。歴史的に見る意味は，過去から現在への変遷を知り，将来に変化して行く展開を，正確に理解する点にある。本書はひとつの条文が，いかなる社会的・歴史的事実のうちにうらずけられて成立し，今日の社会に妥当しているかを追究している。〔2441-6・03〕

円谷峻編著

社会の変容と民法典

A5判上製480頁／5000円

27名の民法専門家が，それぞれ関心のある領域における民法典の改正について自由に論じた成果を公表するもの。民法典の全般にわたる領域に関係する研究論文が掲載されており，民法改正の論議に無視できない影響を及ぼすもの。

〔2582-4・10〕

円谷峻・三林宏編著

新たな法規律と金融取引約款

A5判上製288頁／4500円

銀行取引約定書（ひな型）や保証契約全国信用保証協会統一「約定書例」という「金融取引約款」を主たる素材として，民法（債権法）改正の動向をにらみながら検討する研究の成果。

〔2676-0・15〕

高橋弘・後藤紀一・辻秀典・田辺誠編

広島大学公開講座

現代民事法改革の動向II

46判並製298頁／2500円

バブル経済崩壊に対応する民事法関係の新動向を分り易く解説。消費者契約法，担保・根保証制度，建物区分所有法，債権譲渡制度，生殖補助医療と親子関係，法人制度，雇用紛争，民事裁判・執行制度，破産法など，市民生活に深くかかわる法律問題を扱う。2001年の『現代民事法改革の動向』の続編。〔2481-5・05〕

鳥谷部茂・片木晴彦・三井正信・田邊誠編
広島大学公開講座
現代民事法改革の動向Ⅲ
46判並製390頁／3000円

平成20年度に広島大学大学院が主催した公開講座を基に整理し直したもの。バブル経済における企業の適正な組織・取引活動，高度情報化社会への対応，市民の財産・雇用の保護，国際的動向への対応など，最新のトピックを一般市民および学生に提供しようというもの。
〔2567-1・09〕

鳥谷部茂・片木晴彦・三井正信・田邊誠編著
広島大学公開講座
現代民事法改革の動向Ⅳ
46判並製362頁／2800円

大震災への対応，民法・雇用関係法・消費者被害救済等の法改正，敷金等や不当利得返還請求，企業の適正な組織・取引活動・監督等，新たな法改正ないし判例動向等を中心にわかりやすく解説する。広島大学公開講座第4弾。
〔2649-4・13〕

髙橋眞著
民事判例の観察と分析
A5判上製330頁／6000円

「担保責任と損害賠償」「弁済者代位と求償権」「相殺の担保的機能」という三つの判例研究を通じて，判例資料に「問い」を設定して「分析」を行い，その意義の「観察」について考える。
〔2731-6・19〕

髙橋眞著
抵当法改正と担保の法理
A5判上製248頁／4500円

2003年の担保法改正に際し，抵当法の本質が活発に議論された。本書は，賃料債権に対する物上代位の構造，物上代位による差押えの意義，抵当権に基づく妨害排除の根拠について深く分析し，「価値権」を基礎とする抵当権の概念を明らかにする。また，代位弁済者の求償権と原債権の関係に検討を加える。
〔2531-2・08〕

宇都宮充夫著
不動産権利をめぐる判例研究
A5判上製216頁／4500円

賃貸借，共有，留置権，所有権，区分所有権等の不動産権利をめぐる諸問題に関する平成の最高裁判例を対象に，その問題点と最高裁の判断の当否を詳細に検討する判例研究。
〔2656-2・14〕

石崎泰雄著
契約不履行の基本構造
民法典の制定とその改正への道
A5判上製300頁／5800円

今般の債権法改正の根幹部分ともいえる契約（債務）不履行の解明を試みる。民法典が形成される過程に焦点を当て，立法の意図を探る。また，今日の比較法的到達点たる統一法秩序を中心とした比較法的考察により世界的標準化を探究し，現行民法典の解釈論に加え，民法典の向かうべき方向性を示唆する。
〔2564-0・09〕

不破茂著
愛媛大学法学会叢書13
不法行為準拠法と実質法の役割
A5判上製322頁／5300円

本書では，米国抵触法理論の核心である利益分析論の本質を解明し，英国法及び大陸法学説との相違を確認しつつ，意外にも相当の親近性を有する側面のあることが了解される。米国抵触法と大陸法とのこの交錯の裡にわが国国際私法を明確に位置づけ，準拠法における実質法の役割に関する新たな提言を行う。
〔2555-8・09〕

西村隆誉志著
愛媛大学法学会叢書16
不法行為責任概念の形成
注人文主義と法学の近代
A5判上製344頁／5400円

ヨーロッパの法学が近代化を果たしていく中で人の命の価値を金銭的に算出して損害を賠償するという不法行為責任の考え方はいかなる経緯を経て生じたか。16世紀フランス人文主義法学のキュジャスから17世紀ドマ，18世紀ポティエ，19世紀フランス民法典に至る私法学説に沿ってそれを追究した力作。
〔0546-8・13〕

高橋眞・島川勝編著

市場社会の変容と金融・財産法

A 5 判上製302頁／5000円

主な目次　譲渡担保権者の物的納税責任「相殺の担保的機能」について　ロェスレル草案における解除構想　証券取引規制と公序，市場におけるフェアネス　物権法の制定と中国憲法　「商業化」と法をめぐる，19世紀中葉ドイツにおける考察の一例を紹介する　抵当権および債権譲渡に関する法改正の検証ほか　〔2562-6・09〕

小山泰史著

流動財産担保論

A 5 判上製356頁／5500円

債務者の在庫商品やそれらの転売から生じる売掛債権等，キャッシュフローを担保の目的とする動産・債権担保金融について，英・米・カナダの浮動担保を参考にして解釈論を展開する。特に，債務者に商品を供給する売主の保護と，債務者に認められる『通常の営業の範囲内の処分』の意義について，詳細に検討する。〔2568-8・09〕

大場浩之著

不動産公示制度論

A 5 判上製506頁／8000円

本書は，ドイツ法を比較対象としながら，不動産公示制度の歴史的生成過程ならびにドイツ法上の土地債務制度および仮登記制度を分析基軸として設定し，民法と登記法の理論的関係について分析を加えることを通じて，わが国における不動産物権変動論の再構成を試みることを目的とするものである。　〔2578-7・10〕

大場浩之著

物権変動の法的構造

A5判上製352頁／7000円

ドイツ法を比較対象として，物権行為と ius ad rem の関係性を柱に実体法と手続法が複雑に交錯する物権変動の法的構造に検討を加え，日本の物権変動論に新たな知見を提示する研究書。

〔2742-2・19〕

大場浩之著

物権債権峻別論批判

A5判上製140頁／3200円

ドイツ法における物権債権峻別論の分析を通じて，日本における物権債権峻別論を批判的に検討する。『不動産公示制度論』『物権変動の法的構造』に続く研究の集大成。

〔2793-4・23〕

片桐善衛著

名城大学法学会選書12

区分所有法の探究

A5判上製208頁／3300円

マンションをめぐる人々の意識や生活，法律関係がめまぐるしく変化する中で，ペット問題，専用使用権，マンションの建替え問題等に焦点をあてて論ずる。

〔2683-8・16〕

伊藤栄寿著

所有法と団体法の交錯

区分所有者に対する団体的拘束の根拠と限界

A 5 判上製292頁／5000円

マンションに関する諸問題の中でも，管理，変更，復旧，競売請求，建替えなど，多数決決議が認められる制度を検討。多数決に反対する少数者が，多数者に従わなければならない理論的根拠を明確化する。マンション法を民法理論の中に位置づけた上で，実務上の問題に対するアプローチを試みる。　〔2597-8・11〕

文元春編著

中国不法行為法の研究

公平責任と補充責任を中心に

A5判上製268頁／5200円

学説と裁判例に関する総合的研究を通じて，中国における公平責任と補充責任の存在基盤・機能について日本法と比較して特徴を明らかにし，中国における法の在り方を検討する研究書。

〔3388-1・19〕

田山輝明著
土地法研究　第３巻
土地法の歴史と課題

「入会権的墓地利用権」「借地関係の近代化と現代化課題」「土地の継続的利用権をめぐる現代的諸問題」「不動産に関する判例評釈」「ドイツ土地法上の諸問題」などを収録する。

A5判上製398頁／7600円　〔2679-１・15〕

竹内康博著
愛媛大学法学会叢書14
墓地法の研究
その軌跡と成果

著者の長年にわたる墓地法研究の集大成。明治期以降の墓地法の変遷を詳細に究明した上で，墓地使用権を４つに分類し，それぞれの法的性格を明らかにした。さらに，無縁墳墓の改装方法についても，墓石等の所有権問題を解決する独自の法理論を提起している。これ以外にも，８本の論文を収録している。

A５判上製282頁／5000円　〔3298-３・12〕

鈴木賢・崔光日・宇田川幸則・朱曄・坂口一成訳
中国物権法
条文と解訳

世界中が注目する中で採択された中国物権法の全訳書。日中の第一線の研究者が結集して仕上げた完成度の高い邦訳を他に先駆け出版。ポイントをおさえた解説も収録し，同法の立体的な理解を促進。中国法に関心のある研究者だけではなく，中国でビジネスを展開する（予定の）企業人にとっても必携の１冊。

A5判並製84頁／800円　〔2519-０・07〕

近江幸治・道垣内弘人編著
日中韓における抵当権の現在

「金融」制度の中核である「担保」制度，特に日本・中国・韓国における「抵当権」制度を個別的な項目ごとに比較し，その法制度と実務的問題点の現状をまとめた三国共同研究の成果。

A５判上製280頁／5000円　〔2678-４・15〕

野村好弘・小賀野晶一要訳監修
アジア法叢書20
中国の土地法

王家福・黄明川著『土地法の理論と実践』（人民日報出版社，一九九一年一月）を日本語で要訳的に翻訳紹介した。王氏は，中国社会科学院法学研究所前所長で，中国法学界をリードしてきた第一人者。中国土地法の基本的な仕組みを明快に説明する労作である。

A５判上製234頁／4200円　〔3126-９・96〕

ニコラス・J・マックブライド著
菅富美枝訳
イギリス契約法の基本思想

「市場の機能を支える」という市場社会の基盤としての契約法の役割を再認識する機会を提供するため，イギリス契約法に触れたことのない学生を対象に平易な言葉遣いで翻訳・解説する。

A5判並製160頁／2200円　〔2757-６・20〕

ディーター・ライポルト著／円谷峻訳
ドイツ民法総論〔第２版〕
設例・設問を通じて学ぶ

EU 組織の変更，欧州連合指令の国内法化，債務法の現代化を目的とした新民法典に基づく判例法の形成など，ドイツ民法の顕著な変化を詳述する。最新の情報を理解するための最適の書。

A5判上製618頁／6000円　〔2646-３・15〕

ヴォルフ＝ヴェレンホーファー著／大場浩之・水津太郎・鳥山泰志・根本尚徳訳
ドイツ物権法

物権法の全法秩序における位置付け・機能を明らかにし，ヨーロッパ法との関係を意識して叙述する。ドイツ法の最新の情報を理解するための最適書。

A5判上製738頁／9800円　〔2696-８・16〕

ヴァイヤース＝ヴァント著　藤岡康宏
監訳　藤原正則，金岡京子共訳

保　険　契　約　法

A5判上製380頁／5500円

社会生活の基本法としての保険契約法の根本要素の理解，実務への応用力の習得を目指し，ドイツ保険契約法の大家により執筆された体系書が，民法学者の監訳によりついに翻訳実現。債務法との関連性を踏まえたドイツ保険契約法の全体像を理解するための最良の書であり，現代化への貴重なメッセージを展開。〔2508-4・07〕

齋藤隆夫著

集中講義　不動産登記法

〔第3版補訂版〕

A5判上製396頁／3500円

電子申請を手続の基本に据えて仕組みが整えられた不動産登記法について，基本法令の改正を踏まえて申請情報の表面が変更された部分を改訂した補訂版。巻末に多くの登記記載例を掲載。

〔2740-8・19〕

齋藤隆夫著

不動産登記の仕組みと使い方

A 5 判並製366頁／3200円

不動産登記法をはじめとする抽象的な法令の規定を，具体的に書式へと移す作業を丁寧に解説する。初学者の疑問を解決すると共に，実務のニーズにも対応した不動産登記入門書の決定版。

〔2621-0・12〕

民 事 訴 訟 法

三谷忠之著

民事訴訟法講義〔第３版〕

A5判上製468頁／3300円

万全な判例の引用で，実際の事件を具体的にイメージしながら民事訴訟法を詳しく学ぶことができる充実の基本書。著者のホームページとリンクし，この一冊で今後の法令改廃・新判例情報に対応できる「未来志向型」テキスト。新司法試験への対応として，事例問題を挿入し，判例も追加補充した。〔2606-７・11〕

三谷忠之著

民事執行法講義〔第２版〕

A5判上製460頁／3300円

豊富な判例の引用により，実際の事件を具体的にイメージしながら民事執行法・民事保全法を学ぶことができる。著者のホームページとリンクし，この一冊で今後の法令改廃・新判例情報に対応できる「未来志向型」テキスト。民事執行法・民事保全法の深い理解へと読者を誘う。〔2615-９・11〕

三谷忠之著

民 事 倒 産 法 講 義

A5判上製548頁／3500円

多くの判例を利用し，手続の流れに沿って書かれた判例による破産法・民事再生法の概説書である。単なる入門書ではなく，これから更にもう１歩進んで倒産法を学ぼうとする人のために丹念に判例がフォローされており，講義用教材だけではなく司法試験などの資格試験にも大いに役立つ内容となっている。〔2507-２・06〕

石渡　哲著

民 事 訴 訟 法 講 義

A5判並製532頁／3500円

章立てに工夫を施し，解説の中に重要な判例や事例をより多く取り入れることで民事訴訟手続全体の流れを把握できるように説明する。読者に「解りやすい民事訴訟法」を心がけた教科書。法学部生に最適。〔2694-４・16〕

生熊長幸著

わかりやすい民事執行法・民事保全法〔第２版〕

A5判上製390頁／3300円

民法と民事執行法とに豊富な教育経験・優れた研究業績を有する著者が，法科大学院学生および法学部学生を主たる対象に，分かりやすく民事執行法・民事保全法を読み解く。類書に見られない豊富な図表・設例・書式により理解度数段アップ。民法との境界部分の懇切な説明により民法の理解も一段と深まる。〔2626-５・12〕

松村和徳著

民事執行・保全法概論〔第２版〕

A5判並製288頁／2500円

本書は，初歩的レベルから実務レベルまで対応できる民事執行・保全法についての概説書である。法科大学院での授業を基に執筆され，最新の議論を意識した基本事項の解説と演習問題がセットになった新しい形のテキストで，平成19年法改正と平成18年最高裁判例まで対応した最新のテキストでもある。〔2641-８・13〕

松村和徳編著

民 事 訴 訟 法 演 習 教 材

A5判並製292頁／2700円

主に最高裁判例を題材とした演習問題を通説・判例の立場から解説しつつ，その問題点を指摘し，的確な論点把握ができるように解説する。民事訴訟法の演習教材として最適の書。〔2625-８・12〕

内田義厚著

民事執行・保全15講

A5並製280頁／3000円

民事執行法及び民事保全法の制度体系を実務的重要性の観点から再編成し，理論と実務の相互関連を意識しつつ明確に説明する。実務的観点から制度と理論を捉え直す実践的概説書。

〔2697-5・16〕

木川統一郎・清水宏・吉田元子著

民事訴訟法重要問題講義［上巻］

〔第2版〕

A5判並製380頁／3800円

平成8年改正，新しい裁判例や理論的展開をフォローし，如何にして条文を最大限機能させることができる解釈を行うかを心掛け，口語体で解説。司法試験生必読の書。1992年から1993年にかけて刊行された上中下巻を大幅に改訂し，上下2冊に再編成したもの。

〔2729-3・19〕

木川統一郎・清水宏・吉田元子著

民事訴訟法重要問題講義［下巻］

〔第2版〕

A5判並製386頁／3800円

〔2730-9・19〕

吉野正三郎著

集中講義 民事訴訟法 〔第4版〕

A5判上製382頁／3500円

平成10年1月1日より新民事訴訟法が施行され，その後，平成16年に「民事訴訟法等の一部を改正する法律」が施行された。これらの改正を踏まえて，初版以来多くのファンの期待に応えてきた本書を，豊富な実務経験を基に全面的に改訂した，著者渾身の決定版。

〔2516-9・07〕

吉野正三郎著

ドイツ倒産法入門

A5判並製204頁／2500円

かつて，わが国の旧破産法と旧和議法に大きな影響を与えてきたドイツでは，約20年間にわたる破産法，和議法の改正論議を経て，1999年1月1日から「倒産法」が施行された。本書は，ドイツ倒産法の全体をわかりやすく鳥瞰することが出来る入門書で，ドイツ倒産法を学ぶ学生にとって必携の書である。

〔2521-3・07〕

遠藤賢治著

民事訴訟にみる手続保障

A5判上製256頁／3000円

永年の民事裁判実務の経験をもとに民事訴訟理論と実務の架橋を試みた研究書。訴状答弁書の機能といった実践的な問題から証明責任，上告審の審理，外国判決の承認執行等の理論的な課題，さらには法科大学院で扱う要件事実論に至るまで幅広く分析した研究者，実務家，法科大学生等の必読書。

〔2442-4・04〕

中村英郎著

民事訴訟論集第六巻

民事訴訟における二つの型

A5判上製282頁／3800円

ローマ法を源とする規範出発型，ゲルマン法を源とする事実出発型という視点から民事訴訟制度を捉え，戦後日本の民事訴訟に与えたアメリカ法の影響，民事訴訟制度の目的，裁判所の役割，民事訴訟制度の当事者，共有関係事件と共同訴訟などの問題を分析する。

〔2558-9・09〕

中村英郎著

民事訴訟論集第七巻

民事訴訟法研究とその周辺

A5判上製250頁／3800円

本書は，著者が，これまでに「民事訴訟論集」全6巻として公刊してきた中で，民事訴訟の法律論には直接関係のないが，法律学を研究する中で，その折々に書かれたエッセイ「研究者としての出発，後輩に，父を語る，定年を迎えて，ギリシャ法との出会い，中国との出会いなど」を収録。

〔2598-5・11〕

松村和德著

手　続　集　中　論

「適正・迅速かつ公正な裁判」の実現はなぜ「手続集中」に委ねられたのか。その根源に遡り，現在に至る変遷を明らかにする。わが国における手続集中論の展望を試みる研究書。

A5判上製360頁／7000円　〔2739-2・19〕

勅使川原和彦著

民事訴訟法理論と「時間」的価値

民事訴訟の理念として説かれる「適正・公平・迅速」のうち，「迅速」を「適切な時間」と置き換え，その実現を主題として，実体法上・手続法上の時間的価値の視点から，ドイツ民訴法改正やＥＵ司法制度改革にも示唆を得ながら，民事訴訟法上の諸問題の理論的考察を試みた，類例をみない論文集である。

A５判上製352頁／6000円　〔2559-6・09〕

安達栄司著

民事手続法の革新と国際化

民事手続法の一連の法改正と国際化に関する論文集である。第一部は，準備手続，証拠秘密手続，選定当事者の個別論点，民事保全法・倒産法改正に関する比較法研究を，第二部は，わが国の国際民訴法判例の展開と展望，不法行為管轄論，国際的差止に対するEC法の対応，新仲裁法に関する諸論を扱う。

A５判上製260頁／4500円　〔2487-4・06〕

久末弥生著

現代型訴訟の諸相

20世紀後半に急増した公害訴訟や環境訴訟，消費者訴訟，医療訴訟等のいわゆる現代型訴訟は，民事訴訟と多様な訴訟類型の新たな関係を示している。本書は，民事訴訟と行政訴訟の境界を扱う論文を中心にまとめられている。

A５判上製172頁／3500円　〔2669-2・14〕

橋本昇二著

要件事実の基本問題

民事訴訟における要件事実について，その言葉の多義性を整理し，契約の拘束力の根拠，物権的請求権における返還請求権，因果関係といった具体的問題を分析・検討する。

A5判上製376頁／7000円　〔2711-8・18〕

宇都宮遼平著

訴訟物と損害賠償請求訴訟

不法行為による損害賠償訴訟の訴訟物とドイツのクリストフ・アルトハンマー教授によって提唱された新たな訴訟物学説に関する考察を中心とした，訴訟物理論に関する論文集。

A5判上製410頁／8000円　〔2796-5・23〕

中村達也著

仲　裁　法　の　論　点

仲裁合意から仲裁人の選任・忌避，仲裁判断の取消し・執行までの手続に沿って各論文を配列し，仲裁実務に関与することを通じて疑問を抱いた問題点を取り上げ，検討を試みる論文集。

A5判上製522頁／7000円　〔2703-3・17〕

中村達也著

仲　裁　法　概　説

仲裁法に関する先行研究，判例を整理し，仲裁法に関する論点，とりわけ実務上重要な論点をできる限り網羅して解説する。初学者のみならず，実務家のニーズにも応える最適な概説書。

A5判並製474頁／3300円　〔2784-2・22〕

刑　　法

中山研一著

刑　法　入　門〔第3版〕

A 5 判並製194頁／1800円

本書は専門に入る前に必要な最低限度の知識を整理し，専門的レベルへの橋渡しを試みた全く新しい入門書。「刑法」とはどんなものか，どのように変ってきたか，誰が取り扱うのか，どんな問題とかかわるのか，「犯罪」はどんな状況にあるのか，どんな場合に成立するのかなど，易しくかつ興味深く解説する。〔1884-0・10〕

中山研一著／松宮孝明補訂

新版 口述刑法各論〔補訂3版〕

A5判上製406頁／3200円

刑法が堅苦しく難しいという学生諸君の先入観は，高度に複雑化した教科書の記述にある。著者の40年以上にわたるこのような講義経験から「やさしい解説」を試みた生の講義録。より高度な研究への橋渡しとなるべき教科書。法学部1年生・ロースクール未履修者必携。〔5122-9・14〕

中山研一著

新版　概　説　刑　法　Ⅰ

A 5 判並製282頁／2800円

旧版「概説刑法Ⅰ」を全面的に書き改めたもの。問題点をコンパクトに整理し，しかも，自説をより論争的な形でまとめている。〔1901-4・11〕

大谷實著

刑法講義総論〔新版第5版〕

A5判上製638頁／4000円

法学部の学生，司法試験受験生の基本書として定番の書。大谷刑法学の集大成。2009年の第4版刊行後の学説の動向に対応。基本書として欠かせない新しい判例を網羅的に取り上げ，その意義を明らかにする。「社会秩序維持主義」を基調とする定評ある基本書。〔5276-9・19〕

大谷實著

刑法講義各論〔新版第5版〕

A5判上製732頁／4000円

法学部の学生，司法試験受験生の基本書として定番の書。大谷刑法学の集大成。法学部の学生，司法試験受験生の基本書として定番となっている。〔5290-5・19〕

大谷實著

刑　法　総　論〔第5版〕

A 5 判上製352頁／2900円

第5版では，新しい判例と共に共謀罪の意義及び体系的位置づけについての解説を加えた。学部学生として必要な知識と考え方を過不足なく網羅した最新の教科書。〔5244-8・18〕

大谷實著

刑　法　各　論〔第5版〕

A5判上製464頁／3200円

第5版では，性犯罪規定の改正など大きな変化に対応。全体をコンパクトにまとめ，重要な基本的知識および理論を一気に読みきれ，各論の全てを習得できるように解説。〔5245-5・18〕

松原芳博著

刑　法　概　説〔第２版〕

A5判並製248頁／2600円

刑法総論，各論をこの１冊で学ぶことができる！私見に偏ることなく，バランスよく平均的な解説を試みているため，法学部生向けの初級テキストとして最適。
第２版では，自由刑の一本化に関する令和４年の刑法改正に対応するほか，新判例を取り込むなど最新の情報に依拠している。〔5376-6・22〕

山中敬一・山中純子著

刑法概説Ⅰ 総論〔第２版〕

A5判上製316頁／2700円

これから刑法を学ぼうとする人に，刑法総論，各論について，その概観をあたえ，しかも刑法学に興味が湧くように重要論点や最新の問題点について分かりやすく叙述したもの。刑法を一通り学んだ学生が試験前に知識を呼び起こし，論点をまとめる際にも有益。〔5358-2・22〕

山中敬一・山中純子著

刑法概説Ⅱ 各論〔第２版〕

A5判上製342頁／3000円

14年ぶりの改訂。これから刑法を学ぼうとする人にその概観を与え，しかも刑法学に興味が湧くように重要論点や最新の問題点を分かりやすく叙述する。論点をまとめる際にも有益。〔5388-9・23〕

山中敬一著

刑　法　総　論〔第３版〕

A5判上製1224頁／7000円

複雑・多様化した現代刑法理論に視座と展望を提供し，理論的に整合した問題解決のための解釈論を展開する本格的体系書。初版の分冊を合本し，最新の判例・学説を組み入れたうえで，理論の機能的な体系化を図って解釈論に道標を与える。刑法理論をより深く理解しようとする人のために。〔5156-4・15〕

山中敬一著

刑　法　各　論〔第３版〕

A5判上製944頁／7000円

各犯罪類型の内容と限界を明らかにし，問題ごとの機能的体系化が図られる。最新の立法と判例・学説を体系化し，新たな理論をも提唱する。〔5166-3・15〕

山中敬一著

ロースクール講義 刑法総論

A5判上製498頁／3300円

法科大学院の未修者のための刑法総論の教科書。28講に分けて総論の重要テーマを分かりやすく解説した。プロブレムメソッドを採用し設例を用いて問題の所在を明らかにし，最新の判例にも言及する。法学部の学生で法科大学院の既修者コースを目指す者が刑法総論をマスターするにも最適のテキストである。〔1684-7・05〕

浅田和茂著

刑　法　総　論〔第２版〕

A5判上製598頁／3700円

刑法の基本原則を堅持しつつ，結果無価値論を徹底した，注目のテキスト。刑法理論を解かりやすく解説し，判例・学説の批判的検討から，「なるほどそうか」と刑法が見えてくる。LSの学生にも最良の書。〔5273-８・19〕

浅田和茂著

刑　法　各　論

A5判上製634頁／3700円

旧刑法から最新の法改正までを視野に入れ，判例・学説を批判的に検討した，注目のテキスト。刑法総論とセットで日本刑法学の到達点が見えてくる。待望の刑法各論。〔5311-７・20〕

曽根威彦著

刑 法 原 論

A5判上製698頁／6500円

刑法に関する理論体系的思考を踏まえたうえで，論理的に整合性のある形で解釈論上の個別問題の具体的解決を図る。刑法の特色・性質を根本に遡って原理的観点から論述した本格的体系書。

〔5180-9・16〕

曽根威彦著

プライマリ法学双書

刑 法 学 の 基 礎

A5判上製272頁／2700円

刑法の基礎，刑法の基本原理，犯罪の実質，犯罪の形成，憲法・民法と刑法との関係など刑法学上の基本的なテーマについて，総論・各論の垣根を取り払って論じることで，刑法という法律の性格，刑法学の学問としての内容を知ることができる。

〔1560-3・01〕

曽根威彦著

刑法の重要問題〔総論〕〔第2版〕

A5判上製412頁／3700円

刑法総論上重要な30項目について，最近の判例・学説の動向を踏まえ，今日の刑法学の到達点を示すと共に，論争的手法を取り入れ，著者の立場から他説に対する批判的検討を試みている。法科大学院の未修者の使用にも配慮して，今回，刑法の基礎に関わる3項目が追加された。

〔1680-4・05〕

曽根威彦著

刑法の重要問題〔各論〕〔第2版〕

A5判上製412頁／3700円

刑法を一通り学んだ者が深く刑法学を理解するために，刑法各論上の重要問題を30項目取り上げ，それぞれにつき立ち入った考察を加える。最近の判例・学説の動向を踏まえて，今日の刑法学の到達点を示すと共に，著者の立場から他説に対する批判的検討が試みられている。

〔1710-X・06〕

曽根威彦・松原芳博編

重 点 課 題 刑 法 総 論

A5判上製276頁／2700円

刑法総論上の特に重要な16項目を取り上げて，最新の判例・学説の動向を踏まえつつ，教科書よりも立ち入った分析・検討を加えた解説書。教科書的な概説は最小限にとどめ，理論的にも実務的にも重要な対立点を集中的に論じることにより，刑法理論の重要性と面白さを伝えている。

〔1794-2・08〕

曽根威彦・松原芳博編

重 点 課 題 刑 法 各 論

A5判上製286頁／2700円

刑法各論上の特に重要な16項目を取り上げて，最新の判例・学説の動向を踏まえつつ，教科書よりも立ち入った分析・検討を加えた解説書。教科書的な概説は最小限にとどめ，理論的にも実務的にも重要な対立点を集中的に論じることにより，刑法理論の重要性と面白さを伝えている。

〔1795-9・08〕

岡野光雄著

刑 法 要 説 総 論〔第2版〕

A5判上製408頁／3300円

初版以降の刑法改正に対応し，最新の学説・判例を網羅。さらに説明の補充や新しい項目も追加されている。平易かつ高水準の教科書で法学部のみならずロースクールの学生にも最適。

〔1842-0・09〕

岡野光雄著

刑 法 要 説 各 論〔第5版〕

A5判上製420頁／3300円

近時における数次の刑法一部改正に対処するとともに，可能な限り最新の学説・判例を網羅した最新版。平易かつ高水準の叙述は初学者にとっても有益。

〔1822-2・09〕

川端博著

刑　法

A5判上製428頁／3500円

刑法（総論・各論）のすべてを分かりやすく一冊にまとめて説き明かす。「刑法はむずかしい」と思い込んでいる法学部の学生やロースクール生および裁判員になる可能性のある市民のためのガイドブック。〔5102-1・14〕

川端博著

刑法総論講義〔第3版〕

A 5 判上製798頁／4400円

本書は，判例・通説の立場である二元的人的不法論（行為無価値論）をベースに構築した著者の刑法理論の立場から，最近の刑法改正と判例・通説の発展に即応して改訂したもので，さらに新論点の叙述を補充して内容を充実させている。刑事立法の時代における刑法総論の本格的体系書の待望の最新版である。〔1970-０・13〕

川端博著

刑法各論講義〔第2版〕

A5判上製836頁／4400円

本書は，刑事立法の時代における本格的体系書『刑法総論講義』の姉妹版であり，相次ぐ法改正と新判例に即応して，通説・判例の立場である二元的人的不法論（行為無価値論）の見地から犯罪類型の特質を明らかにした上で解釈論の重要問題を理論的に分析し体系的に講述する刑法各論の基本書の新版である。〔1868-０・10〕

川端博著

集中講義刑法総論〔第2版〕

A 5 判上製486頁／3700円

刑法総論の基本構造にかかわる重要問題を精選し，具体的な「設例」および「論点と考え方」をあげて，その問題性のイメージをあざやかに提示したうえで，それを説得的に叙述する手順を教えるユニークな書。本書は，基本書を正しく理解するための有益な参考書でもある。〔1438-０・97〕

川端博著

集中講義刑法各論

A 5 判上製494頁／3700円

刑法各論の重要問題について事例をあげて分析し，根本にさかのぼって説き明かすことによって，退屈だと思われてきた刑法各論の学習に興味を起こさせる刺激的な参考書。口語体で分かりやすく叙述されているので，まるで著者の講義に参加しているような雰囲気で一気に読み通すことができるであろう。〔1507-７・99〕

川端博著

刑法講話Ⅰ　総論

A5判並製388頁／2700円

法科大学院未修者，法学部学生，裁判員制度導入を控えて一般社会人も対象に刑法総論を分かりやすく述べる。刑法体系を明らかにして刑法理論の全体像をしめすことで，刑法を深く理解できるように務めている。相互参照の指示，キーワードのゴチ表記，難読文字にルビ，詳しい索引などの工夫がされている。〔1685-5・05〕

川端博著

刑法講話Ⅱ　各論

A5判並製382頁／2700円

刑法各論のテキスト内，次々と犯罪類型の内容を細かく説明するので，読む側は退屈させられてしまう。にもかかわらず法科大学院の法学未修者・法学部学生・裁判員となる可能性のある一般市民にとっては，刑法各論の知識は必須である。そこで本書は，平易な語り口で興味深く刑法各論を縦横に説き明かす。〔1658-8・04〕

川端博著

疑問からはじまる刑法Ⅰ総論

A 5 判並製342頁／2700円

本書は，難解とされる刑法総論を学ぶ際に生ずる素朴な疑問に答えつつ重要論点を明快に解説し刑法総論を深く理解してマスターできる有益な参考書である。択一式問題を出題し，解答のためのヒントを提示したうえで正解に至るプロセスを解説することによって，自ら実力を練成できるように工夫されている。〔1731-2・06〕

川端博著

疑問からはじまる刑法Ⅱ各論

A5判並製304頁／2700円

素朴な疑問に答えつつ重要論点を明快に解説し刑法各論を深く理解してマスターできる有益な参考書。択一式問題を出題し，解答のためのヒントを提示したうえで正解に至るプロセスを解説。

〔1786-7・07〕

川端博対談

現代刑法理論の現状と課題

A5判並製396頁／2900円

「刑事立法の時代」の幕明けを迎えた今，刑法理論は激変する時代の変化にどのように対応すべきか？　本書は，この問題意識から重要テーマについて対談を通して「刑法理論の現状と課題」を明らかにする。各テーマに造詣の深い刑法学者をゲストに招いて本音を披瀝していただいたので読み物としても面白い。〔1694-4・05〕

齊藤信宰著

新版 刑 法 講 義〔総論〕

A 5 判上製610頁／4200円

刑法を解釈するにあたって，学説を整理しておくことは重要である。学説の争いは以前のように激しくはない。しかし，刑法の解釈にとって，学説の違いを考えないわけにはいかないであろう。本書は，学説による視点の違いを示しつつ，どのように解釈するのが適当かということを追求した。〔1758-4・07〕

齊藤信宰著

新版 刑 法 講 義〔各論〕

A 5 判上製626頁／4200円

本書は，各論分野の条文をできる限り分り易く解説するとともに，刑法の考え方に対する一つの指針を示している。本書によって，刑法の奥の深さを楽しみながら理解することができよう。

〔1759-1・07〕

萩原滋著

刑法概要〔総論〕〔第３版〕

A5判並製266頁／2500円

大学の刑法総論の講義のための教科書。刑法改正に対応した改訂版(2009年現在)。難解な刑法学説が初学者のために平易かつ簡潔に解説されている。学習効果を高めるため図表を多用し，重要判例には事実関係と判旨が詳しく記述されている。

〔5134-2・14〕

萩原滋著

刑法概要〔各論〕〔第４版〕

A5判並製280頁／2600円

大学の刑法各論の講義のための教科書。2009年までの刑法一部改正に対応。簡潔で平易な解説には定評がある。学習効果を高めるため図表を多用し，重要判例には事実関係と判旨を詳しく記述。

〔5135-9・14〕

鈴木茂嗣著

法学叢書4

刑 法 総 論〔第２版〕

A5判上製358頁／3500円

犯罪の成立要件を純粋に検討する犯罪実体論と，犯罪成立要件事実の合理的認定を論じる犯罪認定論とを峻別。犯罪の性質とその認定の関係を明らかにして，実体刑法と訴訟法，また刑法理論と実践の架橋を目指す。刑罰論が追加され，犯罪論から刑罰論まで一貫した評価構造論の下に，責任主義が貫徹される。〔1912-0・11〕

松宮孝明著

刑法総論講義〔第５版補訂版〕

A5判上製420頁／3000円

刑法総論は，「行為無価値」「結果無価値」といった抽象論からではなく，妥当な結論から帰納されるべきものである。本書は，「客観主義」を導きの糸として，結論から体系を構築する本物の刑法学を展開する。

〔5251-6・18〕

松宮孝明著

刑法各論講義〔第5版〕

A 5 判上製558頁／3500円

刑法各論の勉強は，典型例から始めて限界事例を知ることである。本書は，この各論学習の鉄則に則り，現行法の制定理由を踏まえて各論解釈を展開。体系的思考と問題的思考の融合をはかり日本刑法学の到達点を示す。平成29年の性犯罪規定の改正などに対応。

〔5252-3・18〕

佐久間修著

刑法総論

A 5 判上製516頁／3500円

旧版「刑法講義（総論）を横組にしたうえで改訂。犯罪論の基本構造や刑罰の本質論を，正確かつ平易に説明する。

改訂にあたっては，叙述の仕方を工夫し，また，各種の論争で背景となる事情も含めて，最新の判例のも言及しながら，具体的素材を用いて解説する。〔1844-4・09〕

佐久間修著

刑法各論〔第2版〕

A 5 判上製512頁／3500円

平成23年改正に完全対応。通説である行為無価値論の立場から，主要な学説･判例をやさしく，丁寧に解説する。法学部とロースクールの学生に向け，現代の複雑な犯罪論を分かりやすく整理した概説書。

〔1955-7・12〕

佐久間修著

刑法総論の基礎と応用

条文・学説・判例をつなぐ

A 5 判上製410頁／3500円

刑法総論の全体像を効率よく理解するための素材として，実例となるべき具体的判例を織り込んで，重要テーマについて展開。基本的な学説･判例をおさえたうえで，ハイレベルな応用問題を用意する。

〔5160-1・15〕

高橋則夫著

刑法総論〔第5版〕

A 5 判上製676頁／4500円

行為規範・制裁規範の枠組みから犯罪論と刑罰論を展開する，刑法総論の本格的体系書である。刑法の基礎理論から解釈論的帰結を導く道筋が明らかにされていると同時に，判例・裁判例を豊富に掲載することによって，規範と事実の架橋が示される。LS 生･学部生にとって必読の書といえるだろう。〔5373-5・22〕

高橋則夫著

刑法各論〔第4版〕

A 5 判上製816頁／5000円

行為規範・制裁規範の枠組みから刑罰法規の解釈を展開し，豊富な判例・裁判例を素材に各犯罪の成立要件等を分析する。前著『刑法総論』と同様，事実を詳細に掲載し，規範と事実の架橋を試みる。各犯罪類型を具体的・立体的に理解できる体系書として，司法試験受験生・学部学生必読の書である。〔5374-2・22〕

立石二六著

刑法総論〔第4版〕

A5判上製438頁／4000円

本書の特色は，構成要件論，故意論，錯誤論，共犯論，等，理論上の重要問題に相当の紙幅を割きつつも，刑法総論の全貌を簡明銘に叙述した点にある。学説・判例も丁寧に整理されており，初学者にも上級者にも適応しうる好個の教科書である。

〔5138-0・15〕

立石二六編著

刑法事例30講

A 5 判並製302頁／2800円

一冊で刑法の代表的問題を習得できるよう配慮した。主に法学部の初学者を対象として，事例を分かりやすく解説することで理解を助ける演習書。

〔1979-3・13〕

日高義博著

刑 法 総 論〔第２版〕

刑法総論の体系的な理論構成と論理的整合性のある事案解決に向けて考え抜く力を身につけるため，「考えながら読み，読みながら考える」ことを実践する基本書。

Ａ５判上製628頁／4000円 〔5362-９・22〕

日高義博著

刑 法 各 論

法解釈の華・刑法各論。実務と理論の架橋を意識し，刑法理論の体系的整合性を見据えた刑法各論を展開する。刑法総論と同様，「考えながら読み，読みながら考える」ことを実践する基本書。

Ａ５判上製792頁／4000円 〔5308-７・20〕

関哲夫著

講義 刑法総論〔第２版〕

刑法総論の講義用として様々な工夫をこらし，１回の講義で完結するよう40の重要項目を選定して犯罪行為者・犯罪行為及び刑罰論について基礎理論・解釈論を口語表現で解説する。

Ａ５判並製592頁／4500円 〔5253-０・18〕

関哲夫著

講 義 刑 法 各 論

刑法各論の講義用として様々な工夫をこらし，それぞれ１回の講義で完結するよう43の重要項目を選定した。要件的思考法に基づいて犯罪を解説しつつ法律要件論を実践し，口語で解説する基本書。

Ａ５判並製734頁／4900円 〔5227-１・17〕

伊藤亮吉著

刑法総論入門講義

刑法総論を初めて学習する法学部生・法科大学院生を対象として，判例・学説の修得を基本としつつ，多くの図表を取り入れ，難解な法律学を講義形式でわかりやすく解説するテキスト。

Ａ５判並製492頁／4000円 〔5370-４・22〕

伊藤亮吉著

刑法各論入門講義

刑法各論を初めて学習する法学部生・法科大学院生を対象として，判例・学説の修得を基本としつつ特別刑法にも言及し，難解な法律学を講義形式でわかりやすく解説するテキスト。

Ａ５判並製552頁／4000円 〔5356-８・22〕

髙橋直哉著

刑 法 の 授 業［上巻］

予習→授業→復習という流れを意識して，著者がロースクールで行っている司法試験等の試験対策に役立つ授業を，出来るだけリアリティを保ちながら再現する。

Ａ５判並製298頁／3000円 〔5348-３・22〕

髙橋直哉著

刑 法 の 授 業［下巻］

Ａ５判並製292頁／3000円 〔5349-０・22〕

前田雅英著

刑　法　入　門　講　義

―新しい刑法の世界―

46判並製286頁／1800円

戦後日本を俯瞰すると，刑事法も大きな転換点をむかえているように思われる（はしがきより）。著者はこのような変化の方向性を大変好評を得ている教科書や論文のなかで論述しているが，本書は，この考え方をより明快に解説し，多くの法律を学ぶ方々を対象に講演した原稿をもとにまとめたものである。〔1544-1・00〕

山口　厚著

基本判例に学ぶ刑法総論

A 5 判並製316頁／2500円

判例を学ぶには当該事件の具体的事案との関係でその内容を理解するとともに，さらにその判断の内容を理論的に適切に位置づけ，理論との関連性を意識しながら学修することが大切である。本書は刑法総論の基本判例を素材に，その内容を理論的に位置づけながら，それを通じて刑法総論を学ぼうとするもの。〔1880-2・10〕

山口　厚著

基本判例に学ぶ刑法各論

A 5 判並製340頁／2500円

法律学の学修において判例を学ぶ重要性はいうまでもない。個別の犯罪類型に関する刑法各論の解釈論は，抽象論としてではなく，具体的な事案に当てはめられた形で学ぶ必要があり，また，判例に示された事実の把握，法的論理をたどることを通じて，法的思考力の涵養も可能となろう。〔1917-5・11〕

山口厚編著

クローズアップ刑法総論

A5判上製266頁／2800円

刑法総論の重要問題を，執筆者間での討議を踏まえ，掘り下げた検討を加えた論文集。討議の概要も掲載し，執筆者間で何が問題とされたかを示す。扱うテーマは，相当因果関係／不真正不作為犯／管理・監督過失における正犯性，信頼の原則，作為義務／被害者による危険引受／未遂犯／共犯論の課題〔1636-7・03〕

山口厚編著

クローズアップ刑法各論

A5判上製366頁／3500円

同書総論に続く共同研究プロジェクト。扱うテーマは，法益侵害と法益主体の意思／遺棄罪における生命保護の理論的構造／司法に対する罪／盗撮画像公表行為と名誉毀損罪の保護法益／財物罪における所有権保護と所有権侵害／文書の名義人／対向的取引と背任罪の共同正犯。〔1784-3・07〕

松原芳博編

刑　法　の　判　例〔総論〕

A5判上製326頁／2800円

厳選された刑法総論の最重要判例について，判例法理を抽出し，その意義・射程を解明しつつ，当該事案の適正な解決への筋道を示した平易で高水準な解説書。新司法試験にも対応できるよう事実と理論の双方にバランスよく目配りした判例解説として，法科大学院・法学部の演習教材，参考書，独習書に最適。〔1919-9・11〕

松原芳博編

刑　法　の　判　例〔各論〕

A5判上製302頁／2800円

厳選された刑法各論の最重要判例について，判例法理を抽出し，その意義・射程を解明しつつ，当該事案の適正な解決への筋道を示した平易で高水準な解説書。新司法試験にも対応できるよう事実と理論の双方にバランスよく目配りした判例解説として，法科大学院・法学部の演習教材，参考書，独習書に最適。〔1920-5・11〕

松原芳博編著

続・刑法の判例〔総論〕

A5判上製262頁／2800円

『刑法の判例〔総論〕』『同〔各論〕』の続編。近時の重要判例を厳選し，比較的詳細な解説・論評を加えた解説書。前著と併せて利用すれば，ほとんどの重要論点に関する判例を網羅できる。法学部生，法科大学院生の教材として最適。〔5379-7・22〕

松原芳博編著

続・刑法の判例〔各論〕

A5判上製288頁／2800円

『刑法の判例〔総論〕』『同〔各論〕』の続編。近時の重要判例を厳選し，比較的詳細な解説・論評を加えた解説書。前著と併せて利用すれば，ほとんどの重要論点に関する判例を網羅できる。法学部生，法科大学院生の教材として最適。

〔5380-3・22〕

反町義昭著

司法試験体系的問題解析 刑法

B5判並製338頁／3500円

過去問で繰り返し問われている刑法の重要論点を「体系順」に並べ替え，重要判例・出題趣旨等の分析を踏まえて，論述するにあたって把握しておくべきポイントを解説する実践的試み。

〔5241-7・18〕

奥村正雄・松原久利・十河太朗・川崎友巳著

判例教材刑法Ⅰ 総論

B5判並製512頁／4500円

刑法の理解を深めるには，「生きた法」である判例を学ぶ必要がある。個々の争点について合理的解決を導くため，判例がどのような法理を展開しているか。1審，2審，最高裁の結論の違いは事実認定の相違，それとも法理の差によるのか。判決理由を詳細に掲げた本書を熟読し，判例理論の面白さを学ぼう。

〔1971-7・13〕

伊東研祐編著

はじめての刑法

B5判並製278頁／2300円

これから刑法学の世界に触れてみようと考えている人はもちろん，すでに触れてはみたけれども先に進むだけの興味を覚えていない人，面白くなかったのでもう止めようかなと思っている人，あるいは，そもそも刑法学が何をするものか分らなくて釈然としない人等々を対象とする『はじめての刑法』。

〔1641-3・04〕

吉田敏雄著

刑法理論の基礎〔第3版〕

A5判並製484頁／3200円

社会倫理的犯罪概念の視点から，行為無価値・結果無価値不法，客観的責任概念からなる犯罪論体系を展開し，それが，統合予防刑，修復的反作用を整合的に包含できることを論ずる。新たに，正当防衛，正当化緊急避難，免責緊急避難を加えた第3版。

〔1973-1・13〕

五島幸雄著

実務に即した刑法総論

A5判並製230頁／2600円

刑法総論の全体像を，分かりやすく，おもしろく，実務に即して解説する。具体例を取り上げて一気に読ませる工夫を凝らし，興味を湧かせることで法的知識の会得を図る。初心者ともども学生に刑法への関心を持たせる格好の教科書！半生を検事で過ごした著者による平易・簡潔な解説は，裁判員にも有益。

〔1865-9・10〕

五島幸雄著

実務に即した刑法各論

A5判並製238頁／2600円

刑法各論の全条文を網羅して，主要な犯罪を実務に即して分かりやすく，しかも刑法総論の学習事項とも関連させて解説し，初心者ともども学生に興味深く刑法の全体像を理解させ，法的知識の涵養を図る絶好の書。検事出身の著者による平易・簡潔な文章は，裁判員，実務家にも有益な入門書！

〔1914-4・11〕

下村康正著

犯罪論の基本的思想

A5判上製234頁／2000円

刑法の教科書では性質上触れられていないか，あるいは余り詳細に扱われていない種類の犯罪論上の諸問題につき，15章に分けて体系的にまとめられた好著。かなり程度の高い問題も扱われているが，文章は極めて平易であり，読みやすく，刑法を学ぶ人々にとって恰好の参考書となろう。

〔1012-1・60〕

斉藤豊治・浅田和茂・松宮孝明・
高山佳奈子編著

新経済刑法入門〔第３版〕

A５判上製458頁／3500円

経済刑法では，立法が相次ぎ，処罰の強化と拡大が著しい。本書は財政犯罪・会社犯罪を含む広範な経済刑法の立法と法運用を示し，経済刑法の現状が一目瞭然である。法律系学部，大学院（法科大学院を含む），公共政策大学院や経済・経営・商学系の大学教科書だけではなく，企業研修等でも活用できる。〔5318-６・20〕

中山研一・斉藤豊治・神山敏雄・
浅田和茂編著

環境刑法概説

A5判上製336頁／3800円

環境刑法の観念や役割，環境刑法の法益論，行政的規制との関係などの総論的な問題を整理するとともにドイツ，フランス，アメリカなどの外国の状況にも比較法的に言及した後，主要には，環境保護に関連する特別法の主要なものについて，各論的な解釈論的検討を行う。〔1626-X・03〕

三原憲三著

新版　刑法各論

A５判上製578頁／4000円

最新の重要な判例を多数掲載した最新版。本書では，判例をかなり広範囲にわたって引用している。したがって，本書は大学における講義の教科書として執筆されたものではあるが，他方，刑法演習にも使用することができるように配慮したものである。〔1838-3・09〕

三原憲三・津田重憲・関哲夫編

刑法ゼミナール〔総論〕〔第２版〕

A5判並製290頁／2500円

事例で鍛える刑法総論の『理論力』を意図した本書は，刑法総論における重要項目について，判例を素材にした具体例を提示し，それに関する判例の流れや対立を整理したうえで解説を施すとともに，主要な参考文献・関連判例を示すことで思索の深まりと広がりに配慮した演習本。〔1949-６・12〕

三原憲三・津田重憲・関哲夫編著

刑法ゼミナール〔各論〕

A５判並製290頁／2500円

記憶力よりも思索力の養成を意図した本書は，刑法各論の重要項目88について，まず具体的事例を示すことで，読者が，判例・学説状況の解説，主要参考文献・関連判例を参考にして，混沌とした生の事実から妥当な結論を導き出す法的論理構成を考え抜くことを狙った演習本である。〔1735-5・06〕

小松進・齊藤信宰・鈴木實・本吉邦夫・米澤敏雄著

刑事法総合ゼミナール

A5判並製236頁／2000円

この一冊で犯罪（刑事実体法）の発生から捜査・公訴・公判・判決（刑事手続法）までの理論と実務のポイントが分かる。〔1793-５・08〕

橋本裕藏編著

判例刑法研究（総論）

活きた刑法理論の獲得に向けて

A5判並製260頁／2500円

「判例は法源である。」この基本認識を前提に最高裁判所判例等指導的判例を素材に各章を〔判示事項〕，〔事実の概要〕，〔訴訟の経緯〕，〔論点〕，〔判旨〕，〔基本事項〕，〔解説と研究〕，〔参考文献〕の８つの柱で構成し複雑難解な刑法理論を簡潔に説いた刑法総則の教科書。〔1577-8・02〕

木村裕三・小林敬和著

現代の刑法各論〔改訂第４版〕

A5判並製462頁／3500円

本書は，わかりやすい刑法の本を学生諸君に提供し，刑法各論上の基本的な問題を理解してほしいという意図で上梓したものである。覚えたものは忘れてしまうが，理解すれば忘れることはない。２，３の大学で教科書として使用したところ，幸いにも，「分かりやすい」「面白い」と好評であった。構成要件の図表も親切であり，判例の紹介も適切であるとされた。〔5116-8・14〕

船山泰範著

事例で学ぶ刑法各論

A5判並製334頁／2800円

刑法各論を450を超える事例を用いてわかりやすく解説。刑法総論との関係を示しながら刑法の本質を多面的に捉えている。条文から事例がイメージできるだけでなく，ていねいな判例索引からも事例が探しやすい構成になっている。

〔1808-6・08〕

船山泰範著

刑法学講話

A5判上製424頁／3700円

ていねいでわかりやすい講義で定評のある著者が，幅広い知識の蓄積をもとに『刑法とは何か』を語る。図表，文学作品などを多数取り入れ，法律学習者だけでなく刑法に興味を持つ一般読者にも理解してもらえるよう工夫されている。

〔1862-8・10〕

須之内克彦著

刑法概説各論〔第2版〕

A5判上製474／3500円

法学部や法科大学院・未修のテキスト用に編成し，判例の豊富な引用とともに総論との有機的連関を強く意識して展開する。各節毎にレジュメを掲げるなど予習・復習の便宜を図りつつも，決して過保護にはならず，受講生や読者自身の主体的な努力を期待して，学習したことが真に身につくよう工夫を施す。

〔5109-0・14〕

中山研一・浅田和茂・松宮孝明著

レヴィジオン刑法 2

未遂犯論・罪数論

A5判並製258頁／3300円

レヴィジオン刑法1共犯論に続く第2弾。未遂犯論・罪数論を扱う。未遂犯論を1章，罪数論を2章に分け，それぞれ概説の後に著者3人の討論が続くという構成。日頃研究会等で気心の知れた3世代の関西の刑法学者が，息の合った討論を展開し読者の理解を深める。研究会活動が旺盛な関西ならではの共著。

〔1576-X・02〕

中山研一・浅田和茂・松宮孝明著

レヴィジオン刑法 3

構成要件・違法性・責任

A5判並製432頁／4500円

「レヴィジオン」シリーズ完結。犯罪体系論全体に影響を与える諸問題につき，学説史を踏まえつつ，これまでの固定的な理解に囚われない切り口を示す。

〔1832-1・09〕

上野幸彦・太田茂著

刑事法入門〔第2版〕

B5判並製264頁／2200円

重要な判例を織り込みながら，刑事実体法と手続法の全体について基本的・全般的な素養を取得できるよう工夫した，学部生，ロースクール生，若手警察官等のために最適な刑事法入門書。

〔5390-2・23〕

川端博・前田雅英・伊東研祐・山口厚著

徹底討論 刑法理論の展望

A5判上製396頁／3300円

学界をリードする著者達が，気心の知れた研究者同士として率直に各自の問題意識をぶつけ合い，刑法の根底に横たわる重要問題についての徹底的討論を通して現在の理論状況を総括するとともに21世紀における方向性を展望する。本書は，刑法学の在り方を考える際に強烈な学問的刺激を与え続けるであろう。

〔1543-3・00〕

明治大学法科大学院刑法研究室編

法科大学院刑法テキスト〔総論〕〔補訂版〕

A5判並製202頁／2000円

本書は，法科大学院における刑法の講義のために，日本型ロースクールの方向を見定めた上で刑法スタッフが書き下ろした標準的テキストである。通説・判例ベースで叙述して法学未修者にとって必要不可欠な基礎知識を提供するとともに，自学自習により法的思考力を涵養し応用能力を培うことを目標とする。

〔1799-7・08〕

明治大学法科大学院刑法研究室編

法科大学院刑法判例教材

A5判並製210頁／2000円

法科大学院における刑法の「講義」及び「演習」の教材として編まれたもの。実務法曹育成にとって，判例が有する意義は極めて大きい。各講に基本的な最高裁判例を５件精選し，〔事実の概要〕，〔判旨〕又は〔決定要旨〕を掲記。既刊の『法科大学院刑法テキスト』『総論』，「各論」を連動させれば，より効果的である。　〔1662-6・04〕

川端博・浅田和茂・山口厚・井田良編

理論刑法学の探究①

A5判上製224頁／3000円

法科大学院時代が始まり，さまざまの状況から理論刑法学は重大な岐路に立たされている。本誌は理論刑法学の深化・発展のために多くの研究者に交流の場を提供することを目的としている。

〔1803-１・08〕

川端博・浅田和茂・山口厚・井田良編

理論刑法学の探究②

A５判上製222頁／3000円

〔論文〕　いわゆる「罪刑均衡原則」について―その法哲学的根拠と近時の国際的展開を背景とする一考察―　岡上雅美／消極的責任主義の帰趨―わが国における近時の量刑理論の批判的検討―　城下裕二／具体的事実の錯誤と法定的符号　上嶌一高／違法性の意識　松原久利／因果関係論と客観的帰属論　小林憲太郎　〔1837-６・09〕

川端博・浅田和茂・山口厚・井田良編

理論刑法学の探究③

A５判上製254頁／3500円

〔論文〕　共犯の一般的成立要件について　豊田兼彦／共謀共同正犯論の現状と課題　島田聡一郎／共謀の射程について　十河太朗／国際刑法における「正犯」概念の形成と意義―ICCにおける組織支配に基づく間接正犯概念の胎動―　フィリップ・オステン／国際刑事証拠法　高山佳奈子ほか　〔1877-２・10〕

川端博・浅田和茂・山口厚・井田良編

理論刑法学の探究④

A５判上製268頁／3500円

〔論文〕　間接正犯・離隔犯における実行の着手時期　塩見　淳/不能犯　佐藤拓磨/未遂の理論構造と中止未遂　金澤真理/被害者の承諾における三元説の意義について　佐藤陽子/欺罔により得られた法益主体の同意　森永真綱/「三角詐欺」は存在しない　杉本一敏

〔1907-６・11〕

川端博・浅田和茂・山口厚・井田良編

理論刑法学の探究⑤

A５判上製274頁／3500円

〔論文〕　いわゆる過失競合事案における過失認定の在り方について　古川伸彦／過失犯論における実行行為性・予見可能性の問題　曲田統／大規模医療事故と過失犯論　甲斐克則／親族間における保障人的義務の現代的意義　岩間康夫／保障人的地位について　平山幹子／不真正不作為犯の制約根拠としての真正不作為犯　小名木明宏　〔1941-０・12〕

川端博・浅田和茂・山口厚・井田良編

理論刑法学の探究⑥

A５判上製302頁／3800円

〔論文〕　責任能力論の到達点となお解決されるべき課題について　安田拓人/刑罰の目的とその現実性　飯島暢/心神喪失者等医療観察法と刑事責任能力判断　緒方あゆみ/詐欺罪における「欺罔」と「財産的損害」をめぐる考察　足立友子/財産上の損害概念の諸相と背任罪の「損害」要件　品田智史/ほか。　〔1984-７・13〕

川端博・浅田和茂・山口厚・井田良編

理論刑法学の探究⑦

A5判上製318頁／4000円

〔論文〕　岡本昌子「自招侵害と正当防衛論」／照沼亮介「過剰防衛と『行為の一体性』について」／大下英希「自救行為と刑法における財産権の保護」／成瀬幸典「文書偽造罪の本質」／今井猛嘉「コンピュータ時代における文書偽造罪の変容」／野澤充「中止犯論の問題点」ほか。

〔5114-4・14〕

川端博・浅田和茂・山口厚・井田良編

理論刑法学の探究⑧

A5判上製262頁／3500円

〔論文〕 目的犯と共犯 伊藤亮吉／作為正犯者による犯罪実現過程への不作為による関与について 齊藤彰子／財産犯と立法 宮川基／経済刑法の保護法益について―制度依存型経済犯罪における制度的法益と個人的法益の関係― 神例康博／保護客体としての情報 石井徹哉ほか。 〔5150-2・15〕

川端博・浅田和茂・山口厚・井田良編

理論刑法学の探究⑨

A5判上製336頁／4200円

〔論文〕 太田達也「死刑と終身刑」／永田憲史「死刑執行始末書の分析」／本庄武「裁判員制度と死刑の適用基準」／十河太朗「承継的共犯論の現状と課題」／高橋直哉「承継的共犯論の帰趨」／小林憲太郎「共犯関係の解消について」〈書評〉濱田新・末道康之〈外国論文紹介〉品田智史・嘉門優・仲道祐樹 〔5184-7・16〕

佐伯仁志・高橋則夫・只木誠・松宮孝明編

刑事法の理論と実務④

A5判上製280頁／4200円

［作為義務論の課題］ 江見健一「不真正作為犯の作為義務とその認定」／石井隆「不作為犯に関する実務上の問題」／南川学「不作為犯における弁護活動の留意点」／平山幹子「救助的因果経過の切断について」／鎮目征樹「不作為犯論における実務と理論の距離」ほか。 〔5368-1・22〕

佐伯仁志・高橋則夫・只木誠・松宮孝明編

刑事法の理論と実務⑤

A5判上製280頁／4200円

［過失犯論の現在］ 日髙義博「刑法学の争点と理論的基軸の意義」／半田靖史「過失犯における結果回避可能性の判断について」／田野尻猛「特殊過失事件における過失の認定について」／上田正和「自然災害による被害と刑事責任」／稲垣悠一「危険創出行為を基軸とした過失競合事例の注意義務の類型化」／松宮孝明「過失犯における近年の理論と実務」ほか。 〔5394-0・23〕

宮本英脩著・鈴木茂嗣編

宮本英脩著作集第1巻

刑法学綱要

A5判上製632頁／9000円

大正15年から昭和3年にかけて三分冊で発行された『刑法学綱要』の復刻版。宮本博士の刑法理論体系の原型を示すものであり,「何ノ為メニ社会人生アリヤ」と問い「愛の刑法観」を説く部分などは，その後の著作には表面上姿を消しているが，博士の刑法観を知る上で看過できない点のひとつである。 〔1128-4・86〕

宮本英脩著・鈴木茂嗣編

宮本英脩著作集第2巻

刑法學粋

A5判上製906頁／9000円

宮本英脩著『刑法学粋』（第五版・昭和10年）の復刻版。宮本博士の刑法理論には，その時々の法律制度や規定の相違とか,あるいは社会状態の変化というものを越えて,いつの時代でも，またどのような社会の人々にも訴え受け入れられる法原理や法構造が示されている。 〔1026-1・85〕

宮本英脩著・鈴木茂嗣編

宮本英脩著作集第3巻

刑法大綱

A5判上製608頁／9000円

前著『刑法学粋』の改訂までということで昭和7年に出版されその後版を重ねるに至った『刑法大綱総論』と，昭和9年に発行された『刑法大綱各論』とを合わせて一本としたものである。合本にあたり,「類型性」の概念について一般的説明がつけ加えられたほか，他の説明や語句にも修正・補充が加えられている。 〔1027-X・84〕

宮本英脩著・鈴木茂嗣編

宮本英脩著作集第4巻

刑法講義

A5判上製234頁／5000円

本書は，宮本博士が京都帝国大学を定年退官した直後の昭和17年7月に謄写版刷りで発行されたものである。博士にとって刑法総論に関する最後の体系書であり，その意味で宮本刑法学の集大成といえるものである。

〔1151-9・87〕

宮本英脩著・鈴木茂嗣編

宮本英脩著作集第５巻

刑事訴訟法大綱

Ａ５判上製600頁／9000円

宮本博士の『刑事訴訟法大綱』の復刻版。宮本刑事訴訟法理論の全体像を示すものとして重要な著作といえる。特に公訴権の観念やこれを基本とする各種の裁判の意義，また訴訟行為とくに裁判の成立に関する理論などには，みるべきものがある。

〔1131-４・86〕

宮本英脩著・鈴木茂嗣編

宮本英脩著作集第６巻

刑事法論文集㈠

Ａ５判上製474頁／9000円

宮本博士が京都帝国大学奉職後に発表した全論文を体系的に配列して収録。博士の刑事法理論の展開過程を如実に知ることができるとともに，博士の提唱になる「可罰的」評価の語が当初は「加罰的」評価であったことなど，興味ある事実をうかがい知ることができる。

〔1203-５・90〕

宮本英脩著・鈴木茂嗣編

宮本英脩著作集第７巻

刑事法論文集㈡

Ａ５判上製208頁／7000円

宮本博士は，東京帝国大学卒業後検事を経て判事となったが，大正５年，富田山寿教授急逝のあとを承けて京都帝国大学に助教授として迎えられた。本巻には，博士の京大就職前の諸論稿を収録する。いずれも，簡潔ながら，きわめて示唆に富む内容である。

〔1282-５・92〕

宮本英脩著・鈴木茂嗣編

宮本英脩著作集第８巻

判例評釈

Ａ５判上製446頁／9000円

宮本博士が京都帝国大学に助教授として迎えられた大正５年以降，京都法学会雑誌，法政論叢，法学論叢等に発表された判例評釈を収録する。９年余りにわたる判検事としての実務経験に裏づけられ，かつ論理的にも緻密な判例分析は，今なお新鮮さを失っておらず，われわれに多くの示唆を与えてくれる。

〔1249-３・91〕

鈴木茂嗣編

宮本英脩著作集　補巻

Ａ５判上製236頁／7000円

宮本英脩著作集の最終巻。著作集としては異例のことであるが，宮本博士の人柄やその学説等について論じた10編の論稿を収録した。いずれも宮本博士の業績を理解する上で逸することのできない論稿である。

〔1372-４・95〕

西原春夫著

成文堂選書40

刑法の根底にあるもの〔増補版〕

４６判上製218頁／2300円

本書は一粒社の企画した「現代法律学の課題」の一環として1979年に出版されたものであった。このたび版権が成文堂に移ったのを機会に，元の論述にどうしても訂正を加えなければならない部分には注をつけ，巻末に「法律学を学ぶ意義」と題する講演の再現を登載し，増補版として出版することとした。

〔1621-９・03〕

西原春夫著

交通事故と信頼の原則

Ａ５判上製396頁／3000円

「信頼の原則」に関するドイツと日本の判断を模索して数年を過された著者が，遂に「信頼の原則」の体系化とその理論づけを完成された。社会の動きを的確にとらえ，実務と理論とを架橋しようと意図し，これに成功した数少い研究成果であり，交通事犯における「信頼の原則」を民事にまで及んで集大成した労作。

〔1033-４・69〕

西原春夫著

犯罪実行行為論

A5判上製382頁／6000円

刑法学における最重要概念の一つである「犯罪実行行為」について，著者の長年にわたる研究を集大成。基礎理論のほか，原因において自由な行為，共犯，間接正犯等に関する諸論稿を含む。このテーマに関する学界の現状を知るうえで不可欠の文献である。巻末に曽根威彦教授による「解題」を付す。

〔1462-３・98〕

中山研一著
成文堂選書41
刑法の基本思想〔増補版〕
4 6 判上製280頁／2500円

本書は一粒社が企画した叢書「現代法律学の課題」の一冊として1979年に出版されたもので，すでに絶版となっいた。このたび版権が成文堂に移ったのを機会に，これを再現するとともに，最後に「補論」として刑法学の最近の問題状況について書いた論文を加えて，増補版として出版することにした。〔1624-3・03〕

中山研一著
大塚刑法学の検討
A 5 判上製392頁／3000円

本書の内容と構成は，大塚教授の「犯罪論の基本問題」(有斐閣)を素材にして，その内容を客観的に要約したあと，これに必要なコメントをつけるという形で，大塚説の現状をできるだけ正確に理解するための解説をし，その批判，検討をしたものである。〔1025-3・85〕

中山研一著
刑事法研究第二巻
刑法改正と保安処分
A 5 判上製232頁／3000円

賛否両論はげしい保安処分の問題については，これまで必ずしも論議がかみあわず，感情論の介入によって冷静な判断が妨げられるおそれも存在した。本書は問題の所在を整理し，全体の見通しを与えることにより今後の論議の為の素材を提供するとともに，これに必要な著者のコメントを加えたものである。〔1228-0・86〕

中山研一著
刑事法研究第六巻
刑法諸家の思想と理論
A 5 判上製216頁／4300円

《主な内容》牧野英一の刑法理論／宮本刑法学の一考察／竹田刑法学の特色と基本思想／植田博士の共犯論について／佐伯博士の共犯論について／中刑法理論と特色／福田刑法学の一考察／吉川刑法学の一考察／藤木教授の刑法学／平場安治「刑法学における私の立場」(紹介)〔1383-X・95〕

中山研一著
刑事法研究第七巻
ビラ貼りの刑法的規制
A 5 判上製242頁／5000円

本書は電柱その他の工作物にビラやポスターを貼り，立看板などを掲出する行為が警察によって取締られ，刑事責任を科されるといった場面において生ずる論争点を，実際に発生した刑事事件に即して検討したものである。軽犯罪法および屋外広告物条例違反として問題になる場面の刑法的な論点をほぼカバーする。〔1428-3・97〕

中山研一著
刑事法研究第九巻
判例変更と遡及処罰
岩教組事件第二次上告審判決を契機に
A5判上製220頁／4500円

岩手県教組同盟罷業事件の論争点を他の関連する事件とともに分析し，「あおり」罪に関する判例変更の経緯にまでさかのぼった上で，「判例変更と遡及処罰」をめぐる問題が出現した経緯と現在の到達点を明らかにするもの。学説の動向についても検討。〔1601-4・03〕

中山研一著
刑事法研究第11巻
心神喪失者等医療観察法案の国会審議
法務委員会の質疑の全容
A 5 判上製226頁／3800円

本法による問題点解明のために立法過程の論議をまとめたものである。〔1699-5・05〕

中山研一著
刑事法研究第12巻
違法性の錯誤の実体
A5判上製302頁／5000円

故意説の立場から，これまで「違法性の錯誤」として構成されてきた事案の多くは実際には「構成要件の違法な事実」あるいは「違法性阻却事由の前提となる事実」の錯誤として再構成し得るのではないかという批判的視点で，これまでの判例を整理し，詳しく検討したもの。〔1781-2・08〕

中山研一著
刑事法研究第13巻
21世紀の刑事立法と刑事裁判
A5判上製274頁／4800円

第１章「刑法の一部改正について」，第２章「『共謀罪』法案の何が問われているのか」，第３章「公務員の政治活動に対する罰則について」，第４章「戸別訪問罪等の性格と保護法益」，第５章「裁判員制度導入までに確認しておきたいこと」。
〔1847-５・09〕

中山研一著
刑事法研究第14巻
佐伯・小野博士の「日本法理」の研究
A５判上製216頁／4500円

佐伯博士が戦後の教職追放決定に対して詳しい反駁文を書かれているのを知ったことが契機となって，それまで一種のタブーとして正面から触れられることがなかった，戦前の佐伯博士の「日本法理」の思想と理論を検討したもの。
〔1909-０・11〕

大谷實著
刑事法学研究第１巻
刑法改正とイギリス刑事法
A５判上製224頁／2000円

本書はイギリス刑事法の現代的課題にかかわる論文数篇を収めわが国の刑事法改正論議および実定法研究に貢献しようとする示唆に富む労作。
〔1039-３・75〕

大谷實著
刑事法学研究第２巻
刑事責任論の展望
A５判上製230頁／2800円

著者が過去数年にわたって発表した論文や集録するもので，責任論に関するものを中心とする。ややもすると学説の対立に関する研究が幅をきかせる傾向がある刑法学において，その対立を克服することを目指す著者の研究の方向性を窺うことができる論文集である。
〔1040-７・83〕

大谷實著
刑事法学研究第３巻
刑法解釈論集Ⅰ
A５判上製204頁／2800円

《主な内容》　刑法を学ぶ視点／刑法の解釈／不作為犯／因果関係の錯誤／違法性／現代の責任論／原因において自由な行為／法定的符号説弁護／事実の錯誤と適系／過失の諸相／着手未遂と実行未遂／間接幇助
〔1041-５・84〕

大谷實著
刑事法学研究第５巻
刑事司法の展望
A５判上製252頁／5500円

著者が過去10年間に発表した刑法，刑事訴訟法，刑事政策に関する講演と論文13篇を収録した論文集。著者の基本的立場を踏まえて，刑事司法の将来を明快に展望した著書として，学生・研究者・実務家にとって有益。
〔1488-７・98〕

大谷實著
刑事責任の基礎〔訂正版〕
A５判上製250頁／1500円

人格責任主義の立場から，その理論的変遷は，刑法学と科学と法則性が採り入れられた歴史を示すものであって，この延長線にこそ刑法学の歩むべき道があるのではなかろうか，ということを基点とし，刑法学の根本に横たわる命題にアプローチする。
〔1057-１・77〕

川端博著
刑事法研究第六巻
定点観測 刑法の判例
1996年度～1998年度
A5判上製284頁／6000円

本書は，各年度に公刊された最高裁判例及び下級審判例を，定点観測の手法で著者の立場から一定の論点について年度別に整理し，判例上の位置づけを明らかにする研究書である。本書では，各年度の判例群の検討による「共時的」多様性の追求と検討作業の継続による「通時的」傾向の抽出が試みられている。
〔1516－6・00〕

川端博著
刑事法研究第七巻
共犯論序説
A5判上製270頁／6000円

本格的な共犯論研究の助走のための覚書である本書は，①二元的人的不法論の共犯論への反映，②「一部実行の全部責任の原則」の個人主義的把握，③共犯における違法性の「相対化」，④「正犯と共犯の区別」における実行行為性の重要性，⑤「身分犯と共犯」における身分犯の特殊性等を追究する。〔1548-4・01〕

川端博著
刑事法研究第八巻
定点観測刑法の判例
1999年度～2000年度
A5判上製340頁／7000円

本書は，1999～2000年度に公刊された最高裁判例及び下級審判例を定点観測の手法で著者の立場から一定の論点について年度別に整理し，判例上の位置づけを明らかにする研究書である。各年度の判例群の検討による「共時的」多様性の追求と検討作業の継続による「通時的」傾向の抽出が試みられている。〔1741-X・06〕

川端博著
刑事法研究第九巻
事実の錯誤の理論
A5判上製258頁／6000円

本書は，刑法における「事実」の錯誤の取扱いに関する基礎的問題を理論的観点から総合的に研究した論稿をまとめ上げたものである。まず故意の実体論と認定論を考察したうえで「事実」のもつ意義を基礎に事実の錯誤の問題性を鋭く指摘し解決策を提示するとともに学説と裁判例を詳細に分析・検討する。〔1774-4・07〕

川端博著
刑事法研究第10巻
共犯の理論
A5判上製214頁／5000円

本書は，共犯に関する論文等を収録するものであり，著者が『共犯論序説』（刑事法研究第七巻）において提示した萌芽的主張を理論的に深めて発展させたものである。共同正犯，教唆犯および幇助犯（従犯）の諸問題について，判例・通説の立場である二元的人的不法論の見地からの理論的徹底を図っている。〔1812-3・08〕

川端　博著
刑事法研究第11巻
風俗犯論
A5判上製214頁／5000円

風俗犯は，社会の変化と連動してその当罰性に変容が生じる犯罪である。ある時は大目に見られ，ある時は厳しく取締まれ禁圧されることになる。表現の自由や意思決定の根幹にかかわる風俗犯について，制度論の観点から新たな捉え直しを提唱する本書は，これからの風俗犯研究の新たな視点を提供する。〔1852-9・09〕

川端博著
刑事法研究第12巻
定点観測刑法の判例
2001年度
A5判上製274頁／6000円

本書は，2001年度に公刊された最高裁判例及び下級審の裁判例を定点観測の手法で著者の立場から一定の論点について整理し，判例上の位置づけを明らかにする研究書である。2001年度の判例群の検討による「共時的」多様性の追求と従前の判例の検討作業の継続による「通時的」傾向の抽出がなされている。〔1913-7・11〕

川端博著
刑事法研究第13巻
責任の理論
A5判上製226頁／6000円

本書は，刑法における「責任」の概念を明らかにするとともに責任主義の意義と機能を理論的見地から緻密に検討し，その具体的発現形態としての原因において自由な行為などの問題点を考察し，哲学や社会学などの人文・社会科学の見地から総合的に究明すべきことを主張し，制度論に基づく試論を提示する。〔1943-4・12〕

川端博著
刑事法研究第14巻
人格犯の理論
A5判上製354頁／7000円

多義的な「人格」概念を分析・整理した上で，従来の犯罪類型を「人格犯」として捉え直して多層的な観点から総合的に考察する。人格犯の特質を解明し新たな理論的展開を試みる研究書。

〔5111-3・14〕

川端博著
刑事法研究第15巻
事例思考の実際

刑法における「事例思考」の意義を明らかにし，多くの事例を基礎として問題の所在，その問題をめぐる学説・判例を分析して罪責問題の解決策を示し，「事例思考」の実践例を提示する。

A5判上製392頁／7500円　〔5140-3・15〕

川端博著
刑事法研究第16巻
刑法特別講義・講演録

刑法における重要論点について，実際に実施した特別講義をライブ感覚で再現した講義録と，様々な機会に求められるままに分かりやすく情熱をこめて語りかけた講演を再現した講演録。

A5判上製540頁／10000円　〔5168-7・16〕

川端博著
刑事法研究第17巻
賄賂罪の理論

社会学者・文化人類学者マルセル・モースの『贈与論』の詳細な検討を通して，「贈与」を基礎にしてみとめられる「事実上の返礼義務」概念を基礎に，賄賂罪の理論的把握を試みる意欲作。

A5判上製370頁／7000円　〔5193-9・16〕

川端博著
刑事法研究第18巻
宮城浩藏の人と刑法思想

明治時代初期のわが国の刑法学の第一人者であり，学者および実務法曹として活躍した宮城浩藏の人となりと彼の思想および刑法理論を明らかにし，その業績を顕彰する。

A5判上製398頁／8000円　〔5234-9・18〕

川端博著
刑事法研究第19巻
未遂犯の理論

制約原理としての「因果性と帰属生」が，科学的知見を基礎として，未遂犯の諸局面においてどのように現れるのかに重点を置いて未遂犯の問題点を検討し，未遂犯の理論化を図る。

A5判上製554頁／12000円　〔5270-7・19〕

川端博著
刑事法研究第20巻
刑事時間論序説

従来，刑事法学において断片的に考察されてきたに過ぎない時間論について，法律問題に関連する限度で検討し，「刑事時間論」を「制度化された時間」という観点から展開する。

A5判上製432頁／8500円　〔5312-4・20〕

川端博著
刑事法研究第21巻
刑事法の問題群 I

「刑法・特別刑法編」「刑事訴訟法編」「刑事政策等編」の三部構成で，「刑事法」に関連する諸論点について考察した論文，判例評釈，各種意見・報告などを領域ごとに整理し纏めた論文集。

A5判上製472頁／9000円　〔5328-5・21〕

川端博著
刑事法研究第22巻
刑事法の問題群 II

第Ⅰ巻のつづき。

A5判上製456頁／9000円　〔5329-2・21〕

川端博著
刑事法研究第23巻
死因究明の制度設計
A5判上製608頁／13000円

わが国の死因究明制度の現状と問題点を総合的な観点から多角的に分析・検討。死因究明制度の在るべき姿」を「制度設計」という観点から考察する。〔5398-8・23〕

森下忠著
国際刑法研究第六巻
犯罪人引渡法の理論
A 5 判上製260頁／6000円

犯罪人引渡法における相互主義，双方可罰主義，政治犯罪の概念，特定主義，自国民不引渡しの原則，犯罪人引渡しと死刑，犯罪人引渡法における仮逮捕という基本的諸問題につき，第２次大戦後，新たに登場した理論と解決策を学説，条約，立法例，実務の各観点から丹念に検討し，併わせて自説を展開した世界的水準の書〔1314-７・93〕

森下忠著
国際刑法研究第八巻
犯罪人引渡法の研究
A5判上製328頁／6000円

EU 犯罪人引渡条約，立法例，学説等から得た知見に基づき，伝統的な犯罪人引渡法の伝統的諸原則の修正を提唱したほか，チリの元大統領ピノチェトの引渡事件，北朝鮮による日本人拉致事件等の国際法犯罪につき，国際刑事法学の最新理論を取り入れて時効，恩赦，免責特権等の不適用を主張した注目の書。〔1637-5・04〕

森下忠著
国際刑法研究第九巻
刑法適用法の理論
A 5 判上製296頁／6000円

わが国で久しく未開拓であった刑法適用法の分野につき，古代ギリシア，ローマから近代に至るまでの歴史的発達の跡をたどり，属地主義，属人主義，保護主義，世界主義について，最近の立法例や国際条約の動向を参考にして各所で新理論を展開した。中でも，世界主義に関する著者の所説は白眉である。〔1702-9・05〕

森下忠著
国際刑法研究第十巻
国際刑法学の課題
A5判上製298頁／6000円

1998年７月に採択された国際刑事裁判所条約（ローマ規程）における適用法，罪刑法定主義，個人の責任，国際刑法における正当防衛，緊急避難と強制，一事不再理，時効の不適用，ジェ，サイドの罪，人道に対する罪等の基本課題，さらに国際化された国内刑事法廷の問題をわが国で最初に論じた注目の書。〔1745-４・07〕

森下忠著
国際刑法研究第11巻
国際刑事裁判所の研究
A 5 判上製338頁／6500円

最も重大な国際犯罪を裁くために創設された国際刑事裁判所（ICC）の管轄権，補完性の原則，予審，刑事手続，証拠法則，国際司法共助等にかかる諸規定につき，国際刑事法学の立場から，綿密な分析と論述をした学術書。わが国における国際刑事法学の世界的水準を示すパイオニア的業績である。〔1840-６・09〕

森下忠著
国際刑法研究第12巻
国際刑法の新しい地平
A 5 判上製300頁／6000円

国際刑事法廷におけるハイブリッド法の誕生，刑事時効をめぐる諸問題，外国における証拠の収集，国際刑事司法共助における特定主義，自国民の犯罪人引渡し，偽装引渡しに関する論述は，理論と実務の両面に貢献するところ多大。EU の犯罪人引渡条約，刑事司法共助条約の紹介は，わが国にとって有益。〔1887-１・11〕

森下忠著
国際刑法研究第13巻
国際汚職の防止
A 5 判上製330頁／6500円

国際汚職の持続的防止を図る見地から国際汚職の構造を分析し，OECD 条約，欧州評議会の２条約，汎米条約，アフリカ連合条約を仔細に検討し，米法と英法の過酷な制度を批判。日本の企業，商社等が外国と商取引を行うに当たり当該国の法制，司法実務等を研究するための基礎資料を提供する貴重な力作。〔1930-４・12〕

森下忠著
国際刑法研究第14巻
諸外国の汚職防止法制

A 5 判上製406頁／7800円

国連の汚職防止条約の問題点を鋭く指摘するとともに，アジア，欧州，南米など主要15か国における汚職処罰規定について詳述し，企業の刑事責任問題，汚職の風土と原因，訴追制度について言及する。

〔1976-２・13〕

森下忠著
国際刑法研究第15巻
現代の国際刑事法

A 5 判上製326頁／6500円

集団的自衛権，共謀罪法案，特別捜査手法の導入など，現代の国際刑事法が直面する多くの課題を理論的に検討する。

〔5147-2・15〕

野村稔著
刑　法　研　究　［上巻］

A5判上製324頁／8000円

上巻では，主に著者の違法二元論の骨格をなす刑法規範論について論じ，下巻では，刑法上の主要な犯罪につき私見を明らかにし，経済刑法における重要論点にも言及する。

〔5170-０・16〕

野村稔著
刑　法　研　究　［下巻］

A5判上製420頁／8000円

〔5171-７・16〕

鈴木茂嗣著
犯罪論の基本構造

A 5 判上製498頁／9000円

事実認定における実体要件事実と認定要件事実とを区別して論じる必要性を説く二元的犯罪論の立場から，何が犯罪の実体要件事実かを明らかにすることこそが，実体的犯罪論の真の課題であることを鋭く指摘する。

〔1966-３・12〕

鈴木茂嗣著
二元的犯罪論序説〔補訂２版〕

46判上製132頁／2700円

著者年来の主張である「二元的犯罪論」の骨子を示そうとするもの。

〔5378-０・22〕

山口厚ほか編
実務と理論の架橋
刑事法学の実践的課題に向けて

A5判上製1028頁／24000円

実務と理論との対話を促進し，「実務刑法学研究」を継続・発展させることをめざした研究書。

〔5384-１・23〕

尾﨑道明著
刑事法の基礎理論

A 5 判上製196頁／4000円

検察官として長年にわたって刑事法の世界，それも理論の応用の世界の最前線で生きてきた経験をもとに，実証的・科学的な方法に基づく一貫した刑事法の基礎理論を展開する意欲作。

〔5297-４・20〕

明照博章・今村暢好編著

川端刑法学の歩み
主客反照性の視角から

A5判上製324頁／6000円

第１部　川端刑法学の歩み(概要)，第２部　川端刑法学の顕彰，第３部　川端先生の教育に関する顕彰，第４部　川端刑法学の歩みの意義づけ，第５部　客観的指標としての川端刑法学の歩み。

〔5351-3・22〕

小坂亮著

フランツ・フォン・リストの刑法理論

A5判上製312頁／6500円

刑法理論上は否定したはずの特別予防を量刑で考慮し，さらに行刑段階では肯定する通説は一貫しているのか。特別予防論と客観主義犯罪論により構成されるリストの刑法理論を検討する。

〔5344-5・21〕

飯島暢著

自由の普遍的保障と哲学的刑法理論

A5判上製274頁／6000円

自由の普遍的な保障を刑法において貫徹させるという問題意識の下，刑罰論と不法論において伝統的な刑法学の枠組みにとらわれず，法哲学的な知見を可能な限り受容しつつ展開する。

〔5169-4・16〕

山中敬一著

犯罪論の機能と構造

A５判上製260頁／5500円

現代社会において規範論的・体系論的に目的合理的な犯罪論はどうあるべきかという基礎視座に立って，刑法規範の行為規範性と制裁規範性の観点から犯罪論の方法論を一般的に論じ，かつ具体的解釈論につき危険判断の構造を軸にあるべき理論を提示する著者の最近の論稿をまとめた論文集。

〔1861-1・10〕

山口厚著

犯罪論の基底と展開

A５判上製250頁／5400円

これまで発表された論文の中から犯罪論に関する主要なものを選び収録したもの。著者の刑法理論体系構築のための試行錯誤の跡を示す貴重な一冊。

〔5402-2・23〕

関哲夫著

刑法解釈の研究

A５判上製340頁／6500円

刑法学者が関与しなかったとされる法解釈論争を考察し，同じく利益衡量的思考方法を採る機能主義刑法学と民法解釈学の利益衡量論とを比較することにより，厳格解釈の要請が支配する刑法解釈の特殊性を検討し，刑法解釈の限界設定の方法論，刑法解釈における論拠選択の恣意性とその克服の方法論を探る。

〔1724-X・06〕

高橋直哉著

刑法基礎理論の可能性

A５判上製336頁／6500円

自由に共通の価値を認める自律した理性的主体たる人格としての諸個人によって構成されている共同体において，刑法はいかなる役割を果たすであろうか，という視点から分析した論文集。

〔5242-4・18〕

高橋則夫著

規範論と理論刑法学

A5判上製568頁／10000円

実践的な規範学である理論刑法学と理論的な規範学である規範論の基礎を探究し，「行為規範と制裁規範」という規範論パラダイムから，犯罪論と刑罰論の重要問題を考察する。

〔5330-8・21〕

甲斐克則著

法益論の研究

「責任原理」の研究と並んで，著者の基礎理論研究の２本柱である「法益論」の研究に関する約40年に亘る論文をまとめたもの。

A5判上製298頁／6000円　〔5400-８・23〕

松原芳博著

行為主義と刑法理論

外界に対して作用を及ぼし，また行為者自ら選択可能なものである「行為」を刑罰の対象とする行為主義の見地から犯罪の構造を解明し，その要請を刑法解釈論に内在化させることを試みる。

A5判上製356頁／7000円　〔5314-８・20〕

仲道祐樹著

行為概念の再定位

犯罪論における行為特定の理論

近年，我が国の刑事判例に現れた「複数行為による結果惹起」の問題を契機として，抽象的な行為概念をめぐる議論から「行為の特定方法」に関する現実の問題解決を行うための実践的枠組みを導こうとする画期的試み。

A５判上製256頁／5000円　〔1967-０・13〕

伊藤亮吉著

目的犯の研究序説

主観的違法要素をめぐって行為無価値論と結果無価値論の対立点を明確化し，結果無価値論内部における違法観の違いを鮮明にしてきた目的犯の問題に新たな視点から鋭く切り込む論文集。

A5判上製374頁／6500円　〔5194-６・17〕

神山敏雄著

不真正不作為犯をめぐる過失犯

不真正不作為犯についての立法の進展が見られず，判例・学説の解釈論に委ねられてきた現状に対し，特に構造の複雑な不真正不作為過失犯について，立法論も踏まえて考察する論文集。

A5判上製256頁／5500円　〔5316-２・20〕

楊（ようしゅうや）秋野著

過失不作為犯の帰属原理

過失犯・不作為犯という両分野に跨がる過失不作為犯を取り上げ，その帰属原理と判断枠組みを明らかにする。

A5判上製322頁／6500円　〔5360-5・22〕

吉岡一男著

因果関係と刑事責任

条件関係の択一的競合事例で結果帰責を否定する論稿から，因果関係なしによる客観的帰属の否定と過失処罰の克服，故意犯処罰原則と未必の故意，責任能力，組織の犯罪といった刑事責任の基礎を論じ，謙抑主義や積極的一般予防と量刑，修復的司法，被害者対策など犯罪対応と刑事責任の具体化を扱う論文集。

A５判上製300頁／6500円　〔1740-1・06〕

曽根威彦著

刑法における結果帰属の理論

客観的構成要件において，違法評価の対象をどのように確定するのか。著者の「違法論研究」と連続性を成す本格的研究書。

A5判上製334頁／6500円　〔1956-4・12〕

曽根威彦著

刑事違法論の展開

A5判上製338頁／6500円

刑事違法理論史，刑法と憲法及び民法との違法論における関わりを論じたものなど，単に刑法解釈論にとどまらず理論刑法全体にわたる論説も収録する。『刑法における正当化の理論』『刑事違法論の研究』に続く違法論三部作の完結編。

〔1982-3・13〕

松本圭史著

刑法における正当化と結果帰属

A5判上製220頁／4500円

正当化事由をめぐる一連の問題に検討を加え，これを通じて，「結果」と「因果的帰属」に着目する結果帰属論的考察が正当化事由を検討する際の総論的視座の一つとなり得ることを示す。

〔5305-6・20〕

明照博章著

正当防衛権の構造

A5判上製314頁／6500円

違法性阻却事由としての正当防衛における「自然権」と「緊急権」という二つの側面の正当化原理が，正当防衛の成立を解釈する際にどのような形で具体化していくのかについて，種々の視点から詳細な検討を加えて解明に導く意欲作。

〔1972-4・13〕

明照博章著

積極的加害意思とその射程

A5判上製374頁／7000円

正当防衛における「侵害の急迫性」を否定する要件として，昭和52年最高裁判所決定において提示された「積極的加害意思」の概念とその射程の解明に取り組む意欲的論文集。

〔5200-4・17〕

山本和輝著

正当防衛の基礎理論

A5判上製270頁／5500円

正当防衛の積極的な基礎づけが十分に論じられてこなかった現状がもたらす弊害を除去し，正当防衛の限界が問われる事案を検討するための確固たる基盤を提供する。

〔5268-4・19〕

木崎俊輔著

相互闘争状況と正当防衛

理論と実務の交錯

A5判上製384頁／8000円

理論的な妥当性と実務的な必要性の両方に配慮し，判例の意義や相互の関係の適切な理解を前提とする裁判員裁判の要請に応えた事案の処理基準を示そうとする。

〔5386-5・23〕

津田重憲著

正当防衛と緊急救助の基本問題

A5判上製302頁／6000円

わが刑法36条1・2項およびドイツ刑法32条に規定された正当防衛に関する基本的なテーマについて，私見を展開する。また，これまで学界においてほとんど論じられることがなかった「緊急救助」（他人のための正当防衛）についても論及する。

〔1938-0・12〕

井上宜裕著

緊急行為論

A5判上製282頁／5600円

第三者保護をめぐって従来の緊急避難論が陥っていたジレンマを解消すべく緊急避難の法的性質を再構成した上で，緊急状況における正当化と免責の関係を分析。わが国では十分に論じられてこなかった緊急避難と免責の問題を解明し，一般的期待不可能性による不処罰に消極的な実務に一石を投じる一冊。

〔1769-0・07〕

齊藤信宰著

刑法における違法性の研究

A5判上製244頁／5000円

犯罪は構成要件に該当する違法で有責な行為であると定義づけられている。本書は，この犯罪を構成する三要素のうち，特に，構成要件と違法性の関係はどのように考えるべきであるか，また，両者は厳格に区別しうるのかということを違法性の実質を中心にして論じたものである。〔1605-7・03〕

齊藤信宰著

刑法諸問題の解釈

A 5 判上製294頁／5800円

行為，故意，違法性，共犯，結果的加重犯といった刑法の重要問題について，解釈の論理一貫性を追究した論文集。〔5141-0・15〕

振津隆行著

刑事不法論の研究

A 5 判上製314頁／5500円

本書は，著者が二〇年余にわたり研究のテーマとしてきた刑事不法論に関する論文のうち，４篇を収録したものである。そこでは，刑事不法論を巡る学説のうち，逐一論点を挙げ検討を加えた結果，いわば通説的帰結に至ったものや，クリース説の掘り起し，危険概念の検討等により，自説に至る道程が挙示されている。〔1412-7・96〕

振津隆行著

刑事不法論の展開

A5判上製214頁／6000円

本書は，前著『刑事不法論の研究』の続編に当たるものではあるが，内容的には古い論文から最近に至るまでの諸論文が収録されており，前半部分の論文等は学会の欠缺を埋めるものであり（第１章，第２章等），後半部分は比較的新しい論文や新説等をも唱導したものをも含む論文集である。〔1639-1・04〕

振津隆行著

刑事不法論の再構成

A5判上製198頁／5000円

結果無価値論の立場から違法論の再構築を試みる意欲的研究書。〔5157-1・15〕

振津隆行著

抽象的危険犯の研究

A5判上製164頁／3500円

抽象的危険犯論につき，これまで未整理だったドイツの諸学説を整理して，批判・検討を加えたうえで，さらにわが国の議論状況を呈示して，私見を展開した。抽象的危険犯論に関する本格的な研究書である。〔1782-９・07〕

振津隆行著

過失犯における主観的正当化要素の理論

A 5 判上製182頁／4000円

本書は，従来わが国でほとんど論じられてこなかった過失犯においても主観的正当化要素が必要か否か，必要とした場合その内容いかんにつき，もっぱらドイツの判例・学説に依拠して問題の焦点を分析・検討した研究書である。〔1932-８・12〕

須之内克彦著

刑法における被害者の同意

A 5 判上製300頁／6000円

「同意」という被害者の意思ないし態度が犯罪の成否にいかなる影響を及ぼすかにつき，日・独の議論を通じて，その基本的な論点の検討を行い，さらに，住居侵入，同意殺のような個別犯罪類型やスポーツ傷害の分野などに考察を加えることにより，現代社会において刑法の担うべき役割を改めて問い直す。〔1640-5・04〕

佐藤陽子著

被害者の承諾

各論的考察による再構成

A 5 判上製318頁／5800円

刑法における被害者の承諾は，犯罪阻却根拠の相異に基づいて，3つに区別することができる。そして，かかる3つの承諾は，その犯罪論体系上の地位，あるいは成立要件をも異にするものである。本書は，刑法各則の様々な構成要件を詳細に検討することにより，上記三元説の根拠と正当性を導くものである。〔1904-5・11〕

吉田敏雄著

刑法理論の基礎VI

被害者の承諾

A 5 判並製182頁／3000円

犯罪理論体系上，構成要件が不法に位置づけられる「被害者の承諾」を巡る諸問題を扱う。できる限りドイツ語圏刑法学における当該問題の理論状況を追跡することにより，日本刑法学の理論状況を鮮明にし，日本刑法の各学説の位置価値を明らかにしようとする。〔5260-8・18〕

天田悠著

治療行為と刑法

A 5 判上製530頁／12000円

「治療行為」という問題領域に，刑法理論のフィルターをとおして基礎理論的検討を加える。医療にまつわる法的諸問題を解決するための基本的指針を与えようとする研究書。〔5231-8・18〕

林弘正著

先端医療と刑事法の交錯

A 5 判上製304頁／6500円

非侵襲的出生前遺伝学的検査（NIPT）の導入を契機に先端医療に内在する倫理的問題を凝眺し，わが国の状況について日本産婦人科学会等の対応を中心に刑事法的視点から考察する。〔5237-0・18〕

竹川俊也著

刑事責任能力論

A 5 判上製318頁／7000円

規範的責任論から演繹的に導出された「精神の障害」および弁識・制御能力という従来の枠組みの中での議論は，観念的な色彩が強く，実際の判断場面で機能しないのではないかとの疑念が抱かれる。こうした問題意識から，実践に耐えうる実体要件の構築を目指す。〔5262-2・18〕

浅田和茂著

刑事責任能力の研究　下巻

A 5 判上製464頁／8000円

上巻では主としてドイツの刑事責任能力論の展開が扱われた。本巻では，わが国における歴史の一端の検討と著者の責任能力論に続いて，原因において自由な行為，責任能力と精神鑑定，責任と予防の各テーマにつき，ドイツの議論も参照しつつ，責任主義の貫徹という立場から理論的検討がなされている。〔1512-3・99〕

城下裕二著

責任と刑罰の現在

A 5 判上製422頁／8000円

責任論・罪数論・量刑論・刑罰論の「現在」を特徴づけるテーマを採り上げ，それに関連する判例および学説に現れた諸見解をめぐって，理論刑法学の視点に基づいた再検証を試みる。〔5293-6・19〕

香川達夫著

新錯誤論

A 5 判上製290頁／6000円

刑法における錯誤論に関して，日独の論争が絢爛百花の相を呈するのに対して，英米法制は比較的淡泊であるという現状を踏まえて，錯誤論争の簡素化を模索する。〔5255-4・18〕

林弘正著

相当な理由に基づく違法性の錯誤

A 5 判上製356頁／6500円

刑法改正事業の成果として改正刑法假案一一条二項に規定され，その後改正刑法草案二一条二項に結実した「相当な理由に基づく違法性の錯誤」という視点から，違法性の錯誤事例における学説と判例の乖離を止揚する。

〔1937- 3 ・12〕

松原久利著

違法性の錯誤と違法性の意識の可能性

A 5 判上製352頁／7000円

本書は，責任説の理論的基礎を再確認したうえで，故意・期待可能性・責任能力・罪刑法定主義と違法性の意識の可能性との関係，仮定的判断・事前責任としての違法性の意識の可能性の検討を通じて，違法性の錯誤の問題領域を明確にして，さらに違法性の意識の可能性判断の明確化を目指したものである。

〔1726-6 ・06〕

山中敬一著

中 止 未 遂 の 研 究

A5判上製350頁／7000円

中止未遂の減免根拠につき，法律説と刑事政策説の犯罪論体系の中での融合を図り，可罰的責任減少説を規範論から根拠づけるとともに，「中止行為」の要件論を展開し，「任意性」の要件論をも新たな視座から分析する中止犯論に関する著書の長年の研究を集大成した本格的論文集。

〔1550-6 ・01〕

金澤真理著

中 止 未 遂 の 本 質

A 5 判上製278頁／5000円

本書は，中止未遂の特別の効果を根拠づける議論と中止未遂の成立範囲を画定する議論とを整理・区分したうえで，ドイツの判例・学説において論点となった諸事例を手がかりとして，比較法的手法を用いて未遂犯の処罰根拠との関連でその理論的構造を明らかにし，中止未遂の成否の基準を得ようとする。

〔1712-6 ・06〕

野澤充著

中 止 犯 の 理 論 的 構 造

A 5 判上製558頁／9000円

「なぜ未遂犯についてだけ『中止犯』という優遇制度が定められていて，なぜそれが既遂犯を含めた犯罪行為全体に対する制度となっていないのか」という問題に答えることにより，未遂犯と中止犯の理論的な関係構造を明らかにし，それによって混迷する中止犯論に対して，あるべき真の解決策を与える。

〔1933- 5 ・12〕

中野正剛著

未 遂 犯 論 の 基 礎

学理と政策の史的展開

A 5 判上製348頁／7000円

明治期に導入されたフランス刑法学の理論状況が，「未遂犯」に対する犯罪化の根拠や刑の量定に関わる議論の中で現れてくることを明らかにする研究書。

〔5130-4 ・14〕

関哲夫著

中止未遂における点と線

A 5 判上製200頁／4500円

学説・実務が構成要件論から決別し，「構成要件による類型的思考法」から「犯罪法律要件論による要件的思考法」への転換を図るべきとの主張を基に纏めた論文集。

〔5369- 8 ・22〕

原口伸夫著

未 遂 犯 論 の 諸 問 題

A 5 判上製428頁／6000円

実行の着手論，中止未遂論，不能犯論という未遂犯論のひとつひとつの問題について，わが国の学説・判例の現状を正確に描き出し，その解釈・判断基準を提示しようと試みる研究書。

〔5235- 6 ・18〕

吉田敏雄著
刑法理論の基礎Ⅲ
未遂犯と中止犯

A5判並製236頁／2400円

未遂犯，不能犯及び中止犯の領域について，日本刑法学のみならずドイツ語圏刑法学の学説・判例についても詳述する。刑法を詳しく学びたい人や比較法的に考察したい人のための教科書。

〔5112-0・14〕

吉田敏雄著
刑法理論の基礎Ⅳ
懲罰社会と刑法

A5判並製218頁／2400円

「刑事法政策」を自由主義，民主主義及び社会連帯主義という視点からいかに進展させるべきかという問題関心から，現今の国の刑事法政策を批判的に考察する。『刑法理論の基礎』第4巻。

〔5129-8・14〕

吉田敏雄著
刑法理論の基礎Ⅱ
不真正不作為犯の体系と構造

A5判並製216頁／2100円

不真正不作為犯の諸問題を，行為形態，構成要件，違法性，責任の順に体系的に論じた後，過失の不真正不作為犯及び共犯をも論ずる包括的著作。内外の重要学説・判例を詳細に検討しているので，刑法を初めて学ぶ方ばかりでなく，本格的に学びたい方にも有益な情報を提供している。

〔1883-3・10〕

吉田敏雄著
刑法理論の基礎Ⅴ
責任概念と責任要素

A5判並製284頁／3500円

日本の刑法学の発展に大きな影響を与えたドイツ語圏刑法学の現在に至る進展状況を追跡し，犯罪論体系の最後を飾る「責任」の領域を扱う。『刑法理論の基礎』第5巻。

〔5177-9・16〕

岩間康夫著
製造物責任と不作為犯論

A5判上製216頁／4500円

欠陥製造物の使用により消費者等の市民に被害が生じた場合の当該製造物の製造者の犯罪を理由とする法的責任がどこまで認められるかを，製造者等の製品回収義務の根拠と限界の問題を中心に，従来の刑法理論との整合性を念頭に置きつつ検討する。

〔1860-4・10〕

榎本桃也著
結果的加重犯論の再検討

A5判上製366頁／6500円

結果的加重犯にまつわる諸問題を総合的に扱う。近年の日独における判例・文献を渉猟し，これらについて検討するとともに，刑法の基礎理論に基づいた解釈論によってこそ，それぞれの問題領域に整合的な帰結をもたらされるということを再確認する。

〔1916-8・11〕

甲斐克則著
責任原理と過失犯論〔増補版〕

A5判上製272頁／4200円

本書は，実質的責任原理の観点から過失犯論を再構成しようとする本格的研究書である。とりわけ人間存在の本質に根差した責任原理の基礎づけから過失責任の意味を問い直し，具体的予見可能性の判断構造，「認識ある過失」と「認識なき過失」の区別，過失犯の共同正犯等の問題に理論的メスを入れている。

〔5277-6・19〕

松宮孝明著
刑事立法と犯罪体系

A5判上製328頁／5000円

刑法の創造的な発展は，様々な問題を体系化することで初めて可能となる。本書は，グローバルに進行する刑事立法の時代に立法批判の視点を提示し，刑法解釈と刑事立法とにおける犯罪体系の意義を再構築するものである。同時に，随所に挟まれたコラムによって，読者は楽しみながら刑法を学ぶことができる。

〔1613-8・03〕

松宮孝明著

刑事過失論の研究〔補正版〕

A5判上製400頁／5500円

ドイツをモデルとした過失犯論の変遷過程を追い,「許された危険論」と「信頼の原則」のドイツ実務における展開を概観し，次に「注意能力」や「予見可能性」の概念を手掛りにして過失責任の基礎を探る。最後に基礎理論の応用部分として,「管理・監督責任」の展開の影響を受けて，火災責任を主として検討する。〔1667-7・04〕

米田泰邦著

刑事法研究第四巻

管理監督過失処罰

A 5 判上製264頁／6000円

『可罰的評価』や『機能的刑法』などで一貫して追求してきた手続的可罰評価に及ぶ非犯罪化を,過失犯の基本に触れる組織体モデルの動的過失犯論と信頼・分業の原則を提唱し,見逃された最高裁判例も発掘して,抑制の乏しい日本の管理監督過失処罰の場に移し,国際水準の謙抑的刑罰運用の実現を目指した著者の管理監督過失処罰限界論を集約した類例の乏しい実践的な理論書。〔1927-４・11〕

半田祐司著

不法問題としての過失犯論

A 5 判上製220頁／4500円

結果無価値論と行為無価値論の対立場面が具体的に生じた過失犯論に注目して，初期の過失理論からの変遷を追った論考である。旧来の見解では専ら責任に位置づけられていた過失が違法領域で展開されるに至った理論的経緯のなかで,「許された危険」の理論が果たした役割を重視した労作。〔1825-３・09〕

西田典之著

共犯理論の展開

A 5 判上製452頁／6300円

刑法学の様々な論点と関連し，刑法における「暗黒の章」とも称されてきた共犯論において，因果的共犯論と制限従属性の概念を機軸に一貫した理論を「展開」した書。必要なテーマについて，判例や学説の動きが付記されたことで，現在までの判例・研究の進展も見て取ることができる。〔1896-３・10〕

西田典之著

新版　共犯と身分

A5判上製368頁／6000円

大変好評を得た，昭和57年に公刊した『共犯と身分』を軸に，他に執筆した論文を収録して，迷路といわれる共犯論の中にあって，とりわけ解決困難とされてきた共犯と身分の問題について，刑法65条の合理性自体に批判の目を向けるという新しい視点から根本的検討を加えた注目の書。〔1597-２・03〕

外木央晃著

共犯の基礎理論

A5判上製424頁／8500円

ドイツ刑法学から得られた知見をわが国の刑法学の脈絡に引き直して，共犯論上の諸問題に検討を加え，妥当な解決のための理論的基礎を提示する。共犯の本質と構造を明らかにする論文集。

〔5259-２・18〕

曲田統著

共犯の本質と可罰性

A5判上製280頁／5500円

第１部では，共同正犯の本質における共同意思主体説の妥当性を展開し，第２部では，教唆犯と従犯の本質的な相異に向きあい，それぞれの特性に応じた取扱いをすべきことを主張する。

〔5289-９・19〕

阿部力也著

共同正犯の構造

A5判上製260頁／5500円

共同正犯の「正犯性」を「共同正犯の構造」から闡明にし，まさに正犯であるという点から共同正犯を特徴づけている「一部行為の全部責任」の原則を説明することを目的とする論文集。

〔5385-８・23〕

香川達夫著

身分概念と身分犯

A5判上製258頁／5200円

第1章「身分概念への反省」，第2章「身分概念と継続性の要否」，第3章「身分犯と二個の宿題」，第4章「免責事由としての親族」の構成で，身分概念の検討を試みる。

〔5113-7・14〕

十河太朗著

身分犯の共犯

A5判上製372頁／6500円

身分者の身分が非身分者に連帯的に作用する場合と個別的に作用する場合との区別基準を明らかにし刑法65条の1項と2項の関係を研究した著者渾身の論文集。

〔1834-5・09〕

豊田兼彦著

共犯の処罰根拠と客観的帰属

A5判上製206頁／4000円

共犯の処罰根拠論を踏まえた上で必要的共犯等の共犯の個別問題の検討に入り，さらに客観的帰属論を共犯論に応用して共犯の新たな理論枠組みの構築を目指す。本書は，従来の因果主義的な共犯論に対する問題提起の書であり，客観的帰属論の意義について共犯論を通じて考えてみるという試みでもある。

〔1826-0・09〕

内海朋子著

過失共同正犯について

A5判上製296頁／6500円

従来の過失共同正犯に関する議論について，概念的な成立可能性と処罰の妥当性とを切り分けて考察し，共同正犯における一部実行全部責任の帰責形態根拠を共同行為における特殊な危険に求めて，過失犯におけるその導入可能性を検討した意欲作。

〔1988-5・13〕

香川達夫著

自手犯と共同正犯

A5判上製218頁／4500円

最高裁平成13年10月25日決定から始まって，さらに，偽証罪に関する昭和9年の大審院判決におよび，それらとの関連で自手犯と共同正犯の成否・課題を追究する。

〔1952-6・12〕

市川啓著

間接正犯と謀議

A5判上製240頁／5000円

正犯論に深く関わる間接正犯および謀議に関する研究書。第一部では間接正犯論を，第二部では謀議と重罪合意罪を，第三部では大逆罪における謀議をテーマとする。

〔5327-8・21〕

小島秀夫著

幇助犯の規範構造と処罰根拠

A5判上製268頁／4500円

幇助犯の構造や処罰根拠，その可罰性の限界について，規範論・故意論の観点から探究する。法益保護と法治国家的原理から真の問題を明確化し，論理的一貫した結論を提示する。

〔5137-3・15〕

小早川義則著

共謀罪とコンスピラシー

A5判上製594頁／8000円

話題の「共謀罪」の原型はいゆる東京裁判で東条英機元首相らA級戦犯を断罪するために活用された英米法に特有のコンスピラシーであるが，その後の学界レベルでの研究は不十分である。本書はわが国で初めてその理解がすこぶる困難なコンスピラシー法の全容を体系的に明らかにした必見の基本書である。

〔1807-9・08〕

林弘正著

改正刑法假案成立過程の研究

A5判上製548頁／7000円

本書は，昭和初年度におけるわが国の刑法改正事業についての現行法研究者による法制史的知見をも加味した本格的論文集であり刑法改正論議の必読の書である。貴重な初出の資料に基づく実証的手法により改正刑法假案成立過程を分析するとともに姦通罪および常習犯について検討するモノグラフィーである。〔1632-4・03〕

立石二六著

刑法解釈学の諸問題

A 5 判上製338頁／6000円

著者40年に及ぶ刑法解釈学の論文の中から総論・各論重要テーマを選んで論文集として刊行。著者が継続発展させた学説からの正統な主張，判例に対する鋭い批判が生彩を放っている。精緻な論理展開・端正な文体は若い研究者の参考になろう。著者の体系書『刑法総論』との比較も興味深い。〔1953-３・12〕

山本雅子著

実質的犯罪論の考察

A5判上製290頁／5500円

本書の基本たる草野説はその基本思想が牧野説・小野説の中間に位置づけられる見解であり，顕著な主張は「共謀共同正犯論」にある。刑法理論の変革期ともいわれる現今，伝統的思考に今一度目を向けてみることで，理論の突然変異を避け，事物自然の論理性を追及すべく思索された基本書である。〔1764-５・07〕

曽根威彦著

現代社会と刑法

A5判上製324頁／6500円

現代社会に生起する様々な法的事象・問題について，刑法理論の見地から考察を加えたもの。

〔5101-４・13〕

石堂功卓著

現代社会と刑事法学

A5判上製248頁／5000円

刑事法学は，理論的な美を追求するものではなく実践に鍛えられつつ発展する現実的な学問である。現代社会の健全な刑事司法の発展には，判例と学説とが常に相却不離の関係で基本原理とその実践との調和を図る必要がある。それを目指して，21世紀における刑事法学のあり方を問う啓蒙書（尚志録）である。〔1643-X・04〕

園田寿著

情報社会と刑法

A 5 判上製190頁／3800円

猛烈な速度で進展する情報社会と古典的な刑法との間に生じたひずみ。刑法が想定しなかった新たな犯罪現象。本書は，ともすれば処罰の必要性に目を奪われ，拡張的な刑法解釈がなされがちな実務の傾向に対して，罪刑法定主義を堅持する立場から，あるべき刑事法的規制の方向を示す先駆的研究である。〔1890-１・11〕

松澤伸ほか著

裁判員裁判と刑法

A5判並製136頁／2000円

裁判員制度時代における刑法解釈および刑法適用のあり方，市民に求められる刑法の知識や考え方について，学界における最先端の研究成果を踏まえて，一般読者を対象に解説する入門書。

〔5238-７・18〕

丸山雅夫著

南山大学学術叢書

刑法の論点と解釈

A5判上製298頁／6000円

刑法総論と刑法各論の解釈論に関する12編をまとめたもの。著者の考え方が明確に示される。

〔5133-５・14〕

名和鐵郎著

現代刑法の理論と課題

二元的結果無価値論の提唱

A5判上製356頁／7000円

刑法の思想と理論における対立を総括し，二元的結果無価値論という独自の立場から，現代刑法における重要な諸問題について理論的に検討する。

〔5164-9・15〕

青木陽介著

包括一罪の研究

A5判上製380頁／7500円

包括一罪の現状認識を踏まえ，成立要件につき理論的な検討を行う。序章 問題の所在，第1章 包括一罪の基本的な枠組み，第2章 最高裁平成22年決定の検討，第3章 最高裁平成26年決定の検討，第4章 混合的包括一罪の成否，第5章 かすがい現象の問題。

〔5340-7・21〕

野村健太郎著

量刑の思考枠組み

A5判上製218頁／4000円

刑事裁判で有罪とされた被告人に言い渡すべき刑を決める手続（量刑）について，刑法学（刑法解釈学）の見地から，一定の思考枠組みを示そうとする。

〔5319-3・20〕

十河隼人著

量刑の基礎理論

A5判上製856頁／17000円

量刑における「行為責任の原則」を刑法理論の見地から徹底的に再考し，理論的裏づけを有すると同時に実務の説明又は建設的提案を提供しうる量刑の基礎理論を体系的に提示する。

〔5367-4・22〕

伊東研祐著

環境刑法研究序説

A5判上製246頁／3700円

自然環境の保護という優れて現代的な社会問題において刑法が果たす機能は如何なるものたるべきか，規範形成機能を有させるべきではないか，という問題提起に始まり，生態系中心主義に基づく法益の構成・行政従属性を放棄した環境刑法の構築，更には，国家機関処罰の可能性等を説く筆者の諸論稿の集成。

〔1611-1・03〕

今村暢好著

行政刑法論序説

A5判上製290頁／6000円

刑法はどこまで行政法理論に従属すべきか。行政刑法における刑法理論を構築するにあたり，刑法の原則と交錯する行政法理論を取り上げ，その特殊性をどこまで考慮すべきかを解明する。

〔5296-7・20〕

小谷利恵著

行政刑法

罰則と処分法則

A5判上製332頁／6000円

行政法規上の「罰則」は，いつ生まれたのか。なぜ，刑が多用されるのか。これまで明らかにされてこなかった「罰則」の成立と変遷を整理し，民主主義の時代において検討する。

〔5325-4・21〕

樋口亮介・深町晋也編著

性犯罪規定の比較法研究

A5判上製1072頁／15000円

世界の個別の法域担当者による日本法への示唆を追加すると共に，全体の解題及び法圏ごとの解題を付して読者の便宜を図る。性犯罪規定の改正が行われることを見越した共同研究の成果。

〔5315-5・20〕

伊東研祐著

組織体刑事責任論

A５判上製200頁／4200円

企業組織（法人）の刑事責任を両罰規定解釈論を通じて理論化しようとした企業組織体責任論に惹かれ，その最終的な自然人個人関連性を超克して「組織体刑事責任論」を展開しようと重ねた思索の記録。前著『環境刑法研究序説』と併せ，著者の理論刑法学にとっての「失われた20年」の意味を確認する。〔1954-０・12〕

岡野光雄著

交通事犯と刑事責任

A5判上製282頁／4700円

「道路交通法違反の諸問題」と「道路交通法と刑法との交錯」から構成されている。刑法の一般理論を重視する立場から道路交通犯罪を総合的に論じた研究書。学説・判例にも詳細に論及しており，実務にとっても示唆に富む有益な書。〔1748-５・07〕

川本哲郎著

新版 交通犯罪対策の研究

A5判上製298頁／6000円

危険運転致死傷罪をはじめとする自動車運転死傷行為処罰法の解釈，交通犯罪者・交通犯罪被害者に関連する諸問題等を検討。国民的関心の高い交通犯罪対策の在り方を追究する研究書。〔5313-１・20〕

甲斐克則著

海事刑法研究第一巻

海上交通犯罪の研究

A5判上製298頁／3500円

海洋国の日本ではこれまで多数の海難事故が発生したが，刑法的観点からこれを本格的に研究した書はなかった。本書は，船舶の衝突・転覆を中心とした海上交通事故について実態分析をし，過失犯理論の観点から検討を加え，艦船覆没・破壊罪について危険犯論の観点から検討を加えた初の本格的研究書である。〔1566-２・01〕

林弘正著

横領罪と背任罪の連関性

改正刑法假案の視座

A5判上製260頁／5200円

本書は，横領罪と背任罪の連関性についての実証的研究である。明治15年刑法及び明治40年刑法は，大陸法系をも視野に制定された。刑法改正事業は，改正刑法假案を作成し刑法全面改正を志向する昭和49年改正刑法草案に至り頓挫した。〔5363-6・22〕

上嶌一高著

背任罪理解の再構成

A5判上製308頁／5000円

第一編と第二編は従来議論の乏しかった背任罪の本質・背任罪の主観的要件である図利加害目的に関して理論的考察を試み，第三編では，実務上特に重要である商法上の特別背任罪の適用について，どの様な点が問題となりうるかを判例を中心に検討したもの。〔1458-５・97〕

関哲夫著

不正融資における借手の刑事責任

事実的対向犯説の提唱

A５判上製194頁／4500円

不正融資における借手の刑事責任，特に，（特別）背任罪の共同正犯の成否について，事実的対向犯説を維持したまま，統合して再構成しようとする研究書。〔5233-２・18〕

佐竹宏章著

詐欺罪と財産損害

A５判上製284頁／6000円

近時の詐欺罪に関する最高裁判例への疑問を手がかりに，詐欺罪の法制史的検討を踏まえた知見を基礎に，詐欺罪における構成要件的結果の意義及び判断方法を定式化する。〔5298-１・20〕

松宮孝明著

誤振込みと財産犯

「誤振込み」をめぐる議論の混乱を整理し，その背後にある財産罪の本質を明らかにして，「誤振込み」問題の解決策を示そうとするもの。

A 5 判上製270頁／5500円　〔5403- 9 ・23〕

大塚雄祐著

毀棄罪における効用侵害の内実

法益の要保護性の観点から毀棄罪における「損壊」等の概念について再検討を行い，毀棄罪の的確な処罰範囲を明らかにしようとする。

A 5 判上製244頁／5000円　〔5333- 9 ・21〕

関哲夫著

住居侵入罪の研究

本書は，住居侵入罪の保護法益に関して，行為の客体に応じて保護法益を個別化し多元化する「多元的アプローチによる多元的保護法益論」を展開し，従来の学説に新たな視点を導入する意欲的な書である。この見解の基礎には，法益概念そして機能主義的法益概念の諸相に関する著者独自の分析が潜在している。

A 5 判上製386頁／7000円　〔1359- 7 ・95〕

関哲夫著

続・住居侵入罪の研究

住居侵入罪の保護法益に関する多元的保護法益論の立場から，一元説，特に「純化された許諾権的住居権説」の批判に緻密に反論するとともに，従来充分に検討されてこなかった囲繞地，承諾意思の問題等の個別問題に関する学説・判例状況を精密に分析することによって，通説・判例に新たな視点を導入した書。

A 5 判上製268頁／5000円　〔1559-X・01〕

関哲夫著

國學院大學法学会叢書 1

続々・住居侵入罪の研究

立川自衛隊宿舎立入り事件・亀有マンション立入り事件で問題となった集合住宅における敷地部分・建物共用部分への立入りと住居侵入罪について，侵入領域，看守性，居住者・管理者の意思関係を主な問題軸にして，学説・判例の状況を整理・検討し，私見の立場から両事件の判例を批判的に考察した書。

A 5 判上製280頁／5000円　〔1940- 3 ・12〕

武田誠著

放火罪の研究

放火罪は公共危険犯であり，そのうち一〇八条，一〇九条一項は抽象的危険犯，一〇九条二項，一一〇条は具体的危険犯である，という判例・通説の解釈を分析したうえで，その解釈に対して疑問を提起し，更に「放火罪は個人の生命・身体に対する具体的危険犯」と捉えるべきである，という問題提起をする。

A 5 判上製172頁／5000円　〔1553- 0 ・01〕

閻冬（えんとう）著

賄賂規制と刑事法理論

時代の遷移とともに様相を変化させている賄賂行為について，中国と日本を両国の賄賂罪の比較研究を中心として，賄賂罪に関して，現代における刑事的規制の在り方を考究する。

A 5 判上製234頁／5000円　〔5324- 7 ・21〕

甲斐克則著

企業犯罪と刑事コンプライアンス

「企業刑法」構築に向けて

「企業犯罪の理論」「企業のコンプライアンス・プログラムと刑事規制」といった企業犯罪と刑事コンプライアンスの関係の研究に重点を置き，「企業刑法」の構築を目指す研究書。

A 5 判上製408頁／8500円　〔5246- 2 ・18〕

神山敏雄著
経済犯罪の研究第二巻
独禁法犯罪の研究
A5判上製350頁／7000円

経済犯罪論の観点から独禁法の全ての犯罪行為・秩序違反行為とサンクションを体系的に分析・検討した上で，摘発事件を通して入札談合罪及びその他のカルテル犯罪の本質と問題点を深く掘り下げて理論的に解明し，刑罰万能主義を排してその総合的・機能的対策を展開する我が国初の本格的研究書　〔1589-1・02〕

越知保見著
独禁法事件･経済犯罪の立証と手続的保障
日米欧の比較と民事・行政・刑事分野の横断的研究
A 5 判上製562頁／6500円

独禁法事件を中心に，違法行為に対するサンクションを行う場合の事実認定・立証，執行システムと手続的保障の問題を欧米との比較を踏まえ，民事・行政・刑事分野を横断的に論じる。企業の危機管理実務に携わる専門家必携の書。　〔2630-２・13〕

孫文著
中国の犯罪体系
A 5 判上製218頁／5000円

中華民国時代以来の中国の各時代の刑法総則の構成および犯罪論体系に関する議論の考察を通じて，中国の犯罪体系をめぐる諸問題を解決するための示唆を得ることを目的とする。　〔5287-５・19〕

末道康之著
フランス刑法の現状と欧州刑法の展望
A 5 判上製412頁／6000円

本書はフランス刑法解釈論上の諸問題及び欧州刑法の動向と展望に焦点をあてて検討した比較刑法研究書である。HIV 感染，胎児性傷害，不作為犯論，尊厳死法制，共犯論，再犯者処遇などを取り上げフランス刑法理論学の現状を検討した上で，欧州統合と欧州刑法の動向と展望について詳細に検討している。　〔1928-１・12〕

安藤泰子著
個人責任と国家責任
A 5 判上製304頁／6000円

幾多の挫折を余儀なくされながらもその法理念を連綿と継受させている歴史上最も深刻かつ重大とされる侵略犯罪について，その展開の歴史的経緯及び2010年６月に国際刑事裁判所規定に関する検討会議で明示された本罪の構成要件に刑法的視点から精緻な検討を加える最新の国際刑法の研究書。　〔1934-２・12〕

安藤泰子著
刑罰権の淵源
A 5 判上製680頁／14000円

国際刑法における国家とは異なる刑罰権概念の存在を実証的・多角的に論証し，また，国際刑法における罪刑法定主義の位置付けについても国内刑法におけるそれと比較し検討する。　〔5248-６・18〕

安藤泰子著
刑法の分化史
A 5 判上製800頁／17000円

主だった古代・中世国家社会で行われていた古法まで遡り，刑法の原初形態を明らかにすることによって，今世紀の国際刑法に至るその分化現象の連続性と刑法の同質性を歴史学上の先験科学に拠りながら検証する。　〔5395-７・23〕

安藤泰子著
公訴権と二元的刑罰権論
A 5 判上製400頁／8000円

明治期における治罪法を起点として展開された社会公訴権と，その後に台頭することとなった国家公訴権に関する考察を行い，国際刑法における刑罰権の行使形態について国家刑罰権と国際刑罰権の二元的刑罰権論を首唱し，同法に生じている諸問題を法理論上解決する。　〔5317-９・20〕

岡本洋一著
熊本大学法学会叢書14
近代国家と組織犯罪
A 5 判上製294頁／5000円

19世紀ドイツと近代日本における刑事法的規制の構造という歴史的視点から「近代国家と組織犯罪」との相関関係,「近代国家における組織犯罪」が意味するものを明らかにする研究書。
〔5211- 7 ・17〕

城祐一郎著
現代国際刑事法
国内刑事法との協働を中心として
A 5 判並製528頁／4500円

国際公法上の刑事に関する部分と国内刑事法とがリンクする問題に重点を置いて解説する。国際刑事事件捜査の実務，法科大学院での講義，企業の危機管理等に有益な情報を提供する書。
〔5236- 3 ・18〕

比嘉康光著
ドイツ少年刑法の研究
A 5 判上製282頁／5300円

第 1 章から第 3 章は，主として少年裁判所法(少年刑法)の改正を扱い，第 4 章から第 6 章は，少年事件において重要な役割を果たす少年審判補助の活動を扱い，第 7 章から第 9 章は，少年刑法の中核をなす教育思想・教育処分について，第10章から第12章は，ドイツ少年行刑の新しいあり方について紹介。
〔1854- 3 ・10〕

張　凌著
日中比較組織犯罪論
A5判上製344頁／6500円

本書は，今日世界的に深刻な問題となっている組織犯罪を黒社会犯罪，資金洗浄罪，邪教犯罪，テロ組織犯罪などを素材に分析する。中国の組織犯罪論について，日本法との比較を通じ，包括的な情報と分析を提供するとともに，世界各国の組織犯罪に関する理論状況及び立法動向を紹介する有益な研究書。
〔1633-2・04〕

西原春夫編
危険犯と危険概念
通算第十回日中刑事法学術討論会報告書
A 5 判並製274頁／3000円

中国吉林大学では危険犯と危険概念をテーマに日本，中国双方の報告と，さらに討論の要約を掲載したもの。
〔1704-5・05〕

西田典之編
責任論とカード犯罪
日中刑事法シンポジウム報告書
A5判並製182頁／1800円

刑法における「責任」概念について　馮軍／日本刑法における責任の概念　西田典之／故意・錯誤論　佐伯仁志／事実の錯誤の分類について　劉明祥／違法性の認識　陳興良／違法性の意識　金光旭／カード犯罪　今井猛嘉／支払い用カード犯罪の現状，立法対策と研究課題　張明楷
〔1787- 4 ・07〕

西田典之編
環境犯罪と証券犯罪
日中刑事法シンポジウム報告書
A 5 判並製200頁／2000円

2009年10月，中国北京において「環境犯罪と証券犯罪」をテーマとして開催された日中刑事法シンポジウムにおける中国側・日本側の報告と質疑応答の要約を収録。「日本刑事手続法の最近の動向について」と題した講演も収録。
〔1853- 6 ・09〕

椎橋隆幸・西田典之編
変動する21世紀において共有される刑事法の課題
A 5 判並製218頁／2000円

2011年10月，中央大学において開催。日中刑事法研究者の積極的な参加により実現した第Ⅱ期日中刑事法シンポジウム第 3 回大会の記録。今大会は，①作為義務，②正当防衛，③被害者の承諾，④組織犯罪をテーマとしている。
〔1931-1・11〕

山口厚・甲斐克則編

21世紀日中刑事法の重要課題

日中刑事法シンポジウム報告書

A5判並製242頁／2500円

甲斐克則「正犯と共犯の区別」／劉明祥「中国特有の犯罪関与体系について」／只木誠「罪数論・競合論」／王政勛「罪数論体系の再構築」／橋爪隆「危険運転致死傷罪・自動車運転過失致死傷罪」／梁根林「中国刑法における危険運転罪」／張明楷「事後強盗罪に関する諸問題」

〔5115-1・14〕

山口厚・甲斐克則編

日中刑事法の基礎理論と先端問題

日中刑事法シンポジウム報告書

A5判並製240頁／2500円

第1セッション「量刑論」，第2セッション「中止犯」，第3セッション「医療と刑法」，第4セッション「企業犯罪」。日中の刑事法研究者，実務家によるシンポジウムの記録。

〔5174-8・16〕

甲斐克則編

日中刑法総論・各論の先端課題

日中刑事法シンポジウム報告書

A5判並製294頁／3000円

「因果関係理論と実務問題研究」「正当防衛の理論と実務問題研究」「性犯罪の理論と実務問題研究」「詐欺罪の理論と実務問題研究」を取り扱う。日中の刑事法研究者によるシンポジウムの記録。

〔5247-9・18〕

甲斐克則編

刑法の重要課題をめぐる日中比較法の実践

日中刑事法シンポジウム報告書

A5判並製222頁／2500円

日中刑事法シンポジウムの記録。「責任能力」「賄賂罪」「サイバー犯罪」「横領罪」をめぐる比較法の実践の4つのテーマについて理論的・実践的観点から活発な議論を展開する。

〔5299-8・20〕

斉藤豊治・松宮孝明・髙山佳奈子編著

日中経済刑法の最新動向

A5判並製362頁／7000円

中国の刑事法研究者らと実施してきた共同研究をまとめたもの。「第1部　社会の構造的変化と法学の発展」「第2部　悪質商法，詐欺罪と経済刑法」「第3部　刑法に基づく食品安全の保護」「第4部　証券犯罪」「第5部　金融犯罪」。

〔5301-8・20〕

佐伯仁志・金光旭編

アジア法叢書30

日中経済刑法の比較研究

A5判上製294頁／3300円

2009年から2011年までの3年間にわたり「日中経済刑法の比較研究」と題して行われた日中共同研究の成果をまとめたものである。経済犯罪の制裁手段と手続，不法収益の剝奪，証券犯罪，預かり金の規制，マネーローンダリングの規制，知的財産権の刑法的保護，賄賂罪，環境犯罪から構成されている。

〔1908-3・11〕

甲斐克則・劉建利編訳

アジア法叢書31

中華人民共和国刑法

A5判上製220頁／3800円

本書は，1997年の大改正で誕生した中華人民共和国の現行刑法典およびその後の10次にわたり小改正された条文（2011年8月段階）を日本語に全訳し，しかも後者を前者の中に組み入れて配列し，さらに1997年刑法典の成立過程，それ以後の立法解釈および改正の経緯に関する論文を収めたものである。

〔1921-2・11〕

上田寛・上野達彦共著

未完の刑法

ソビエト刑法とは何であったのか

A5判上製326頁／6300円

ソビエト刑法とは何であったのか，その研究者は何を考えていたのか――本書を構成する諸論文は，「それぞれの時期のソビエト刑法のアクチャルな課題とその格闘の試みとして，それぞれの検討の内容だけでなく，むしろその『はしがき』をこそ，読んでいただきたいのである。」（本書「あとがき」より）

〔1792-8・08〕

上田寛・上野達彦著

白　夜　の　刑　法

ソビエト刑法とその周辺

A5判上製366頁／8000円

ソビエト刑法自体の諸側面の検討に加えて，これに先行した帝政ロシアの刑法思想に関わる検討ならびに1990年代に始まる刑法の非ソビエト化ないし「伝統」への回帰のプロセスを追う。

〔5219-6・17〕

田口守一・松澤伸・今井猛嘉・細田孝一・池辺吉博・甲斐克則著

刑法は企業活動に介入すべきか

A5判並製144頁／2000円

企業の刑事責任は時代の課題であるとの視点から，企業刑法の可能性，法人の刑事責任と制裁制度，課徴金制度とリーニエンシー制度，コンプライアンス・プログラムとその刑事責任論における意義などを研究者と実務家が分かりやすく講じた，早大法学部公開講座の記録。

〔1859-8・10〕

アルトゥール・カウフマン著
上田健二監訳

転換期の刑法哲学〔第2版〕

A5判上製410頁／8000円

本書第2版では，1993年に刊行された初版の収録論文のうち五編が，著者が主として名誉教授就任後に刊行した法哲学に関する刑法上の重要論文と取り替えられている。改編は，1997年に刊行されている，「寛容の原理」の確立を意図した『法哲学』第二版から読み取れる重要性の順序に従っている。

〔1502-6・99〕

イェシェック＝ヴァイゲント著／西原春夫監訳

ドイツ刑法総論〔第5版〕

A5判上製820頁／9000円

ドイツ刑法総論の代表的教科書の翻訳である。総勢39名による長年にわたる作業の結実であり，ドイツ刑法学のみならず，ドイツ刑法学と密接な関係にあるわが国の刑法学を研究するうえで必要不可欠な文献である。

〔1496-8・99〕

クラウス・ロクシン著／吉田宣之訳

正犯の本質と行為支配

A5判上製1120頁／25000円

Claus Roxin, Tätereschaft und Tatherrschaft, 10. Auflage の全訳。正犯論の抱える全ての現在的問題とその解決だけではなく，将来への道筋さえも示す名著。

〔5399-5・23〕

松宮孝明編訳

ギュンター・ヤコブス著作集[第1巻]

犯罪論の基礎

A5判上製292頁／6000円

独特の客観的帰属論や刑罰論，さらには「市民刑法」(Bürgerstrafrecht)と「敵味方刑法」(Feindstrafrecht)を対比させる思考方法で著名な，ギュンター・ヤコブス教授の著作集の第1巻。主として刑法ドクマーティクに関する，とりわけ犯罪論に関する代表的な著作を収録。

〔5132-8・14〕

松宮孝明編訳

ギュンター・ヤコブス著作集[第2巻]

刑法と刑罰の機能

A5判上製150頁／3000円

ギュンター・ヤコブス教授の，主として刑法と刑罰の機能に関する論稿を，とりわけ「法益保護の早期化」や「法益論」，「市民刑法と敵味方刑法の対比」をテーマとするものを収録する。

〔5303-2・20〕

クヌート・アメルング編著／山中敬一監訳

組織内犯罪と個人の刑事責任

A5判上製304頁／5800円

ドイツ刑法学においても，国家・企業等の組織の構成員の犯罪に対する個人の刑事責任の問題については，壁際狙撃兵事件における命令者の刑事責任，皮革スプレー事件における取締役の責任などを通じて理論的考察が深められた最新のトピックであるが，本書は，その現在の理論水準を示す論文集の翻訳である。

〔1600-6・02〕

川端博・安部哲夫監訳

ドイツ刑事法学の展望

大所高所からの視点

A５判並製204頁／2800円

今日のドイツ刑事法学，犯罪学，司法精神医学，行刑学等の領域において主導的立場にある研究者・実務家が，そこにおいて生じた新たな動きと将来への展望とを見据えた上で，我が国における今後の刑事法と刑事政策の改革に対する示唆を投げかけようとする珠玉の論文11編の邦訳。　〔1843-７・09〕

金尚均＝ヘニング・ローゼナウ編著

日独シンポジウム

刑罰論と刑罰正義

日本・ドイツ　刑事法に関する対話

A５判上製302頁／6000円

2009年９月にドイツ・アウブスブルク大学において開催されたシンポジウム。
第１部　刑事手続における諸問題／第２部　刑法上の諸問題。

〔1945-８・12〕

ヴォルフガング・フリッシュ・浅田和茂・岡上雅美編著

量刑法の基本問題

量刑理論と量刑実務との対話

A5判上製300頁／5000円

日独の研究者および実務家が量刑法の基本問題につき集中的に検討したシンポジウムの記録。量刑法の基礎理論から量刑判断の構造さらに訴訟上の問題まで，量刑法の全般にわたって量刑理論と量刑実務の対話を図った。裁判員制度・参審制度の量刑問題を視野に入れ，日独における量刑法発展の基礎を提供する。　〔1925-０・12〕

A. アシュワース・J. ホーダー著
同志社大学イギリス刑事法研究会訳

イギリス刑法の原理

A5判上製466頁／9500円

Andrew Ashworth & Jeremy Horder, *Principles of Criminal Law 7th ed.*（Oxford U.P., 2013）の翻訳。イギリス刑法の全体像を把握することができる。

〔5322-３・21〕

アンドレアス・フォン・ハーシュ著
松澤伸訳

デザート・モデルの量刑論

A5判上製190頁／4000円

Andreas von Hirsch, Deserved Criminal Sentences, 2017の全訳。現代量刑論の一つの頂点を示すもの。

〔5335-３・21〕

金日秀・徐輔鶴著
斉藤豊治・松宮孝明監訳

韓国刑法総論

A5判上製706頁／15000円

韓国刑法について深い学識に裏打ちされた理論的解説を展開する金日秀・徐輔鶴著『刑法総論［第12版］』の翻訳。韓国刑法学の今日の姿を明らかにする。

〔5292-９・19〕

陳興良著
西原春夫監修

中国刑法学の新展開

A5判上製608頁／12000円

旧ソ連刑法理論から日独刑法理論への転換を中心的テーマとした，現代中国を代表する刑法学者である北京大学法学院陳興良教授による中国刑法理論の発展の歴史を描き出した書籍の和訳。

〔5288-２・20〕

劉憲権著
松宮孝明監訳

金融犯罪刑法学原理

金融犯罪に対する中国刑法学の挑戦

A5判上製788頁／15000円

中国における経済刑法分野の第一人者である劉憲権教授の著作集『金融犯罪刑法学原理』の訳。

〔5337-７・21〕

刑 事 訴 訟 法

渡辺直行著
入門シリーズ
入門刑事訴訟法〔第２版〕

ロースクール時代に入り，理論と実務の架橋が叫ばれるなかで，多くの判例を取り上げ，刑訴法のすべての分野をわかりやすく解説し，刑事手続の全体像を鳥瞰した，初めて刑訴法を学ぶ学生のための入門書。

Ａ５判並製372頁／2700円　〔1993-９・13〕

渡辺直行著
刑 事 訴 訟 法〔第２版〕

法科大学院・法学部の学生や司法試験受験生を主たる対象とした充実の基本書。基本から高度な理論までもが十分に理解できるように丁寧に論述。最新の法改正及び重要判例を網羅し，法科大学院コア・カリキュラムに対応すべく大幅に増補・改訂した待望の第２版。

Ａ５判上製684頁／4300円　〔1969-４・13〕

寺崎嘉博著
刑 事 訴 訟 法〔第３版〕

2008年の第２版刊行後の，記録命令付差押え等の法改正や最新の重要判例を盛り込むとともに統計等のデータを更新した。旧態依然とした議論に新風を巻き起こす，目からウロコの刑訴法として信頼できる一冊。待望の第３版。

Ａ５判上製582頁／3800円　〔1983-０・13〕

上口　裕著
刑 事 訴 訟 法〔第５版〕

判例と論点を網羅した体系書。とくに，学習者に「迷宮」となりやすい領域―訴因，公訴事実の同一性，伝聞，裁判の効力―では，基礎から詳述し，平易かつ確実に理解する方法を示した。刑事訴訟法を難解だと思う人の必読書。

Ａ５判上製576頁／4000円　〔5321-６・21〕

辻本典央著
刑　事　訴　訟　法

待望の本格的な基本書が，満を持してついに登場。学部の授業から司法試験対策まで，これ１冊で万全。

Ａ5判上製410頁／3200円　〔5338-４・21〕

平良木登規男著
刑 事 訴 訟 法 Ⅰ

法科大学院では，法学未修者に対する科目として「刑事訴訟法Ⅰ」及び「刑事訴訟法Ⅱ」を設置しているところが多いので，これに対応する教科書を作成することにした。そこで，これまでの「捜査法」を徹底的に修正するとともに，必要な部分を加え「刑事訴訟法Ⅰ」の教科書とした。

Ａ5判上製278頁／3200円　〔1848-２・09〕

平良木登規男著
刑 事 訴 訟 法 Ⅱ

かつて「警察研究」に連載した「アトランダム刑事訴訟法」をもとに，これを全面的に書き改め，必要な部分を加筆して「刑事訴訟法Ⅱ」として出版することにした。公訴，公判，証拠法，裁判を収録。

Ａ５判上製364頁／3300円　〔1886-４・10〕

光藤景皎著

刑　事　訴　訟　法　I

A5判上製390頁／3000円

「裁判員法」,「被疑者国選弁護制度」,「即決裁判手続」など最新の情報を盛り込み，高度な内容をより分かり易く解説した待望の教科書。長年『口述刑事訴訟法』として定評があったが，今回より「口述」を外し，読者の要望が多かった事項索引，判例索引も加えた。〔1763-8・07〕

光藤景皎著

刑　事　訴　訟　法　II

A 5 判上製332頁／3000円

刑事訴訟法上の諸制度の目的・立法趣旨，機能を明らかにし，具体的事案解決への実務・学説の歩みをわかりやすく解説する。「刑事実務と理論の架橋」を目指した待望の教科書第２弾。〔1989-2・13〕

光藤景皎著

口 述 刑 事 訴 訟 法 下

A 5 判並製140頁／1300円

上訴以降，控訴，上告，抗告，再審，非常上告，略式手続，裁判の執行を全て収録した，最新の情報による刑事訴訟法の決定版。〔1701-0・05〕

川端博著

刑　事　訴　訟　法　講　義

A 5 判上製560頁／4300円

好評の『刑法総論講義』・『刑法各論講義』と三部作を成す基本書であり相次ぐ法改正と判例の動向に基づき，刑訴法の全体像を最新の法文に即して理論的観点から鮮やかに描き出し，初学者にも分かるように明快に説明する。上級学習者はもとより研究者や実務家の需要にも応じ得る本格的な体系書。〔1935-9・12〕

渡辺直行著

論点中心 刑事訴訟法講義

〔第２版〕

A 5 判上製386頁／3300円

本書は，初学者から司法試験受験生までが，本質論に遡った体系的理解ができるよう重要論点を中心に深く掘り下げて考察し，分かり易い表現で解説している。理論と実務の架橋にも配慮した法科大学院実務家教授の刑訴法テキスト。裁判員法及び公判前整理手続等の平成16年改正にも言及している。〔1673-1・05〕

反町義昭著

司法試験体系的問題解析 刑事訴訟法

B5判並製430頁／3500円

過去問で繰り返し問われている刑訴法の重要論点を「体系順」に並べ替え，重要判例・出題趣旨等の分析を踏まえて，論述するにあたって把握しておくべきポイントを解説する実践的試み。〔5332-2・21〕

大阪弁護側立証研究会編

実　践！　弁　護　側　立　証

B5判並製224頁／2800円

弁護人はいつどこで何をしたらいいのか。弁護人が広い意味での調査活動に取り組み，納得し，気づきを得，証拠を手元に確保し，法廷に届けるという全ての過程を表現する実務的有益書。〔5198-4・17〕

太田茂著

実　践　刑　事　証　拠　法

B5判並製450頁／3900円

検事としての豊富な捜査・公判の経験を踏まえ，早稲田大学法科大学院で教鞭をとった著者の長文オリジナル事例に基づく講義の集大成。理論と実務を架橋する刑事証拠法講義の決定版！〔5216-5・17〕

太田茂著

応用刑事訴訟法

B5判並製348頁／3500円

検事としての豊富な捜査・公判の経験を活かし早稲田大学法学部で教鞭をとった著者が，実践的理論から具体的事件捜査の経験談，法制史・比較法の視点も踏まえて行った講義の集大成。

〔5217-2・17〕

川上拓一編著

刑事手続法の理論と実務

A5判上製500頁／5500円

刑事手続全体が大きく変貌している現在，新しい手続・制度の下における実務の動向を紹介するとともに，現在の実務の最先端の問題を率直に論じる。刑事裁判の実務家による珠玉の論文集。

〔5300-1・20〕

田口守一著

刑事訴訟の目的〔増補版〕

A5判上製426頁／5700円

刑事司法制度の変革は，刑事訴訟目的論の基礎理論から再構築すべきであるとの視点から，実体的真実主義，精密司法，アレインメント，英米の有罪答弁制度，ドイツの合意手続を論じた旧版に，裁判員制度，ドイツ参審制度，公判前整理手続等に関する6本の最新の論文を追加した増補版。

〔1889-5・10〕

田口守一著

刑事訴訟の構造

A5判上製400頁／6000円

訴訟目的論と訴訟構造論との関係という理論的な問題意識に，司法制度改革が訴訟構造論に及ぼす影響という現実的な問題意識を加え，新たな当事者主義訴訟構造論に関する私見を展開する。

〔5347-6・22〕

岩瀬徹著

刑事訴訟法の基本問題

A5判上製464頁／5000円

「総論」，「審判対象論」，「事実認定・証拠法論」，「上訴論」の括りを設けて刑事訴訟法の基本的問題を追究し，さらに，〈付〉で「少年と医療観察法」の問題を取り上げる論集。

〔5346-9・21〕

小早川義則著

デュー・プロセスと合衆国最高裁Ⅰ

残虐で異常な刑罰，公平な陪審裁判

A5判上製344頁／6000円

デュー・プロセスという法概念は周知の割にはその実態が不分明である。本書は，母法の合衆国憲法第14修正のデュー・プロセス条項の沿革に触れつつ合衆国最高裁判例の憲法解釈に即して，その意味内容を具体的に解明する全5巻シリーズの第1巻で，死刑や裁判員制度の問題点を検討する上でも有益である。

〔1744-4・06〕

小早川義則著

デュー・プロセスと合衆国最高裁Ⅱ

証人対面権，強制的証人喚問権

A5判上製374頁／6500円

合衆国憲法第六修正の規定する「証人対面権」および「強制的証人喚問権」に関連する主要な合衆国最高裁判例を収録する。

〔1959-5・12〕

小早川義則著

デュー・プロセスと合衆国最高裁Ⅲ

弁護人依頼権，スーパー・デュー・プロセス

A5判上製452頁／7800円

合衆国憲法第14修正のデュー・プロセス条項の沿革に触れつつ，主要な合衆国最高裁判例の憲法解釈に即して，その意味・内容を具体的に解明する。

〔1991-5・13〕

小早川義則著

デュー・プロセスと合衆国最高裁IV

自己負罪拒否特権，(付)セントラルパーク暴行事件

A 5 判上製326頁／6500円

母法の合衆国憲法第14修正のデュー・プロセス条項の沿革に触れつつ主要な合衆国最高裁判例の憲法解釈に即して，わが国の最新の動向もふまえ，その意味・内容を具体的に解明する。

〔5117-5・14〕

小早川義則著

デュー・プロセスと合衆国最高裁V

二重の危険，証拠開示

A 5 判上製252頁／5200円

母法の合衆国憲法第14修正のデュー・プロセス条項の沿革に触れつつ主要な合衆国最高裁判例の憲法解釈に即して，わが国の最新の動向もふまえて，その意味・内容を具体的に解明する。

〔5144-1・15〕

小早川義則著

デュー・プロセスと合衆国最高裁VI

刑事免責，実体的デュー・プロセス

A 5 判上製354頁／7000円

主要な合衆国最高裁判例の憲法解釈に即して，わが国の最新の動向もふまえて，その意味・内容を具体的に解明する。

〔5152-6・15〕

小早川義則著

デュー・プロセスと合衆国最高裁VII㊀

奴隷制度、言論・出版等の自由

A5判上製430頁／8800円

母法の合衆国憲法第14修正のデュー・プロセス条項の沿革に触れつつ，主要な合衆国最高裁判例の憲法解釈に即して，わが国の最新の動向もふまえて，その意味・内容を具体的に解明する。

〔5181-6・16〕

小早川義則著

証拠法研究第2巻

毒樹の果実論

A 5 判上製640頁／9600円

“毒樹の果実”は1939年の合衆国最高裁判例に由来するが，その意味内容に関する学界レベルでの研究は不十分である。本書は，わが国での排除法則をめぐる新しい問題状況を踏まえ，この問題に関するアメリカ判例法の全体像を体系的に解明しつつわが国での今後の問題点を提示した必見の基本書である。

〔1858-1・10〕

小早川義則著

証拠法研究第3巻

共犯者の自白と証人対面権

A5判上製424頁／8000円

最新の合衆国最高裁判例を踏まえて，わが国における共犯者の自白の伝聞例外としての証拠能力の問題点について，憲法上の証人対面権の観点から問題点を検討し，私見を提示する研究書。

〔5189-1・16〕

小早川義則著

証拠法研究第4巻

ミランダと自己負罪拒否特権

A5判上製364頁／7000円

ミランダ判決の革命的意義を再確認し，2000年のディカソン判決を詳細に紹介しつつ，主に憲法上の自己負罪拒否特権の観点からわが国における被疑者取調べの問題点を解明する論文集。

〔5207-3・17〕

小早川義則著

証拠法研究第5巻

科学的証拠とフライ法則

A5判上製250頁／5500円

科学的証拠に関するフライ法則の改廃を中心にアメリカ法の動向を詳論しつつ，わが国における科学的証拠の許容性をめぐる問題点について検討を加える。

〔5254-7・18〕

小早川義則著
証拠法研究第６巻
強制採尿の違憲性

強制採尿の適法性を肯定する最高裁昭和55年決定及びそれを支持する論者の見解について，アメリカ法と対比しつつ，実体的デュー・プロセスの観点から，その問題点を指摘する論文集。

A5判上製226頁／5000円　〔5266-0・19〕

小早川義則著
証拠法研究第７巻（完）
刑事上の利益に反する供述と伝聞例外

被疑者の取調べと黙秘権とのかかわりに関する日米最高裁判例を綿密に対比することにより，司法取引等，全く異なる日米両国の実態を明らかにするアメリカ証拠法研究の総括。

A5判上製240頁／5500円　〔5307-0・20〕

小早川義則著
死刑判決と日米最高裁

「二〇二〇年までに死刑制度の廃止をめざす」宣言を契機に，死刑判決に関する日米最高裁の態度を判例に即して比較しつつ，わが国での死刑制度をめぐる議論の進展に寄与する論文集。

A5判上製220頁／5000円　〔5232-5・17〕

小早川義則著
日米最高裁判決の交錯

アメリカ法研究の集大成として，共犯者の自白を中心に言論出版の自由など日米共通の重要問題を取り上げる。

A5判上製136頁／3200円　〔5387-2・23〕

小早川義則著
裁判員裁判と死刑判決〔増補版〕

多数決による死刑判決につき，アメリカ法と対比しつつ，合理的疑いを超えた立証との関係の点で根本的な疑問があるとする意欲作。新たに絞首刑の違憲性に関する章を追加した。

A５判上製346頁／6500円　〔1963-2・12〕

渡辺修著
現代の刑事裁判

市民の参加を刑事司法へ反映させた裁判員裁判の在り方，包括的防御権の充実と「可視化」原理の浸透，判例研究方法の工夫の３つのコンセプトを軸に現代の刑事裁判を鳥瞰した研究成果。

A５判上製464頁／8000円　〔5120-5・14〕

佐藤嘉彦著
刑事裁判覚書
裁かれば裁かれん，念ずれば花ひらく

裁判官の実務経験と大学教授の視点から，事実認定，刑の量定，一事不再理効などについて，先輩法曹の論考を交えて論ずる。

A５判上製328頁／6500円　〔5108-3・14〕

杉田宗久著
裁判員裁判の理論と実践〔第2版〕

裁判員制度の施行準備に深く関わり，裁判員制度施行後には多数の公判前整理手続，裁判員裁判に裁判長の立場で関与してきた筆者が，裁判員裁判の実践の中で，考え，悩み，工夫を重ねつつ行った理論的検討とその実践への反映，さらには，今後の課題にも言及した画期的研究書。

A５判上製482頁／4800円　〔1999-1・13〕

林弘正著

裁判員裁判の臨床的研究

A５判上製396頁／8000円

実際に傍聴し，裁判員裁判に内在する諸問題を分析・考察する。刑事実体法研究者による臨床的研究書。

〔5149-６・15〕

安廣文夫編著

裁判員裁判時代の刑事裁判

A５判上製534頁／5500円

制度施行から６年を迎えた裁判員制度運用の経験や研究を踏まえ，現在の刑事裁判における手続上及び実体法上の諸問題を俯瞰すると共に，その解決へ向けての手掛かりを提供する。

〔5154-０・15〕

原田國男著

裁判員裁判と量刑法

A５判上製318頁／3500円

一般の人々が刑事裁判に参加する裁判員裁判の時代を迎え，これまでの裁判官裁判に基づく量刑理論と量刑実務に新たな視点からの検討が加えられ，単なる量刑論がまさに量刑法に進化・発展したといえる現在，実際の裁判における量刑判断に影響を与える重要な要素を分析した，量刑の第一人者による意欲作。〔8835-５・11〕

高内寿夫著

公判審理から見た捜査

予審的視点の再評価

A5判上製412頁／7000円

第１部では，フランスの予審制度の目的・位置付けを歴史的に分析し，第２部では，「予審的視点」から，わが国の刑事手続の諸問題を検討することで刑事手続における捜査の位置付けを示す。

〔5172-４・16〕

田淵浩二著

証拠調べ請求権

A5判上製276頁／6000円

刑事訴訟における証拠調べ請求権についての国内初のモノグラフ。ドイツにおける「証拠予断の禁止」原則の形成，マックス・アルスベルクの証拠申請権論，ドイツ刑事公判改革と証拠申請権制限論等の理論的，政策論的テーマにつき，日独比較法的視点から検討。日本における刑事訴訟改革の課題と問題を提起。〔1648-０・04〕

山田道郎著

証拠の森

―刑事証拠法研究―

A5判上製272頁／5000円

問題が錯綜する刑事証拠法という「森」の中から，伝聞法則・自白法則および証拠調べ手続に関する重要論点を取り上げ，従来とはまったく異なった新しい方向から光を投げかけて，問題解明を試みた研究論集。

〔1665-０・04〕

山田道郎著

新釈刑事訴訟法

A５判上製360頁／7000円

捜査，訴因，証拠法・証明論，公判手続といったテーマについて，問題設定，解決へのアプローチを，通説・判例とは異なった観点から行う。刑事訴訟法の新しい解釈を提示する注目の書。

〔1964-９・13〕

鯰越溢弘著

刑事訴追理念の研究

A5判上製270頁／5000円

「我が国の刑事訴訟法は，国家訴追主義を採る」という通説に対して，「我が国の刑事訴訟法は，私人訴追主義を採る」という解釈が正しいということを，訴追理念としての私人訴追主義の意義を明確にし，憲法及び刑事訴訟法の新たな解釈論・立法論を展開した意欲的な論文集である。〔1670-７・05〕

松田岳士著

刑事手続の基本問題

A５判上製256頁／4800円

伝聞法則，おとり捜査，強制処分法定主義等，刑事手続法上の基本論点に関する従来の議論のあり方をその前提から問い直し，刑事手続・刑事訴訟法の基本構造と関連づけて再構築する。刑事手続法的な考え方，問題解決の方法の本質的特性を探究し，刑事手続に関する新たな基礎理論のかたちを提示する。〔1863-５・10〕

平田元著

熊本大学法学会叢書15

刑事訴訟における片面的構成

A5判上製322頁／5000円

第一審「証明なし無罪」に対する上訴は不可能であり，それは有罪判決に対してのみ可能との，上訴の片面的な構成を主たる主張とし問題意識を披瀝する。刑事上訴と事実認定を巡る論文集。〔5213-４・17〕

辻本典央著

刑事手続における審判対象

A５判上製260頁／5200円

「刑事手続における審判対象とは何か」という，刑事訴訟法理論における重要問題についてのこれまでの研究の総括。〔5151-９・15〕

辻本典央著

刑事弁護の理論

A5判上製316頁／6000円

刑事弁護人の法的地位を明らかにし，比較法的視点としてドイツの刑事弁護人論を参照しつつ，刑事手続におけるその一般的な責務の分析を経て，個別具体的な問題点の検討を行う研究書。〔5212-７・17〕

浦功編著

新時代の刑事弁護

A5判上製716頁／7000円

刑事司法の担い手としての弁護士の動向が重要視されている現在，刑事弁護に携わる弁護士が，苦心し苦闘した弁護活動の経験を生かして導き出された「理論」や「手法」をまとめた論文集。〔5218-９・17〕

水野陽一著

公正な裁判原則の研究

A５判上製226頁／4500円

国際社会からの批判に耐えうる刑事手続全般の運用が求められる現在，ヨーロッパにおいて刑事司法の中心的基準とされる「公正な裁判原則」について，国家という枠組みを超えて考察する。〔5274-５・19〕

清水拓磨著

自己負罪型司法取引の問題

A5判上製230頁／5000円

量刑格差が従来の刑事法理論との関係でどのような形で問題となるのかという分析視角から，日本に自己負罪型司法取引の導入が許されるか否かを検討する。〔5371-1・22〕

指宿信著

電脳空間と刑事手続

A5判上製310頁／6000円

ネットワークと電脳空間の発展と深い関係性を有するサイバースペースに関する論考を「GPS 捜査」「監視・傍受」「暗号」「電子的証拠の取得」「越境捜索問題」の５部に纏めた論文集。〔5359-9・22〕

葛野尋之・王雲海編著

刑事訴訟における公判中心主義

日本と中国

A5判並製246頁／4800円

中国法と日本法の比較を軸として，公判中心主義の意義・機能，それを具体化するための制度・手続などを多角的に論じる。

〔5354-4・22〕

三井誠ほか編

刑事手続の新展開（上）

A5判上製606頁／6500円

刑事手続をめぐる，上下巻合わせて30のテーマについて，主に実務的な視点から，運用の実態等を示した上で，法曹三者がそれぞれの立場からの法解釈，必要に応じて制度・立法の在るべき姿を描き出す。

〔5214-1・17〕

三井誠ほか編

刑事手続の新展開（下）

A5判上製694頁／6500円

刑事手続をめぐる，上下巻合わせて30のテーマについて，主に実務的な視点から，運用の実態等を示した上で，法曹三者がそれぞれの立場からの法解釈，必要に応じて制度・立法の在るべき姿を描き出す。

〔5215-8・17〕

小坂井久・秋田真志編著

取調べ可視化―密室への挑戦

イギリスの取調べ録音・録画に学ぶ

A5判並製208頁／2500円

1986年に導入されたイギリスの被疑者取調べ録音手続。大阪弁護士会有志が学者とともにロンドン，ブリストル，バーミンガム，オックスフォードの『四都』をまわり，警察，検察代理弁護士，刑事弁護士，裁判官，再審委員会から取材。我が国の被疑者取調べ「可視化」を展望する上で必携の書。

〔1634-0・04〕

牧野茂・小池振一郎編

取調べのビデオ録画

その撮り方と証拠化

A5判並製118頁／2000円

「そもそも人は見たいものしか見ない」。取調べの可視化メリット論が先行する中，可視化の意義は何か，取調べ録画映像の実質証拠化の可否等，その撮り方と危険性を問題提起する警鐘の書。

〔5250-9・18〕

和田進士著

イギリスの別件逮捕・勾留

A5判上製264頁／5200円

日本の別件逮捕・勾留に相当するイギリスの捜査方法であるホールディング・チャージを詳しく考察し，日本における違法な別件逮捕・勾留の抑止に有効な教訓を得ようとする研究書。

〔5104-5・14〕

稲田隆司著

熊本大学法学会叢書12

イギリスの自白排除法則

A5判上製198頁／3500円

本書は，イギリスにおける自白法則の展開の様子を，その成立前夜にまでさかのぼって概観するとともに，20世紀後半のイギリスで行われた大規模な刑事司法改革の意義を，自白の取扱いのあり方という視座で切り取り，自白法則のみならず不公正証拠排除の機能についても検討・分析を加えたものである。

〔1915-1・11〕

鈴木教司著

愛媛大学法学会叢書11

フランス旧制度の司法

A5判上製380頁／5600円

著者年来の売官制研究の一環であって，わが国に未紹介の分野に取り組んだ意欲作。フランスの司法制度と司法官職がいかに売官制と関係が深いか，制度論と機能論に分けて考察する。法史学・訴訟法学ばかりか，政治史・行政学の参考書としても有用である。また，法曹のあり方にも多くの示唆を与えてくれる。

〔3197-8・05〕

上口裕著

カロリーナ刑事法典の研究

A5判上製602頁／13000円

正式名称「カール５世及び神聖ローマ帝国刑事裁判令」，ラテン語名「カロリーナ刑事法典」，通称「カロリーナ」と呼ばれる法典の全訳及び逐条註解。ドイツ刑事法研究はむろんのこと，ドイツ法史及び社会史研究においても参考となる研究書。

〔5285-１・19〕

何琳著

中　国　の　捜　査　法

A5判上製326頁／6500円

中国の捜査機関や司法制度・検察制度についての基礎的な知識を紹介し，また，刑事警察官に対するインタビューやアンケート調査によって中国における捜査活動の実態を伝える。

〔5286-８・19〕

田中利彦編

アメリカの刑事判例１

2003年10月開廷期から2007年10月開廷期まで

A5判並製258頁／4500円

刑事手続や刑事実体法に限らず，銃の規制も含め，刑事に関係がある判決を広くとり上げ，アメリカ合衆国最高裁判所の各開廷期の重要な刑事関係判決172件の内容を網羅的に紹介する。

〔5224-０・17〕

田中利彦編

アメリカの刑事判例２

2008年10月開廷期から2012年10月開廷期まで

A5判並製260頁／4500円

刑事手続や刑事実体法に限らず，銃の規制も含め，刑事関係の判決を広くとり上げ，アメリカ合衆国最高裁判所2008年～2012年開廷期の重要判決194件を網羅的に紹介する。

〔5291-２・19〕

田口守一監訳

１つの事件２つの制度

アメリカとドイツの刑事手続

B5判並製310頁／4500円

同じ「１つの事件」が，アメリカとドイツの刑事手続において，それぞれ処理されていく過程を詳述したうえで，日常的な実務の視点から両制度の類似点・相違点を解き明かす。「２つの制度」の実際を知るうえで，研究者には必須であるのはもちろん，充実した索引により辞書として使える貴重な一冊。

〔1888-８・10〕

光藤景皎・吉田宣之編訳

ドイツ刑事訴訟法演習

君の知識を試そう

46判並製424頁／5000円

Roxin/Achenbach, Strafprozessrecht, 16. Auflage ── Prüfe dein Wissen, Rechtsfälle in Frage und Antwort, 2006 の全訳。刑事訴訟法全域について簡潔な質問と解答の形式で構成する。

〔5204-２・17〕

辰野文理／杉原弘泰／紀藤正樹／
中山善房／河合幹雄　著

アカデミア叢書３

刑事裁判を見る目に確かさを

A5判並製178頁／1395円

第１章　被害者の視点から／辰野文理
第２章　検察官の立場から／杉原弘泰
第３章　弁護士の視点から／紀藤正樹
第４章　裁判官の視点から／中山善房
第５章　犯罪統計から／河合幹雄

〔9131-８・05〕

西原春夫・高銘暄総監修

中国法学全集６

中国刑事訴訟法の理論と実際

A5判上製462頁／7000円

中国人民大学刑事法律学研究中心（センター）は「国家重点研究基地」の一つとして，中国全体の刑事法研究に対して指導的立場にあり，理論的影響力も大きい。本書は，研究と実務に携わってきた当センターの中心的研究者らによる刑事訴訟法の体系的把握のための好著であり，学説を整理している研究書でもある。

〔1615-４・03〕

福井厚監訳

ドイツ刑事証拠法

A5判並製204頁／2800円

当事者主義と職権主義との一見華やかな対立にもかかわらず，ドイツ刑事手続から我々が学ぶべき点はまだまだ多い。本書は，刑事手続の中核をなす証拠法について，ドイツ刑事証拠法のエッセンスを伝える。本書によって，従来の職権主義に対するマイナス・イメージは，根底から払拭されることになろう。〔1490－9・99〕

上口裕訳

近世ドイツの刑事訴訟

A 5 判上製384頁／7000円

ドイツ糾問訴訟を代表するラテン語文献の全訳。ローマ・カノン糾問訴訟法の実像に迫る第一次資料註解及び糾問訴訟小史を付す。〔1936-6・12〕

ヨアヒム・ヘルマン原著
田口守一・加藤克佳編訳

市民社会と刑事司法

ヨアヒム・ヘルマン80歳記念論文集

A 5 判上製312頁／6500円

ヘルマン教授による比較刑事訴訟法に関する論文，刑事手続における取引と合意に関する論文及び刑事手続の担い手に関する論文を厳選して翻訳，一書とした。〔1968-7・13〕

刑事政策・犯罪学・少年法

守山正・安部哲夫編著

ビギナーズ犯罪法

A5判上製514頁／3200円

刑法各則等の解釈論等を別個に論ずるのではなく，総合的刑事法の視野から犯罪事件や犯罪現象を考察。それぞれの問題につき各種の刑事政策的ないし犯罪学的な視点も含めて取り扱う教科書。

〔5304-9・20〕

守山　正・安部哲夫編著

ビギナーズ刑事政策〔第3版補訂版〕

A5判並製494頁／3000円

令和4年の刑法の一部改正により懲役刑・禁錮刑が廃止され，これを統一する単一刑の拘禁刑が創設されたことから修正を加え，一部の個別犯罪の現況や数値を最新のものとした。

〔5391-9・23〕

守山正・後藤弘子編著

ビギナーズ少年法〔第3版補訂第2版〕

A5判並製440頁／2900円

18歳，19歳の「特定少年」を設けた令和3年改正に対応し，令和4年の刑法の一部改正により懲役刑・禁錮刑が廃止され，単一刑の拘禁刑が創設されたことから修正を加えた。

〔5392-6・23〕

守山正・小林寿一編著

ビギナーズ犯罪学〔第2版〕

A5判並製490頁／3200円

法学，心理学，社会学といった犯罪学の伝統的な研究領域に加えて，諸外国のトピックも多数取り上げる。各章にコラムを挿入し，身近に親しみやすいよう工夫した入門書。法学部生に最適。

〔5294-3・20〕

川出敏裕・金光旭著

刑事政策〔第3版〕

A5判並製588頁／3500円

刑事政策を体系的に解説した基本書。刑事収容施設法や更生保護法の制定，犯罪被害者の保護救済に係る立法，少年法の改正など，近年の重要な法改正をもれなく盛り込むとともに，実務の運用もふまえて，刑事政策の最近の動向を伝える一冊。

〔5389-6・23〕

丸山雅夫著

少年法講義〔第4版〕

A5判並製394頁／3300円

はじめて少年法を学ぶ人のために，少年法制の歴史，少年法の理念と特徴，運用の実際を明らかにし，非行と少年法の正しい理解と適切な議論のための知識を提供する。

〔5355-1・22〕

服部朗著

少年法、融合分野としての

A5判上製380頁／3000円

少年法を法律学の一分野として狭く捉えるのではなく，人間関係諸科学との関連も大切にしながら，幅広い視野のもとで学ぶ必要性を説き，融合分野としての少年法の姿を描く。

〔5331-5・21〕

廣瀬健二著

少　年　法

A5判上製670頁／4800円

現行少年法の制度全般に触れ，比較法，歴史的経緯の重要性から諸外国を含む少年法の生成と展開を概観し，法改正の経緯・展開について論及する。令和３年改正に対応した本格的体系書。

〔5339-１・21〕

松本勝編著

更生保護入門〔第６版〕

A5判並製328頁／2200円

第５版以降の法改正と統計数値を踏まえた最新版。社会福祉士や精神保健福祉士を目指す学生，保護司などの更生保護関係者にとって必読の書。

〔5357-５・22〕

辰野文理著

要説更生保護〔第３版〕

A5判並製124頁／1500円

保護観察や仮釈放の仕組みを中心に，更生緊急保護，犯罪予防活動など更生保護と呼ばれる領域における諸制度について，その内容やそこに関わる組織や団体などを紹介し解説する入門書。

〔5239-４・18〕

諸澤英道著

新版被害者学入門

A５判上製548頁／3800円

世界の新しい動向を網羅した初めての体系書。「なぜ被害を受けるのか」「被害は，私たちにどのような影響を与えるのか」などの原因論から，「知る権利」「プライバシー権」「裁判への関与権」「加害者からの弁償」「国からの補償」など，「被害者の権利」に基づく対策論に至るすべての課題を分かりやすく解説。

〔1477-１・98〕

木村裕三・平田紳著

刑事政策概論〔第５版〕

A5判並製322頁／2500円

本書は，犯罪とは何か，非行とは何か，そして，これからの刑事政策のあるべき姿を真剣に考察している。「刑事政策の世界の実像に迫り，できる限り明快にわかりやすく解説した刑事政策のテキストの決定版である。表や図版，新聞記事も多用し，理論的水準を保ちながら，通説的にコンパクトに描いた。

〔1994-6・13〕

米山哲夫著

公権力を監視する

国民のための刑事政策原論

46判上製286頁／2400円

治安を維持し国民の経済生活を安定させることによって既存の体制を維持しようとする公権力は，その目的を達成するために犯罪を設定しそれに対処しようとする。本書は，そのメカニズムを明らかにし，公権力の持って生まれた性質から生じる様々な問題点に切り込む。

〔1975-５・13〕

瀬川晃著

犯　罪　学

A５判上製362頁／3500円

「人はなぜ犯罪を犯すのか」。本書はこの難問に果敢に挑んだ。犯罪学の標準的な知識を体系的に整理してわかりやすく説くとともに，英米の新動向をふまえて犯罪学のあり方を意欲的に探る。図表や写真を用いてヴィヴィットに犯罪学の魅力に迫り，巻頭に「犯罪学史年表」を付す。

〔1489-５・98〕

上田寛著

犯罪学講義〔第３版〕

A5判上製304頁／2700円

現代の犯罪学を理解するために，犯罪減少と理論仮説を適確に整理し，犯罪学の現代的水準を示す待望の教科書。その後の法改正等に対応し，最新の情報を盛り込み丁寧の解説した好評の第２版。

〔1978-6・13〕

渡辺巧著

犯　罪　学　入　門

B 5 判並製348頁／2800円

犯罪対処の実務にたずさわっている筆者が，その経験を生かしながら，犯罪の諸相を記述した，犯罪学の入門書である。わが国の犯罪の実態，犯罪に対処するための理論や取組みなどを，犯罪類型ごとに分かりやすく解説しており，犯罪防止の方法とその可能性を模索する者のために役立つことを願っている。〔1836-9・09〕

菊田幸一著

犯　罪　学〔九訂版〕

A 5 判並製720頁／4500円

総合科学たる犯罪学の独立科学としての体系構築の第一歩として本書が編まれた。犯罪学は学問たり得ない神学であるといわれている。混然とした刑事学・刑事政策学を総合科学としての犯罪学に統合し，わが近代的，人道主義的犯罪学の展開を志向する。〔5326-1・21〕

川崎友巳著

犯罪タイポロジー〔第２版〕

犯罪の類型学

A 5 判並製228頁／1900円

刑事法の基礎を学ぶ１つの方法として，具体的な犯罪類型ごとに，犯罪の実態や特徴，原因，犯罪論（刑法解釈論）上の問題，さらには固有の刑事政策上の課題について論じた入門書。〔5131-1・14〕

守山正編著

犯　罪　予　測

AIによる分析

A5判並製272頁／3500円

ITによる犯罪分析･犯罪予測，アルゴリズムにより特定地点の犯罪発生予測が可能となり，その活用が進んでいる現在，犯罪予測に伴う問題や弊害，予想される課題を分析する。〔5361-2・22〕

守山正編著

ストーキングの現状と対策

A 5 判並製414頁／5000円

ストーキング被害が社会問題となっている現在，科学的知見に基づいた議論，諸外国の状況も踏まえ，考え得るストーキング対策への最も多角的で科学的なアプローチを試みる。〔5272-1・19〕

守山正監訳

犯罪分析ステップ60

A 5 判並製286頁／2750円

イギリス，アメリカの研究者が蓄積してきた環境犯罪学及び状況的犯罪予防の実証研究の成果。警察関係者をはじめ，犯罪学的実証研究の手法を必要とする者にとって必修のマニュアル。〔5145-8・15〕

中野目善則・四方光編著

サイバー犯罪対策

A5判並製356頁／3000円

グローバルな性質を有し，世界的な視野をもって検討しなければならないサイバー犯罪の現実を踏まえた上で，法理論の基礎に立ち返った現実的なサイバー犯罪対策を考察する総合的著作。〔5334-6・21〕

D. S. タンネンハウス著／石川正興監訳

創生期のアメリカ少年司法

A5判並製264頁／3950円

社会は，どのようにすれば，悪に手を染めた若者を公平で，人道的で，かつ正義に適っていると一瞥して分かるやり方で取り扱うことができるのか。世界初の少年裁判所の歴史を紐解く。〔5161-8・15〕

朴元奎（ぼくうぉんきゅ）著

比較犯罪学研究序説

犯罪学の分野における様々な今日的問題について，日米の比較を柱とした比較犯罪学の理論と方法論の基本構想にかかる主要テーマを選定した論文集。

A5判上製292頁／6500円　〔5205-9・17〕

白石賢著

企業犯罪・不祥事の法政策

刑事処罰から行政処分・社内処分へ

最新の事例に基づいて，刑事罰，行政処分，社内処分，コンプライアンス等の抑止効果を法と経済学の視点を盛り込んで理論的に解明し，多発する企業犯罪・不祥事に対する政策対応のあり方を実務の立場から提示。インセンティブに基づいた制度設計の必要性を説く，実務と法理論をつなぐ政策論。

A5判上製316頁／4700円　〔1776-8・07〕

白石　賢著

企業犯罪・不祥事の制度設計

インセンティブに基づく制度設計のすすめ

食品偽装事件，金融商品取引法違反事件，特定商取引法違反事件，独占禁止法違反事件，中央省庁の不祥事事件等，近時の実際の事件を例にあげ，企業犯罪・不祥事を抑止するための制度設計の在り方を，法と経済学的視点を盛り込み，刑法・行政法等多角的に検討。インセンティブに基づく立法論を展開する。

A5判上製248頁／4000円　〔1866-6・10〕

守山正著

イギリス犯罪学研究Ⅰ

筆者が過去20年以上にわたり，イギリスの政府機関，大学研究機関，専門家などへの直接のヒアリングや現地踏査，資料収集を行って獲得した情報を元に，実証研究から理論史，政策展開に至るまで幅広い犯罪学・犯罪政策のトピックを詳細に分析し，わが国の刑事政策への示唆も提示するイギリス研究の好著。

A5判上製312頁／6000円　〔1895-6・11〕

守山正著

イギリス犯罪学研究Ⅱ

前書出版以降に書きためたイギリス関係の論文と，若干のそれ以前の既出論文。21世紀以降のイギリス犯罪学の動向に関する論文のほか，1990年代の論文も必要に応じて収録。

A5判上製330頁／6500円　〔5229-5・17〕

石川正興著

犯罪者処遇論の展開

刑法，少年法，監獄法などの昭和の刑事法改正作業及び平成の刑事法改正作業を通じて，著者が一貫して追い求めてきた「犯罪者処遇」の基礎と諸相を展開し，その到達点を示す論文集。

A5判上製268頁／6000円　〔5278-3・19〕

石川正興編

犯罪学へのアプローチ

日中犯罪学学術シンポジウム報告書

本書は「日中犯罪学学術シンポジウム」報告書です。4回のシンポジウムテーマ『調和社会の建設と犯罪予防』『精神障害者による危害行為の対策』『交通犯罪に対する法的対策』『少年非行に対する法的対応』のそれぞれの日本側発表論文を収録。

A5判並製252頁／2200円　〔1873-4・10〕

吉岡一男著

日本における犯罪現象

刑事学各論の試み

犯罪現象を行為と対応の相互作用的全体像として捉える視点から，警察以下の刑事統計を手がかりに，人身犯，財産犯，性犯罪，交通犯罪，組織と犯罪，少年の犯罪・非行，賭博・薬物など被害者なき犯罪，脱税・選挙・環境など行政犯，情報がらみでコンピュータ，ネットワークからサイバー犯罪までを扱う。

A5判上製268頁／5500円　〔1739-8・06〕

吉岡一男著

アメリカ犯罪学と刑事政策

A５判上製236頁／4700円

主要目次　１アメリカ犯罪学と刑事制度論　２合衆国における非犯罪化の動向　３アメリカ刑事司法制度の動向と犯罪理論　４刑事政策と犯罪学　５犯罪被害者をめぐる刑事政策　６犯罪対応における被害と被害者　７犯罪現象の二重性と暗数概念　８経済犯罪・経済刑法の総論ほか　〔1810-9・08〕

松原英世著

愛媛大学法学会叢書17

刑事制度の周縁

A5判上製272頁／4500円

刑事法における周縁的な領域を考察することで，現代社会で刑法・刑罰の果たしている／果たすべき役割を考える研究書。

〔5125-0・14〕

染田惠著

犯罪者の社会内処遇の探求

―処遇の多様化と修復的司法―

A５判上製526頁／7500円

我が国において，更生を目指す犯罪者と市民の共生を，社会内処遇の多様化によって図るべく，実証的根拠に基づく実践と多機関連携アプローチを基本に，理論・実務面から鋭く分析。処遇の基礎理論，危機管理，薬物乱用者，性犯罪者処遇から修復的司法アプローチの活用まで，初めて体系的に論じた注目の書。　〔1725-8・06〕

小長井賀與著

犯罪者の再統合とコミュニティ

司法福祉の視点から犯罪を考える

A５判上製200頁／3700円

再犯者率の増加を契機に犯罪者処遇における福祉的支援の必要性が再認識されている現在，犯罪者に対する「責任」を手掛かりに，犯罪者処遇の在り方を探求する。

〔1980-９・13〕

吉田敏雄著

法的平和の恢復

応報・威嚇刑法から修復的正義指向の犯罪法へ

A５判上製422頁／7000円

刑法の伝統的違法論，責任論，刑罰論を根底的に問い直し，修復的正義を包含する「法的平和の恢復」の視点から，刑罰にとらわれない新しい「犯罪法」を提唱する。これに基づき，(少年)犯罪者の処遇，犯罪被害者の救済，及び，社会的連帯の実践的方策の比較法的考察を行う。

〔1705-3・05〕

渥美東洋編

犯罪予防の法理

警察政策学会10周年記念

A５判上製318頁／3000円

わが国では安全な社会の実現のための，全国民協力の包括戦略に基づく犯罪ガバナンスの仕組みはまだ整っていない。これを生み出す契機として研究者，実務家により編まれた論集。

〔1819-２・09〕

ドイツ対策グループ著

光藤景皎・高橋則夫他訳

犯罪被害の回復

―対案・損害回復―

A5判上製224頁／5000円

本書は，加害者に刑罰を科すという伝統的な刑事司法制度の中で，加害者に被害者の損害を回復させる新たなシステムの導入を構想するドイツ対案グループの挑戦である。

〔1595-6・02〕

北澤信次著

犯罪者処遇の展開

A５判上製304頁／3800円

著者は保護観察官として豊富な経験を持つ社会福祉の教育研究者。その実践の中から紡ぎ出した論稿を集大成した単著。犯罪者・非行少年の社会内処遇をソーシャルワークとして構成しようとする志向を根底において，制度の生成から組織と方法，薬物依存から被害者問題までの展開と今後の課題を考察する。　〔1614-６・03〕

加藤久雄著

人格障害犯罪者と社会治療

――高度に危険な犯罪者に対する刑事政策は如何にあるべきか――

A5判上製394頁／3300円

本書は，著者が約30年間にわたり研究してきた「人格障害犯罪者」に関する刑事政策の集大成である。大阪池田小事件を契機に執筆された本書は，高度に危険な「人格障害犯罪者」には刑法を改正して，ドイツ型保安処分制度を導入し，21世紀の刑事政策モデル「社会治療」を提言している。〔1587-5・02〕

ロベルト・F・J・ハルニシュマッヒャー著　西原春夫監訳

ドイツの組織犯罪

A5判上製194頁／3200円

ドイツにおける組織犯罪を中心として様々な現代型犯罪現象の実態を示し，その分析を行う。犯罪の国際化によって，内外の組織犯罪や経済犯罪などは各国において深刻な問題となっている。フーリガンなどわが国においても今後問題となるだけに，犯罪対策に従事する刑事実務家にとって有益な書である。〔1578-6・02〕

諸澤英道訳著

被害者のための正義

A 5 判並製292頁／2800円

第Ⅰ部　犯罪および権力濫用の被害者のための正義に関する基本原則宣言　第Ⅱ部　被害者のための正義に関するハンドブック　第Ⅲ部　政策決定者のためのガイド　第Ⅳ部　参考資料（被害者学専門用語（英語）の日本語訳）

〔1625-１・03〕

山口直也編著

子どもの法定年齢の比較法研究

A5判上製396頁／6000円

選挙権年齢が18歳に引き下げられ，民法の成年年齢など日本社会の子ども観が変革している現在，特定の年齢を設定する各種法領域の立法事実を諸外国の立法例を参考に横断的に検討する。

〔5195-３・17〕

横山潔著

イギリスの少年刑事司法

A 5 判上製384頁／8000円

イギリス「1998年犯罪及び秩序違反法」「1999年少年司法及び刑事証拠法」「2003年性犯罪法」ほかの近時の基本刑事立法を基にして，新しい少年刑事司法システム・社会的弱者の保護・性犯罪処罰規定と新性犯罪法による旧性犯罪法律の包括的整備を提示し，イギリス政府の少年刑事司法への取組を分析する。〔1711-8・06〕

横山潔著

イギリス性犯罪法論

A 5 判上製484頁／10000円

イギリスの現行性犯罪法律の中核となっている「二〇〇三年性犯罪法」（法律第四二号）（Sexual Offences Act 2003）（c.42）を考察するもの。同編訳『イギリス二〇〇三年性犯罪法』も参照されたい。

〔5225-7・17〕

横山潔編訳

イギリス二〇〇三年性犯罪法

A 5 判上製226頁／5000円

二〇一一年「二〇〇三年性犯罪法」（救済）（スコットランド）命令（スコットランド法律的文書第四五号）（Sexual Offences Act 2003（Remedial）（Scotland）Order 2011）[S.S.I.2011/45]による改正までの正文を含む，「二〇〇三年性犯罪法」本文の邦訳。

〔5226-4・17〕

丸山雅夫著

カナダの少年司法

A 5 判上製362頁／6000円

カナダ少年司法の独立過程から，非行少年法，少年犯罪者法，少年刑事裁判法の制定・改正過程を豊富な資料だけでなく，時代背景や社会情勢をも視野に入れて跡づけ，それぞれの内容を詳細に検討する本格的な研究書。主要な個別的論点をも検討の対象として，わが国の少年法制の今後にひとつの示唆を与える。〔1714-2・06〕

服部朗著

アメリカ少年法の動態

A5判上製390頁／8000円

アメリカ少年法の実相を，連邦よりも州，州よりもカウンティに焦点をあてて考察。フィールドワークを盛り込みつつ，その時々の社会経済情勢，犯罪状況などと複雑に絡み合いながら動き続ける「現に行われている法」としての少年法を捉える。

〔5103-8・14〕

服部朗著

少年法における司法福祉の展開

A 5 判上製364頁／7000円

司法と福祉との交錯・統合をテーマに，少年法の歴史，軽微な非行への対応，適正手続，少年法および児童福祉法改正，被害者，市民参加について考察。時代動向を押さえながら少年法が直面する課題を描き出し，理論的検討を加えるとともに，今後の少年法のあり方を展望する。

〔1706-1・06〕

渡邉泰洋著

イギリス連合王国における少年法制の変遷

「処罰」と「福祉」の相克

A 5 判上製248頁／5000円

20世紀初頭の少年裁判所誕生に至る道程を辿りつつ，犯罪少年に対する諸制度を生み出した社会的政治的状況を考察しながら，研究が手薄なスコットランド，北アイルランドも対象としてイギリス連合王国全体における少年司法の変遷を今日に至るまで分析する意欲的作品

〔1785-0・08〕

増田義幸著

イギリスの刑事責任年齢

A 5 判上製298頁／7000円

責任無能力の推定という特殊なシステムが長らく存在していたイギリスの刑事責任年齢について，子どもを取り巻く社会的環境を通じて将来的な展望を考察しようというもの。

〔5221-9・17〕

石川正興・曽根威彦・高橋則夫・田口守一・守山正著

少　年　非　行　と　法

46判並製196頁／1800円

今日，広い関心を集めている少年非行について，その原因，少年犯罪の特質，少年審判手続，非行少年やその被害者あるいは社会の立ち直りの問題更には非行少年の処遇についてわかり易く講義。少年法改正直前に行われた早大法学部公開講座の記録である。一般の方々のみならず，中学生や高校生にも一読を勧めたい。

〔1549-2・01〕

斉藤豊治著

少　年　法　研　究　2

少年法改正の検討

A 5 判上製338頁／6500円

少年法が甘すぎるから少年非行が激増しているとの言説が横行して，厳罰化改正が行われた。しかし，少年非行の問題はどの程度解消されたのであろうか。非行や犯罪の原因を法律や司法制度に求めるのは本末転倒ではなかろうか。少年法改正を科学的かつ冷静な目で批判的に吟味し，あるべき方向を示唆する。

〔1738-X・06〕

藤吉和史著

少年犯罪と触法行為者

A5判上製224頁／4500円

少年犯罪に対する処遇はどうあるべきか。最近の少年法改正で少年法の理念はいかに変貌を遂げたのか。また，精神障害者の触法行為に対する処遇はどうあるべきか。本書は「心神喪失者等医療観察法」が施行される今，少年や精神障害者に対する責任や刑罰，処分という問題をともに考えるための一書である。

〔1692-8・05〕

山口直也著

少　年　司　法　と　国　際　人　権

A 5 判上製434頁／6000円

わが国の少年司法は国際人権法に違反していないか。4回に及ぶ少年法改正の内容も含めて，少年司法の諸課題を国際人権法の観点から鋭く分析する。

〔1997-7・13〕

山田美香著

日本植民地・占領下の少年犯罪
台湾を中心に

A５判上製200頁／6000円

日本植民地時代の台湾を中心に，その土地の歴史的背景，政治的文脈を中心に考察し，構造的に近代以降の少年犯罪を支える様々な状況を研究する。植民地時代性の限界と戦後の少年福祉との関連を模索する研究書。

〔1977-９・13〕

斉藤豊治・守屋克彦編著

少年法の課題と展望　第１巻

A５判上製328頁／3700円

2000年の少年法改正で少年司法は試練を体験しつつある。改正法の下で理論および実務が直面する重要問題，少年法改正の波及的な効果などについて，第一線の実務家を中心に明らかにする水準の高い書物であり，今後予想される改正法の見直しや今後の少年法の発展を考えるのに必須の文献となろう。

〔1695-２・05〕

斉藤豊治・守屋克彦編著

少年法の課題と展望　第２巻

A５判上製348頁／3700円

2006年には少年法改正の見直しが予定され，さらに第２次改正の動きが顕在化している。本巻では国際的動向を見据えながら，少年審判のあるべき姿，国際準則と法改正，審判非公開と匿名報道，少年司法への市民参加など，課題を気鋭の研究者，実務家が分析しており，わが国の少年法研究の水準を示す。

〔1696-０・06〕

西原春夫編

調和社会の建設と犯罪予防

A５判並製108頁／900円

本書は，2006年（平成18年）６月10，11両日に中国四川省綿陽市で行われた，中国法学会犯罪学研究会，中国犯罪学研究会，日中刑事法研究会共催，アジア平和貢献センター協賛の第15回学術討論会中の日中学術交流セクション（６月10日）における報告・発言をまとめたものである。

〔1734-７・06〕

三原憲三著

死刑廃止の研究〔第６版〕

A5判上製842頁／10000円

刑罰論の根幹に関わる死刑問題に対し，問題の所在を整理し，歴史的・比較法的・実証的観点から死刑廃止論を明解に展開した労作の第５版。改訂にあたり，死刑廃止運動を巡る最新の議論状況を加え，死刑再考を促す。巻末では死刑に関する豊富な資料が収録されており，死刑制度を論じるうえで必携の書。

〔1864-２・10〕

三原憲三著

死刑存廃論の系譜〔第６版〕

A5判上製640頁／6000円

わが国は死刑制度を存置しているわけですが，どうして，こんな凶悪な犯罪が毎日のように発生するのだろうかということです。このことから，死刑には凶悪な犯罪を抑止する効力はないのではないかという議論が再熱しています。その際に，本書がその一助になればと思います。

〔1796-６・08〕

三原憲三著

誤判と死刑廃止論

A５判上製442頁／6000円

既刊『死刑存廃論の系譜』〔第６版〕の姉妹編にあたる。著者の長年の研究を集大成した論文集。最新の資料をもとに「名張毒ぶどう酒事件」，「袴田事件」，「布川事件」，「足利幼児殺害事件」など，その他多くの事件を扱いながら，多くの人が死刑について真剣に向き合い，論じるうえで必携の書。

〔1905-２・11〕

王雲海著

死刑の比較研究
中国・米国・日本

A5判上製236頁／4500円

第１章死刑の罪名　第２章死刑の様式　第３章死刑の条件　第４章死刑の執行方法　第５章死刑の前後刑罰　第６章死刑の社会的基礎

〔1689-８・05〕

松宮孝明著

刑事再審制度の意味とその改革

A5判上製240頁／5000円

「旧証拠のかさ上げ」や「認定事実の入れ替え」は，事実認定そのものを行わない再審請求審の性格に反し「二重の危険」禁止などの請求人の憲法上の権利を害し，ひいては裁判の確定制度そのものをも破壊してしまう。また，再審請求審の予備審的性格から，請求人への証拠開示や手続保障の必要も引き出されるのであり，それを明文化する法改正も必要である。〔5381-0・22〕

林弘正著

児　童　虐　待〔改訂版〕

―その現況と刑事法的介入―

A５判上製312頁／4000円

児童虐待という社会的病理現象は，マスメディアの報道によりその悲惨な状況が明らかにされている。本書は，わが国における児童虐待の現況を解析し，児童虐待が社会的に許容されない犯罪行為であり刑事制裁の対象とすべきことを，被害者支援を考えつつその問題点を刑事法的視点から考察するものである。〔1747-8・06〕

林弘正著

児　童　虐　待　II〔増補版〕

問題解決への刑事法的アプローチ

A5判上製524頁／6000円

本書は，児童虐待問題に対し刑事法的アプローチを企図する刑事法研究者による待望の第二論文集である。理論刑法学，被害者学及び臨床心理学の知見を縦横に駆使し，裁判実務で顕在化した多数の事例を分析した児童虐待問題の，基本書であるとともに最先端の研究成果を集大成した論文集でもある。〔1922-９・11〕

林弘正著

児童虐待の司法判断

A5判上製628頁／12000円

児童虐待は刑事制裁の対象であるとし，刑事判例187事案および民事判例10事案を，「被害者のサポート」「加害者への治療プログラム提供」の観点から考察する。

〔5282-０・19〕

吉岡一男著

刑事学各論の研究

―企業秘密から企業犯罪まで―

A５判上製246頁／5500円

犯罪現象を逸脱行動と対応活動の相互作用的全体像として捉える視点から，企業秘密侵害罪の立法化をめぐる議論，情報財・財産的情報を対象にした財産犯罪の可能性，行政犯の自然犯化もいわれる脱税などの租税犯罪，ホワイトカラー犯罪の研究に始まり組織体の犯罪としても論じられる企業犯罪を扱う論文集〔1537-９・00〕

高橋則夫著

RJ 叢書

修復的司法の探求

A5判上製190頁／3500円

修復的司法は，これまでの刑事司法が念頭になかった「被害者・加害者・コミュニティの癒し，回復，再生」を課題とする。絶望の淵に沈む被害者，社会から排除される加害者，不安と疑心と敬意に満ちたコミュニティの修復はどうしたら可能か。本書は，修復的司法とは何かを探求する注目すべき書である。〔1602-２・02〕

テッド・ワクテル著・山本英政訳

RJ 叢書２

リアル　ジャスティス

修復的司法の挑戦

A5判上製166頁／2900円

被害，加害の当事者は親族や友人を伴ってカンファレンスに参加する。そこで，彼らは「再生」のための話し合いを行う。事件をふり返り謝罪する加害者。受けた苦痛を告白する被害者。本書は学校，職場，司法の場での実践例を豊富に盛り込み，関係者間の直接対話の意義と効力を説いた修復的司法の入門書である。〔1688-X・05〕

ゲリー・ジョンストン著／西村春夫監訳

RJ 叢書３

修復司法の根本を問う

A５判上製268頁／5300円

近代刑法に即して事件を「犯罪」として立件するとき事件の本質は見失われるという。行為の構成要件や違法性の論議が中心に据えられ，被害者が実際に被る苦痛，生活不如意などの害悪的影響は焦点から外されるからである。人及び人との関係に注目する修復司法はそこを問い質し正義の論調をスタートさせる。〔1709-６・06〕

吉田敏雄著
RJ 叢書 4
犯罪司法における修復的正義
A 5 判上製206頁／3500円

犯罪司法における修復的正義の位置づけを総論的に論じた上で，刑事実体法，刑事手続法及び行刑における修復的正義を各論的に論じ，修復的正義の実現として注目を浴びているイングランド少年法制を批判的に検討し，最後に，近時の世界的傾向である「新しい懲罰性」の共通要因を分析した。〔1742-8・06〕

高橋則夫著
RJ 叢書 5
対話による犯罪解決
修復的司法の展開
A5判上製202頁／3500円

著者の修復的司法研究の第２弾であり，近時の過度な被害者関係的刑事司法の動きから修復司法へという，さらなるパラダイム転換の可能性を探求する。修復的司法の真髄である対話による犯罪解決の道を探り，被害者・加害者・コミュニティの３者の再生を構想する書である。〔1773- 7 ・07〕

ジョン・ブレイスウェイト著　細井洋子他訳
RJ 叢書 6
修復的司法の世界
A5判上製314頁／3000円

ブレイスウェイトは，1989年に「再統合的恥付け理論」を発表し，刑事司法の世界に大旋風を巻き起こした。その後，修復的司法は世界的に大きな潮流となり，その理論・実務をリードしてきたブレイスウェイトは今やその世界的権威となった。本書は，ブレイスウェイトの手になる多数の論文を初期から近時のもの　〔1801-7・08〕

ジョー・グディ著，西村春夫監訳
RJ 叢書 7
これからの犯罪被害者学
被害者中心的司法への険しい道
A 5 判上製398頁／8000円

被害者の支援が被害者学であるとするのは早計であろう。犯罪被害及び被害者を政治的，司法的，グローバル社会的な状況との関連で捉え直し，被害の特質，原因，結果と回復，公私の対応，予防を，加害者のことも視野に入れながら，科学的・多面的・被害者中心的に考察する。実践家から研究者等に必読の書。〔1899- 4 ・11〕

細井洋子・西村春夫・高橋則夫／編著
RJ 叢書 8
修復的正義の今日・明日
後期モダニティにおける新しい人間観の可能性
A 5 判上製328頁／6300円

修復的正義という思想は，世界的に大きな潮流となっている。世界の動向に軸足を置きながらわが国の社会に目を向け，司法，家庭，教育，地域における修復的人間観の可能性を探る。それを促進するための道を一方では制度・立法への働きかけに，他方では市民意識の涵養をはかることに求める。〔1879-6・10〕

西村春夫・高橋則夫編著
RJ 叢書 9
修復的正義の諸相
細井洋子先生古稀祝賀
A 5 判上製368頁／7500円

修復的正義・修復的司法研究に関する現在までの到達点を示す。

〔5155-7・15〕

山田由紀子著
RJ 叢書13
対話の会20年の修復的司法実践
被害者加害者対話から
A 5 判上製186頁／4000円

対話の会20年の歩みを正直にさらけ出し，研究者・実務家・当事者・地域社会の方々からの批判・意見に基づいて，日本における修復的司法実践の道筋を可能な限り見極めたいというもの。

〔5393-3・23〕

常磐大学国際被害者学研究所編
講演会論文シリーズ
被害者学とは何か
A 5 判並製68頁／1000円

被害者学の複雑多岐に渡る定義，彩り豊かな歴史，多文化的なルーツ，さらに被害者の権利から被害者補償，被害者サービス，修復的司法における調停の役割など被害者学の広範な事象に触れながら被害者学の領域を雄弁かつ明確に提示する。

〔9139-3・05〕

常盤大学国際被害者学研究所編
講演会論文シリーズ2
ドメスティック・バイオレンスへの対応
被害者と手を携えて
A５判並製98頁／1000円

アメリカの視点から概観した講演と参加者からの質問に答える形で進めたセミナーの内容，さらにドメスティック・バイオレンスに携わっている参加者がモデル事例検討に直接加わって意見交換した記録を収録。
〔9150-4・06〕

西田博・小西暁和編著
日本の矯正・保護を動かす「外の力」とは
A５判並製286頁／2300円

各方面で活躍する講師の組み合わせによる連続講義を通じて，わが国の矯正・更生保護の変化がどのような社会との関わりで生じているかを理解し，今後の日本の矯正・保護の方向性を探究する。
〔5372-８・22〕

丸山泰弘編著
グリーンブックレット15
刑事司法・少年司法の担い手教育
司法の課題と大学教育のこれから
A5判並製90頁／800円

刑事司法・少年司法の担い手をどのように養成していくのかという今日の大学教育の重要課題の一つに取り組む。2021年11月27日開催の立正大学法学部創立40周年記念シンポジウム。
〔9283-３・23〕

赤田実穂・川崎友巳・小西暁和訳
アメリカのホワイトカラー犯罪
名誉なき巨富
A5判上製1040頁／15000円

アメリカで生起する多様なホワイトカラー犯罪を「事例研究」を用いながら網羅的・体系的に犯罪学の知見に基づいて分析する。アメリカにおける重要なホワイトカラー犯罪研究史『Profit Without Honor: White-Collar Crime and the Looting of America』［第６版］の翻訳。
〔5310-０・20〕

商　　法

森本滋編著

商法総則講義〔第3版〕

A5判並製184頁／1600円

戦後ほとんど改正されていない商法総則の規定は，その後の株式会社形態を利用した現在の大企業体制の下において，全面的な見直しが要請されているが，最近の立法・実務動向の変化を踏まえて，平成十年末の状況を基礎に現行商法総則規定を概説する。

〔2522-0・07〕

森本滋編著

商行為法講義〔第3版〕

A5判並製238頁／1800円

平成17年改正商法及び会社法が施行後の経過を踏まえ，最新のデータによりアップ・ツゥー・デイトした第3版！

〔2561-9・09〕

森本滋編著

手形法小切手法講義〔第2版〕

A5判並製274頁／1800円

同編著の総則，商行為法に続く教科書。法学部生・ロースクール生を対象に平易に解説している。手形の経済的機能や銀行取引実務に十分配慮した。

〔2577-0・10〕

森本滋著

会社法・商行為法・手形法講義〔第4版〕

A5判並製468頁／2800円

LSの未修者が苦労する商法，とりわけ会社法の複雑な条文を理解できるように，多くの裁判例を引用し，基本的に重要な法的問題を丁寧に解説した最新の教科書，待望の第4版。

〔2658-6・14〕

石山卓磨著

現代会社法講義〔第3版〕

A5判上製648頁／4200円

平成26年に改正された現行会社法とそれに伴う会社法施行規則および会社計算規則を対象として，条文・判例・学説の各方面から浮き彫りにする体系書。法学部生・法科大学院生必携。機関選択，種類株式，内部統制，M&A等，株式会社をめぐる今日的重要問題を明解に解説する。

〔2690-6・16〕

柴崎暁著

金融法提要

預金・融資・決済手段

A5判並製360頁／3800円

金融法分野の私法理論を，銀行の基本業務である預金・融資を軸に体系化するとともに，他方，その手段である手形その他決済手段を論じる講義用教科書。債権法改正や派生商品にも言及。

〔2738-5・19〕

酒巻俊雄・尾崎安央編著

会社法重要判例解説

〔第3版補正版〕

A5判418頁／3200円

本書は現在の時点での会社法の分野に関する最新判例の解説書として新たに編集し直したもので，旧版に対しかなり多数の判例の追加，さし換えが行なわれている。

〔2550-3・08〕

酒巻俊雄・尾崎安央・川島いづみ・
中村信男編

会社法重要判例〔第3版〕

B5判並製208頁／2000円

事実関係と判旨をできる限り丁寧に示し，解説では，争点の指摘，その判決・決定の意義や会社法下での位置づけ，射程，そして残された課題を明示する。ケースブックとしての会社法判例教材の決定版。

〔2744-6・19〕

田邊宏康著

手形小切手法講義〔第3版〕

A5判並製278頁／2500円

手形小切手の「1個のかたち」を明確にするため，約束手形，為替手形および小切手を「手形小切手」としてまとめて解説するとともに，随所に事例による問題を設け，それぞれの設問にコメントを付す。2017年の民法債権法改正，2018年の商法改正に対応。

〔2746-0・19〕

越知保見著

公開会社法入門

A5判並製352頁／3000円

コーポレートファイナンスとM&Aの観点から，会社法・金商法の体系を再構成したユニークで実践的な公開会社法の基本書。M&Aに必須な会社法・金商法をコンパクトに整理する一方，敵対的買収などの最先端分野については，米国判例の流れも網羅的に解説したM&A実務家必携の書。ロースクールの学生にとっても，会社法と基本書を深く理解するための副読本として最適。〔2571-8・09〕

井上治行著

わかりやすい商法総則・会社法

A5判並製250頁／2000円

商法総則および会社法の講義用を主に初学者および実務家にも役立つ丁寧に解説した教科書。文章を平易で簡潔な口語にし，教科書としての性格上新規定の内容をわかりやすく説明し，取引の実際を素材として具体的に理解できるように工夫している。

〔2504-8・07〕

青竹正一著

特別講義　改正商法総則・商行為法

〔第3版補訂版〕

A5判並製266頁／2300円

重要問題につき最初に「設問」「判例」を設け，「問題へのアプローチ」で関係法令，規定の趣旨・目的，関連判例，学説に言及した後どのように理解すべきかの解答を示す。第3版刊行後の法律の改正，新しい判例・文献を取り入れるとともに，内容の補正を行った。学部・法科大学院生向け定番の1冊。〔2657-9・14〕

小室金之助・櫻井隆・黒木松男・加賀譲治共著

エッセンス商法〔第2版〕

A5判並製254頁／2200円

本書は現代商法が抱えるエッセンスを解説している。エッセンスとは，物事の本質・精髄であるが，本書を通読すれば，現代商法の様相や局面を理解していただけるはずである。主に経済学部・経営学部・商学部の「商法」という授業に対応する形で執筆した教科書であり，その構成も，また，記述もわかりやすい。〔2515-2・07〕

高岸直樹著

経営に携わる人のための会社法

A5判並製244頁／2200円

初学者からマネジメントに携わる社会人まで役立つ会社法の概説書。株式会社の経営者に必要なファイナンスやガバナンスの仕組みと法規制の効果を，簡潔にわかりやすく解説し，実践的な理解に導く。

〔2770-5・21〕

鳥山恭一・福島洋尚編

商法演習Ⅰ　会社法

A5判並製448頁／3300円

きわめて多岐にわたる論点を含む法分野となっている会社法について，基本的な問題である38項目を選定して解説する。各項目末に例題も付した，大学における会社法演習教材の決定版。

〔2752-1・20〕

河本一郎，小橋一郎，高窪利一，倉澤康一郎編

現代手形小切手法講座　第２巻

A5判上製334頁／5500円

手形行為の意義／手形行為の無因性と文言性／手形行為独立の原則／手形小切手の署名／手形小切手能力・意思表示の瑕疵・法人その他の団体の手形行為／手形小切手行為の代理・代行／無権代理および権限濫用／表見代理／偽造者の責任／被偽造者の責任／手形小切手行為と利益相反／手形の変造／以上の論文を収録。〔2379-7・00〕

桜井隆著

比較手形法・小切手法〔第２版〕

A５判上製234頁／2900円

約束手形・為替手形・小切手の三者を比較対照しながら，しかも同一レベルで論じる新しいタイプの概説書。法学部のみならず経済学部や経営学部などの学生さらに実務家にも対応すべく，図や表を多く取り入れ，理論・実務の両面からのアプローチがはかられている。平易かつ簡潔にまとめられた最適の基本書である。〔2590-９・10〕

奥島孝康著

企業法研究第一巻

フランス企業法の理論と動態

A５判上製456頁／8000円

本書は，ECの統合と保革の政権交代で揺れるフランスの経済社会を背景に，新しい企業像を求めて摸索するフランス会社法の立法動向を縦軸としながら，フランス企業法の理論状況の分析を横軸として，その立法動態を解明する。フランス会社法理解のための必読の書。〔2361-４・99〕

奥島孝康著

企業法研究　第三巻

フランス競争法の形成過程

A5判上製414頁／8000円

本書は，フランス競争法の形成過程を現在に至るまで刻明にたどったものであり，この分野においてはわが国でほとんど唯一の研究書である。近時，フランス競争法の発展は著しく，EU加盟国中でも競争環境の充実は眼を見張るものがある。ヨーロッパ競争法に関心をもつ者にとっては必読の書である。〔2381-9・01〕

長谷川雄一著

有　価　証　券　法　通　論

A５判上製268頁／3300円

商法上の有価証券を中心に各有価証券を対比する立場から，有価証券法という統一した分野が成立するか否かを検討する。総論において，有価証券の意義・他の証券概念との区別等を述べたのち，各論として，株券・社債券・手形・小切手・船荷証券・倉庫証券・抵当証券の各有価証券を取り扱う。〔2383-５・00〕

酒巻俊之著

一人会社と会社設立の法規制

A5判上製282頁／5000円

中小会社の分野や持株会社の傘下に存在する多数の一人会社をめぐる特殊な法律関係を判例はどのような論理で解決してきたか，立法的にはどのような措置が必要かを比較法的に検討し，同時に，わが国における株式会社の設立規制の問題点を指摘するとともに，会社法制の現代化試案における立法措置を批判。〔2464-5・05〕

鷹巣信孝著

社団法人（株式会社）の法的構造

企業と団体の基礎法理II

A5判上製484頁／8000円

法現象を本質・実体・現象形態の三つの次元に区別した上で，それを連関づけることにより全体像を把握する著者独特の方法論を用いて社団の構造と法人の基本機能を分析し，一人会社の社団性や株式会社は株主だけのものではないことを論証するとともに，団体は何をなしえ，何をなしえないのかを論じる。〔2453-X・04〕

河本一郎著

商事法研究第１巻

有　価　証　券　法　研　究

A５判上製302頁／5500円

学界・実務界をリードする河本商法学の集大成。第１巻には有価証券法の基礎理論を収める。「有価証券制度」「有価証券の概念」「記名証券の有価証券性」「債権譲渡の対抗要件と有価証券」「免責証券について」「有価証券におけるレヒツシャイン」「物としての有価証券」「物としての株券」。〔2382-７・00〕

河本一郎著
商事法研究第２巻
株　券　の　法　理
A５判上製328頁／6000円

学界・実務界をリードする河本商法学の集大成。第2巻には株券の基礎理論を収める。「株券の運送保険について」「株券の除権判決」「有価証券の返還請求権と除権判決」「公示催告手続と職権調査」「除権判決の対象となる証券」ほか。
〔2631-９・13〕

河本一郎著
商事法研究第３巻
手形法における悪意の抗弁
A5判上製338頁／6200円

電子記録債権法により，株式等の保管振替制度の手形版である「でんさいネット」の運用が始まった現在，同法にも規定されている抗弁切断，悪意の抗弁の理論的側面を掘り下げる研究書。
〔2686-９・16〕

市川兼三著
香川大学法学会叢書１
会社支配と社会的利益
A5判上製292頁／5500円

株式会社を動かす者はその支配者である。その支配者の行為は社会的利益によってどのように制約されているのか。この問題を検討したものが第一編会社支配と社会的利益であり，第二編会社支配と株主・債権者の利益，第三編会社支配と従業員の利益を論ずる。
〔2413-０・03〕

田邊宏康著
有価証券と権利の結合法理
A5判上製250頁／5000円

有価証券における権利と証券の結合法理は，普遍的なものではない。本書は，わが国の有価証券に関する私法規定の解釈の可能性を呈示することにより，これまで明確に把握されてこなかった嫌いがあるわが国における有価証券と権利の結合法理を明らかにし，有価証券法の理論的輪郭を描くものである。
〔2400-９・02〕

田邊宏康著
有価証券法理の深化と進化
A5判上製288頁／5500円

「改正民法における有価証券法理」「有価証券における無因性の法理」「手形と電子記録債権の法理」「物品証券の法理」「株券と振替株式の法理」の構成で有価証券法理の進化を追究する論文集。
〔2723-１・19〕

高田晴仁著
有価証券法と民法の交錯
A5判上製516頁／8000円

現実に生起した問題あるいは民法改正で民法典の中に「有価証券」の節が新設されたことを契機として，有価証券法および手形法の理論と民法の交錯する姿を捉えようとする試み。
〔2769-９・21〕

吉垣　実著
会　社　訴　訟　の　研　究
A5判上製230頁／4500円

本書は，現代株式会社をめぐる紛争の訴訟的処理について，広汎な考察を行ったものである。株主代表訴訟および会社の内部紛争において，実務上も議論の多い論点について詳細な分析を加え，多くの示唆を与えている。全編を通じて会社訴訟の特質の全体像を浮き彫りにしようと試みた意欲作である。
〔2416-５・03〕

顧丹丹著
株主代表訴訟の終了制度
A5判上製264頁／5800円

現行会社法における株主代表訴訟の健全な利用を促進するために必要な終了制度のあり方について，日米の法規制の差異に注目しつつ問題点を再整理し，可能な対策を検討する。
〔2713-２・18〕

新津和典著

株主権の再評価

A5判上製358頁／5500円

一株一議決権原則を巡る議論が世界的争点となる今日，わが国でも無議決権株式が普通株式まで解禁された状況を踏まえて，株主権の中核である議決権を権利性の視点で再検討する。

〔2750-7・20〕

市川兼三著

米国従業員持株制度の理論と政策

A5判上製208頁／4500円

日本の高齢化率が急上昇する一方で年金制度は給付水準が低下している現在，従業員の退職後の生活を株式所有に基づく配当収入によって確保しようとする米国従業員持株制度を再検討する。

〔2789-7・22〕

吉川吉衞著

定型約款の法理

類型づけられた集団的意思のあり方

A5判上製648頁／13000円

法化社会の到来により，法的プラットホームである契約の公正かつ透明化が求められる現在，約款を規律する明確なルールを作成した2017年改正民法における定型約款規定の解釈に関する研究。

〔2745-3・19〕

神吉正三著

金融法の現在と未来

A5判上製464頁／7000円

協同組織金融機関を含む預金取扱金融機関に対する銀行法上の規則やこれら金融機関とステークホルダーとの関係を論じるとともに，銀行経営の健全性維持，銀行業の将来展望を探究する。

〔2756-9・20〕

草野計雄著

経営監査のアカウンタビリティー

A5判上製432頁／5000円

実務から法学・経営学の学際領域に切込み取締役の職務全域をマトリックスに収容。善管注意義務の受託責任の視点から自信ある監査報告の構築を主張する。「著しく不当」を指数化し対応する監査役行動類型を完成。審査役会・委員会等監査意見の集合形成方法を意思決定論的に開発。海外監査用英文が異色。

〔2494-7・06〕

川内克忠著

英米会社法とコーポレート・ガバナンスの課題

A5判上製286頁／5500円

著者の英米会社法のコーポレート・ガバナンス研究の集大成。英国のブロック・レポート，1985年会社法109条，DTIの一連の諮問文書と政府白書，2006年会社法172条，米国のALI「コーポレート・ガバナンスの原理：分析と勧告」（1992年）第2.01条，判例法の展開等を企業の社会的責任の文脈で検討。

〔2556-5・09〕

佐藤敏昭著

監査役制度の形成と展望

大規模公開会社における監査役監査の課題

A5判上製312頁／3800円

大規模公開会社の監査役監査を中心にその特性や現代的課題を論じた意欲作。理論と実務の両面から，内部統制，企業情報開示など現代的課題にアプローチする。また，明治期からの制度変遷過程の議論を踏まえ，2009年の各界提言書・意見書における監査役制度改正の議論に対し方向性を示唆する。

〔2569-5・10〕

趙旭東（原著編）／陳景善・荻原正（編訳）

中国会社法学

A5判上製610頁／8000円

本書は，2005年中国会社法の起草小委員会のメンバーを原編者とし，中国国内で好評を博している国家級教材を翻訳したものである。改正の過程，到達点及び残された課題を，国内関連法との関わりや主要国の関連法と比較しつつ詳細に解説したものである。中国研究の初心者から専門家まで極めて有益な書である。

〔2647-0・13〕

経　済　法

鈴木加人著
愛媛大学法学会叢書9
独占及び取引制限規制の研究
A5判上製322頁／5000円

独占及び取引（営業）制限を規制することは，いかなる意味をもつのであろうか。独禁法の母法である英米コモン・ローまで遡って，歴史的・社会科学的に分析しながらこれを探求する。最近，わが国の独禁政策は，もっぱら経済効率性を求める傾向にあるが，経済民主主義の達成という観点からこれを論ずる。〔3170-6・02〕

岩本諭著
佐賀大学経済学会叢書第21号
競争法における「脆弱な消費者」の法理
顧客誘引に対する規制と規律の複線化の考察
A5判上製534頁／11000円

「脆弱な消費者」という消費者概念を視座として，現代経済社会における消費者の立ち位置と，消費者にとって「あるべき法制度」について，競争法の立場から考察する研究書。

〔2737-8・19〕

労　働　法

有田謙司・唐津博・古川陽二編著

ニューレクチャー労働法
〔第３版〕

Ａ５判並製432頁／3000円

雇用社会の中で労働者が自由と平等を保障されるためにどのような法的規制がなされているのか。労働紛争に遭遇したときにはどのような紛争処理機関にアクセスできるのか。学生，一般の会社員，そのほか労働関係の実務に携わる方々に役立つ教科書。

〔3402-４・20〕

三井正信著

基本労働法Ⅰ

Ａ５判上製324頁／2500円

雇用社会の変化を踏まえつつ労働法の基礎・基本骨格を明らかにしてその体系的な理解を促すとともに雇用社会のルールを基礎から応用まで体系的にカバーする基本書。全３巻構成で，本書Ⅰでは労働法の基礎と労働契約の成立・展開・終了を扱う。

〔3297-６・12〕

三井正信著

基本労働法Ⅲ

Ａ５判上製412頁／3300円

これまで複雑多岐にわたりとっつきにくいとされてきた労使関係法を，基礎から応用まで体系的に，そして，わかりやすく解説する。司法試験受験生等のニーズに応える基本労働法シリーズの第２弾。

〔3327-0・14〕

三井正信著

ワークルールの基礎

Ａ5判上製170頁／2800円

「労働法は私たちのもの」という原点に帰って，ワークルールの基礎や考え方を，重要事項を中心にできる限りわかりやすく，メリハリをつけて体系性・総合性を踏まえつつ説く。

〔3421-5・22〕

三井正信著

現代雇用社会と労働契約法

Ａ５判上製270頁／5000円

現行労働契約法の意義，特徴，問題点や限界を考察したうえで，その基本趣旨・基本原理に立ち返って就業規則論，使用者の懲戒権・人事考課・査定権や成化主義をめぐる状況を検討。さらに労働契約法のあるべき基本原理にもとづいた労働契約理論の形成・展開の方向性と今後の法改正へ向けての立法論を提示。　〔3267-９・10〕

三井正信著

フランス労働契約理論の研究

Ａ5判上製272頁／5000円

身分規程の発展に伴う「契約から身分へ」という現象，組織的集団的性格を有する企業の法的把握の問題を巡って理論が大きく揺れ動いてきたフランス労働契約理論の歴史的展開を追究する。

〔3351-５・16〕

野川忍著

労働法原理の再構成

Ａ5判上製288頁／5500円

労働法制の変容めまぐるしい昨今，第二次大戦後に確立された労働法の諸原理自体を再考する時代に来ているという問題意識に立ち，労働契約の法理論，国際労働法制，雇用政策といった具体的論点の検討を試みる。

〔3304-１・12〕

細谷越史著
香川大学法学会叢書 9
労働者の損害賠償責任

労働者が，労働過程における過失などにより使用者に損害を与えた場合に，いかなる責任を負うべきかという課題について，日本法とドイツ法の比較を通じて考察し，解明を試みるもの。

A5判上製230頁／5000円　〔3318-8・14〕

瀬谷卓美・位田央編
グリーンブックレット 3
労働社会保障実務から現代法を考える
社会保険労務士業務の最前線

社会保険労務士会と大学法学部の産学連携から生まれた，実務家による講義の記録。就業規則や労災など就職時に必要な知識からワークシェアやワーク・ライフ・バランスなど最新のテーマまでを網羅。社労士試験を目指す学生や広く社労士の実務に関心のある人々に向けて，具体的な事例を中心に解説する。

A 5 判並製126頁／800円　〔9199- 7 ・10〕

大島英樹編
グリーンブックレット11
若年雇用問題の背景と課題, 展望

高齢化が進行し今後の社会を担う若年層の役割が重みを増す中，若年雇用に関する諸問題を多角的視点から分析し，解決への方策を示唆する。平成24年度公開シンポジウムにおける検討の記録。

A5判並製74頁／800円　〔9252-9・15〕

ヒュー・コリンズ著　イギリス労働法研究会訳
イ ギ リ ス 雇 用 法

市場経済システムのもとでの労働法規制のあり方が問われる現在，集団的レッセ・フェールに依拠する伝統的なイギリス労働法論とは異なり，社会的包摂，競争力，シティズンシップをキー・ワードとして，労働法理論の歴史的発展・展開を俯瞰し，あるべき労働法を展望する，比較法上も注目すべき労働法論

A5判上製316頁／3800円　〔3245-7・08〕

社 会 保 障 法

久塚純一著

社会保障法へのアプローチ

方法としての［「ソモソモ」と「深掘り」］

46判並製268頁／2900円

「社会保障法について考察するコト」とはどのようなコトなのか。ついに，これまで光の当たらなかった，社会保障法の「考察工程ソレ自体」を意識化し，「私たちの方法の姿」を浮かび上がらせる。シリーズ完結!?

〔3398-0・20〕

久塚純一著

「考え方」で考える社会保障法

46判並製254頁／2900円

「考え方」は１つじゃない！
「社会保障法とはどのような考え方から成り立っているのだろう」という問いを発しながら，社会保障法を構成している諸々の要素とそれについての「考え方」について考える。

〔3335-5・15〕

久塚純一著

「ありよう」で捉える社会保障法

社会保障の法現象

46判並製262頁／2900円

社会保障の現象学！
「ありよう」という枠組みを使用することで，現代日本における社会保障の法現象がどのような状態にあるのかについて位置づけ，社会保障法の持っている法的特色を捉えようとする。

〔3354-6・16〕

久塚純一著

「議事録」で読む社会保障の「法的姿」

46判並製266頁／2900円

「議事録」は面白い！
戦前・戦時下，戦後，そして現在まで，社会保障に関する法律がどのように語られてきたかを，実在するモノ（＝議事録）から探し出すことで，社会保障の「法的姿」を描き出す。

〔3363-8・17〕

久塚純一著

「ことば」と社会保障法

規範的独自性を探る

46判並製256頁／2900円

［「ことば」というモノ］を手掛かりとして「社会保障法」とはどのようなモノなのかに接近する。シリーズ４作目となるユニークな教科書。

〔3378-2・18〕

久塚純一著

比 較 福 祉 の 方 法

A５判並製304頁／3200円

「比較福祉の現状」を踏まえながら，比較するために心掛ける諸点について，「比較のための圏域」，「比較のためのデータ」など，具体的な事柄を取り上げながらわかりやすく解説した「比較福祉」の方法論。「当然の前提としていること自体」に光をあてて，そこにある論理性を探り，考える楽しさを学ぶ。

〔6099-3・11〕

土田武史編著
商学双書３

社 会 保 障 論

A５判並製428頁／3000円

家族政策，労働，企業福祉，民間保険などを入れて従来の社会保障よりも範囲をやや広くとり，社会保障とは何か，世界と日本の社会保障の歴史，社会保障の問題点を明らかにする。

〔4254-8・15〕

菊池馨実・中川純・川島聡編著

障　害　法〔第２版〕

Ａ５判並製270頁／2600円

高齢化社会を迎えた現在，障害をもっている，または障害に関わっている人々の生活制限を改善し，共生社会の実現を図るための障害法の機能・役割を分かりやすく解説する。法学専攻，社会福祉専攻の学生はもちろん，法律・福祉分野の実務にも有益。

〔2777-４・21〕

阿部和光著

久留米大学法政叢書18

生活保護の法的課題

Ａ５判上製296頁／4200円

生活保護の権利と法構造，補足性原理のあり方，資産活用と自動車の保有，学資保険と教育・学習権，能力活用，保護基準と費用負担等を対象に生活保護の法的課題を検討し，補足性原理の保護排除機能の抑制により，困窮する人々が生活保護制度に包摂され生存権を享受できる法システムの必要性を主張する。〔3296-９・12〕

庭田範秋著

社会保障の失意と希望

Ａ５判上製234頁／2500円

日本のみならず世界にあっても，社会保障の知識とその活用なくしては，幸福で豊かな生活はありえない。その社会保障が主として財政窮迫の理由から崩壊しつつあり，国民は深い失意に落込んでいる。そこで知識と学理と明断をもってこれが再建を図り，新しい希望を作ろう。本書はその方法と路線を明示。〔2496-３・06〕

庭田範秋著

社会保障の破壊と再築

Ａ5判上製240頁／2500円

社会保障ほど過重な期待と不当な誤解に歪められているものはない。これさえ実施されれば福祉国家は達成されるとしたり，これあるが故に惰眠社会が生まれるともされているが，本書は，かくて社会保障の批判攻撃に走ったり，唯一最大の政策と過信する学問と現実に抵抗して，今こそ理論と実際の正道を求める。〔2512-１・07〕

庭田範秋著

平成の逆風と新風

Ａ5判上製338頁／3000円

うち見たところわが国の社会も経済も依然として順調かつ発展的に見えながら，その背後と根底においてこれほど矛盾に満ち問題山積も著しい。まさに逆風，崩壊前夜。だが適切な改革と明断をもってすれば，今ならば新風を持込みえよう。その時々の現象を捉えて鋭く分析，そこで本書は社会批判と改革の力作。〔2524-４・07〕

庭田範秋著

成文堂選書48

直視しよう この日本を

46判上製188頁／1600円

わが国の社会・政治・経済の発展とその研究の歴史は長く，見るべきところも多い。だが，今日の様相ほど混乱と低迷を極めた時代は類例がない。かかる時世に身を置く我々は，しっかりとこの現実を直視し，とりわけ世界の趨勢の中でいかに生きるべきかを追求し，悔いなき生涯を達成するよう鋭意専心努めよう。〔2547-３・08〕

医　事　法

姫嶋瑞穂著

医事法学入門〔第2版〕

A5判並製330頁／2800円

医事法の初学者および医療関係者を対象に，現代医療が抱える問題や急激に変化しつつある医療の現状を理解しやすくするため，平易な文章と豊富な図表を用いて解説する入門書。

〔2774-3・21〕

久々湊晴夫・姫嶋瑞穂著

医事法学

医療を学ぶひとのための入門書

A5判並製334頁／2900円

医療法の改正等，最新の法律をもとに記述し，実際の臨床現場での問題を学べるよう最新の裁判例を紹介する。「医療とは」「生命とは」「人権とは」「裁判とは」を考えるための教科書。

〔2682-1・15〕

久々湊晴夫著

やさしい医事法学〔第2版〕

A5判上製324頁／2800円

「医療と法」に関する問題を体系的・網羅的に扱っており，医療系大学などの「法学」のテキストとして最適。また，法学的のゼミなどでも使用できる。
〈主な内容〉輸血拒否／病名告知／末期医療／臓器移植／生殖医療／妊娠中絶／臨床試験／遺伝子治療／医療事故／歯科事故／医薬品事故／看護事故など。〔9126-1・04〕

城祐一郎著

現代医療関係法

A5判並製456頁／3300円

医学部生等のほか，医師，薬剤師，看護師等の医療現場で勤務する方々の理解に資することを目的とし，具体的事例，裁判例を多く採り上げて，現代における医療に関係する法制度やそれに付随する問題点を整理し検討するテキスト。

〔2779-8・22〕

大谷實著

医師法講義

A5判並製252頁／3200円

医学生，医師国家試験受験生，研修医など，医師養成に係わる皆さま必読の基本書。医事法の根幹である医師法を，体系的かつ平易に解説した最初の本。

〔3426-0・23〕

大谷實著

新版　精神保健福祉法講義〔第3版〕

A5判並製286頁／3000円

現行の精神保健福祉法を体系的･客観的に解説し，法学･医学・一般の各領域に共通の水準を提供する。法律学関係者のみならず，医師，精神保健福祉士，看護師，作業療法士など，精神医療関係者必携の書。第2版刊行後の動向を踏まえ，社会的関心の高い措置入院に対する考え方を明確にする。〔3364-5・17〕

甲斐克則著

医事刑法研究第2巻

尊厳死と刑法

A5判上製310頁／2800円

本書は，尊厳死に関する著者の長年の研究を〔医事刑法研究第2巻〕としてまとめたものであり，「人間の尊厳」という本質問題に迫りつつ，アメリカ，ドイツ，イギリス，日本の議論を入念な判例分析を加味して詳細に検討し，延命拒否権の限界を探究する本格的研究書であると同時に関係者必読の書である。〔1651-0・04〕

甲斐克則著
医事刑法研究第３巻
被験者保護と刑法
A５判上製218頁／2500円

本書は，著者の医事刑法研究の第３巻として，「人間の尊厳」に根差した被験者の法的保護と科学・医療技術の進歩との調和という観点から，人体実験・臨床試験の法的・倫理的問題点を歴史的側面，法解釈論的側面，比較法的側面，および制度論的側面にわたって論じたわが国初の本格的研究書である。〔1703-7・05〕

甲斐克則著
医事刑法研究第４巻
生殖医療と刑法
A５判上製316頁／2800円

人工授精，体外授精，代理出産，妊娠中絶，出生前診断，クローン技術の応用等の生殖医療の諸問題について，イギリス法やドイツ法等の比較法的研究，歴史的研究，および解釈論的研究を踏まえ，日本における新たな刑事規制ないし法規制の枠組みを呈示する医事刑法の本格的研究書であり関係者必読の書である。〔1878-９・10〕

甲斐克則著
医事刑法研究第５巻
医療事故と刑法
A５判上製312頁／2800円

刑事医療過誤の理論的側面はもとより，法的処理とリスクマネジメント・医療安全といった医療現場からの問題提起を事故の問題意識に組み込みながら思索を展開した研究の成果。

〔1965-６・12〕

甲斐克則著
医事刑法研究第６巻
臓器移植と刑法
A5判上製306頁／2900円

人体の構成体利用と臓器移植の問題状況を，臓器移植法改正前後の動向をふまえて検討する。刑事規制をめぐる今後の課題と展望を示す研究書。

〔5191-５・16〕

甲斐克則著
医事刑法研究第７巻
終末期医療と刑法
A5判上製306頁／2900円

臨床現場で終末期医療に携わっている方々や臨床倫理の研究および実践に携わっている方々との共同研究の成果，さらにはドイツ，イギリス，オランダ等での現地調査や比較法的分析の成果を盛り込みつつ理論を展開する。

〔5228-８・17〕

甲斐克則著
医事刑法研究第８巻
人体情報と刑法
A5判上製382頁／3800円

医療情報と遺伝情報，さらにはゲノム情報を総称して「人体情報」と位置づけ，それらが医事刑法ないし医事法にどのように関わるかを究明しようとする。

〔5382-７・22〕

甲斐克則編著
遺伝情報と法政策
A5判上製256頁／3200円

ポストゲノム時代を迎え，遺伝情報の取扱いに関し，雇用・保険・結婚をめぐる遺伝的差別の問題，遺伝子診断と優生思想の問題，犯罪捜査・親子鑑定・ビジネスをめぐる問題等が生じつつある。本書は，これらについて真摯な議論を展開する米国，アイスランド，ドイツの議論・制度作りを本格的に検討する。〔3223-５・07〕

中山研一著
成文堂新書２
臓器移植と脳死
日本法の特色と背景
新書判並製236頁／1000円

日本の臓器移植法は，紆余曲折の末に，1997年10月から施行され，2000年10月に３年後の見直し問題に当面した。その機会に，これまでの14件の実施例を検証し，立法過程の問題点をフォローし，さらにその背後にある脳死論議にまで遡ることによって，日本法の特色と背景の探究を目指したもの〔1563-8・01〕

中山研一・甲斐克則編著

新版　医療事故の刑事判例

A５判上製328頁／4000円

旧版『医療事故の刑事判例』を引き継ぎ，それ以降の新しい刑事判例とその動向に注目しつつ，その分析を通じて，現在の医事法学の到達水準を明らかにする。

〔1875-８・10〕

山中敬一著

医　事　刑　法　概　論　Ⅰ

序論・医療過誤

A５判上製878頁／14000円

新しい医事刑法の分野における未成熟な体系性にかんがみて現在の一応の学問水準を体系化して提示しようとするもの。第１巻は，「序論」と「医療過誤」を扱う。

〔5121-2・14〕

山中敬一著

医　事　刑　法　概　論　Ⅱ

先端医療の比較規範体系

A5判上製1014頁／16000円

先端医療の分野におけるわが国の法制度を客観的に評価するため，とくにドイツ法における先端医療の制度を調査，比較しつつ，わが国の制度の特徴を分析する。

〔5345-2・21〕

田中圭二著

法　医　学　と　医　事　刑　法

法学部生のための

A5判上製274頁／2800円

著者は，法学部出身であるが，以前に医学部法医学講座の教官として司法解剖の介助や精神鑑定の助手をつとめた経験から，法学部学生として，これだけは知っておいてもらいたい法医学や医事刑法の重要問題を，32枚の写真と43種の事例をあげながら平易に解説。法曹関係者や警察関係者にも役立つ書。

〔1574-3・02〕

于佳佳著

医療過誤の処罰とその制限

A5判上製318頁／7500円

医療の質を確保するとともに適切に医療を行っている医療従事者を，刑事訴追の不安から解放することを目指して，医療過誤の処罰範囲の明確化・適正化を図ろうとする研究書。

〔5220-２・17〕

増成直美著

診療情報の法的保護の研究

A5判上製248頁／5000円

高度情報化社会の急速な進展と高度化・専門化が進む医療形態の変化の中で，患者のプライバシーの権利の現代的形である自己情報コントロール権を基盤として，医師の守秘義務，カルテ開示，医学研究への患者情報の利用といった医療現場における診療情報の扱いを検討し，21世紀のあるべき医療を探究する。

〔1631-6・04〕

石崎泰雄著

患　者　の　意　思　決　定　権

A５判上製242頁／2800円

患者はその身体の所有者といえるが，自己の身体に対して，いかなる治療行為を施すかということを意思決定する権利が，患者固有の権利として認められ，確立されていく過程を広い視野から綿密に解き明かした書である。法律家・医療関係者にとどまらず，広く一般市民（患者）にとっても必読の書といえる。

〔8061-８・08〕

稲垣喬著

医療関係訴訟の実務と方法

―裁判経験を基軸として

A５判上製304頁／3500円

裁判官，弁護士，民事調停委員としての豊富な実務経験を踏まえて構築された医療関係訴訟の実務と基礎に関し執筆した論説，判例批評，講演等を収録。法曹実務家，学者，医師，及び法律と医療に関係する学生に医療裁判の実際の認識・解明への理解と指針を与える絶好の書。

〔2563-３・09〕

上田健二・浅田和茂編訳
アルビン・エーザー
医事刑法から統合的医事法へ

本書は，当初『先端医療と刑法』（1990年）の第２版として企画されたものであるが，第１章，第２章の他はすべて新しい論文に入れ替え，書名を変えて刊行したものである。

Ａ５判上製396頁／7000円　〔1898－７・11〕

国際法・外交史

木棚照一編著
プライマリ法学双書
国　際　私　法

国際結婚などの家族法関係や国際契約，国際不法行為などをめぐる財産法関係を規律する基本法である国際私法を，できる限り分かりやすい設例や判例を取り上げて解説する講義用教科書。

A5判上製490頁／3900円　〔3348-5・16〕

木棚照一編著
プライマリ法学双書
国際取引法〔第2版補訂版〕

私法関係に重点を置いた国際取引法の教科書。民事訴訟法の一部改正による国際裁判管轄権の規定の新設，さらに日本のEPA（経済連携協定）の展開や判例などについて補訂したもの。

A5判上製404頁／3300円　〔3286-0・11〕

中村達也著
国際取引紛争〔第3版〕
紛争解決の基本ルール

国際取引法を学ぶ学生のほか，国際取引の実務を担当するビギナーを対象として，国際取引紛争解決のためにさらに内容をアップデイトし，必要な基本ルールを分かり易く解説する概説書。

A5判並製304頁／2800円　〔2728-6・19〕

島田征夫編
学習国際条約・判例集

国際法上最重要な条約と判例を1冊に収録。条約は年代順に掲載されている。判例は見開き2ページに収められており，国家試験対策にも最適。判例の解説では，他の判例とのクロス・リファレンスが充実しており，国際判例の流れを把握することができる。持ち運びに便利なコンパクト・サイズ。

A5判並製106頁／800円　〔3285-3・11〕

鶴田順著
国際法講義〔第3版〕
副読本

既存の国際法の教科書ではあまり扱われていない内容に絞って，日本における国際法の実施に焦点をあて，国際法や国際海洋法の講義や演習の「副読本」として用いることを目的とする。

A5判並製160頁／1800円　〔3420-8・22〕

廣江健司著
国際民事関係法

国際私法・国際民事手続法・国際取引法という法分野を裁判の流れに対応して記述する入門書であり，また，この法分野の現在の法状態を理論から実務へ架橋するように論述する概説書。

A5判上製376頁／3200円　〔2545-9・08〕

萬歳寛之著
国際違法行為責任の研究
国家責任論の基本問題

国際法の法規範性の証明という課題に向き合いつつ，実際的適用可能性のある国家責任法の提示という問題意識に立ち，現代国際法における国家責任法固有の射程の特定を試みる論文集。

A5判上製356頁／5200円　〔3334-8・15〕

萬歳寛之編

日台経済交流と国際法

A5判並製352頁／6800円

①経済交流を可能にする法的基盤と②経済交流に伴う人の移動により発生する法律違反事案への協力関係のあり方を検討する。日台若手研究者共同研究事業の研究成果（中文版付）

〔3422-2・22〕

種村佑介著

国際不法行為法の研究

A5判上製406頁／6000円

国境を越えてなされる不法行為がますます多様化・複雑化する現在，それに対処するため，比較法的・歴史的視点から，現代に求められる国際不法行為法のあり方を試みる研究書。

〔3365-2・17〕

島田征夫著

開国後日本が受け入れた国際法

19世紀における慣習国際法の研究

A5判上製426頁／5500円

国際法は欧州を起源とするが，我が国は開国後にそれを知り大陸進出の武器とした。19世紀慣習国際法の研究を通じてその功罪を掘り下げ，現代にも通用する「何か」を模索する。

〔3308-9・13〕

大村芳昭著

国際家族法研究

A5判上製238頁／5000円

「国政私法の現代化をめぐる考察」「法例31条に関する覚書」「人際家族法研究の課題」「国際家族法と人際法」などを収録する家族法，国際私法，人際法分野における研究の成果。

〔3340-9・15〕

大村芳昭著

渉外戸籍・国籍法研究

A5判上製216頁／4500円

渉外戸籍・国籍法に関する論考を中心として，さらに，国際家族法に関する判例研究を収録した論文集。

〔3379-9・18〕

柑本英雄著

国際的行為体とアイデンティティの変容

―欧州沿岸辺境地域会議と共通漁業政策をめぐって―

A5判上製238頁／4000円

欧州統合の深化と拡大は，そこで活動する行為体としての国家・地方自治体に影響を及ぼし，これらの深層でアイデンティティの変容をもたらした。本書は，社会情勢の変化の題材として共通漁業政策，行為体として欧州沿岸辺境地域会議をとりあげ，アイデンティティの変容を分析する国際社会学の書である。〔6076-5・00〕

斎藤元一著

人物日米関係史

万次郎からマッカーサーまで

46判上製216頁／2000円

「世界で最も重要な二国間関係」と言われながら，日米関係で主役をつとめた人びとは歴史のかなたに忘れ去られようとしている。そうした8人にスポットに当て，人柄が分かるエピソードを織り込みながら人物誌をタテ糸，当時の社会情勢をヨコ糸にして，分かりやすさと面白さに重点をおいた異色作である。〔7068-X・99〕

多賀秀敏編

国際社会の変容と行為体

A5判上製446頁／4200円

輸送通信手段の発達でかつては接触のなかった人びとが触れ合う機会が増大している。これまで中心的行為体であった国家の地位・役割・あり方は，どれも変化しつつある。歴史・理論・非国家行為体の3部から，行為体の分析を通じて，底流から変化する国際社会に関心をもつ読者の知的要求に応える書。〔3152-8・99〕

長谷川正国訳

現代国際法入門

A 5 判上製768頁／5000円

待望されていたエイクハースト『現代国際法入門』のマランチュクによる全面改訂版の日本語訳。国際環境法および国際経済法を含む国際法の全領域が最新の資料により的確に論じられる。冷戦終結後の国連活動も詳細に分析させる。国際法史の記述の充実ぶりと併せ，国際法の基本問題の論述が一層体系化された。〔3153- 6 ・99〕

シャルル・ド・ヴィシェール著
長谷川正国訳

国際法における理論と現実

A5判上製414頁／5500円

シャルル・ド・ヴィシェールはベルギーを代表する国際法学者で，第二次世界大戦後，常設国際司法裁判所が解散するまで裁判官も務めたのち，新設された国際司法裁判所の裁判官に任命され活躍した実務家でもある。その多彩な経験から生まれた本書は，正に国際政治の現実をライフワークとして纏めた名著である。〔3237- 2 ・07〕

J. G. メリルス著・長谷川正国訳

新版 国際紛争処理概論

〔原著第 4 版〕

A5判上製438頁／4000円

国際紛争の平和処理に関する教科書第 4 版の翻訳。21世紀に入って生起した諸事件やICJ, WTOパネル, ITLOS等の判断を定評のあるコモンセンス・アプローチにより的確に分析する。2003年の米英によるイラク侵入も批判を免れない。国際法･国際政治を研究する学徒の必読書。〔3250-1・08〕

長谷川正国訳

国際法の展望および諸論稿

A 5 判上製294頁／5500円

ブライアリーは国際秩序と法の関係について最も深く考えた国際法学者の 1 人である。本書はブライアリーの真骨頂を堪能できる幻の名著『国際法の展望』と珠玉の論文「国際法における義務の基礎」,「国際法の欠点」,「国際社会における法の支配」,「制裁」,「法，正義，そして戦争」を訳出した。〔3266- 2 ・10〕

長谷川正国訳

フィリップ・ジェサップ

トランス･ナショナル･ロー

46判上製184頁／2800円

本書は20世紀アメリカ合衆国を代表する国際法学者の 1 人であったジェサップ（Philip Cary Jessup）が1956年に出版した『トランスナショナル･ロー』を全訳したものである。原著は同年にイエール･ロー･スクールで行われたストアーズ講義をそのまま出版したものである。〔3280- 8 ・11〕

長谷川正国訳

ジェームズ・L・ブライアリー

諸国民の法および諸論稿

A 5 判上製524頁／8500円

ブライアリー自身の手になる不朽の国際法教科書最終版（第 5 版）と珠玉の諸論文の翻訳。伝統的国際法の神髄を堪能できる一冊。国際法の基本問題の解明に無限の示唆を与えるであろう。〔3309- 6 ・13〕

櫻田嘉章訳

P. H. ノイハウス

国際私法の基礎理論

A 5 判上製530頁／4500円

現代国際私法の古典ともいえる本書は，ドイツのみならず世界各国で参照されている。知的財産権，民事訴訟の国際化に伴い，その理論的基礎が問われているが，現代国際私法の理論的基礎を明らかにすることで，渉外法の現代的課題が克服される。国際関係法に関心を有する者にとって必携の書。〔3160- 9 ・00〕

川上壮一郎・布施　勉監訳

海洋，それは人類の未来

海洋問題世界委員会報告書

A5判並製258頁／3000円

人類全体の立場に立って，利用可能な海洋資源の維持をどのように進めるべきか，地球環境を維持するために海洋環境をどのように管理していくべきか，世界のすべての海洋の安全と平和をどのようにして保障すべきかなどの問題について，世界的な専門家が叡智を集めて議論を重ね国連総会へ報告されたもの。〔3168-4・01〕

外　国　法

小口彦太・田中信行著
プライマリ法学双書
現 代 中 国 法〔第２版〕
A5判上製506頁／3500円

現代中国の最重要法分野に関する本格的で詳細な概説書。中国法の構造的特質，党と国家体制，司法制度，刑法，刑事訴訟法，契約法，不法行為法，会社法，社会と法からなり，巻末に中国法のガイダンスを掲げる。中国法を受講する学生のみならず，中国との取引に関心を有する企業人にとっても必読の書。〔3299-０・12〕

西村幸次郎編著
グローバル化のなかの現代中国法
第２版
A5判上製284頁／2800円

グローバル化の「光と影」，「功罪」が問われているなか，中国は「外来資源」を導入して国際社会における普遍性を受け入れるとともに「本土資源」を確認して中国的独自性の保持を模索している。この現代中国法の動向について主要な法分野から考察し，日中の法学，文化，学術，経済交流の在り方に示唆を与える。〔3263-1・09〕

李範燦・石井文廣編著
名古屋経済大学叢書３
大 韓 民 国 法 概 説
A５判上製256頁／5500円

韓国における各種の法の内容と特色を一目で眺めることができる。特定の法分野に偏ることなく，韓国の法と韓国人の法意識に関して，総合的かつ体系的に紹介・解説されている。韓国法への案内図的な教科書。

〔3253-２・08〕

小口彦太著
現 代 中 国 の 裁 判 と 法
A5判上製268頁／6000円

一体誰がどのような準則にもとづいて人を裁いてきたのか，また現に裁いているのか，そしてその準則としての法についての観念，思考様式にどのような特色が見出されるかということに留意して書き留めてきた論文集。

〔0356-7・03〕

小口彦太編著
中 国 契 約 法 の 研 究
日中民事法学の対話
A5判上製530頁／9000円

グローバル化する21世紀の市場経済を見据えて制定された中国契約法は実際にどのように機能しているか。制定・施行以来16年が経過した先進的な契約法の理論と実務の動向を探究する。

〔3358-４・17〕

小嶋明美著
アジア法叢書25
現 代 中 国 の 民 事 裁 判
計画から市場へ，経済改革の深化と民事裁判
A５判上製260頁／4500円

計画から市場へと未曾有の挑戦を続ける中国において，民事紛争はどのように解決されてきたのか。第１部では，急務となった司法と審理方式の改革を我が国との比較において論じ，第２部では，法条と運用，最高法院の解釈等が錯綜し，制定時と大きく異なる現在の中国民事訴訟の概要を解説したものである。〔3219-2・06〕

廣江倫子著
香 港 基 本 法 の 研 究
「一国両制」における解釈権と裁判管轄を中心に
A5判上製222頁／6000円

香港返還後，香港では何が起こっているのか。本書は，「一国家二制度（一国両制）」を規定する香港基本法の研究を軸に，移民問題，中国全人代との関係，越境犯罪等に関する香港基本法訴訟および中国と香港の間の法的論争から，「一国両制」と香港の「高度の自治」の特色および問題点を探る。〔3198-6・05〕

但見亮著

中　国　夢　の　法　治

その来し方行く末

A5判上製320頁／6000円

「法治」に関わる中国の諸制度･規定における政策の観察と分析・検討を通じ，中国における「法治」の内包・外延を浮き彫りにし，中国の法治が進むべき方向を展望する研究書。

〔3391-１・19〕

久保寛展著

ドイツ現物出資法の展開

A5判上製232頁／4000円

ドイツで近年盛んに議論されている現物出資規制の潜脱の問題と，商標のライセンスに関する現物出資目的物の適格性の問題について，判例を踏まえながら詳しく検討する。現物出資制度の歴史的考察や統計的資料も用いて，ドイツの現物出資制度の現在の法的問題を明確にする。

〔2459-9・05〕

上村貞美著

香川大学法学会叢書４

現代フランス人権論

A5判上製322頁／5500円

現代のフランスにおける人権問題のうち，私人間における人権保障，電話の盗聴規制立法，ビラ貼りの自由，セクシュアル・ハラスメント，映画検閲制，良心的兵役拒否，人権類型論，緊急権に焦点を当て，その光と陰の部分を浮かびあがらせた意欲的な比較憲法研究の書。

〔0387-7・05〕

上村貞美著

香川大学法学会叢書２

性　的　自　由　と　法

A5判上製316頁／5500円

強姦罪，妊娠中絶，姦通・同棲・私通，同性愛，売春等の性をめぐる自由の問題について，人権という視点から，フランス法，ドイツ法，イギリス法，アメリカ法等の比較法研究を試みたもので，性にかかわる憲法・法律問題に関心のある人にとって必読の書。

〔0368-0・04〕

佐藤文彦著

名城大学法学会選書５

ドイツ国際氏名法の研究

A5判上製442頁／5500円

国際私法上の諸問題について，網羅的に検討を加えるのみならず，国際法，身分登録法，氏名変更法，基本法等の観点からも検討を加え，ドイツ国際氏名法を，総体として解明することに長戦する意欲作。わが国における氏名法制度を改めて考えるうえで，貴重な外国法研究の書。

〔2429-7・03〕

東　裕著

太平洋島嶼国の憲法と政治文化

フィジー1997年憲法とパシフィック・ウェイ

A５判上製330頁／6000円

太平洋島嶼国と呼ばれる南太平洋に散在する極小国家群がある。それら諸国の憲法と政治文化“パシフィック・ウェイ”を考察する。フィジー諸島共和国憲法（1997年）を中心に，その成立から破棄に至る憲法政治の中に“パシフィック･ウェイ”を探究。太平洋島嶼国の比較憲法･政治学研究の試み。

〔0477-５・10〕

サヴィニー著　小橋一郎訳

現代ローマ法体系　第三巻

A５判上製432頁／9000円

ドイツ法学界の泰斗サヴィニーの名著「現代ローマ法体系」（全８巻。1840年－1849年）第３巻の全訳。本巻の本文は，「法律関係の発生と消滅」の前半を論じ，行為能力，意思表示，条件，契約概念などを内容としている。また，本巻の３分の２を占める付録では，錯誤論が広範に取り扱われる。

〔0291-９・98〕

サヴィニー著　小橋一郎訳

現代ローマ法体系　第四巻

A5判上製548頁／11000円

ドイツ法学界の泰斗サヴィニーの名著「現代ローマ法体系」（全８巻。1840年―1849年）第４巻（1841年）の全訳。本巻は，「第２編法律関係」のうち「第３章　法律関係の発生と消滅について」の後半を内容とし，贈与，期間，法律事実の無効を取り扱う。

〔0323-0・01〕

小橋一郎訳

現代ローマ法体系 第五巻

A５判上製608頁／11000円

ドイツ法学界の泰斗サヴィーニの名著「現代ローマ法体系」（全８巻。1840―1849年）第５巻（1841年）の全訳。本巻は，「第２編法律関係」のうち「第４章 権利の侵害」を内容とし，これに付録 XII，XIII，XIV および補遺が付されている。

〔0363-X・03〕

小橋一郎訳

現代ローマ法体系 第六巻

A５判上製458頁／10000円

ドイツ法学界の泰斗サヴィーニの名著「現代ローマ法体系」（全８巻。1840―1849年）第６巻（1847年）の全訳。本巻は，「第２編法律関係」のうち「第４章 権利の侵害」の真ん中の部分を内容とし，争点決定の本質，効果，判決の確定力，確定の抗弁を扱う。

〔0394-X・05〕

サヴィニー著 小橋一郎訳

現代ローマ法体系 第七巻

A5判上製278頁／6000円

私法解釈学の原点を成す，ドイツ法学界の泰斗サヴィニーによって書かれた不朽の名著『現代ローマ法体系』（全八巻。1840年－1849年）待望の邦訳。

〔0412-６・07〕

サヴィニー著 小橋一郎訳

現代ローマ法体系 第八巻

A５判上製412頁／10000円

サヴィニー『現代ローマ法体系』（全８巻）の第８巻（1848年）の全訳。「第三編法律関係に対する法規の支配」を内容とし，国際私法および時際法と扱う。

〔0464-５・09〕

西原春夫・高銘暄総監修
中国法学全集10

中国弁護士制度と弁護士実務

A5判上製370頁／5000円

本書は市場経済体制下の中国弁護士制度の概論書であると同時に，実務書でもある。これは著者自身が長期にわたり実務家として弁護士活動に従事したことによる。中国で国家統一試験に合格した者が弁護士として最初に身につけるべき実務的知識も豊富に要領よく整理されている個性的な入門書である。

〔3191-9・04〕

西村幸次郎編著
アジア法叢書27

中国少数民族の自治と慣習法

A5判上製212頁／3800円

青海，内蒙古，四川，貴州，雲南，新彊，広西等の少数民族地域における視察・交流をふまえ，中国民族法制の全体的状況を視野に入れ，民族自治権・民族慣習法について具体的な考察を加えるとともに，進行中の西部大開発の問題点を論じ投資環境に対して客観的情報を提供する。

〔3241-9・07〕

鈴木敬夫編訳

現代中国の法治と寛容

国家主義と人権憲政のはざまで

A5判上製434頁／8000円

国家主義と人権憲政論との論争である「憲政」か「依憲執政」かをめぐる議論が交わされるなかで，何が実像で何が虚像であるかを陽光の下に晒し，中国憲政論の生きた資料を紹介する。

〔0612-0・17〕

アジア法学会編

現代のイスラーム法

A５判上製284頁／4800円

慣習法を取り込みつつ地域社会に適合したイスラーム法（シャリーア）の展開と，それを取り巻く様々な問題を，中東と東南アジアを比較しつつ，網羅的に俯瞰することを試みる。

〔3353-９・16〕

スティーブン・ブライヤー著
大林啓吾ほか訳

裁　判　所　と　世　界

アメリカ法と新しいグローバルの現実

A5判並製392頁／6000円

連邦最高裁裁判官スティーブン・ブライヤーの著書の全訳。グローバル時代における司法の役割や裁判所のあり方について考察する。

〔0690-8・21〕

知的財産法

大家重夫著
成文堂選書39
著作権を確立した人々〔第２版〕
福澤諭吉先生，水野錬太郎博士，プラーゲ博士…
46判上製262頁／2200円

日本に「コピライト」の概念を導入し，自著の海賊版撲滅を実行した福澤諭吉，旧著作権法立案の水野錬太郎，強引に著作権料を取立てて嫌われたが著作権管理の教師と評価されるドイツ人プラーゲ博士を中心に，著作権事件と人物を描く。２版には，最近，故人となった河野愛，米川猛郎，赤松美登里を追加。〔3185-4・04〕

高林龍編著
著作権ビジネスの理論と実践
早稲田大学ロースクール著作権法特殊講義
Ａ５判並製504頁／5000円

早稲田大学大学院法務研究科（ロースクール）における平成21年度の正規授業「著作権法特殊講義」を完全に再現したもの。著作権法や著作権ビジネスを語るに相応しい，わが国を代表するといって良い錚々たるメンバーが講師として名を連ねる。〔3273-０・10〕

高林龍編著
著作権ビジネスの理論と実践Ⅱ
早稲田大学ロースクール著作権法特殊講義３
Ａ５判並製442頁／4500円

著作権法や著作権ビジネスをめぐる最先端の問題点を精鋭の講師陣が解説する平成22年度早稲田大学ロースクール再現講義。〔3292-１・11〕

高林龍編著
著作権侵害をめぐる喫緊の検討課題
早稲田大学ロースクール著作権法特殊講義２
Ａ５判並製350頁／4200円

早稲田大学大学院法務研究科の連続公開講座を再現したもの。第一線で活躍する国内の研究者・実務家はもとより，海外からもゲストを招聘し，活気ある講義が行われる。著作権ビジネスや著作権侵害の諸相を知ったうえで，そこに含まれている法的問題点を明らかにし，その解決の方向性を示そうといった意欲的なものとなった。〔3283-９・11〕

高林龍編
著作権侵害をめぐる喫緊の検討課題Ⅱ
早稲田大学ロースクール著作権法特殊講義４
Ａ５判並製382頁／4500円

第一線で活躍する国内外の研究者・実務家による早稲田大学大学院法務研究科の連続公開講座の完全再現。著作権ビジネスや著作権侵害の諸相を概観しつつ，その解決の方向性を示す。〔3302-７・12〕

高林龍編
知的財産権侵害と損害賠償
Ａ５判並製294頁／5500円

日本弁理士会中央知的財産研究所での議論の集積を取り纏めたもの。〔3281-５・11〕

山口直樹著
知的財産権と国際貿易
Ａ５判上製334頁／3200円

グローバル経済時代の国際的な知的財産権保護のルールとは何か。技術革新の促進と技術の移転・普及に資する制度のあり方について，貿易と経済発展の視点から考察する。第Ⅰ部世界経済統合化と知的財産権，第Ⅱ部 WTOと知的財産権，第Ⅲ部知的財産権と経済発展，補論知的財産権の制度と経済学から構成。〔3269-3・10〕

菱沼剛著

孤児著作物問題の研究

既存規範の動態的な分析と新規範の確立に向けての可能性

Ａ５判上製302頁／6000円

孤児著作物問題を鳥瞰し，国際規範の見地を中心に解決策を探る。無方式主義を条約法体系に沿って検討し，制定経緯や各国法も検証しつつ動態的に分析する。権利制限・例外に関する既存規範の修正，知的財産権に関する準拠法の新規範も検討し，実務的観点に言及しつつ諸解決策の可能性と相互関係を探る。〔3291-４・11〕

帖佐隆著

久留米大学法政叢書16

職務発明制度の法律研究

A5判上製346頁／5000円

発明対価の問題を含む職務発明制度は，いかに発明へのインセンティブ（動機づけ）を与えるかに関係し，非常に重要な制度である。しかし，諸事情により，この制度については，なかなか正鵠を射た論が語られにくい。この点，特許法の目的や制度趣旨に鑑み，法律的見地から検討を加えたのが本書である。〔3225-９・07〕

金春陽著

営業秘密の法的保護

アメリカ・中国・日本の比較法研究

A5判上製192頁／4000円

日本の企業への関心が強く，近時急速に法整備がすすむ中国と，一種のグローバルスタンダードを構築してきたアメリカの営業秘密法制について考察する。さらに，両国との比較法的考察を踏まえ，問題が山積する日本の営業秘密の保護について，先行業績を確認するとともに，問題解決の方向性を示す。〔3232-７・07〕

結城哲彦著

営業秘密の管理と保護

A5判上製388頁／6500円

知的財産の中で，非公開・秘匿化の形で公開された技術を補完しているノウハウという技術上及び営業上の情報群を保護するための重要な法制度である営業秘密制度の管理と保護を論じる。

〔3337-９・15〕

本山雅弘著

著作隣接権の理論

A5判上製464頁／7000円

ドイツ法議論において生成・確定された著作隣接権概念を比較研究の対象とし，わが国の現行著作権法の基本的な骨格をなす著作隣接権の概念についての体系的意義を解明する。

〔3407-９・21〕

諸　　法

宮川成雄編著

法曹養成と臨床法学教育

A5判並製280頁／2500円

学問の自由を享受する大学でこそ可能な法曹養成の新しい教育方法論として，臨床法学教育の効用と課題を検討する。民事・刑事のリーガル・クリニックだけでなく，先端的な知的財産法クリニックや国際契約交渉シミュレーションの実践等を報告する。また法科大学院生によるプログラム評価も収録する。　〔0418-８・07〕

高地茂世・納谷廣美・中村義幸・芳賀雅顯著

明治大学社会科学研究所叢書

戦後の司法制度改革

その軌跡と成果

A5判上製262頁／5000円

戦後の司法制度改革について，日本における占領下の司法制度改革全般，ドイツにおける占領下の司法制度改革，日本における民事訴訟制度の司法改革，日本における行政訴訟制度の司法改革，および日本における家庭裁判所の司法改革をテーマとして設定し，終戦後の議論にまでさかのぼって歴史的経緯と背景の考察を試みる。　〔3224-２・07〕

角紀代恵・新美育文・鎌田薫・高窪利一・鈴木重勝著

ロースクールを考える

21世紀の法曹養成と法学教育

A5判並製310頁／2800円

よりよい法律実務家を大量に養成するシステムとして，法科大学院構想が最良のものということが出来るか否か？　わが国の法と法学あるいは法曹のあり方に劇的な改変をもたらしかねない構想に対して，国民の一人として，法律専門家の一人として，使命感に基づき五人の著者が各々の視点から発言する。　〔0340-０・02〕

近江幸治編

クリニック教育で法曹養成はどう変わったか？

A5判並製112頁／1800円

法曹基礎教育の内容や方法について，担当教員，法科大学院生，法曹関係者が忌憚のない批判や意見交換を行った，大学併設のリーガル・クリニック創設10周年記念シンポジウムの記録。

〔0578-９・15〕

阿部和光編

久留米大学法政叢書17

転換期の市民社会と法

A5判上製256頁／3800円

1裁判員制度の導入をはじめとした司法制度改革の理念と現実，憲法制定と改正の基礎にある原理，家族のあり方をめぐる民法改正論議の動向，企業買収とその防衛手段の法的評価，刑事立法ラッシュの中での司法の役割，高齢社会における雇用制度の改革と課題…変革を求められる法システムの行方を分析する。　〔9178-２・08〕

吉田勇編著

熊本大学法学会叢書７

法化社会と紛争解決

A５判上製266頁／4200円

社会の法化により，法の役割も紛争解決のあり方も大きく変わりつつある。紛争の解決に法を使う必要が高まってきたが，法の役割の拡大は，かえって私たちに法の限界を認識するように促し，非法的な紛争解決の必要をも示唆している。そこで本書は，おもに裁判外の紛争解決制度の新しい動きを追ってみた。　〔8058-８・06〕

吉田勇編著

熊本大学法学叢書９

紛争解決システムの新展開

A５判上製328頁／5300円

社会の法化に応えて日常世界の秩序を意味づけ直すためにも，紛争解決システムを再構築するためにも，新しい実践知が求められている。それに応えて，第一部は，紛争解決システムと日常世界の新しい関係づけに取り組み，第二部は，生活諸領域において必要とされている紛争解決システムの再構築を試みる。　〔8062-５・09〕

吉田勇著
熊本大学法学会叢書11
対話促進型調停論の試み
A５判上製296頁／5000円

日本社会では今「法化」と成熟化が同時進行しており，紛争当事者は「納得のいく解明」を求めるようになっているが，そのような解決を可能にする社会的条件と紛争解決手段上の条件を採ることが，本書の課題である。ADR としての調停のなかでも，とくに対話促進型調停の可能性に焦点をあてる。〔8064-９・11〕

山崎広道編著
熊本大学法学会叢書10
法と政策をめぐる現代的変容
熊本大学法学部創立30周年記念
A５判上製482頁／6000円

熊本大学法学部創立30周年を記念した論文集である。本書は，二部構成になっており，第一部「法をめぐる現代的変容」では11編，第二部「政策をめぐる現代的変容」では６編の論文が収められている。大きな変革の波が打ち寄せる現代社会における法と政策に関する諸分野の課題を変容という視点から考察する。〔8063-２・10〕

熊本大学法学部編
熊本大学法学会叢書18
熊本地震と法・政策
A５判上製358頁／6000円

熊本県内に甚大な被害をもたらした「平成28年熊本地震」からの復旧・復興にあたっての法学的・政策的課題を検討。実践社会科学の手法による熊本大学法学系及びエルペルク研究活動の成果。〔0707-３・22〕

平田勇人著
続・AIによる紛争解決支援
人工知能の活用可能性
A5判上製172頁／4000円

現代的諸問題として，第３章でゴミ屋敷問題，第４章で課税問題，第５章で労働問題を取り上げて分析・検討し，法学と人工知能との文理融合，人工知能の活用可能性について分析する論文集。〔8086-1・21〕

濱田邦夫・小池振一郎・牧野茂編著
裁判員裁判のいま
市民参加の裁判員制度７年経過の検証
A5判並製244頁／2500円

制度開始から７年を経た現在，裁判員制度の評価すべき点と課題を，裁判員経験者の生の声を伝え，裁判員経験者ネットワークの活動も振り返りつつ，課題解決へ向けた努力の軌跡の記録。〔5208-0・17〕

中尾巧著
若手弁護士のための弁護実務入門
46判上製264頁／2200円

刑事・民事・家事・税務・労働・交通・知財・国際関係事件など様々な案件を取り上げ，二部構成のストーリー形式でわかりやすく解説。直ぐに役立つ弁護実務のノウハウ・知見を公開！〔0704-2・22〕

中尾巧編著
若手弁護士のための弁護実務入門2
46判上製396頁／2900円

民商事編，労働編，家事・税務編，刑事・行政編，国際編の構成で，事件の受任から解決までの弁護実務のプロセスをストーリー形式で平易に解説。若手弁護士入門シリーズ待望の第２弾！〔0720-２・23〕

立正大学法学部・法制研究所編
グリーンブックレット13
士業資格の可能性と求められる法学教育
A5判並製64頁／800円

税理士，社会保険労務士，行政書士等が，国際化や少子高齢社会の到来で複雑多様な活動を求められている現在，そのような社会的要請に応えられる士業を養成するための法学部教育を模索する。〔9266-６・17〕

早稲田大学法務教育研究センター編

挑戦する法曹たち

法律家のキャリアマップ

A5判並製238頁／1800円

法律という武器を使い，社会のさまざまな問題を解決しようと挑戦する法曹たちの群像。法律を学ぶ意味と法曹の仕事の魅力を知り，法曹を目指そう！　早稲田大学の人気授業を再現！

〔0686-1・21〕

環境法・環境問題

小賀野晶一著

基本講義　環境問題・環境法〔第２版〕

A5判並製300頁／2800円

環境訴訟，環境立法，環境法理論，環境政策といった広義の環境問題の諸相について概観し，地球環境問題解決のための実践的アプローチを意識した教科書。

〔2764-４・21〕

松村弓彦・柳憲一郎・荏原明則・石野耕也・小賀野晶一・織朱實著

ロースクール環境法〔第２版〕

A５判上製612頁／4000円

ロースクール向け環境法の教科書で，基礎論，部門法，環境行政訴訟，環境民事訴訟，先進的法制度の動向の５編で構成される。補訂版以降，新立法と既存の法律の改正が頻繁に行われており，さらに新判例もあるため，これに応じて内容をあらためたもの。

〔3270-9・10〕

松村弓彦著

環境法の基礎

A５判並製242頁／2300円

環境法の基礎論に焦点を当てた３章構成の教科書。第１章「環境と環境法」は環境法，環境等の基礎的な概念を概説し，第２章「環境管理」では環境法におけるリスクとリスク管理の理論と方法論を扱う。第３章「環境法の原則」では予防，原因者負担，協調原則と，統合的環境管理，持続的発展等の考え方を考察する。〔3271-６・10〕

黒川哲志・奥田進一編

環境法へのアプローチ〔第２版〕

A5判並製302頁／2300円

環境法の歴史，国際的形成，地球温暖化，自然公園，都市環境，環境アセスメント，環境権など，環境法について幅広く解説した，学部生向けの教科書。戦略的環境アセスメントや，再生可能エネルギー固定価格買取制度の導入など，最新の状況を反映させた，待望の第２版！

〔3294-５・12〕

奥田進一・長島光一編

環境法

将来世代との共生

A5判並製346頁／3000円

環境問題が世界規模で問題となっている現在，環境法を法政策の観点から網羅的に取り上げて環境法制定の背景の過去を振り返り，「将来世代の目線」で現行制度の特徴と課題を挙げる。

〔3433-８・23〕

黒川哲志・奥田進一編

環境法のフロンティア

A５判並製310頁／2400円

福島第一原発事故を契機に，環境保全の法制度の現状についての検証が求められている現在，環境法制度の到達点と今日的課題を明らかにし，今後の環境法の進むべき方向性を示す。

〔3331-7・15〕

小賀野晶一・奥田進一編

森林と法

A５判並製168頁／2000円

私たちの生活に密接に関連し，地球環境問題の解決の鍵を握っている森林が有する機能を解き明かし，森林を保護する法制度，法政策とはどのようなものかを検討し，明快に解説する概説書。

〔3413-０・21〕

横山丈太郎著

地球環境問題へのアプローチ

A 5 判並製160頁／1800円

現在進行中の地球環境問題の全体像とわが国の関連性を正確かつ平易に解き明かし，わが国の市民がアプローチし，選択していかなければならないとして問題提起を試みる注目の書。

〔3405- 5 ・20〕

伊藤達也著

水資源環境学会叢書 5

木曽川水系の水資源問題

流域の統合管理を目指して

A 5 判上製390頁／6000円

本書の目的は木曽川水系の水資源問題の解決にある。中でも長良川河口堰や徳山ダム問題等，わが国を代表する水資源問題のメカニズム解明のために，流域を視野に入れた社会・経済分析を行い，これまで国交省等が主張してきたダム・河口堰の必要性論理に対して厳しい批判を投げかけている。〔8057-X・06〕

仲上健一著

水資源・環境学会叢書 6

サステイナビリティと水資源環境

A5判上製266頁／5000円

地球環境問題が深刻化する中で，気候変動による水資源環境影響の緩和策・適応策の確立が重要視されてきた。「地球システム，社会システム，人間システムの再構築と修復」を目標とするサステイナビリティ学の視点で，現代の水問題の総合的･実践的課題を分析し，ウォーター・セキュリティについて考察。〔8060-1・08〕

牛山積・首藤重幸・大塚直・須網隆夫・
樹澤能生著

環　境　と　法

46判並製184頁／1600円

早稲田大学法学部主催講演録
①公害・環境紛争と法（牛山積）②日本の原子力行政と住民・裁判・世界（首藤重幸）③化学物質をめぐる法的問題（大塚直）④ EU 環境法の最近の動向（須網隆夫）⑤地域中間団体による自然資源の維持管理（樹澤能生）

〔9124-5・04〕

伊藤達也・在間正史・富樫幸一・宮野雄一著

水資源・環境学会叢書 4

水資源政策の失敗

長良川河口堰

A 5 判上製220頁／2200円

わが国最大の環境保護運動の高まりにも拘らず，運用が強行された長良川河口堰では現在，問題が次々と発生している。本書は河口堰の最大目的である水資源開発に焦点をあてて，事業目的が完全に破綻していること，河川・地域再生のために堰の運用停止・事業の破綻処理が不可欠であることを明らかにした。〔8052-9・03〕

嶋田純・上野眞也編

熊本大学政創研叢書 9

持続可能な地下水利用に向けた挑戦

地下水先進地域熊本からの発信

A 5 判上製326頁／2500円

熊本地域の水文環境・水理地質構造・地下水関連条例等の既存情報をとりまとめることで，地域の地下水特性や科学技術振興機構の戦略的創造研究推進事業研究の理解を目的とする研究成果。

〔9257- 4 ・16〕

中山充著

香川大学法学会叢書 5

環境共同利用権

環境権の一形態

A 5 判上製312頁／5000円

環境保全のあり方を新たな視点で問う。環境法の解釈と立法の基本にすべき住民の権利を明確にし，国民と法実務を結ぶ。環境権論を詳細に検討して，集団的公共的な権利を構成し，漁業法秩序，公害防止協定，豊島産業廃棄物不法投棄事件について，その具体像を示す。憲法や地球環境保全との関係も論じる。〔3208-7・06〕

松村弓彦著

環境協定の研究

A5判上製294頁／5000円

第 1 編において，環境協定の理論的基盤としての協定原則を総括し，第 2 編では，環境協定の実効性と課題，その課題を克服するための制度的手当てに関するドイツ学説を分析し，環境協定手法を活用するための課題を提示する最新の研究書。

〔3235- 8 ・07〕

宮﨑淳著

水資源の保全と利用の法理

水法の基礎理論

A５判上製390頁／7000円

本書の目的は，健全な水循環の確保の理念に基づく水法の体系的研究のための基礎理論を構築することにある。アメリカ水法との比較法的視座を手掛りに，水法秩序について水循環を前提に再構成するとともに，地下水と水源の保全に関する法理論に着目することにより水資源の保全と利用のあり方を提示する。〔8066-３・11〕

梶原健嗣著

水資源・環境学会叢書８

都市化と水害の戦後史

A5判上製268頁／5500円

阪神大水害，狩野川台風，伊勢湾台風，大東水害，長崎大水害，福岡水害，東海豪雨，広島土砂災害を取り上げ，「都市型水害」をその背景とともに分析することにより，戦後社会の歩みを振り返る。〔3429-１・23〕

奥田進一著

拓殖大学研究叢書49

共有資源管理利用の法制度

A5判上製306頁／5000円

「土地資源の共的利用」「公共財としての水資源」「共有資源の権利侵害と管理責任」の構成で，私権性をもつ公共財である土地や水そして自然環境を現行法上の取扱いの視点から捉える。〔3389-８・19〕

永松俊雄著

新版 環境被害のガバナンス

―水俣から福島へ―

A５判並製266頁／2600円

水俣病の教訓から見えてくる，福島原発事故再生への一筋の光。公害原因企業研究の第一人者である著者渾身の一冊。わが国の公害問題の原点とされる水俣病の教訓をもとに，市民の視点から福島原発事故の現状や課題を冷静に読み解く。統計資料の更新やその後の動向について追補した新版。〔3360-７・17〕

奥田進一編著

中国の森林をめぐる法政策研究

A５判上製324頁／5000円

制度改革が進む中国の森林をめぐる権利関係の現状と特徴について，自然資源の利用と管理をめぐる法整備の変遷や経済発展の経緯を踏まえて，多岐にわたる専門領域の研究者がフィールドワークや文献調査を行って解明した圧巻の論文集。〔3317-１・14〕

北川秀樹編著

中国乾燥地の環境と開発

自然，生業と環境保全

A５判上製352頁／5000円

中国西北地域の厳しい自然の現状，生業，環境保全のための対策等を明らかにする「中国西北部・乾燥地における大規模開発と環境保全政策に関する研究」の成果。〔3330-0・15〕

中央学院大学社会システム研究所編

佐藤寛・林健一著

水循環健全化対策の基礎研究

計画・評価・協働

A５判並製224頁／3800円

「水循環系の健全化」という概念を軸に，特に，環境指標を中心とする行政計画の管理・評価のあり方，水循環の保全再生に向けた関係主体間の対話と協働のあり方について検討を行う。〔8074-8・14〕

中央学院大学社会システム研究所編

佐藤寛・林健一著

水循環保全再生政策の動向

利根川流域圏内における研究

A５判並製186頁／3100円

首都圏の水源として重要な役割を果たす利根川を検討素材とし，特に，水循環系の健全化に向けた，利根川上流域の地方自治体における取組みの展開状況を把握し，課題の解明とその改善策を提言しようとするもの。〔8075-5・15〕

中央学院大学社会システム研究所編
佐藤寛著
円筒分水の研究

A５判並製132頁／1200円

農業にとって重要な農業用水を一定の割合で正確に分配するために用いられる利水施設であり，現在日本に百ヵ所以上存在するとされている「円筒分水」の役割を中心とした調査研究の成果。

〔8085-４・21〕

小林寛著
アメリカの再生可能エネルギー法制の構造
日本への示唆

A5判上製276頁／5600円

アメリカの再生可能エネルギー法制に係る連邦レベルのみならず州レベルの取組みにも着目し，日本の再生可能エネルギー法制について一定の示唆を見出すことを目的とする研究成果。

〔3404-８・21〕

佐藤寛著
モンゴル国の環境と水資源
ウランバートル市の水事情

A5判並製166頁／2600円

モンゴル国の水資源や水道資源の現状と課題，ウランバートル市内を流れるトーラ川汚染の実態などをフィールドワークに基づいて詳述し，モンゴル国の水資源と環境問題全般を俯瞰する。

〔8078-６・17〕

吉田克己／マチルド・ロートロー=ブトネ編
環境リスクへの法的対応
日仏の視線の交錯

A5判並製192頁／2800円

「科学的不確実性の法的取扱い」「原子力被害の取扱いに関する比較検討」「気候変動リスク」の３部構成で，現代法における法形成と法執行の役割分担のあり方を検討する日仏比較法研究。

〔2699-９・17〕

中央学院大学社会システム研究所編
ラムサール条約の国内実施と地域政策
地域連携・協働による条約義務の実質化

A5判並製258頁／4000円

地域政策学の観点から新たな湿地研究を試みる中央学院大学社会システム研究所の研究成果。

〔8079-３・18〕

仲上健一・山本佳世子著
水資源・環境学会『環境問題の現場を歩く』シリーズ①
志津川湾と野川を歩く

A5判並製66頁／1000円

深化を続ける水と環境の問題を学際的な視点から考察し，研究者はもちろん，実務家，市民のみなさんなど幅広い担い手の参加を得て，その解決策を探る。第１回は，わが国有数の漁業資源を有する生態系豊かな海である宮城県南三陸町に面する志津川湾とわが国を代表する都市河川であり，河川整備が著しく進み，地域住民の憩いの場となっている多摩川水系の野川を歩く。

〔3430-７・23〕

伊藤達也・梶原健嗣著
水資源・環境学会『環境問題の現場を歩く』シリーズ②
長良川河口堰と八ッ場ダムを歩く

A5判並製68頁／1000円

深化を続ける水と環境の問題を学際的な視点から考察し，研究者はもちろん，実務家，市民のみなさんなど幅広い担い手の参加を得て，その解決策を探る。第２回は，建設賛成派，建設反対派が対立する長良川河口堰と住民訴訟で揺れる八ッ場ダムを歩く。

〔3431-４・23〕

政　治　学

平石正美・五味太始・古坂正人編著

政　治　学　入　門

A5判並製240頁／2700円

20世紀の政治理念や国家モデルに限界が来ていることを前提に，「伝統的国家優位モデル」「政府なき統治モデル」「国家中心モデル」「リベラル・デモクラシー・モデル」「ネットワーク・モデル」という５つの既存モデルを再検討する入門書。

〔3399-７・20〕

梅川正美著

昔話とアニメの中の政治学

46判上製212頁／2400円

アニメ，漫画，映画に流れ込んでくる昔話の傾向を発見し，その水脈をたどりながら，現代のわたしたちの政治意識の特徴をさぐる。

〔3390-４・19〕

大塚桂編

政治学へのいざない〔第２版〕

A5判並製232頁／2200円

初学者を政治学へといざなうことを目的とした入門書。「１政治学の基礎概念」（大塚桂）／「２政治思想の歴史」（石井健司）／「３現代の政治理論」（森真砂子）／「４政治制度の諸相」（井上拓也）／「５政治過程の諸相」（小西秀樹）／「６戦後野本政治史」（栗田直樹）などの内容。補章では，学習上の手引きをする。

〔3247-1・08〕

多賀秀敏編著

平和学から世界を見る

A5判並製406頁／2500円

平和学から世界を見るとどのように映るのか。平和構築，国際協力，ジェンダー，文化論，非核化，東アジアの安全保障。20人の研究者・実務家がそれぞれの論点から初学者にもわかりやすく論じる。平和学のテキストに最適の１冊。

〔3396-６・20〕

佐藤俊一著

政治行政学講義〔第２版〕

A5判上製346頁／3000円

不可分の関係にある政治学と行政学の交錯を明示化した最新のテキスト。政治学と行政学を両面から学べる。最近の大学の講義の実状に合せた構成。索引を充実し，各章ごとに引用・参照文献を列挙。

〔3229-7・07〕

梅津實・富沢克編著

エッセンシャル政治学

A5判並製256頁／2300円

主として大学ではじめて政治学を学ぼうとする読者のための入門書。またある程度政治学に親しんだ者にとっても，全体的な「鳥瞰図」をえる上で格好の書。政治思想から日本政治，国際政治まで幅広いテーマをとりあげながら，広大な「政治の世界」へと案内する。政治の全体像を把握するための好著。

〔3157－9・00〕

初谷良彦・宮原辰夫・向山恭一・
石上泰州著

概説デモクラシーと国家

A５判並製162頁／1500円

本書は，政治学・憲法学の初学者のために基本概念を分かりやすく紹介したものである。「デモクラシーと国家」に関わる諸問題を，政治思想とデモクラシー，民主主義と選挙制度，政治権力とリーダーシップ，政治体制と政治統合，国家と憲法，主権，憲法制定権力などの観点から概説した入門書である。

〔3127-７・96〕

三浦信行・石見豊・安木勲編著

政 治 学 講 義

A 5 判並製244頁／2600円

政治学の高度化・分業化（細分化）・専門家の弊害とその克服の必要性が説かれている現在，これから政治学を学ぼうとする若い世代の総合的理解を助けるために編まれた概説書。

〔3325-6・14〕

大塚桂著

福祉国家へのアプローチ

A 5 判並製116頁／1600円

持続可能な福祉国家は維持できるのか。福祉国家の多角的（政治学・法学・財政学・社会福祉論）検討を行い，将来的「連帯社会型福祉レジーム」を提言する。研究者，学生必読の概説書。

〔3321-8・14〕

大塚桂著

明 治 維 新 の 思 想

A 5 判上製172頁／3000円

幕末維新を嚮導した政治的イデオロギーとは，いかなるものであったか。御委（みよさし）の論理こそが幕府の正当性を根底から突き動かし，やがては大政奉還にまで至らしめた。本書では，政治権力論の観点から，一，御委の論理，二，大政奉還論，三，五箇条の御誓文について省慮する。

〔3202-8・05〕

大塚桂著

日 本 政 治 学 の 先 駆 者

A 5 判上製172頁／3000円

著者による日本政治学史研究の第四弾。幕末維新期に政治学の源流を求め解明する。海外政治事情や比較政治（制度・機構）論が重点的に研究されるとともに，共和政，多頭政，君主政体などの訳語が考案された。知識人らの理解力や洞察力には目をみはらされる。学史研究にあたっての必読文献。

〔3289-1・11〕

梅川正美・阪野智一・力久昌幸編著

現代イギリス政治〔第２版〕

A 5 判並製270頁／2400円

イギリス政治の基本を知り，その問題点と課題を考えるために不可欠の書。イギリス政治の内容について，議会，内閣，各省庁，地域分権，外交，憲法改革，教育政策，経済福祉政策，保守党，労働党，自民党について説明。第２版では，特に2006年以降の動きを独自の視点で詳しく解説する。

〔3324-9・14〕

梅川正美著

サッチャーと英国政治 1

新保守主義と戦後体制

A5判上製348頁／6500円

現代イギリスの新しい政治像を探求する。従来は民主主義のモデルであったイギリス政治も，70年代以降の激動期を経て深く変容してきた。この変容の現代的意味を探りながら，今後の方向を模索する。特にサッチャーの政治とその遺産について考える。

〔3130-7・97〕

梅川正美著

サッチャーと英国政治 2

戦後体制の崩壊

A5判上製440頁／8000円

第一巻に続いて，イギリス戦後体制（政治のかたち）の構造と崩壊を論じる。戦後体制は，平板な民主主義でもなく牧歌的な福祉国家でもない。抑圧されたアイルランド人やスコットランド人および女性や黒人の視点を取り入れて実像を描く。戦後体制にかわる政治構造の模索の中にサッチャーを位置づける。

〔3161-7・01〕

梅川正美著

サッチャーと英国政治 3・完

新保守主義の検証

A 5 判上製706頁／10000円

全３巻完結。新自由主義に関する必読の書。日本で最も本格的な研究。サッチャー登場の歴史的な背景を示し彼女の救世主的思想を分析する。首相官邸への集権とその崩壊を解明する。日本にも影響した民営化の理論と実態を論じ政治的な基盤の偏りを示す。金融グローバリズムの願望と帰結を記録する。

〔3252-5・08〕

梅川正美編著

比較安全保障

主要国の防衛戦略とテロ対策

A５判上製300頁／5700円

21世紀における防衛の目的と方法について，欧米・アジア主要国の安全保障戦略と体制の分析を通じ，これからの安全保障がいかに構築されるべきかを模索する。

〔3313-３・13〕

下平拓哉著

日本の安全保障

海洋安全保障と地域安全保障

A５判並製154頁／2000円

インド・アジア・太平洋地域における安全保障環境が厳しくなり，一国のみでは国の安全を保つことが不可能となっている現在，最新の安全保障状況を踏まえ，現場の視点から日本の防衛論を展開する。

〔3372-０・18〕

下平拓哉著

日本の海上権力

作戦術の意義と実践

A５判並製190頁／2200円

海に係わる国力の総和ともいえる「シーパワー」と「作戦術」という２つの視点を意識して，四面を海に囲まれた日本の安全保障を考え，国際社会における日本の責任の示し方を模索する。

〔3377-５・18〕

戸澤健次著

愛媛大学法学会叢書18

イギリス保守主義研究

A５判上製228頁／4000円

政治原理，政治制度において日本の政治を考える際に学ぶべき点の多い英国。幾世紀にもわたって歴史の様々な問題をくぐり抜け，政治史を彩ってきたイギリス保守主義を考察する研究書。

〔3343-０・16〕

増子健一著

新版 権力エリート論

A５判並製320頁／3500円

政治社会学的視点から，いかなる政治形態においても権力エリートは存在するのか。また，その果たしている役割は何か。デモクラシーとは矛盾しないのか。以上の視点から，ドイツ，アメリカの権力エリートの活動内容について解明した画期的研究書。

〔3300-３・12〕

前田俊文著

久留米大学法政叢書12

プーフェンドルフの政治思想

比較思想史的研究

A5判上製276頁／4200円

大陸自然法学の大成者プーフェンドルフの自然法思想を，ホッブズ，ロック，カーマイケル，ハチスン，ヒュームらの自然法思想と比較考察する。自然法と神学，正義論の根拠，国制論など市民社会理論の重要な論点の省察を通じて，これまでの社会契約説の構図を問い直すための新たな試みを行う。

〔3187-０・04〕

横山謙一著

ジャン・ジョレースとフランス社会主義運動

ジャン・ジョレースの青年時代

A5判上製372頁／7000円

政治家としてだけでなく思想家・歴史家・哲学者としても想像以上の大きな次元を有し，フランス国民から広く敬愛を受け続けているジャン・ジョレースの足跡と功績を辿る総合的研究書。

〔3384-３・19〕

横山謙一著

國學院大學法学会叢書３

ドレーフュス事件とジャン・ジョレース

A5判上製364頁／7000円

政府分離法に結実したフランス共和制のライシザシオンや，反戦平和運動の旗手としての活動等が，世界規模で評価されるジャン・ジョレースとドレーフュス事件に関連する研究の集大成。

〔3394-２・20〕

児玉昌己著
久留米大学法政叢書13
欧州議会と欧州統合
EUにおける議会制民主主義の形成と展開
A5判上製578頁／6500円

国家主権の移譲と制限を本質とする連邦主義的な欧州政府の形成を鮮明にしつつあるEUは，その発展に比例して組織内部で民主主義の確保という深刻な問題に直面している。EUにおける議会制民主主義の形成という観点から，共同立法権者の地位を得た欧州議会の発展を鋭く分析，検証した学術研究書　〔3186-2・04〕

児玉昌己著
久留米大学法政叢書21
現代欧州統合論
EUの連邦的統合の深化とイギリス
A5判上製328頁／5000円

欧州統合に果たす欧州議会の役割に言及し，過去と現在のわが国のEU認識に加え，EU法の連邦主義的な統治構造の整備に中心的な役割を果たす欧州会議の構造等に焦点を当てる研究書。

〔3408-6・21〕

辰巳浅嗣・鷲江義勝編著
国際組織と国際関係
地球・地域・ひと
A5判並製370頁／2800円

現代に躍動するグローバルな国際組織およびリージョナルな国際組織の活動に照準を置きながら，国際関係の実態を解明する。その意味で本書は，国際組織をおもな対象とした新たな切り口からの国際関係論，あるいは逆に，国際関係の変貌に注目したダイナミックな国際組織論の企てと言えよう。　〔3178-1・03〕

田中嘉彦著
英国の貴族院改革
ウェストミンスター・モテルと第二院
A5判上製378頁／8000円

日本のような議院内閣制を採用する単一国家における二院制の意義を探るため，英国の議会上院である貴族院の改革を素材に検討を試みる。

〔3336-2・15〕

佐藤圭一著
米国政教関係の諸相〔改訂版〕
A5判上製316頁／3500円

米国では人々の行動を方向付ける究極的規範や秩序が神の真理の名において語られる。政治的文言は聖書的文言により権威と正統性が保証され，聖書的文言は政治的文言を得て実効性が保証される。本書は米国政治の実態を政党と宗教団体を通じて分析する。また歴史的視点から政教分離裁判の問題点を解明する。　〔3218-1・07〕

神江伸介著
香川大学法学会叢書3
政治老年学序説
―胎動するニューシニア―
A5判上製256頁／4500円

「本書では，従来型と新しい高齢者とが，25年分の国政選挙の調査データを二つに分けて分析して区別されることを明らかにした。それは，政治参加，党派性，争点意識という政治意識全体で確認され，同様な分析を高松市でも行い同じ結果を得ている。極端な不活発化とか保守化という現象は人生末期に追いやられているのである。」　〔3199-4・05〕

南充彦著
愛媛大学法学会叢書12
中世君主制から近代国家理性へ
A5判上製330頁／5300円

政治はいかに宗教から自立していったのか，中世の君主中心の王国から近代の非人格的国家への移行はいかに起きたのかを分析する。また主権，王権神授説，国家理性という三つの概念が政治の自立の異なった表現であったことも解明される。本書から本格的な国家理性研究が始まるだろう。　〔0425-6・07〕

土橋貴著
国家と市民社会と公共性の変容
資本の帝国の出現の中で
A5判上製282頁／3000円

日本では急速に中産階級がなくなり格差社会が出現しつつある。これをもたらしたのは資本の帝国アメリカであり，そのイデオロギーがグローバリゼーション（アメリカがもうける場を提供せよという要求）である。本書は帝国により国民国家と市民社会と公共性が変容されつつある事実を分析している。　〔3238-9・07〕

小田　健著

政治原論あるいは権力と民主主義の理論

46判上製186頁／2500円

政治原論は，所詮「見果てぬ夢」かもしれない……。このような状況で，あくまで原論に執着する筆者が，自ら「悪あがき」としてつづる本書は，実は読者に多くのヒントを提供するだろう。

〔3239-6・07〕

前田英昭著

戦間期における議会改革

A5判上製424頁／7000円

政治の民主化は，男子普選挙実現で一歩踏み出したが，選挙干渉・政治腐敗により停滞し，戦争突入後，軍靴に踏みつぶされた。戦後，新憲法下，生まれ変わった「国会」は，過去の経験を生かし，新たに有識者の声を聞いて「国民に開かれた国会」実現に努めてきた。なぜ，今また「国会改革」が求められるのか。〔3242-6・08〕

瀬川晃・梅津實編著

政治腐敗からの再生

A5判上製250頁／3300円

政治腐敗の問題につき法学，政治学の研究者8名が，それぞれの問題関心に基づきおこなった共同研究をまとめたもの。

〔3249-5・08〕

瀬川晃ほか著

ダイバーシティ時代における法・政治システムの再検証

A5判上製220頁／4500円

グローバルスタンダードを批判的に考察すると同時に，それぞれの国家，地域，社会，民族などの個別性を尊重する「ダイバーシティ」の観点から，法・政治システムのあり方を見直す。

〔3320-1・14〕

大塚　桂編

大東亜戦争期の政治学

A5判上製358頁／3800円

大東亜戦争期，日本主義が高揚された。政治学者たちは高度国防国家，東亜協同体主義，八紘一宇，五族協和など声高に叫んだ。政治権力に迎合し，追随するのか政治学者の存在証明にはならないはずである。本書は，戦時下の政治学の全容を明らかにする。さらに平和と民主主義への政治学の可能性を探る。〔3234-1・07〕

武蔵勝宏著

冷戦後日本のシビリアン・コントロールの研究

A5判上製374頁／6000円

シビリアンに対する制服組の影響力の増大という現状を確認した上で，安全保障の名の下での自衛隊という実力組織による国家権力の行使が，国民の権利や自由の保障との間でバランスを保つことができるような自己拘束的なものにする方途を検討する。

〔3258-7・09〕

劉迪著

近代中国における連邦主義思想

A5判上製192頁／5000円

今まで，中国政治思想研究のなかで「連邦主義」がしばしば看過される。本書は，百年来の中国著名政治家の言説，立法運動及び憲法・法規の分析を通じて中国の連邦主義を浮き彫りにし，その全容を明らかにする。さらに中国の連邦主義の現状，今後中国政治発展と連邦主義との関係をも提示した。〔3259-4・09〕

木下奈津紀著

韓国財閥と政治

大宇を事例として

A5判上製152頁／3000円

政経癒着の中で成長を遂げた韓国財閥。1999年に解体された「大宇グループ」を題材として，韓国財閥を政治史的な視点から考察し，韓国における財閥と政治の関係性を明らかにすることを試みた研究書。

〔3403-1・21〕

福田耕治編著

EU・欧州統合研究〔改訂版〕

—“Brexit”以後の欧州ガバナンス

A5判並製364頁／3100円

ユーロ危機，移民・難民問題，頻発するテロの脅威，そしてイギリスのEU脱退問題。多様かつ深刻なリスクに直面するEU・欧州統合の現状を俯瞰するとともに，EU社会の連帯やデモクラシーが危機に陥った背景，原因を分析する。初学者から実務家・研究者まで，幅広く対応するテキスト。〔3355-3・16〕

福田耕治編著

EU・欧州公共圏の形成と国際協力

早稲田大学EU研究叢書1

A5判並製188頁／1800円

EU地域統合では欧州市民が国境を越えて共生する公共空間，「欧州公共圏」の形成と国際協力が要請されている。EUの諸機関，行政，警察・司法，安全保障，地域，保健医療やメディアのネットワークと欧州公共圏の形成とのかかわり，国境を越えた公共圏構築のための戦略と課題を明らかにする。〔3279-2・10〕

福田耕治編著

早稲田大学現代政治経済研究所研究叢書44

EUの連帯とリスクガバナンス

A5判並製288頁／3700円

EU／欧州諸国が，金融・財政危機，難民・移民危機，テロリズムなど多様かつ深刻なリスクに直面し，EU崩壊の危機が懸念されるなかで，喫緊の課題に答えようとする共同研究の成果。

〔3350-8・16〕

福田耕治編著

EU・欧州統合の新展開とSDGs

A5判並製300頁／3200円

EUが，加盟国や民間企業，NGOとともにSDGsに取り組むことの意義を検討し，EUの公共政策の最新動向等を学際的に明らかにする。早稲田大学EU研究所設置20周年記念論文集。

〔3432-1・23〕

山本直著

EU人権政策

A5判上製390頁／7500円

ヨーロッパ27カ国よりなる超国家的機構・EUは，普遍的であるべき人権をどのように保護しようとしているのか。本書は，EUとその加盟国による実践，他の国際機構ならびに域外諸国との関係，さらには欧州憲法条約やリスボン条約における取り組み等を通じて，その素顔に接近するものである。〔3278-5・11〕

森原隆編

ヨーロッパ・「共生」の政治文化史

A5判上製424頁／6000円

ヨーロッパとは何か。ヨーロッパの特質とは何か。現代のEU（ヨーロッパ連合）が直面する経済危機や課題をふまえ，古代から現代にいたるヨーロッパ社会のさまざまな地域・領域における「共生」の実態を検証する。「共生」をめぐる統合・協力・同盟などの諸相を政治文化史的観点から解明する。〔7096-1・13〕

森原隆編

ヨーロッパ・エリート支配と政治文化

A5判上製350頁／5000円

ヨーロッパとは何か。ヨーロッパの構造的特質とは何か。現代のEU（ヨーロッパ連合）が直面する問題点をふまえ，古代から現代にいたるヨーロッパ社会のさまざまな地域・領域におけるエリート支配の実態を検証する。エリートを中心にした興隆・統合・闘争などの諸相を政治文化史的観点から解明する。〔7086-2・10〕

森原隆著

ヨーロッパの政治文化史

統合・分裂・戦争

A5判上製326頁／4500円

現在ヨーロッパの危機の本質を歴史的観点から考察する。統合・分裂・戦争というテーマのもとで，気鋭のヨーロッパ史研究者が，古代から近現代に至るヨーロッパ史上のさまざまな事件や問題を再検討する。政治文化史の研究方法により，歴史的表象としての意味を解読する。〔7108-1・18〕

石見豊著

英国の地域政策

A 5 判上製260頁／5000円

都市問題に本格的に取り組んだ「バーロー・レポート」の分析を基に，19世紀末から現在まで英国の農村と都市の間で繰り広げられてきた機関（組織）による地域政策の歩みを分析する。

〔8082-３・20〕

山本武彦編著

政治経済叢書

国際関係論のニュー・フロンティア

A 5 判上製404頁／3000円

21世紀の新時代に入って国際関係は，それまでのどの時代にも増して混沌の様相をあらわにしてきた。９・11同時多発事件以降，国家の役割は低減し，逆に非国家主体の影響力が増大している。こうした混沌を読み解き，新時代の国際関係の構造と機能を解き明かすためにも国際関係論の新機軸を打ち出す。

〔3276-１・10〕

山崎功著

郷土とアジアの政治文化・国際関係

アジアのアイデンティティを考える

A5判並製174頁／2000円

「地方」の観点から，近代日本のアジア関与・アジア認識を振り返り，日本と東南アジアの政治文化の比較を試みる。多様な東南アジア社会を対象に，地域理解，アジア認識を深めることができるよう，わかりやすく解説する。

〔3316-4・13〕

寺本康俊・永山博之編著

国際社会における平和と安全保障

広島大学公開講座

46判並製297頁／2600円

日本を含む国際社会において，平和と安全保障について，これまでの歴史的な経緯を分析すると同時に，現在および将来において，平和を維持し，安全保障をより確実なものにするための課題についての新たな知識を読者の方々に提供する広島大学公開講座の成果。

〔3409-３・21〕

平田仁子著

気候変動と政治

気候政策統合の到達点と課題

A5判上製244頁／4800円

異状気象や自然災害などの気候変動を巡る政治課題を明らかにし，「気候政治」と呼ぶべき政治の在り方を導き出す試み。

〔3414-７・21〕

岡野裕元著

都道府県議会選挙の研究

A5判上製400頁／8000円

戦後日本の都道府県議会選挙（1947年４月～2018年３月の期間）を対象とし，選挙区構成（1～22人区）や政党間の競合関係について，個別選挙区単位の視点から長期的，体系的に明らかにし，日本の民主主義の健全な発展に資する研究書。

〔3416-1・22〕

行政学・地方自治

佐藤俊一著

地方自治要論〔第2版〕

A5判上製336頁／2900円

制度の解説に加え実態も論述する新しいテキスト。地方自治の類型論のもと戦前・戦後の国自治制度の特色が明らかにされ，戦後自治の実態及び世紀末の分権改革の結果と更なる改革課題が中央・地方，自治体内部，自治体・住民，自治体間の4関係面と税財政面から明解にされる。初版刊行後の新動向に対応。〔3211-7・06〕

中村祐司著

政策を見抜く10のポイント

A5判並製118頁／1000円

公務員制度改革，マイナンバー制度，震災対応における政官民協力のあり方などの国レベルから，地方分権，市町村合併，地方行革，知事制度，首長選挙，議会基本条例などの地方レベルの重要課題を取り上げて政策課題を検討するテキスト。〔3344-7・16〕

藤井浩司・縣公一郎編
政治経済叢書

コレーク行政学

A5判上製242頁／2500円

行政学が直面するパラダイムの揺らぎの先にあるものが，新たなアイデンティティの確立に繋がるのか。現代行政が置かれている現状と直面する課題，そして将来の展望を示すこと，そこに行政学教科書としての使命の一端を見出している。行政を社会全体のコンテクストの中で捉えようと試みた一冊。〔3230-3・07〕

縣公一郎・藤井浩司編
政治経済叢書

コレーク政策研究

A5判上製242頁／2500円

基盤としての政策段階論を概観したうえで，政策現象の決定要因として個人の行動，制度とそれらの融合，さらにアイディア，言説に目を向ける。そして政策現象に関連するアクター相互関係の捉え方を検討すると共に政策内容の移転や波及の論理を探り，最後に政策段階論への補充という構成で論じられる。〔3231-0・07〕

細川幸一著

消費者政策学

A5判上製310頁／3000円

社会科学における19世紀の発見は労働者であり，20世紀のそれは消費者であるといわれる。しかし，労働者政策と違い，消費者政策の体系化や理論化の試みは未だ十分なされていない。本書は，消費者政策学の確立を目指し，既存の学問領域との関係や立法過程・政策遂行過程に言及する初めての書である。〔3228-0・07〕

大谷實・太田進一・真山達志編著

総合政策科学入門〔第2版〕

A5判上製318頁／3000円

混沌とした現代社会では，問題解決のための「政策」を策定，実施，評価する高度な専門性が必要とされている。総合対策科学とは，そのような専門性に理論的基礎を提供する学問体系である。本書は，総合対策科学の目指すものを明らかにし，既存の諸科学との関係を解説した入門書である。〔9129-6・05〕

佐藤俊一著
成文堂選書52

日本地方自治の群像［第1巻］

46判上製254頁／2600円

戦前から現在に至る日本地方自治の思想と実践に大きな足跡を残した人物の再発堀シリーズ。「東洋経済新報」時代の石橋湛山の地方分権改革論／戦前社会主義者松永義雄と織本侃の地方分権改革論／井上円了の田学と新渡戸稲造の地方学／鈴木俊一を中心にみる内務官僚たちの戦前と戦後／飛鳥田一雄による横浜革新市政の展開〔3277-8・10〕

佐藤俊一著
成文堂選書53
日本地方自治の群像［第２巻］
46判上製262頁／2600円

民本主義者吉野作造とその批判者山川均・桐生悠々にみる地方自治論／自治労結成と地方自治研究集会創成に至るリーダーたち／松下竜一の「暗闇の思想」（文明生活と自然の共生）論／井手敏彦沼津市長の〈現場の思想〉とオルタナティブ／経済学者玉野井芳郎らの地域主義の思想と地域分権論　〔3288-４・11〕

佐藤俊一著
成文堂選書56
日本地方自治の群像［第３巻］
46判上製374頁／3700円

農本主義者山崎延吉の農村自治・農村計画・農民道論／台湾議会設置と台湾地方自治連盟をめぐる林献堂／大山朝常のコザ市政と沖縄独立宣言／岩手県沢内村村長の深澤晟雄による〈生命行政〉の創成とその歴史／岩根邦雄の生活クラブ生協創設と政治的代理人の思想　〔3307-２・12〕

佐藤俊一著
成文堂選書57
日本地方自治の群像［第４巻］
46判上製314頁／3200円

後藤新平の〈文装的武備〉論による大連都市建設をめぐる人びと／羽仁五郎の〈都市自治体の思想〉／二人の文学者・新居格（杉並区長）と杉浦明平（渥美町会議員）による戦後期地方自治の実践体験／二人の大阪市長・戦前の関一と戦後の中馬馨による都市建設　〔3319-５・13〕

佐藤俊一著
成文堂選書58
日本地方自治の群像［第５巻］
46判上製398頁／3900円

安部磯雄と片山潜にみる明治都市社会主義の軌跡／市川房枝を基軸にした婦選獲得運動と自治政へのコミット／法定都市計画技師・石川栄耀の都市計画思想の変転と市民自治／原口忠次郎から宮崎辰雄市長に至る〈株式会社神戸市〉の都市経営の思想と実践　〔3329-４・14〕

佐藤俊一著
成文堂選書59
日本地方自治の群像［第６巻］
46判上製336頁／3500円

地方自治と政党政治の関係をめぐる諸見解／超然主義者の山県有朋と井上友一の政党政治排除論／社会主義者大山郁夫の都市自治観と政党政治排除論／民本・自由主義者の吉野作造と田沢義鋪の地方自治観と政党政治排除論／戦闘的自由主義者長谷川如是閑の国家論と都市自治論／政治学者高橋清吾の政党政治不可避論　〔3338-６・15〕

佐藤俊一著
成文堂選書60
日本地方自治の群像［第７巻］
46判上製340頁／3500円

小河滋次郎と林市蔵による方面（民生）委員制度の設計・運用と〈公私〉関係の変転／田川大吉郎の立憲政治論と都市経営論／Ｃ.Ａ.ビーアドの市政学（都市行政学）と『東京市政論』／宮田正馗村長を中心にしたゼロからの村づくり・秋田県大潟村の五〇年　〔3356-０・16〕

佐藤俊一著
成文堂選書61
日本地方自治の群像［第８巻］
46判上製374頁／3700円

明治国家のグランド・デザイナー井上毅の地方自治制度論／池田宏の都市計画論と特別市制・都制論／アナーキスト石川三四郎の土民生活（＝自治）論／火の国の山（下筌ダム事件の室原知幸と語り部の松下竜一）と海（水俣病事件の川本輝夫と語り部の石牟礼道子）における〈相克〉と自治　〔3367-６・17〕

佐藤俊一著
成文堂選書62
日本地方自治の群像［第９巻］
46判上製352頁／3600円

「制度」から「精神」としての自治を歩んだ明治の異端児・田中正造／近代報徳主義・運動における地域振興と地方自治――岡田良一郎・良平と一木喜徳郎――／さまざまな権藤成卿像と彼の社稷自治・国家論／中田鉄治夕張市長の観光開発政策と破綻・財政再建団体へ　〔3381-２・18〕

佐藤俊一著
成文堂選書63
日本地方自治の群像［第10巻］
46判上製368頁／3600円

陸羯南の国民主義・立憲政体論における行政優位論と地方自治論／〈平民〉宰相・原敬の地方自治観と郡（自治）制廃止／地方自治と神社の統廃合・合祀―水野錬太郎と南方熊楠―／市民社会論の運動家にして理論家の須田春海
〔3392-8・19〕

吉田勝光著
地方自治体のスポーツ立法政策論
A５判上製182頁／2500円

法治主義の下，スポーツ政策にあっても，法に基づくことが要請される。本書は，地方自治体のスポーツ政策を立法的視点から論じた初めての研究書である。特にスポーツ基本条例の制定に関する諸問題を検討し，また指定管理者制度に関する条例を分析する等，スポーツに関する条例を考察した。〔9160-７・07〕

吉田勝光・吉田隆之著
文化条例政策とスポーツ条例政策
A5判上製518頁／10000円

文化条例とスポーツ条例を概観し，比較・検討することで，2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催・文化プログラムの展開にむけ，文化・スポーツ政策の実務的な提言をする。
〔3361-４・17〕

中村祐司著
スポーツの行政学
A５判上製458頁／10000円

国家や地方自治体，さらには地域社会に浸透するさまざまなスポーツ政策を対象に，行政学の研究者が現場主義にもとづく実証研究の蓄積を通じて，果敢な分析と考察を行い，まさに学問としての「スポーツの行政学」を構築するに至った初の本格的な研究書。その対象は日・英・豪といった先進諸国に及ぶ。〔3203-６・06〕

中村祐司著
スポーツと震災復興
A5判並製122頁／2400円

東日本大震災によって機能停止となったスポーツの状況を把握し，震災復興に貢献するスポーツ行政のあり方を追求する。東京オリンピックへ向けたスポーツ諸活動を追う。
〔3341-６・16〕

中村祐司著
危機と地方自治
A５判並製104頁／2000円

東日本大震災後５年が経過し風化現象が顕在化する中で，地方行政による震災対応の事例を抽出し，政策や行政の機能，住民認識，復旧・復興の担い手といった問題関心から考察を行う。
〔3352-２・16〕

中村祐司著
2020年東京オリンピックの研究
メガ・スポーツイベントの虚と実
A5判上製192頁／3800円

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催で盛り上がる中，それに関わる個々の事業や事象が，虚と実を両極とする座標軸のどこに位置するのか行政学，政策学，地方自治の観点から探る研究書。
〔3380-５・18〕

中村祐司著
2020年東京オリンピックを問う
自治の終焉，統治の歪み
A5判上製124頁／2500円

スポーツ競技団体の自治の終焉現象と大会の運営や経費の説明から透けて見えるガバナンスの歪みという二つの問題に焦点を当て，東京五輪を問い直す。
〔3397-３・20〕

中村祐司著

2020年東京オリンピックの変質

コロナ禍で露呈した誤謬

A5判上製136頁／2700円

政府（国），東京都，IOC，組織委員会，スポンサー企業といった中枢アクターに焦点を当て，ガバナンス，政策実施プロセス，政策ネットワーク，コア・エグゼクティブといった視点から，一連の諸行為に見られる特徴を明らかにする。

〔3411-6・21〕

中村祐司著

2020年東京オリンピックとは何だったのか

欺瞞の祭典が残したもの

A5判上製114頁／2700円

東京五輪開催をめぐる諸課題の噴出と，その対応における政府，組織委，都，IOCといった東京五輪利害共同体のネットワーク・ガバナンスの作動や機能の特徴を，行政学の欧文文献の視点も取り入れつつ，明らかにしようとする。

〔3418-5・22〕

石元悠生著

東京五輪招致の研究

A5判上製152頁／3000円

五輪招致に焦点をあて，様々な領域が特定の政策行動に移るための方策を，各領域の諸アクターが有する資源（リソース）交換による相互作用，相互調整という観点から検討する研究書。

〔3417-8・22〕

村上博著

香川大学法学会叢書6

広域行政の法理

A5判上製332頁／5500円

市町村合併・道州制論が大いに議論され，広域行政論が学問的にも大きな関心となっている。本書は，市町村合併・道州制以外の広域行政処理手法として，憲法上の地方自治の保障という観的から，自治体の協力・共同を通じて広域行政に対する民主的な自治体間の共同処理を対案として提起する。

〔3257-0・09〕

川﨑信文・森邉成一編著

広島大学公開講座

道州制

世界に学ぶ国のかたち

46判並製256頁／2800円

道州制（リージョナリズム）が世界で話題となっている。その文脈を，仏・独・英・米さらにインドや台湾，そして日本の歴史や実態，自治体実践の中に尋ねた。国際的な比較の内に，道州制を考えるための必読書。特にアジアの国や地域への言及は類書に例を見ない。広島大学法学部の市民講座をここに公開。

〔3272-3・10〕

高橋洋著

地方自治の生成と展開

A5判上製258頁／5000円

主要目次　第一章「近代地方自治」の生成に関する考察…／第二章　プロイセン一八〇八年都市条例の検討／第三章　西南ドイツ＝バーデンにおける地方自治制の前史／第四章　ヨーロッパ地方自治憲章―その紹介と試訳―……／第五章　地方自治権保障の法的性格と自治体の固有の作用領域／ほか

〔0374-5・04〕

荒木昭次郎著

現代民主政治と自治

地域住民自治による地域運営のデザイン

46判上製220頁／2000円

自治の原点を追求しつつ，自治が充実し，地域社会が豊かになっていくためには何が必要で，どのように住民自治を充実強化していかなければならないかについて，論点を整理し体系的に論じる。

〔3412-3・21〕

荒木昭次郎・澤田道夫・黒木誉之・久原美樹子著

現代自治行政学の基礎理論

地方自治の理論的地平

A5判上製228頁／3200円

自治行政にとって今必要なのは，地域とともに生きる多様なアクターの自治力であり，それらが互いに力を合わせ，心を合わせ，助け合っていくことである。本書は，これまでおざなりにされてきた《住民自治の充実・強化》に焦点を当てながら，自治の現場に立った「新しい自治行政の基礎理論」を展開する。

〔0530-7・12〕

松塚晋輔著
久留米大学法政叢書11
民営化の責任論
A5判上製204頁／3200円

本書は民営化や民間委託が行われた後，事故等が生じた場合，誰が不正行為責任を負うのかを，国家賠償法解釈を軸に論じたものである。その際，比較研究の対象としてドイツの職務責任規定や国家責任法の「官吏」概念に関する判例や学説を整理し，そこから示唆を得るという形で展開していく。〔0355-9・03〕

永松俊雄著
政策力の基礎
意思決定と行動選択
A5判並製270頁／2600円

行政の基本は人間理解にあり，人間，自分，そして社会を「知る力」こそが社会を維持し創造する政策力の基礎である。行政，政策とは何かについて学問的知見と実践知の接合を試みた意欲作。〔8076-2・16〕

山下永子著
地方の国際政策
連携・ネットワーク戦略の展開
A5判上製220頁／3500円

本書は，わが国地方の国際政策の特徴や今後の方向性等を分析した上で，近年，世界とくにアジア地域で活発化している地域間国際ネットワーク戦略について論じたものである。マーカッターとして豊富な経験を持つ著者によるマーケティング的研究アプローチは新鮮味があり，分析，提言内容も実践的である。〔9170-6・08〕

上野眞也著
熊本大学法学会叢書6
持続可能な地域社会の形成
A5判上製322頁／5300円

本書は，少子高齢化の進展や小規模自治体の財政力減少の影響を受け，その存続が危機的状況にある山間地域集落の維持に関して，どのような公共政策のあり方が必要なのか，質的比較分析，共分散構造分析，政策分析などを駆使し，政治学的な視点から持続可能な地域社会の形成について論じたユニークな書。〔8055-3・05〕

山下勉編
熊本大学地域連携フォーラム叢書
地域を創る
46判並製248頁／1800円

歴史的転換期にある地域に焦点をあて，経済・法律・文化など多面的な視点から地域が抱える様々な課題について，論考したものである。8章建ての各テーマは，自治体職人とのふれあいによって喚起されたものが中心となっており，大学生・自治体職員・一般市民向けの入門書である。〔9125-3・04〕

柿本竜治編
熊本大学政創研叢書2
坪井川とともにくらす
A5判上製198頁／2500円

街の中を流れる川は，市民に潤いと安ぎの空間を与える一方で，一旦氾濫すると流域に甚大な被害ももたらす。熊本県熊本市の中心市街地を流れる坪井川は，城下町熊本の歴史とともにその役割を変化させてきた。本書は，その坪井川を歴史，まちづくり，防災の視点から捉え，川とともにくらすことを考える。〔9165-2・07〕

上野眞也編
熊本大学政創研叢書1
政令指定都市をめざす地方都市
A5判上製224頁／3000円

いま全国で，政令指定都市をめざした市町村合併の取り組みが相次いでいる。本書は，そのような都市間競争の激化と，大都市への成り上がりを求める自治体の動きについて，政治，地方自治法，財政，流通，交通，道州制など多面的な視角から分析を行い，国と地域のあり方について考える。〔9157-7・07〕

井芹道一著
熊本大学政創研叢書4
Minamataに学ぶ海外
水銀削減
A5判上製236頁／2500円

石炭火力発電所からCO_2と共に大気中に排出される水銀。雨で海に落ち，食物連鎖で地球規模による魚の汚染が広がっている。汚染防止のため，各国に警告をする世界の科学者。国連に条約規制を求めるEU，経済への影響で反対する米国，水俣病への影響から腰の重い日本。世界の視点でミナマタの教訓を問う。〔9172-0・08〕

中川義朗編
熊本大学21世紀地方自治叢書１
地方分権と政策
46判並製216頁／1600円

本書は，地方分権の中心的担い手である市町村に焦点を当て，まず総合的視点から市町村の本質的定義を試み，その行財政改革の課題と方向性を明示した上で，一方で都市化に伴う「都市内分権」の課題を，他方で独自のまちづくりを進める旧湯布院町と，自立のまち福島県矢祭町の実態と課題を分析する。〔9155-３・07〕

内野明徳編
熊本大学政創研叢書６
肥後ハマグリの資源管理とブランド化
Ａ５判上製248頁／2500円

日本在来のハマグリは縄文時代から最も身近な貝類の一つで，熊本は日本一の生産県である。本書は，生息地である有明海の概要と変貌，文化誌・生物学，日本各地の生息状況を解説するとともに，熊本産ハマグリを増やし安定漁獲するための資源管理と肥後ハマグリとしてのブランド化の必要性を提言する。〔9189-８・09〕

山村研一・上野眞也編
熊本大学政創研叢書７
地域を創る大学の挑戦
Ａ５判上製298頁／2500円

近年，大学発の地域貢献に社会の期待が高まっている。本書は全国にもいち早く大学政策シンクタンクとして活動を展開してきた熊本大学政策創造研究センターの取り組みを紹介する。また佐々木毅・姜尚中先生を交えて行った『21世紀社会の構想』フォラムでの貴重な講演内容を収めている。〔9205-５・10〕

松本泰道・上野眞也編
熊本大学政創研叢書10
地域を育てる大学の挑戦
Ａ５判上製238頁／2500円

政府や地方自治体の政策のみならず大学改革においても地域創生が求められ，地域の活力をどう付けるかに社会的関心が高まっている現在，地域づくりの実践における極意を伝える最適書。

〔9258-１・16〕

山中　進・上野眞也編
山間地政策を学ぶ
Ａ５判並製336頁／1800円

日本人の心象風景ともいえる山村は，いま人口の高齢化や減少，そして経済的機会の減少からその存続が危殆に瀕している。本書は，山間地の問題を科学的に政策として考えるための種々のアプローチを紹介し，学生のみならず行政職員，地域づくりに取り組む人々に有用な知識や技術を伝える入門テキスト。〔9204-８・10〕

鈴木康夫著
中山間地域の再編成
A5判並製250頁／2400円

九州の農地地域／土地利用からみた中山間地域の条件不利性／土地利用の変遷／ランドッサ画像による阿蘇地域の草地利用判読／中山間地域における環境保全型農業の展開と持続可能性／グリーンツーリズムによる農村活性化／山間地社会の再生と大学の地域連携。

〔9241-3・14〕

山中進・鈴木康夫編著
熊本の地域研究
Ａ５判並製306頁／2700円

マニュアルのない地域づくりの仕組みを模索する中で，改めて多様な特性を持った地域を，総合的にどう捉えればよいのか。再び地域への関心が高まりをみせている今日的状況を考え，熊本について見つめ直す研究書。

〔9254-3・15〕

山中進著
熊本の地域産業
Ａ５判上製268頁／4200円

地域の多様な自然や歴史，生活の中から生まれた地域産業は，地域の土地柄・個性を色濃くあらわしている。熊本県における地域産業の生成・展開，変容のあり方を，地域との関わりに着目しながら考察しつつ熊本の地域的性格についても言及し，地域産業からみた熊本の地域論を展開する。〔9236-９・13〕

畦地真太郎・米田真理・中垣勝臣編著
朝日大学産業情報研究所叢書12
地域アイデンティティを鍛える
観光・物流・防災
A５判上製202頁／3000円

地域住民が地元に誇りと愛着をもって生活し行動するという地域の魅力を考え，そのための地域アイデンティティの確立，再確認による理想的な地域社会づくりを目指す研究成果。
〔5065-9・15〕

下條美智彦編著
イギリスの行政とガバナンス
A5判並製282頁／2800円

自治の先進国イギリスにける最新の行政運営をガバナンス（共治・協治）論を主軸に追求する。それは政府・官主導でなく，政府と市民が協働で取組む方式を探るものである。イギリス各地でも多層化・分散化しているガバナンスの実態をとらえる。日本の近代化を先導したイギリスから地方活性化の道を探る。〔3240-2・07〕

水嶋一雄編
農業地域情報のアーカイブと地域づくり
改訂版
A5判並製272頁／2000円

食の安全の危機はモラルやチェック体制だけの問題でなく，40％を切った食料自給率，食料を生産する農山村地域の実状に遠因がある。本書は全国の貴重な農業地域情報をデジタル化によって，利用しやすいかたちで構築し，農山村地域や農業生産の持続的活性化に資する。各地域の農業生産の意欲的試みも紹介。〔9198-0・10〕

吉田良生・中垣勝臣・服部徳秀・荻久保嘉章編著
朝日大学産業情報研究所叢書８
市民・企業・行政の協働による創造的地域づくり
A5判上製228頁／3000円

「まちづくり」の成功事例は，行政主導の発想から市民参加，あるいは市民と行政との協働という発想に転換すべき時期に来ていることを教えている。本書では，これに企業とその集積を加えることにより，経済活動が活発で社会的活力のある魅力的な地域を創造するための方法を考察している。〔5049-2・05〕

荻久保嘉章編
朝日大学産業情報研究所叢書９
産業情報社会
その変遷と展望
A５判上製314頁／3000円

我が国における産業情報社会の発展史に目を向けると，失われた10年，グローバル化，ITバブル，環境問題など，いくつものキーワードに遭遇する。地域産業から日本経済，さらには海外の情勢まで幅広い分野に精通した12名の大学教員が，孔子の時代から現在に至るまでの産業情報社会を熱く斬る。〔5052-９・09〕

加藤里美・中垣勝臣編
朝日大学産業情報研究所叢書10
全球化社会の深化
―異文化をめぐる化合・還元・触媒―
A５判上製254頁／3000円

〈主要目次〉全球化時代の日仏関係／スペインの地域的多様性／「小資」・「80後」と村上文学／異文化体験と就職活動／英語授業における学習文化形成過程／内なる異文化／かっけばっとはほうとうか？／日本の伝統文化に根ざした「日本型雇用」／エスニック・ジョークを通した日本文化／全球化時代の携帯〔5056-７・11〕

荻久保嘉章著
新版 杞柳産業の盛衰
地場産業産地の淘汰
A５判上製266頁／3000円

かつて全国各地に地場産業として大小の山地を形成していた，「柳行李」をはじめとする杞柳製品を供給する杞柳産業。その産地形成にかかる知識の伝播のみならず産地から市場への製品の動き等を整理し，わが国の杞柳産業の概要と個別性について，時間の流れの中での把握を目指す。〔5060-４・13〕

忍田和良・土井義夫編著
朝日大学産業情報研究所叢書11
地域物流市場の動向と展望
A５判上製216頁／3000円

適切な努力が報われ，公正な競争条件が整った物流市場のあり方を探るため，国の中央，岐阜地域で需給両分野からの声を聞く。
〔5059-8・13〕

朝日大学大学院グローバルロジスティクス研究会監修

地域物流市場の新課題

A5判上製234頁／3000円

グローバル化の進展，ICTの発達と社会経済の変化，国民生活環境の変化，社会的制約の拡大といった状況変化が，物流の未来を大きく変えるとされる現在における物流の諸問題に関する研究の成果。

〔5068-0・17〕

朝日大学大学院グローバルロジスティクス研究会監修

トラック運送事業の現状と未来

A5判上製242頁／3000円

「トラック運送事業」に関して，理論的･実務政策的な記述により，荷主，物流事業者，行政・地域の動向など，グローバルな視点から物流事業者の役割･課題等を探る。

〔5070-3・22〕

新井鎮久著

産地市場・産地仲買人の展開と産地形成

関東平野の伝統的蔬菜園芸地帯と業者流通

A５判上製216頁／2700円

関東地方の伝統的蔬菜産地の成立・発展過程を，業者流通と付随する産地形成機能を視点に論述。とくに高度成長経済期以降，流通近代化政策―集散市場体系の構築と建値市場化―の進行するなかで，前近代的側面を含む業者流通の軌跡とその地域効果について，３大都市圏との比較考証を試みた先見的異色の書。　〔9231-４・12〕

新井鎮久著

近世関東畑作農村の商品生産と舟運

江戸地廻り経済圏の成立と商品生産地帯の形成

A５判上製542頁／8300円

農業・農村地域の領主的・農民的流通論の枠を超えて，水運の展開が農業生産･農民生活の諸側面に及ぼす影響，とくに河岸の結節機能と農業地域形成力に注目し，解明を深めた先駆的試み。

〔9256-７・15〕

新井鎮久著

関東畑作農村の近代化と商品生産

その変遷と動因

A５判上製472頁／8000円

「行政と農業地域形成機能」を基本的視座として，前半で近世関東畑作農村の商品生産性について検討し，後半では東西関東畑作農村地域論を展開する。『近世関東畑作農村における商品生産と舟運』の姉妹編。

〔9272-７・18〕

佐藤祐介・松岡勝実編

消費者市民社会の制度論

A５判上製230頁／2500円

「消費者市民社会」を，行政のあり方，地域連携，教育機関の取り組み，法律論等様々な角度から論じる。消費者問題に先駆的に取り組む盛岡市で，学者・教育者，弁護士，立法担当者，消費者行政の窓口担当者，地域住民がつどい，身近なコミュニティーから出発し，消費者が主役のネットワークづくりを考える。　〔2576・３・10〕

鈴木隆史・早川誠編

グリーンブックレット１

地域政治・行政とモラル

市民参加を通じての日米の実践から

A５判並製90頁／800円

地方分権改革が進む中，権限や補助金の配分をめぐる制度改革だけでなく，良質のモラルを備えた市民による地域政治・行政への参加が重要になっている。地方政治家が取り組むべき課題や望ましい市民教育のあり方などを，日米双方の政治家・研究者・教育者を交えて討論したシンポジウムの記録である。　〔9195-９・10〕

松岡勝実・金子由芳・飯考行編

災害復興の法と法曹

未来への政策的課題

A５判上製354頁／3400円

東日本大震災から５年，被災地はどれだけの「復興」を遂げたのか。災害復興の現場で直接実務に携わってきた筆者が集い，大規模津波災害にして地方型災害の本質に関わる法律問題を正面から取り上げる。

〔2684-５・16〕

立正大学法学部・立正大学法制研究所編
グリーンブックレット⑨
大震災の法と行政

A 5 判並製86頁／800円

2011年３月11日に発生し，未曾有の被害をもたらした東日本大震災。こうした震災への対応について，法と行政の視点から開催された，立正大学法学部創立30周年記念シンポジウム。

〔9237-６・13〕

二塚信・小野友道・上野眞也編
検証：新型インフルエンザ2009
そのとき学校は，地域社会は，行政はどう対応したか

A5判上製348頁／2500円

2009年の新型インフルエンザの大流行は世界中をパニックにおとしいれる程のインパクトを持った事件であった。そのとき行政は，医療機関は，学校は，マスメディアは，そしてワクチンメーカーはどう対処したのかを，当事者へのインタビューや振り返りで検討した。未来への貴重な教訓の記録である。〔9229-１・12〕

杉山雅洋・国久荘太郎・浅野光行・苦瀬博仁編著
明日の都市交通政策〔改訂版〕

A5判並製268頁／2500円

21世紀初頭の交通政策，交通計画をどのように考えるべきかを，都市に焦点をあわせて検討したもの。とかく人の交通を中心に論じられがちである都市交通論の中で物流の分野をも積極的に検討対象とし，文系・理系双方の視点から広範に究明した点に特色。世代間の費用負担問題にも言及している。〔4212-8・08〕

岡野行秀・杉山雅洋著
日本の交通政策

A 5 判上製194頁／3000円

相対的な意味で社会・経済的にインパクトの強い鉄道政策，道路（自動車交通）政策を中心に交通政策協議会の前身である運輸政策審議会時代になされた交通政策の背景を客観的に整理し政策論議を検証する。

〔5064-2・15〕

S. クールマン・H. ヴォルマン著
縣公一郎ほか訳
比較行政学入門
ヨーロッパ行政改革の動向

A5判並製420頁／3500円

ヨーロッパ主要６か国の行政改革動向について，新制度論の観点から比較分析し，比較行政学をどのようにして議論すべきかに関する方法論を提示する。行政比較に最適の１冊。

〔3410-９・21〕

ア　ジ　ア

西原春夫著平山郁夫・松本健一・山口淑子対談

21世紀のアジアと日本

46判並製276頁／1800円

ヨーロッパ統合の根源を現地で探求した著者が，ヨーロッパとアジアの異同に配慮しつつアジア共同体形成の可能性と，そこでの日本の役割を明確にわかりやすく説いた好著。３人の著名人との対談も異色でおもしろい。

〔9103-2・02〕

三浦信行編

21 世 紀 ア ジ ア 学

46判並製282頁／1800円

あらゆる次元で激変をとげる“21世紀アジア”。これまで別々のことと思われてきた様々な現象が密接に融合し，親密と思われてきた事柄が知らぬ間に別離する。そうした学的常識さえはじく，その核心に迫る。学問再編の微かな兆し

〔9104-0・02〕

今井弘道編

発展する東アジアと法学の課題

A5判上製340頁／6800円

2004年９月開催の第五回東アジア法哲学シンポジウムにおいて，歴史認識と文化の問題／東アジア法の可能性／グローバル化の中の東アジアと法の問題／東アジア地域の発展とEUとの比較／東アジア的家族と女性問題などのテーマの下になされた報告を内容とするもの。

〔3246-4・08〕

岩崎育夫編

拓殖大学研究叢書（社会科学）31

新 世 代 の 東 南 ア ジ ア

政治・経済・社会の課題と新方向

A5判上製260頁／3000円

現在，東南アジア諸国では指導者や国民の世代交替が進み，国内構造や地域構造も独立時から大変容を遂げた。新世代時代の地域諸国の政治，経済，社会分野の課題は何か，今後どの方向へ向かうのか，地域の実態に視点を据えた地域研究手法に依拠した，拓殖大学の東南アジア研究者７名による共同研究書。

〔9169-0・07〕

吉野文雄編

拓殖大学研究叢書38

東南アジアと中国・華僑

A５判上製182頁／3000円

東南アジアと中国の政治経済関係と東南アジアにおける華僑・華人の位置に関する論文を収めた。ASEAN 中国FTA，マレーシアにおける新村，東南アジアにおける孔子学院の展開など，日本からはアプローチが難しいテーマに意欲的に取り組んだ。拓殖大学の東南アジア研究者６名による共同研究書。

〔9227-７・12〕

経　済　学

石橋春男著

経済学へのアプローチ〔第2版〕

A5判上製424頁／3300円

初学者でも親しみやすく経済学が学べるように書かれた著書の待望の第2版。最新のデータに入れ替え，平易な文章と図表を数多く使用し，難解な理論をわかり易く解説。又，巻末の演習問題とチェックリストを活用することで，初学者が各種資格試験合格ラインまで到達できるよう，ねらいを定めた力作である。〔4181-7・02〕

岡田義昭著

現代経済理論〔第3版〕

A5判上製188頁／2400円

初級ないし中級レベルのミクロ・マクロ経済学に関する著者の議義材料をベースに，基礎的知識やシステマチックな思考様式を徹底的に理解・習得することを目指した。ビジネスパーソン，公務員，国際機関，団体職員，税理士，公認会計士等，経済・経営・商学系の学生の様々な進路に対応する。〔4248-7・14〕

嶋村紘輝著

新版ミクロ経済学

A5判上製290頁／2800円

基本的な概念と理論を明快に解説した最新のテキスト。①はじめて経済を本格的に学ぶ読者を対象。②この一冊でミクロ経済学をより深く総合的に理解。③最新の重要トピック「ゲーム理論」と「不完全情報」の章を加えた。④豊富な図表による解説。⑤章末に「練習問題」を掲げ理解度をチェック。巻末に詳細な「解答・ヒント」。〔4196-5・05〕

嶋村紘輝著

マクロ経済学

理論と政策

A5判上製412頁／5500円

マクロ経済学の中心的課題，景気循環の問題を古典派／ケインジアン，新しい古典派／ニュー・ケインジアンの視点から分析し，マクロ経済政策の有効性について解明。マクロ経済学のミクロ的基礎づけに努め，国際マクロ経済学の分野にも分析を拡張した本格的な研究書。学部上級・大学院生のテキストとしても好適。〔4152-3・97〕

嶋村紘輝編著

商学双書2

マクロ経済学

A5判並製284頁／2500円

豊富な図表による解説，章末に練習問題を掲げ，マクロ経済に起こる諸問題やマクロ経済学の基礎的な概念・理論を分かりやすく正確に説明する。マクロ経済学をより深く総合的に理解するための書。

〔4250-0・15〕

吉田良生著／鈴木雅勝補訂

マクロ経済学入門〔補訂版〕

A5判並製182頁／1900円

消費関数の問題，失業問題，経済成長問題，財政赤字解消の問題などの長期の問題にも言及し，日本経済・財政の高度経済成長期からの変遷を視覚的に理解できるよう工夫した入門書。

〔4265-4・20〕

吉田良生・角本伸晃・青木芳将・
久下沼仁笥・水野英雄著

ミクロ経済学入門〔新版〕

A5判並製148頁／1700円

21世紀は知識社会です。新聞や雑誌だけでなくインターネットを通じても大量の情報を集めることができます。この情報は肉や野菜のようなもので，これらをどのように料理するのか，料理の仕方によって味はちがってきます。ミクロ経済学は経済情報という素材を活かして私達の生活に役立てる料理本です。〔4245-6・14〕

多部田直樹著

ミクロ経済学〔第2版〕

A5判上製468頁／3300円

伝統的なミクロ経済学の内容について，部分均衡分析を中心に総合的に学べるように工夫した。初めて経済学に触れる読者を念頭においたわかりやすい入門書。各章の初めに「概略」と「キー・ワード」，章末に「アドバンス・トピック」「演習問題」を配置することによって，読者の理解をより深める。〔4266-1・20〕

石橋一雄編著

政治経済学

A5判上製326頁／3000円

主要目次　第1章国民所得の決定　第2章貨幣経済の理論　第3章国民所得と利子率の同時均衡　第4章失業とインフレーション　第5章金融政策の理論　第6章経済成長理論　第7章国際金融　第8章家計行動の理論　第9章企業行動の理論　第10章市場均衡の理論　ほか〔4207-4・07〕

石橋一雄編著

日本経済論講義

A5判上製384頁／3500円

いま，日本経済が直面する具体的なトピックに焦点をあてて明快に解説した入門テキスト。戦後日本の契機循環，地球温暖化，平成バブル，公的年金，エネルギー資源，ロシア経済，日中貿易，分かち合う社会，イノベーション創出，意思決定理論，企業監視などの章で構成。大学院生の教科書としても好適。〔4224-1・09〕

横山将義著

開放マクロ経済学と日本経済

開放経済下における経済政策の効果

A5判上製390頁／6000円

国際的な経済の相互依存を前提とし，開放マクロ経済学の理論を用いて経済政策の効果ならびに有効性を考察するとともに，開放経済の視点から日本経済が抱える諸問題を明らかにしたうえで，その解決策や政策的処方を提示する。〔4187-6・03〕

塚田広人著

社会システムとしての市場経済

第2版

A5判上製382頁／3200円

初版で指摘した市場経済社会の問題点は，以来10年余りを経，日本でも世界でも一層明らかに，また深刻になっている。その解決のために私たちは何ができるのか。新しく教育費負担の問題を一つの章に加え，本書が示す市場経済社会に対する分析の視点は21世紀初頭の現在，ますます有効性を増している。〔4220-3・09〕

塚田広人編著

雇用構造の変化と政労使の課題

日本・韓国・中国

A5判上製264頁／4000円

現代市場経済社会に生きるすべての人にとって雇用の確保は最重要な問題の一つである。しかし今，多くの国で失業あるいは不安定雇用の形をとって雇用問題はますます大きくなりつつある。本書は日本，韓国，中国における近年の雇用の実態と政労使の動きを考察する。〔4192-2・05〕

山田徳彦著

鉄道改革の経済学

A5判上製346頁／7000円

国鉄改革の検証を通じて，望ましい鉄道輸送サービス供給の制度と組織のあり方を模索する。日本国有鉄道に内在した構造的問題と国鉄改革のプロセスを振り返り，一連の議論と改革の内容をネットワークと組織の観点から考察し，それに照らして鉄道政策とJR旅客鉄道会社の行動を評価しようと試みている。〔4178-7・02〕

張艶著

中国のマクロ経済と物価変動の分析

経済改革後の中国経済

A5判上製244頁／5000円

中国の文献や資料を活用するだけではなく，日本や欧米の最近の経済理論や計量経済的手法を適用し，中国経済について分析する点に大きな特色と独創性があり，中国経済研究の新たな領域を切り開いたといえる。中国の物価変動の問題を専門的に分析，かつ体系的に扱い，対中国経済政策にとっても参考となる研究書。〔4199-X・06〕

山崎弘之著

ハイエク・自生的秩序の研究

経済と哲学の接点

A 5 判上製496頁／6500円

オーストリア学派経済学と言えば，その理論の背景に深遠な哲学があることは分かっていた。しかしそれがどのような体系をもつのか明らかにされてきたわけではない。今回，その創始者・メンガーの思想を踏襲してきたハイエクの自生的秩序を通してこの哲学的課題を掘り下げたものである。〔6088-7・07〕

岡谷良二著

集団形成の経済理論

A 5 判上製116頁／2400円

クラブ，提携形成，ネットワーク形成，地方公共財の理論など，私たちの生活において何らかの目的をもった集団が形成され，その目的をうまく達成しているかどうかを考える経済理論を紹介する。〔4251-7・15〕

森脇祥太著

経済発展の計量分析

A 5 判上製242頁／4500円

本書では中国の経済発展過程が実証的に分析されており，同時に韓国・台湾・日本等の東アジア諸国との比較も試みられている。また経済発展に影響を与えた要因として産業構造変化，社会資本，中小企業，経済発展の結果として生じた問題として賃金格差と地球温暖に注目した分析が行われている。〔4211-1・08〕

近藤万峰著

ポストバブル期の金融機関の行動

A 5 判上製146頁／2500円

バブル崩壊後のさまざまな金融環境の下で，金融機関の行動が具体的にどのように変化しているのか。また，それが一般生活者の金融関や金融サービスの利用環境とどのように関連しているのか。多角的に分析し，今後の金融機関の行動のあり方を考察する。〔4218-0・09〕

岡田義昭著

開放経済下の新マクロ経済分析

A 5 判上製322頁／5000円

情報通信技術の革命的進歩により，今日の経済は急速にグローバル化が進んだ。その過程で提起された喫緊の課題――為替レート・インフレ・景気の国際間伝達プロセス――に対し，本書では，開放経済下の新たなマクロ経済学，すなわち動学的一般均衡モデルを基に，様々な角度から検討を加えている。〔4217-3・09〕

岡田義昭著

グローバル化への挑戦と開放マクロ経済分析

A 5 判上製402頁／7500円

グローバル化の進展する主要国経済の現状を的確に分析し，有効な政策命題を導出する経済学的枠組みの構築が今日焦眉の急となっている。本書において，動学的一般均衡理論の開放化を図った新開放マクロモデル体系を創出し，それら体系を基に透徹した論理による理論的・実証的解明が展開されている。〔4246-3・14〕

岡田義昭著

マクロ経済分析の地平

A5判上製310頁／6000円

国際通貨金融分野で耳目を集めつつある重要トピックスを取り上げ，開放マクロ経済学もしくは国際マクロ経済学の標準的分析ルールを基に，広範囲に亘る理論的・実証的分析を試みる。〔4261-6・17〕

野村友和著

経済発展における教育投資と所得分配

A 5 判上製164頁／3600円

発展途上国や新興国において，平等に学校教育を受ける機会を与えられることで多くの人々が教育投資を行い自らの生産性を高め経済成長に貢献することで貧困が解消されるという視点で教育収益について多角的に考察する。〔4247-0・14〕

渡邉隆俊著

地域経済の産業連関分析

A５判上製180頁／2800円

産業連関表のデータや産業連関分析を中心に，日本やアジア地域を対象とした実証分析を報告。産業クラスター，温暖化対策税（環境税），中小企業，海外直接投資，輸入原価価格の国内価格波及そして自由貿易協定の経済効果のトピックスに関する研究書。

〔4226-５・10〕

酒井邦雄・村上亨・吉田良生・久下沼仁筒・寺本博美・吉田雅彦・角本伸晃著

ポスト産業資本主義下の制度改革

A５判上製232頁／2700円

従来の様々な制度－雇用，財政等－が現実適応性を失い，国民の不安を高めている。これは価値観の変化，市場化，グローバル化の進展による。本書では，制度の経済学の観点から，ポスト産業資本主義下でなぜ従来の制度が機能せず，不安が高まるのか，今後の課題は何かを明らかにしている。

〔4200-7・06〕

有田謙司・石田成則・塚田広人・浜島清史・柳沢旭・横田伸子共著

失業と雇用をめぐる法と経済

A5判並製192頁／1800円

現在の日本における雇用と失業問題を理解するため，本書では，法と経済の二つの分野の研究者が協力して，複眼的，学際的な視点から，雇用の不安定と失業増の現状，原因，対策の三つの分野にわたって，その全体像を分析する。雇用，失業問題の現状と今後の展開の方向を理解するための好著。

〔3184-6・03〕

アンソニー／ビックス著　石橋春男・関谷喜三郎訳

経済・金融・経営のための数学入門

A5判上製306頁／3500円

ミクロ経済学，マクロ経済学だけでなく，金融論，経営学を学ぶ人のために数学の基礎知識をわかりやすく解説。金融論や経営学に関する具体例を豊富に用いて，初学者にも十分理解できるようにていねいな説明がなされている。さらに，ある程度数学の知識を有する人の学習にも適応できるよう配慮されている。

〔4167－1・00〕

オルラ・オルソン著／石山健一ほか訳

マ　ク　ロ　経　済　学

A5判並製256頁／2400円

マクロ経済分析に対して理論的に大きな貢献をなしてきた中級レベルの主要概念を簡潔に示す。工業化以前の時代の経済成長から現代の政治経済的景気循環までを網羅する充実したテキスト。

〔4263-0・17〕

森島覚著

大洋州の経済と労働

民営化とは何だったのか　労働とは何か

A５判上製272頁／4500円

大洋州では1980年代から90年代，スタグフレーションを克服するものとして民営化が労働党政権下全面的に展開された。その功罪を明らかにすると共に，結局のところ「社会主義」崩壊の最大理由でもある労働の処理に行き着くことを主張し，克服の根拠を貴賤の無い職業，働く者中心の社会とする。

〔4230-２・11〕

柴山宮恵子著

や　さ　し　い　統　計　学

A５判上製164頁／1900円

近年，データの統計的処理をはじめ非常に多くの分野で統計解析が行われている。これはそれぞれの専門知識のもとで利用され，学問の一層の発展や社会状況の把握などに役立っている。統計的処理や解析結果の理解に必要とされる統計学の知識のうち最も基本的な部分について平易な例を用いて解説している。

〔8032-４・92〕

経 済 政 策

横山将義著
商学双書1
経 済 政 策
A 5 判並製308頁／2500円

マクロ経済学・ミクロ経済学の基礎理論に基づき，経済政策の効果及び有効性を明らかにする。経済理論をいかにして政策問題と関連づけ，応用するかを中心に明快に解説し，経済政策の理論を学ぶ知識と手法を提供する待望の一冊。
〔4242-5・12〕

瀬野隆監修著
新現代経済政策論〔第2版〕
平等論と所得格差
A5判並製414頁／3300円

現代的で関心度の高いテーマを扱う教科書。経済政策課題に関する根源的な理解を助ける。第2版では，現代社会がさらに富の一極集中と所得階層の二極化を進化させていることから，改めて平等論・不平等論を歴史的・哲学的・政策的に研究した。
〔4264-7・18〕

矢崎隆夫著
経 済 開 発 政 策 論
A 5 判上製308頁／6000円

発展途上国の経済開発と人々の幸福度向上との因果関係を，貧困・人権・政治・制度・慣習・宗教・文化・教育・環境などを視野に入れ，主として，理論と政策実務の視点から考察したものである。実例として，東アジアの経済開発を取り上げて，開発における政府の役割と市場の機能を実証的に検討している。
〔4223-4・09〕

大塚耕平著
公共政策としてのマクロ経済政策
財政赤字の発生と制御のメカニズム
A5判上製378頁／5000円

財政政策と金融政策から構成されるマクロ経済政策は必ずしも科学的なものではない。政府(財政当局)，中央銀行，有権者の3者の行動がマクロ経済政策に歪みをもたらし，必然的に財政赤字の拡大と貨幣化政策を招来する。本書では，マクロ経済政策の有効性と制御可能性を学際的な視点から考察する。
〔4186-8・04〕

諏訪貞夫編著
日本経済の進歩と将来
A5判上製328頁／3000円

編著者の早大政経，経研セミナー出身者の啓蒙学術論文集である。新進気鋭のエコノミストによる現代日本経済論である。一編は日本経済政策学会会長の論文もある。大きく変貌する国際環境で日本経済をどう考えるかを，十名の著者が，それぞれ独自の分析と説明を行っている。
〔4205-0・07〕

角本伸晃著
椙山女学園大学研究叢書40
都市と不動産の経済分析
A 5 判上製270頁／4500円

第一部において都市における不動産開発と地代・地価の都市空間構造を理論的に明らかにするとともに，第2部ではその応用として，中心商店街を例にしてアメニティ資源の保全策並びに土地利用規制とレント・シーキング問題について分析した。リアル・オプション理論による分析も加えている。
〔5054-3・10〕

山本哲三編著
商学双書6
公共政策のフロンティア
A5判並製442頁／3200円

公共部門で民営化と規制緩和が，公共政策論で「公共選択」が重要な政策潮流となったことを受け，我が国でも今後の改革が予想される政策分野をトピックスとして取り上げる。
〔4262-3・17〕

伊東維年・鹿嶋洋・根岸裕孝編著

熊本地震と熊本県の工業

熊本県工業連合会の復旧・復興支援活動の記録

B5判上製204頁／5000円

2016年熊本地震における熊本県工業連合会の復旧・復興支援活動の記録。

〔9274-1・19〕

伊東維年・鈴木康夫編著

熊本地震と熊本県の観光

A5判上製272頁／5000円

熊本地震による県の観光被害と復旧･復興の状況を考察。観光分野における東日本大震災と熊本地震の比較分析と，熊本地震に伴う国と県の観光対策を検討し，それぞれの問題点と今後の課題を明らかにする。

〔9278-9・20〕

国際経済・国際金融論

大畑弥七・横山将義著
商学双書 7
国　際　経　済　学

A 5 判並製258頁／2500円

大畑弥七著『国際貿易論』の後継となる国際経済学の入門書。理論と政策に焦点をあてて，国際経済学の基礎を解説。開放経済の視点から経済問題を読み解く手法を提供する。

〔4259- 3 ・16〕

戸崎徹・小倉収著
国 際 経 済 論〔改訂増補版〕

A 5 判上製282頁／3000円

序章，第 1 章の一部分，さらに第 4 章の国際収支，及び第 6 章を加筆した。より充実した改訂増補版。
《主な内容》序章国際経済／第 1 章貿易理論／第 2 章貿易政策／第 3 章生産要素の移動／第 4 章国際収支／第 5 章国際経済機構／第 6 章現代国際経済の諸問題

〔4231- 9 ・11〕

岡田義昭著
国際金融の新たな枠組み

A5判上製286頁／4000円

東アジアは“東アジア共同体”の実現に向け新たな時代に入った。多面的な連携を深めつつある同地域の現状を踏まえ，本書では近年進展の著しい国際マクロ経済学をベースに透徹した理論的・実証的検討が加えられることにより，通貨金融統合に関する一つの枠組み（アーキテクチャー）が提示されている。

〔4201- 5 ・06〕

岡田義昭著
国　際　金　融　論　攷
新開放マクロ経済学的分析

A 5 判上製348頁／5500円

主要通貨が1873年に変動相場制へ移行して以降今日に至るまで，現実経済が提起した枢要な課題―為替レートや金利などの金融変数と実物経済との動学的相互作用に関する解明―に対し，本書は近年進展の著しい新開放マクロ経済学に依拠した分析を加えることにより，新たな知見を提示している。

〔4229- 6 ・11〕

谷内満著
商学双書 4
国　際　金　融　と　経　済
国際マクロ経済学入門

A 5 判並製272頁／2500円

国際金融と各国経済のダイナミズムをわかりやすく説明し，国際的視野で経済を見る眼を養う。現実の経済問題の興味深い分析も豊富で，円高や産業空洞化などの「通説」も鋭く検証する。

〔4252- 4 ・15〕

秋葉弘哉・飯田幸裕・北村能寛著
外　国　為　替　制　度　論

A 5 判上製232頁／3200円

国際金融論の最重要テーマ，外国為替制度の専門書。危機に耐えうる制度を厚生面から検討。自由変動制と厳格な固定制の二制度のみが生き残れるとは限らず，中間的制度の存在意義を厚生面から証明。通貨同盟の分析では，マンデルの言う理想的状態の経済学的意義を解明した最新の研究成果を問う意欲作。

〔4228- 9 ・10〕

寺町信雄編著
国際貿易論の理論と日中貿易

A 5 判上製284頁／4200円

国際貿易論の理論分析を扱った論文 6 編と国際貿易の実証分析に関わる日中貿易の分析を扱った論文 4 編から構成する研究書。

〔4256- 2 ・15〕

保険・海商法

金澤理著

保　険　法

A5判並製324頁／2700円

今後開発される保険商品の理論的基礎を提供する。二〇〇八年に商法から独立して制定された保険法及び関連法令の改正を反映するなど、最新の教科書。

〔2722-4・18〕

大谷孝一編著

保　険　論　〔第3版〕

A5判上製412頁／2800円

経済活動や自然災害など私たちを取り巻く社会現象は多くの危険を生み出している。これらの危険は万全の注意を払っても完璧に防ぐことは不可能であるが，出来るだけそのリスクを軽減する方法の一つが保険制度である。本書は各分野における最高の執筆陣により，保険全般について解説した入門書である。

〔4240-1・12〕

石山卓磨編著

現代保険法〔第2版〕

A5判並製446頁／3500円

保険に関する理論・判例・実務には，近時，著しい発展が認められる。本書は，基本的に通説ないし多数説に従い，現代の要請に対応しうる理論的水準において，保険制度を法的角度から解説する。第2版は，平成22年4月に施行された新・保険法に対応し，大幅な改訂を施したものである。

〔2604-3・11〕

箱井崇史著

基本講義現代海商法〔第4版〕

A5判並製286頁／2500円

2019年の船舶油濁等損害賠償保障法などに対応。写真・図表を用いながら現代海商法の世界をイメージできるようわかりやすく叙述する。学生のみならず，海運，商社，銀行，保険会社などの若手実務家にも有用な入門書。

〔2765-1・21〕

中村眞澄・箱井崇史著

海　商　法　〔第2版〕

A5判上製456頁／3800円

学生になじみの少ない海商法を平易に解説するほか，用語解説や文献引用を多くし，理解を助ける工夫をしている。一方で新しい問題や，特殊研究に基づく独自の見解を随所に展開するなど，大学院生，実務家にとっても有益である。新たな考えも反映させつつ大幅に加除修正を加えた待望の第2版。

〔2636-4・13〕

箱井崇史・松田忠大編著

船舶衝突法〔第2版〕

A5判上製552頁／8000円

10年ぶりの改訂！　船舶衝突に関する条約，法律，判例，実務などの変化に対応するとともに，海洋環境損害に関する問題等にも論究する。近年類を見ない海洋研究の書で，実務家にも有用。

〔2791-0・23〕

松島　惠著

損害保険入門

A5判並製376頁／3500円

私たちの財産や身体を火災・地震・自動車事故・けがなどのリスクから守り，くらしの安心を支える火災・地震・自動車・傷害・医療の各保険，他方，事業活動の安心を支える生産物賠償責任・海上保険を取りあげ，損害保険の原理をはじめ，各損害保険の担保危険・損害，免責保険につき平易に解説した指南書。

〔4214-2・08〕

中出哲・嶋寺基編著

企業損害保険の理論と実務

A5判上製456頁／6000円

企業の損害保険における待望の体系書。企業のビジネスに不可欠な損害保険のうち，中心となる「財物」「利益」「賠償責任」の保険を対象として理論と実務を詳しく解説。背景にある法制度や契約理論を解説し，外国約款との比較も行いグローバルな実務にも対応。専門家がそのノウハウを結晶化させた実務に不可欠な１冊。〔4268-５・21〕

星野明雄著

アクチュアリー数理の基礎

［数学］

A5判上製404頁／5000円

保険数理業務を担う専門職「アクチュアリー」の資格試験科目のうち数学に関して，１冊で必要事項の全体を網羅する教科書。受験者必携！

〔4269-２・23〕

武田久義著

リスク・保障・保険〔第２版〕

A５判並製210頁／2300円

本書は，三部で構成されている。第一部は保険の基礎理論を，第二部はリスクと保障を理論的・実践的に，そして第三部は保障と保険の歴史を論じている。リスクと保障および保険に関する様々な問題を幅広い見地から，わかりやすく説明している。新しい保険法も反映しており，教科書等に最適である。〔4238-８・12〕

鈴木辰紀著

自動車保険読本

A5判並製108頁／800円

自動車保険を契約する人のための分かりやすい入門書。多種多様な契約，それぞれ異なる対応，それらを最新のデータに基づき実例を挙げて単純明快に解説。さらに，世界の自動車保険と比較しながら濃縮された根本的な問題を提起している。読みやすいにも係わらず，学術的に劣らぬ格調の高さは今までにない名著である〔4202-３・06〕

鈴木辰紀著

自動車保険のつぼ〔改訂版〕

A5判並製142頁／1700円

人身傷害補償保険はなぜ必要か？実例を挙げながら解説。人損に対して保険で備えるための自賠責保険，対人賠償保険，人身傷害補償保険の重要性をひもとく。さらに任意保険料と自賠責保険料，将来の介護料，自動車保険の問題点などにも触れ，聞きたかった，知りたかった自動車保険のまさに「つぼ」を啓蒙する名著。〔4243-２・13〕

鈴木辰紀著

判例に見る被害者救済

46判並製144頁／1200円

実際の事故をもとにその判決を紹介し，強制保険である自賠責保険と任意の自動車保険がどのようにからんで事故被害者救済にどのように役立っているかを確かめる。一瞬の事故がもたらす事故の悲惨さ，被害者・家族の苦悩の深さはいかばかりか。交通事故の実状を誰にでもわかりやすく解説している。〔4216-6・08〕

鈴木辰紀編著

日台中の自動車保険

A５判上製152頁／3000円

強制自動車保険関連の論文を一書にまとめたものである。中台両国の強制自動車責任保険についてのわが国での理解を深める名著。

〔4221-０・09〕

鈴木辰紀著

中国の自動車保険

46判並製106頁／1500円

中華人民共和国の自動車保険の最近の事情について紹介。2006年７月に発足した中国の全国一律の強制自動車責任保険の現状を分析。中国の自動車保険の現状と特徴をとらえる類書を見ない意欲作。附録として，強制自動車交通事故責任保険条例，強制自動車交通事故責任保険約款を収録。〔4232-６・11〕

鈴木辰紀著

保険の現代的課題Ⅳ

A５判上製124頁／2500円

①本書は自動車保険をめぐる問題点の研究を主体とするが，生保の問題にも触れられている。自動車保険については，人身傷害補償保険考，交通事故と過失相殺，人身傷害補償保険と請求権代位の問題が，また生保については不可争条項と詐欺無効の問題が論じられる。〔4225-８・10〕

中出哲著

損害てん補の本質

海上保険を中心として

A5判上製514頁／10000円

損害保険の特徴である「損害をてん補するもの」とは何かを種々の視点から考察し，その本質を解明しようとする損害保険の契約理論の研究。〔4258-６・16〕

野口夕子著

保険契約における損害防止義務

モラル・ハザード防止機能という観点から

A5判上製362頁／6200円

商法660条１項について，立法の沿革，学説の来歴を踏まえつつ，同項が保険制度におけるモラル・ハザード防止策であるとする経済学的検証，ドイツ，中国，イタリア，台湾を対象とした比較法的考察に基づき，わが国通説及び実務慣行を鋭く批判，同項但書の強行規定化という新たな解釈学説を提示する。〔2510-７・07〕

松田忠大著

船舶衝突責任法の課題と展開

A5判上製252頁／5000円

本書では，現代における船舶衝突の特質を踏まえて，これによって生じた損害賠償責任にかかわるいくつかの問題について，これまでの裁判例および学説の見解とは異なる法理論に基づく新たな提案を試みる。〔2654-8・14〕

小林寛著

船舶油濁損害賠償･補償責任の構造

海洋汚染防止法との連関

A5判上製320頁／6000円

海洋汚染防止法上の規律に着目しながら，船舶起因の油による海洋汚染に関する損害賠償・補償責任の構造を分析し一定の解釈論および立法政策論を提示することを目的とする研究成果。〔3368-3・17〕

大谷孝一監訳

新訂　貿易貨物保険の基礎

A５判上製266頁／2816円

本書は，デニス・バジャー（Dennis Badger）とジェフリー･ホワイトヘッド（Geoffrey Whitehead）の“Elements of Carge Insurance”（1983）の全訳である。「外国貿易の基礎」シリーズの１冊であり，英国における貨物海上保険の実務を簡潔・網羅的に解説した，外国貿易の基礎を学ぶための格好の参考書。〔4090-X・92〕

大谷孝一著

フランス海上保険契約史研究

A５判上製356頁／7000円

フランスにおける海上保険契約の生成と発展の歴史を，フランス各地に残る貴重な史料をもって実証的に研究し，更にフランス初期の海上保険証券がどのような理由で全国統一様式の保険証券に統合され，どのような変遷を経て今日使用されている保険証券様式へ展開していったのかを探る労作。〔4165―5・99〕

志津田一彦著

船舶先取特権の研究

A５判上製478頁／6000円

船舶金融に関し，海上先取特権・抵当権に関する国際条約と船舶アレスト条約がある。本著は，わが国の船舶先取特権の立法過程と現状，比較法，国際条約の動向を踏まえながら展望する。法規の役割分担や限界，求償関係を含む合理性・整合性，その方向性や harmonization，責任体系の現代化について追究する。〔2589-３・10〕

山野嘉朗著

保険契約と消費者保護の法理

A5判上製384頁／7000円

保険契約法の改正作業が進行し，保険金不払いが社会問題化する中で，消費者保護の問題をどのように考えるべきか。比較法的手法を用いて立法論・解釈論を展開するとともに，保険実務のあり方を追究する。

〔4204-3・07〕

江澤雅彦著

生命保険会社による情報開示

A5判上製250頁／5000円

「情報開示制度の充実」は「消費者志向の生保経営」の1つのメルクマールである。本書は，米国の事例（利回り開示論議，不正乗換募集等）ならびにドイツの「保険即情報商品説」の検討を踏まえ，保険業法改正後，新たな段階を迎えたわが国生保会社の情報開示制度のあるべき姿を追求したものである。〔4177-9・02〕

武田久義著

生命保険会社の経営破綻

A5判上製272頁／4800円

「万一の場合」の生活を保障する生命保険会社が，7社も経営破綻した。これは，情報化，国際化，高齢化という大きな環境の変化の中で起きた出来事である。本書は，環境変化の中での商品政策，資産運用，信頼の喪失という3つに焦点を当てて，経営破綻に至る経緯を明らかにしている。〔4209-8・08〕

金子暁実著

火災保険普通約款論

A5判上製246頁／5000円

日本は英国の標準火災保険証券に学んで火災保険約款を作成した。本書は同国の新旧両約款とアメリカのそれと多くの判例，ドイツ新約款も参考にしてわが国の新旧両約款の主要な問題である保険会社の支払責任を論じている。かんたんな解説書とちがって数少ない詳細な研究資料である。〔4163-9・98〕

黒木松男著

地震保険の法理と課題

A5判上製318頁／6000円

現行地震保険制度に対しては，被災者救済という本来の使命を達成していないとの社会的非難が集中している。同制度の抜本的な改革を目指し，米国カリフォルニア州およびニュージーランドの地震保険制度の批判的検討ならびに阪神大震災後の同制度に対する改革提言の検証を通して，著者の試案を示す意欲作。〔2437-8・03〕

應本昌樹著

権利保護保険

A5判上製350頁／6600円

市民の司法アクセスを高め，法の支配の行き渡る社会実現のため不可欠かつ有望な仕組みである権利保護保険の特質を明らかにし，司法制度に与える影響を踏まえた規範の在り方を探る。

〔4260-9・16〕

榎木貴之著

交通事故損害賠償の法理と紛争解決手続

A5判上製296頁／5500円

交通事故補償制度の中心的な問題である損害論・保険論・紛争解決手続の三点を取り上げ，実務家の視点からイギリスと日本の比較法的考察を行い，日本の現状が抱える問題点を明確にする。

〔2795-8・23〕

シモン・フレデリック著／鈴木辰紀　抄訳

日本交通政策研究会研究双書19

現代危険と傷害被害者の補償

民事責任拡張の代替物：実損補塡型損害保険

A5判上製192頁／3000円

原著の関心は傷害被害者の網羅的救済である。交通事故に関しては既存の民事責任には手を触れず，実損補塡式傷害保険をもって理想とする。そこでの「実損」は民法の定める賠償額から社会保障・労災・賠責保険等からの給付金を控除した残額である。しかもその支払は仮渡金にすぎない。〔4191-4・04〕

経　営　学

李洪茂著
商学双書 7
リスク・マネジメント論
A 5 判並製264頁／2500円

自然災害等による環境変化と不確実性の増加や不祥事・事故等を背景に，企業リスク・マネジメントの重要性が増している現在，リスク・マネジメント論の体系的枠組みを試みる概説書。〔5069- 7 ・19〕

大島俊一著
近代的管理の成立
A 5 判上製260頁／3200円

汗牛充棟といった感がある経営管理の成立に関する研究成果の中に，イギリスではなく何故アメリカで経営管理が発展したのかという根本的課題を19世紀半ばに開催された第一回万国博覧会でのアメリカの出品作品の評価・影響を端著に考察して，アメリカ的生産方式の確立への過程と近代的管理の成立時期を特定した〔5037- 9 ・97〕

大島俊一著
21 世紀への潮流
総合物流化と経営の視点
A5判上製256頁／2700円

本書は平成 9 年 4 月 4 日に閣議決定された「総合物流施策大綱」を精査し，物流効率化推進のために包含されている画期的な法的整備内容を解明し，更に大綱が秘めている壮大な構想を描き出し，まさに今日本が直面している産業経済の構造改革の神髄にふれる，バイブル的内容が秘められている力作。〔5041-7・01〕

大島俊一著
経営品質の時代
世界と自立
A5判上製230頁／2300円

産業構造改革への世界的な動向に際して不可欠なものは，先進国としての「自立」であり，世界市場との「位置」と「意義」の樹立である。本書はわが国の再生への切り口を表裏一体となった物流効率化と情報化推進に求め，数々の産業施策を元に企業社会の21世紀型の方向性を提示している。〔5046-8・03〕

辻村宏和著
組織のトラブル発生図式
問題分析志向の経営組織論
A 5 判上製228頁／3000円

オーソドックスな経営組織論の論述構成を敢えて避け，「組織に関する知識」よりも「組織づくり」に焦点を置く。「組織づくりは難しい」というばく然とした共通感覚をよりクリアーなチェック・ポイントの形にすべく，トラブル発生の必然性をロジカルに図式化し，組織の不安定性を解明する。〔4136- 1 ・94〕

辻村宏和著
組織化技能への接近
経営組織論の実学性
A 5 判上製188頁／2500円

「組織とは？」論でもなく，「組織について」論でもなく，あくまで組織づくりに焦点を定めた実学的経営組織論を目指す。それはマネジメントの「現場の問題」に応じた基本的仮設（組織の問題発生図式）の展開を志ざすもので，ディシプリン中心の研究スタイルからイシュー（問題）中心のそれへの移行を意味する。〔5032- 8 ・95〕

辻村宏和著
組織化技能論と問題発生図式
A 5 判上製150頁／2500円

「総合」概念，「問題発生図式」を中核論理として，職能別スペシャリスト（スタッフ）ではなくゼネラリスト（経営者）の育成を目指した職業的対応の明確な「ハウ・ツー・オーガナイズ」論をあえて強調。方法論的には，個別ケースから摘出される仮説の有効性を唱え，イシュー・オリエンティッドな組織化技能論へと誘導。〔5038- 7 ・97〕

國澤英雄著

マネジメントの精神と構造

A5判上製302頁／2800円

マネジメント力が成功の可否を決める。マネジメントには，人類の歴史の中で積み上げられてきた普遍の法則がある。数百年存続する企業や現代の話題企業の経営を示し，また人間の根本原理を求める哲学的な説明を加え，マネジメントの理論，展開の仕方をわかり易く解説。マネジメント理解のための必読の書。〔5045-X・02〕

國澤英雄著

勤労意欲の科学

活力と生産性の高い職場の実現

A 5 判上製350頁／3000円

産業革命からテイラーの科学的管理法，レスリスバーガーからデシまでの約百年の動機付け理論を基に，“勤労意欲を高め，高い業績を生み出す職場”，“皆が楽しく働く職場”を実現する“リーダーシップのあり方”を科学的に記述。〔5050-6・06〕

斉藤保昭著

現代マーケティングの論理

A 5 判並製120頁／1500円

マーケティングの基本的性格を考察するとともに，現代のマーケティングの森全体の生成過程，内容，そして，その論理がどのようになっているかを明らかにしようとする教科書。〔5063-5・15〕

長谷川博・斉藤保昭・野木村忠度著

流通・マーケティングの基礎

A5判並製160頁／1800円

「生産（production）―流通（distribution）―消費（consumption）」という区分化での概念を出所とする区分に跨るマーケティングや，その流通という区分に，特化した専門の書。〔4267-8・21〕

青木　均著

小売業態の国際移転の研究

A5判上製242頁／3500円

小売業態の国際移転に伴う受入国・地域における変容を取り上げ，その過程と要因について理論および事例をあげて検討している。〔4210-4・08〕

柴山宮恵子・加藤里美・渡辺伊津子著

生き延びる消費者・生き延びる経営

A5判上製256頁／2500円

本書は初めて経営学や経済学を学ぶ人や，それらを学問として学んだことのない社会人を対象に「生き延びる」をテーマにして著したものです。第Ⅰ部は経済発展のもたらした消費者問題と地球環境問題。第Ⅱ部は企業の社会的責任とジェンダー・ダイバーシティ。第Ⅲ部はアグリビジネス企業の成長と変革。〔5051-2・08〕

伊藤徳正著

ベドフォードの会計思想

A 5 判上製178頁／2800円

社会変革の時代であった1960年代を中心に，時価・発生主義を基礎とした会計フレームワークを提示したベドフォードの学説研究書。彼の主要業績を歴史的に分析し，現代的意義を考察した。シュレシンガーのサイクル論を援用し，会計理論の展開を歴史的な変革への要請という視点から検討している。〔4233-3・11〕

秋本昌士著

イノベーションの消費者行動

A 5 判上製194頁／3400円

新規に市場導入された製品やサービスに対する消費者の反応を理解するための新たな視座を提供する。相対的な情報処理についての包括的・体系的理論の構築，およびそれにかかわる代表的な先行研究の知見の整理を試みる。〔4239-5・12〕

中山重穂著

財務報告に関する概念フレームワークの設定

財務報告の質的特性を中心として

A５判上製248頁／4000円

現行の財務報告基準ないし会計基準を説明するための基礎となる諸概念を体系化した「概念フレームワーク」の改訂過程に焦点を当て，どのような性格を持つ財務情報の質的特性が公表されるに至ったかを検証する。

〔5058-１・13〕

田中宏司・坂東洋行・滿井美江・横山眞司著

アカデミア叢書11

現代ビジネスを見る目に確かさを

A５判並製198頁／900円

第１章　ビジネスとコンプライアンス経営（田中宏司）／第２章　金融危機と英米の規制改革の現状（坂東洋行）／第３章　日本のコーポレート・ガバナンス改革の現状（滿井美江）／第４章　ネットワークビジネスにおける著作権処理の現状と課題（横山眞司）

〔9222-２・11〕

立正大学法学部・立正大学法制研究所編

グリーンブックレット⑦

現代社会とコンプライアンス

A５判並製84頁／800円

第一線の研究者，マスコミ関係者，行政マン及び市民による白熱した議論に基づいて，現代社会における企業及び行政組織の経営の在り方，その現状と課題を，コンプライアンス，ガバナンスの視点から多角的に検討する。

〔9233-８・13〕

岡本史紀著

私学の再生経営

A５判並製264頁／2800円

企業とは異なり，爆発的に売れる新製品がない大学が，破綻からいかに回復を遂げるのか。経営改善に向けた諸施設とその推移の過程が豊富なデータに基づき示される。

〔5057-４・13〕

岡本史紀著

私立大学に何がおこっているのか

「成長」を超えた「発展」か，忍び寄る「破綻」か

A5判並製252頁／2800円

18歳人口の減少と共に影響が危惧される大学進学率の低下等々，私学の危機が叫ばれる時代に，私学関係者の益々の奮起を期待し，「破綻」から「再生・発展」への指標を提案する。

〔5066-６・16〕

内田勝一著

不確実な時代の大学戦略

日本社会のグローバル化と大学の役割

A5判並製248頁／2800円

①歴史歴沿革，②諸外国との比較，③大学制度が実際にどのような環境の中で機能しているかという社会的実態の３つの方向軸から，現代日本の大学が直面する課題を立体的に解きほぐす。

〔6119-８・20〕

豊田育子・國澤英雄・足立明隆著

病院経営の戦略と戦術

病院経営に企業経営の方法を活用して

A5判上製314頁／4000円

赤字経営体質に陥った病院を11の戦略的対策案で安定的な黒字に立て直した経営や，誤薬や褥瘡などの問題を減少させ，しかも看護師の離職率を低下させた病院の改善活動などを取り上げ，病院経営に企業で一般的に使われるポーターの戦略論やTQM・豊田生産方式などの経営戦術の有効性を提案する。

〔5061-1・14〕

杉山雅洋ほか編著

先端産業を創りつづける知恵と技

オリバーケット・シティ江戸から引き継ぐ東京

A５判並製152頁／2100円

大都市東京の活力の源泉は何に求められるのか。東京には独創性，多様性，市場性（それらの英語の合成語からオリバーケットと総称）が備わっており，蓄積された広い意味でのインフラ，時代感覚に優れた起業家の活動が相まっているからとの，独自の考え方をその答えとした特色ある研究成果。

〔5062-８・14〕

早稲田大学商学監修／長谷川惠一編

観光立国日本への提言

インバウンド・ビジネスのチャンスをとらえる

A5判並製360頁／2800円

観光立国推進基本法の施行，訪日外国人旅行者の増加等を踏まえ，理論面とともに実務面からも観光産業の実態を理解し，今後のツーリズム産業のあり方を論じることを目的とした，早稲田大学商学部「ツーリズム産業論」10年目の成果。

〔5067-3・16〕

社　会　学

久塚純一著

ここに「感染症」がある〔物語編〕

七つの日常

46判上製194頁／2700円

私たちは，一体，どのような「現象」に「ことば」としての「感染症」をあてているのであろうか。日常の「変容」を手掛かりにした「７つの物語」を介して，「感染症現象」が「社会的に構築」されていること描く。［探究編］との併読で完璧!!

〔3434-５・23〕

久塚純一著

ここに「感染症」がある〔探究編〕

日常の「再生産」

46判上製352頁／3600円

「感染症」という「現象」が「出現」し，「再生産」され，「社会的に構築」される。その「姿」を，「５つの場」と「24個の点」における「知識化された日常」の「変容」を介して探求する。［物語編］と併読してさらに深まる!!

〔3435-２・23〕

古賀勝次郎著

学際レクチャーシリーズ２

東西思想の比較

融合の可能性を求めて

46判上製242頁／2300円

日本が短月日の間に近代化を達成することのできた最大の理由は何か。本書は，西洋思想と日本の思想を思考様式の側面から，思想史的に比較検討し，東西思想の融合の可能性を探ろうとするものである。

〔6042-０・89〕

東條隆進著

学際レクチャーシリーズ26

よい社会とは何か

46判上製300頁／2500円

「よい社会」は，資本主義と社会主義を超える新しい経済社会，近代市民社会の新しい展開，福祉社会・市場経済・民主主義の統合可能性である。アジア市民社会の形成可能性と未来社会の歴史方向性を経済社会学で読み解く。

〔4190-6・04〕

照屋佳男著

学際レクチャーシリーズ25

共同体とグローバリズム

46判上製364頁／2800円

社会主義が歴史の必然ではなかったように，グローバリズムも歴史の必然ではない。〈特殊〉に存在理由がある限り共同体には存在理由がある。共同体は蘇生しなければならない。日本近代化の号砲「文明開化」以来，日本をも主導してきた啓蒙思想，グローバリズムの源に深く思索のメスを入れるみずみずしい論考。〔7071-X・04〕

池田雅之編著

学際レクチャーシリーズ27

共生と循環のコスモロジー

日本・アジア・ケルトの基層文化への旅

46判上製612頁／3900円

世界の基層文化の世界観を比較文化・文明論の立場から検討（日本，アジア，ケルト，欧米）。「共生」と「循環」というキーワードを主軸に，人間の生の根源を問いつつ，文化・文明の源へと還（かえ）る旅の書。

〔6083-8・05〕

滝澤雅彦・柑本英雄編

祈りと再生のコスモロジー

比較基層文化論序説

A５判上製950頁／12000円

相次ぐ天変地異・戦争・テロの時代にあって，日本と世界の再生はどのようにして可能か。文化・文明の源へと旅をしつつ，世界平和に向けて，祈りと再生の英知を日本から発信する。

〔6109-９・16〕

池田雅之・滝澤雅彦編著
地球・地域学のすすめシリーズ
比較文化のすすめ
日本のアイデンティティを探る必読55冊
46判上製284頁／2500円

困難な時代に贈る21世紀版「比較文化のすすめ」。異文化理解を通して，自文化＝日本文化の本質に迫る。日本・日本人の自画像を描き直す試み。シリーズ「地球・地域学のすすめ」第一弾。書評形式による「比較文化」の入門書！
〔7095-4・12〕

池田雅之編著
成文堂選書17
イギリス人の日本観〔新版〕
英国知日家が語る“ニッポン”
46判上製440頁／2500円

日本人はイギリス人といかに付合い，いかに学び合うか。英国知日家16名が率直に語る日本への不安と期待。
〔7056-6・93〕

大畑裕嗣著
明治大学人文科学研究所叢書
現代韓国の市民社会論と社会運動
A5判上製228頁／5000円

1980年代後半から現在にかけての韓国における，市民社会論と民主化，社会運動の関係性を解明。韓国の市民社会論は，民主化過程の中でどのように姿を現わし，21世紀の「ポスト民主化」の流れの中でどのような意義を有するのか。さらに社会運動の展開をナショナルとローカルのレベルに分けて展望する。
〔3282-2・11〕

大平章編著
ノルベルト・エリアスと21世紀
A5判上製266頁／2800円

1　ノルベルト・エリアスの生涯／大平章　2　社会学者としてのエリアス／和田修一　3　詩人としてのノルベルト・エリアス／大平章　4　エリアス／佐伯啓思　5　エリアスの科学論／亀本洋　6　ノルベルト・エリアスの『ドイツ人論』／相澤正己　7　ユダヤ系知識人としてのエリアス／堀邦雄　8　エリアスのジェンダー論について／大平章ほか〔6079-X・03〕

大平章著
ノルベルト・エリアスの全体像
フィギュレーション理論の探究
A5判上製324頁／7000円

ノルベルト・エリアスの社会学が今日の世界状況においてどのような指針を我々に示してくれるかを念頭に置きながら，彼の著作の全容を，日本の読者のためにより系統的に解説する。
〔3375-1・18〕

近江幸治著
New Public Management から
「第三の道」・「共生」理論への展開
資本主義と福祉社会の共生
46判上製192頁／2000円

人間の行動パターンの基本原理であり社会発展の基本原理である「市場原理」の貫徹と，政府による十分な福祉政策によってもたらされる「市場の成功と政府の成功」。それを支えるべき“あるべき市民社会”としての役割相乗社会・共生社会の実現――その必要性と条理・道筋を学問的に位置づけた力作。
〔2407-6・02〕

三木妙子・勝方恵子・岩志和一郎
菊池馨実・弓削尚子・棚村政行著
家族・ジェンダーと法
46判並製214頁／1800円

欧州における家族・婚姻に関する権利，民法上の男女平等原則，育児・介護などの社会保障制度における役割の変容，児童虐待やドメスティック・バイオレンスなどの現代社会における家族やジェンダーの問題を多角的に説き明かす。
〔9114-8・03〕

山中進編
熊本大学地域連携フォーラム叢書
女と男の共同論
46判並製286頁／2000円

ジェンダー（＝性差）をキーワードに，多面的な視点から男女共同参画社会のあり方を展望した大学生・一般市民向けの入門書。内容は，ジェンダー学を総合的に記述した三章，女性と男性の歴史と文化を記述した二章，それに政治・社会・法律・福祉の方面からジェンダーの問題を扱った四章からなる。
〔9116-4・03〕

浅倉むつ子・西原博史編著

平等権と社会的排除

人権と差別禁止法理の過去・現在・未来

A5判上製282頁／4500円

間接差別理論の構成原理として重要な規範的意義を展開し得る個別の要素を正確に位置づけ，間接差別や構造的差別，社会的排除による権利侵害を問題とする多国間比較法研究。

〔0606-9・17〕

遠藤美奈・植木淳・杉山有沙編著

人権と社会的排除

排除過程の法的分析

A5判上製308頁／5000円

社会構造を構成する制度的諸要素が相互に関係し作用し合い，複数の不利が個人に連鎖的に影響するプロセスである社会的排除，こうした状況での人権の実質化に必要な法規範論を考察する。

〔0691-5・21〕

大津留香織著

RJ 叢書12

関係修復の人類学

A5判上製282頁／5800円

争いによって損なわれた当事者同士の関係はどのように修復されるのかという問題意識を元に，バヌアツ共和国における葛藤解決の事例について，認識的共感能力と物語の議論を手がかりに分析・考察する。

〔6118-1・20〕

呉獨立（おどんりっぷ）著

「孤独死現象」の社会学

実在，言説，そしてコミュニティ

A5判上製266頁／5400円

第1章「孤独死」とは何か？／第2章「孤独死現象」における「現象」の実在／第3章「孤独死現象」と言説／第4章「孤独死現象」をめぐる「コミュニティ言説」及び，その特徴／第5章 福祉問題としての「孤独死現象」とコミュニティ

〔3415-4・21〕

伊藤洋典編

熊本大学地域連携フォーラム叢書4

「近　代」と「他　者」

46判並製196頁／1600円

〈主要目次〉第1章ピエール・ロチの見た非西洋世界（寺田光徳）　第2章ワーグナー芸術は「ドイツ的」か？（杉谷恭一）　資料西欧近代は他者をどのようにイメージしたのか（三瓶弘喜）　第3章近代国民国家における人間的なものと政治的なもの（伊藤洋典）ほか

〔9149-0・06〕

中京大学社会科学研究所プロジェクト編

社研叢書12

消費者問題と消費者政策

A5判上製298頁／2800円

消費者・市民の立場から，消費者問題の解決に有効な消費者政策のあるべき姿を模索。最近消費者政策の基本方針が，弱者救済としての消費者保護から一転して，消費者の「自己責任」を基調とする「消費者の自立」の方向へ転換したことに関連して，新消費者法や消費者行政の現状と課題について詳述した。〔3176-5・03〕

中京大学社会科学研究所プロジェクト
〈消費者問題と消費者被害救済の研究〉編

社研叢書14

消費者問題と消費者保護

A5判上製366頁／3500円

『消費者問題と消費者政策』の続編。消費者運動と消費者政策に限定せず，『自由財の消費』の視点から環境運動と環境政策さらに両運動の連携と融合にも論及。「消費者運動と消費者保護」「水産物の安全性と消費者保護」「環境問題と消費者保護」「消費者行動と消費者教育」の4部，計13の論文から構成　〔4189-2・04〕

中京大学社会科学研究所編

中京大学社研叢書24

英連邦多文化主義国家の社会と文化

A5判上製264頁／3000円

主要目次　オーストラリア家族法における新たな展開（石堂典秀）　オーストラリアにおけるロシア系宗教移民（安村仁志）　イギリス会社法における派生訴訟（上田純子）　大正陪審法から平成裁判員法へ（加藤紘捷）　日本の独立行政法人制度の創設と変容（桑原英明）　英国における再帰的近代化（中西）他　〔6092-4・08〕

中京大学社会科学研究所編
中京大学社研叢書20
アジア・太平洋地域における「ものの考え方」
A5判上製228頁／3000円

西洋的思考とそれに基づく制度は，進歩とともに，環境問題や核開発などグローバルな視野からの解決を迫られる多くの問題を生み出してきた。そのような問題を打開していくために，本書は，西洋的発想にはみられないアジア・太平洋地域の多元的な「ものの考え方」を探る論稿８篇をおさめている。〔6086-３・07〕

砂岡和子・池田雅之編著
世界のことばと文化シリーズ
アジア世界のことばと文化
A５判並製310頁／2800円

アジア世界の多様な言語と文化を紹介し，新たな地域研究のあり方を提唱。アジアの言語文化地図を描き直し，21世紀にふさわしいアジアの学び方を示唆。中国，韓国，モンゴルなどの東アジアの言語文化のみならず，ベトナム，タイ，カンボジアなどの東南アジアの言語文化も紹介。異色のアジア学入門書。〔7074-4・06〕

池田雅之・矢野安剛編著
世界のことばと文化シリーズ
ヨーロッパ世界のことばと文化
A５判並製310頁／2800円

ヨーロッパ世界を言語と文化を切り口に新たに描き直す地域研究の試み。ヨーロッパの代表的な言語（ギリシア語，フランス語，ドイツ語，英語など）は言うまでもなく，アイルランド語やブルトン語などの少数言語にも言及。ヨーロッパ全体の言語文化地図の見直しを行い，21世紀のヨーロッパ像を読者に提供。〔7075-2・06〕

岡澤憲芙・村井誠人編著
世界のことばと文化シリーズ
北欧世界のことばと文化
A5判並製272頁／2800円

21世紀の先進工業国家の多くが直面する問題について，大胆な実験精神で意欲的に対応する北欧について，各国の言語文化をめぐる状況とライフスタイルの理解をひとつの切り口にして北欧研究への扉をひらき，未来志向型社会・北欧の英知に触れる入門書。〔7076-３・07〕

佐藤次高・岡田恵美子編著
世界のことばと文化シリーズ
イスラーム世界のことばと文化
A5判並製318頁／2800円

広大・未知のイスラーム世界を言語・文化・宗教・文学の視点から多角的に解明する。新鋭の研究者たちによる新・イスラーム学のすすめ。〔7082-4・08〕

矢野安剛・池田雅之編著
世界のことばと文化シリーズ
英語世界のことばと文化
A5判並製362頁／3000円

今や世界中で使われている多様な英語の諸相をさまざまな角度から取上げる。英語を母語とする国々における英語の変遷，母語としない国々での英語使用の現状と教育政策，さらに英語の未来などを論じ，さまざまな地域において多様化しながら国際的なコミュニケーション手段となった英語とどう向き合うかを考える。〔7083-1・08〕

畑恵子・山崎真次編著
世界のことばと文化シリーズ
ラテンアメリカ世界のことばと文化
A５判並製382頁／3000円

同質性と多様性を有するラテンアメリカ・カリブ地域の言語・文化世界の現状を描き，その生きた姿を紹介する。（内容　Ⅰラテンアメリカ世界への誘い。Ⅱラテンアメリカの芸術と文化。Ⅲラテンアメリカの先住民言語文化と国民国家。Ⅳラテンアメリカ・カリブ諸国における言語文化の多様性，他。〔7084-８・09〕

桑野隆・長與進編著
世界のことばと文化シリーズ
ロシア・中欧・バルカン世界のことばと文化
A５判並製338頁／3000円

ロシア・中欧・バルカン地域を主な対象として，言語と文化の新鮮な情報をさまざまなテーマのもとに提供する。旧「ソ連・東欧」体制崩壊後の言語・文化のみならず，歴史・社会の研究のあり方にまで及んだ変化を踏まえ，新たな視点をもって特徴付けようとするもの。〔7088-６・10〕

池田雅之・大場静枝編著
世界のことばと文化シリーズ
国際化の中のことばと文化
A５判並製310頁／3000円

「国際社会における日本語と日本文化」「異文化（留学）体験」「外国語学習（修行）」「ことばと文化の未来」のほぼ４つのテーマを巡る講演とエッセイ。日本人の異文化理解と外国語学習のあり方を問い，世界の言語・文化の現在と未来を描く。
〔7091-６・11〕

原良枝著
声　の　文　化　史
音声読書としての朗読
46判上製490頁／3900円

我が国初，声の文化史の誕生。母語である日本語に正しく向き合い，新たなコミュニケーションのあり方を模索する，問題提起の書。
〔6108-２・16〕

兼田麗子著
大原孫三郎の社会文化貢献
A５判上製264頁／5000円

倉敷の企業家，大原孫三郎は，文化の世紀と言われる現在を遡ること約１世紀前に，自費も投入し続けて日本の地域と文化の保護・発展のために民間人の立場から尽力した。現在も脈々と受け継がれている孫三郎の社会文化への貢献を，周辺の人物と関連づけてまとめた著作。
〔6090-０・09〕

兼田麗子著
戦後復興と大原總一郎
国産合成繊維ビニロンにかけて
A５判上製278頁／5400円

企業，文化，芸術など幅広い分野で積極的にリーダーシップを発揮した大原總一郎の企業人としての挑戦的な仕事に焦点を当てたもの。
〔6102-０・12〕

福田忠弘著
ベトナム北緯17度線の断層
南北分断と南ベトナムにおける革命運動
A５判上製266頁／3500円

南北分断後，南ベトナム政府転覆を目指す革命路線は，いかに決定されたのか。平和的な政策による南北統一を目指す北のベトナム労働党中央と，武力を用いて南ベトナム解放を目指す南のベトナム労働党支部との認識の相違を，ベトナムで公開された新資料を基に分析し，新たな仮説を提示，検証する。〔3207-9・06〕

富沢克・力久昌幸編著
グローバル時代の法と政治
――世界・国家・地方――
A５判上製226頁／3300円

１．ナショナル，リージョナル，ローカル，グローバルな局面が密接に交錯しつつ，重層的あるいは多層的に構成される現代の政治的・法的課題について，政治史，国際政治，国際法，憲法，法哲学，政治思想史などのそれぞれの専門分野から多様なアプローチを試み，21世紀の秩序像を探る。共同研究の成果。〔3260-０・09〕

清正寛・沼田雅之・根岸忠・大矢息生・川村健一郎著
アカデミア叢書８
定年前の仕事えらびを見る目に確かさを
A5判並製144頁／900円

第１章／定年前の仕事えらび　清正　寛　第２章／高齢者の雇用に関する諸施策　沼田雅之　第３章／高齢者の所得保障　根岸　忠　第４章／定年に備えて，こんな資格を早く楽にとる方法　大矢息生　第５章／世田谷区の生涯現役推進策　川村健一郎
〔9176-8・08〕

小高剛〔監訳〕永松正則・伊川正樹・松田聰子・下村誠〔共訳〕
アジア太平洋諸国の収用と補償
A5判上製390頁／5000円

農業・自然環境保全のための広く比較的未開発土地の必要性，産業・経済活動，都市生活のための土地，公共事業用地の必要性との競合が増すにつれて，政府の土地利用規制権・収用権の行使は増加する。本書は，急激な都市化が進むアジア太平洋11国の法制度と実情を知る最適書。〔3222-８・06〕

渡辺利夫・奥田進一編
パースペクティヴズ6
後藤新平の発想力〔補訂版〕
A 5 判並製110頁／1000円

日本近代史の重要人物でありながらスポットライトを浴びる機会の少なかった後藤新平の業績のうち，現在に通じる文物制度40項目を紹介する。私たちの日常生活には後藤の業績の産物が驚くほど多く存在しており，それらに気が付くことで後藤の発想力の一端に触れることを企図した，見開き読み切り型の書。〔9247-5・15〕

土方正夫編著
地域計画情報論
A 5 判並製268頁／3000円

地域計画とは何か。地域計画の主体，形成過程，価値，方法性等，地域計画を巡る基本問題を現代情報社会の中で論じ，同時に今後の課題について考察する。〔3376-8・18〕

佐藤滋・早田宰編著
地域協働の科学
まちの連携をマネジメントする
A 5 判上製284頁／3500円

行政，市民，NPO，地域団体等の協働によるまちづくりの新しい理論書。次世代の組織形態，支援技術，計画システム等の戦略構築の考え方を提言する。〔8056-1・05〕

駒澤大学マス・コミュニケーション研究所編
駒澤大学マスコミ研究所叢書
政治とメディア
A 5 判上製350頁／3000円

現実のメディアやジャーナリズムは民主制の中で実際にどのように機能しているのか。メディア取材や広告，教育の現場といった広い意味での政治に関わってきた経験を踏まえて，「メディアと政治」の在り方を分析する。〔3314-0・13〕

駒澤大学マス・コミュニケーション研究所編
駒澤大学マスコミ研究所叢書
社会とメディア
A 5 判上製302頁／3000円

現実のメディアやジャーナリズムが社会の中で果たす役割は何か。従来型のメディアであるテレビや新聞，通信社の役割や影響力，さらには今日一般社会にとって最も重要なメディアであるインターネットの現状についても追究する。〔3315-7・13〕

八巻和彦編著
「今を伝える」ということ
「石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞」記念講座2015
A5判並製278頁／1500円

自衛隊の不正に一人立ち向かった現役自衛官，警察と暴力団の癒着構造，貧困の中で育つ子どもたちの実情とその「包摂」への提言，震災報道を通じて考える調査報道の使命……。ジャーナリズムと「現代」について考えるための必読の書。〔3339-3・15〕

八巻和彦編著
日本のジャーナリズムはどう生きているか
「石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞」記念講座2016
A5判並製278頁／1500円

安保法制，沖縄米軍基地，オバマ大統領広島訪問，春画展，ひきこもり，貧困……。混沌とし，迷走する日本の現実にジャーナリズムはどう向き合ってきたか。身の回りの現実から世界の大勢まで，多様な視点から日本社会の「自画像」を描き出す。〔3357-7・16〕

八巻和彦編著
「石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞」
記念講座2017
「ポスト真実」にどう向き合うか
46判並製384頁／2000円

繰り返される「忖度」，拡散される「フェイクニュース」，蔓延する「反知性主義」。理性よりも感情が優先され，社会が分断されていく「ポスト真実」的状況への処方箋とは何か。「森友・加計」，「南京事件」，「憲法改正」などの現場から，病める現代日本を鮮やかに描き出す。〔3369-0・17〕

瀬川至朗編著
「石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞」記念講座2018
ジャーナリズムは歴史の第一稿である。
46判並製328頁／1800円

政府が記録を隠蔽し，改竄し，そして抹消する。一方，ネット上では真偽不明の情報が次々と拡散される。民主主義が根底から揺さぶられる中，ジャーナリズムが果たすべき役割とは何か。日報隠蔽，沖縄問題，外国人労働者，そしてフェイクニュース……。それぞれの「第一稿」から現代日本の課題を鮮やかに照射する。〔3382-9・18〕

上野眞也・田中尚人・河村洋子編著
熊大政創研テキスト 3
コミュニティ・マネジメントのすすめ
A 5 判並製178頁／2000円

生活圏としてのコミュニティの姿が大きく変容し，地域コミュニティにおける「共助」の意味やその価値の重要性が改めて問われている。地域貢献としてコミュニティ支援に積極的に取り組んできた「共創的地域マネジメント」研究の成果。

〔8072-4・13〕

淑徳大学コミュニティ政策学部編
コミュニティ政策のはなし
46判並製176頁／1800円

つながりは生きる糧！　東日本大震災などで注目された「コミュニティ」と人びとのより良い暮らしを作り上げていく方策としてのコミュニティ政策を考える。実学を基調とする淑徳大学コミュニティ政策学部の学びを紹介する書。

〔8071-7・13〕

松井かおり編著／田室寿見子著
「ドキュメンタリー演劇」の挑戦
多文化・多言語社会を生きる人たちのライフヒストリー
A5判並製306頁／3000円

2008年からの5年間に多文化共生プロジェクトで上演された「ドキュメンタリー演劇」の台本を中心に，作品制作に携わったアーティスト，スタッフ，参加者による寄稿集。多文化・多言語社会を生きる人たちのライフヒストリー。

〔8077-9・17〕

松井かおり編著／田室寿見子著
演劇ワークショップでつながる子ども達
多文化・多言語社会に生きる
A5判並製266頁／3000円

親の都合で来日を余儀なくされた外国の子ども達に焦点をあて，演劇ワークショップの体験を通し，どのように自分を理解し，コミュニティーの一員となっていくのかを見つめる。演劇ワークショップに関わった様々な立場の人達の記録。

〔8083-0・20〕

教育学ほか

大森弘著

新版　道徳教育の研究〔第２版〕

―子どもたちに生きる喜びを―

Ａ５判並製222頁／1800円

道徳教育や教育相談に長年かかわってきた著者の憂国の教育論と多くの指導資料を収録。大学の講義のテキストであるとともに一般人への問題提起の書。「生命情操」「感性」といった新しい概念を導入し，いのちとそのつながりを大切にして生きる喜びを実感する心を育てる道徳教育を提言する。〔6094-８・09〕

内山宗昭・栗栖淳編著

道徳教育の理論と方法

〔第２版〕

A5判並製306頁／2500円

「道徳科」とともに，学校教育全体，社会に開かれた連携のなかで，より広い道徳教育の在り方を問う。教職をめざす学生にとって，道徳教育の様々な面の理解に役立つとともに，道徳教育の実践指導へ向けた援けになることを志向するテキスト。〔9279-６・21〕

磯辺武雄・金泰勲・山﨑真之著

生徒指導･進路指導の方法と実際

Ａ５判並製224頁／2200円

教職を目指す大学生・短期大学生だけでなく，実務に携わっている現場の教師にとっても利用しやすいものとなっている。「生徒指導・進路指導」の基礎・基本の理論，方法および実際を確認し，かつ実践的指導に生かしていくうえで良き手引きとなる。〔9255-０・15〕

宮野安治・山﨑洋子・菱刈晃夫著

講　義　教　育　原　論

人間・歴史・道徳

Ａ５判上製256頁／2800円

パスカルのいう「宇宙の栄光にして屑」としての人間。教育とは，この複雑怪奇な生物に向けられた，同じく複雑怪奇な生物による営みの一つである。わかりやすい講義形式による教育原論。人間，歴史，道徳の三方面から，教育の根本理論に関心を抱くすべて読者に向けた，ラディカルかつスリリングな誘い。〔6096-２・11〕

菱刈晃夫著

からだで感じるモラリティ

情念の教育思想史

Ａ５判上製272頁／3500円

現代社会に生きる私たちの多くは，ますます自己存在の無意味感もしくは不安に苛まれつつある。そもそも生きて存在すること自体に何の意味などあるのか。ひたすら物質的繁栄を追求し無常感に覆われる現代において，道徳や教育が原理的に拠り立つ意味とは何か。その目的とは。情念と教育の関係にも迫る。〔6097-９・11〕

菱刈晃夫著

教育にできないこと，できること〔第５版〕

教育の基礎・歴史・実践・研究

A5判上製392頁／3400円

時間の経過とともに変わっていく，あるいは変えられていく人間にとって，教育が直接「できること」と「できないこと」を区別することを通して，さまざまな観点から「教育という習慣」に，改めてアプローチする。〔6122-８・22〕

菱刈晃夫著

近代教育思想の源流

スピリチュアリティと教育

A5判上製342頁／3500円

西洋近代教育思想の源流はどこに求められるのか？それはスピリチュアリティのクオリア（質感）にあろう。本書はスピリチュアリティのクオリアが生成してくる〈わたし〉の存在位置を明らかにした上で，その系譜をプラトンからフランケまでたどっている。中心となるのはルターとメランヒトンである。〔6082-X・05〕

菱刈晃夫著

メランヒトンの人間学と教育思想

研究と翻訳

A5判上製510頁／9000円

宗教改革史の重要な脇役としてこの運動を支え，教育という具体的な実践を通じてルター神学の理念を現実化したメランヒトン。その人間学から展開される学問世界を明解に描き出す好著。

〔6115-0・18〕

神辺靖光・長本裕子著

花ひらく女学校

女子教育史散策 明治後期編

46判上製392頁／3200円

明治前期に芽吹き，後期に開花した女子教育について，各女学校の「創立沿革史」を基本史料として，国民の封建思想との戦いや風俗世相が激変する時代における特に女性の行動の変化について点描する。

〔6121-1・21〕

神辺靖光・米田俊彦編

明治前期中学校形成史

府県別編Ⅴ　南幾南海

A5判上製412頁／6900円

大阪府・奈良県・和歌山県・徳島県・高知県を対象として，1872年の「学制」前後から1886年の「中学校令」による尋常中学校発足までの時期における，中学校の形成過程を府県別に叙述する。

〔6123-5・22〕

谷本宗生著

学都金沢形成の様相

近代日本官立高等教育機関の設置過程

A5判上製176頁／4200円

明治初期の学制期以降，官立高等教育機関群が北陸金沢に設置されて来た過程を追求。金沢という都市の「学都」という歴史的な側面とその形成過程を明らかにする研究書。

〔6111-2・18〕

竹原幸太著

RJ叢書11

教育と修復的正義

学校における修復的実践へ

A5判上製160頁／3500円

RJ研究会及び共生と修復研究会での研究を基軸として，多くの方々との「学際的対話」とそこで得た学びを通じて，学校における修復的実践の理論的考察をまとめた研究書。

〔6112-9・18〕

竹原幸太著

立ち直り・甦りの教育福祉学

少年司法の軌跡と甦育（そいく）

A5判上製276頁／6000円

少年司法の軌跡を辿りながら，成長発達過程で，つまずき，失敗してしまった子どもの立ち直り・更正（甦り）を支える教育福祉の論理を探り，「甦育（そいく）」という用語で現代社会へ問題提起する。

〔6125-9・22〕

金井香里・佐藤英二・岩田一正・高井良健一著

子どもと教師のためのカリキュラム論

A5判並製294頁／2400円

カリキュラムを「教師が組織し子どもたちが体験する学びの経験の総体」として捉え，カリキュラムをめぐる一連の営みにおける教師の役割と子どもの学びの経験についての最新の知見を提供する。新学習指導要領を創意的かつ批評的に活かすカリキュラム論テキストの決定版。

〔6116-7・19〕

臼井嘉一・金井香里編著

学生と教師のための現代教育課程論とカリキュラム研究

A5判並製372頁／2800円

大学における教育学専攻生・教職志望学生のテキストおよび学校教師のカリキュラムデザインの指針作成において活用できる待望の教科書。歴史的背景を視野に入れた教育論争の整理・検討など類書に見られない特徴をもつ。

〔6103-7・12〕

早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター編

学生の心に灯を灯す

早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター20年の挑戦

A5判並製292頁／3500円

早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター（WAVOC）設立20周年記念。「誰かのためになりたい」「世界をよくしたい」という学生の心に灯を灯すボランティアや社会貢献活動への挑戦。

〔6124-2・22〕

早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター編

体験の言語化

A5判並製290頁／3500円

ボランティア活動，アルバイト，サークル活動等，多様な体験を言語化し，他者に伝える教育実践が，社会的な課題に対する学生の当事者意識を高める。このような「体験の言語化」を体系化し，その理論と実践の方法論を示そうというもの。教育関係者必読の書。

〔6110-5・16〕

早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター編

体験の言語化ガイドブック

B5判並製84頁／1400円

体験を自分の言葉で語る「体験の言語化」授業の方法論を教育実践者用にまとめた手引書。

〔6113-6・18〕

正田良編著

算数・数学って怖くない

〔増補版〕

A5判並製232頁／2200円

学習指導要領が小学校・中学校ともに，2008年に改訂され，小学校では2011年，中学校では2012年から新しい教科書が使われる。また指導要録での観点の改訂などに対応して増補を行なった。

〔8065-6・11〕

松井かおり著

中学校英語授業における学習とコミュニケーション構造の相互性に関する質的研究

A5判上製260頁／3500円

教室でのコミュニケーションが英語の学習とどのように結びついているのか，また授業者の授業観や教育目標がその人の授業実践とどのように関連するのかを，あるひとりの熟練英語教師の授業実践を通して探る。

〔8069-4・12〕

矢口徹也著

女子補導団

日本のガールスカウト前史

A5判上製424頁／3500円

女子補導団はイギリスのガールガイドを導入した女子成年教育の先駆である。大正期からキリスト教主義女学校を中心に東京，大阪，神戸，盛岡，大連等でグループワーク方式の活動を行ない，戦後はガールスカウトに改められて，戦後社会教育のモデルともなった。その教育的意味を歴史的に検証する。

〔6087-0・08〕

矢口徹也編著

社会教育と選挙

―山形県青年団，婦人会の共同学習の軌跡―

A5判上製274頁／3000円

社会教育で共同学習が提唱されたのは1952年の選挙浄化運動の中でのことであり，それは，当時の地域青年団，婦人会による政治教育への取組みを背景としたものだった。本書は，戦前，戦後の選挙浄化と社会教育の関係を確認しつつ，山形県青年団，婦人会の活動を中心に共同学習提唱のすじみちを明らかにする。

〔6100-6・11〕

森下一・池田雅之編著

てらこや教育が日本を変える

〔改訂普及版〕

46判並製280頁／1500円

今，日本全国で教育再生プロジェクト「てらこや」運動が始まっている。本書はその原点となったNPO法人「鎌倉てらこや」活動の10年間の軌跡をたどったもので，地域総がかりによる未来への人づくり・まちづくりの実践活動の全容を鎌倉と早稲田大学から報告・発信する。

〔6106-8・13〕

W.キャシディ & R.イェーツ編著／同志社大学法教育研究会訳

小学校で法を語ろう

カナダやアメリカ合衆国の法律と初等教育の専門家が，小学生に対して法教育を行うという取組みを展開するためのさまざまな実践例を提案。日本の初等法教育に多くのヒントを提供する。

A5判並製236頁／3000円　〔0584-0・15〕

哲学・心理学・宗教学

村上恭一著

哲　学　講　義〔補訂版〕

46判上製440頁／3000円

哲学は，古来真によき生を問う人生知的な性格をもつものと見なされた。が，人生論としての知識が哲学のすべてではない。真実の人生観は，それに相即する世界観に根ざすものでなければならぬ。それを問うことは形而上学の問題に関わることにもなる。この書では，これらの哲学上に関わる諸問題を平易に解説する。〔6084-6・05〕

村上恭一著

哲　学　史　講　義

A 5 判上製466頁／3500円

〈主要目次〉序論　「哲学史講義」へのアプローチ　第一部　「ソクラテス以前」の哲学　Ⅰ．初期ギリシア哲学　Ⅱ．ヘレニズム・ローマの哲学・抄　第二部　哲学者とソクラテス

〔6095-5・10〕

村上恭一著

倫　理　学　講　義

46判上製476頁／3000円

人間生まれながらにして，幸福を願わない者はいない。幸福への願いが，人間の心に，ただ生きるのではなくて，与えられた人生をよく生きなければならないとの自覚を促すことになる。真によき生とは何か。この問いをめぐって，自己修練しようとするとき，人間はどうしても哲学に拠らざるをえない……」（本書「まえがき」から）　〔6077-3・03〕

村上恭一著

論　理　学　講　義

46判上製444頁／3000円

本書では，真に思惟することへの手引きとして，まず論理学以前の論理の誕生から説き起こされ，次に古典的な形態としてアリストテレスの論理学および伝統的形式論理学が詳論される。さらに近世の認識論的論理学および弁証法の論理への展望から，論理学とは何かを考える。本書は，西洋論理学史をもかねる。　〔6065-X・98〕

井上昌計著

論　理　学

A 5 判上製248頁／2200円

現代のような情報過多の時代には，情報を正しく処理する能力が求められる。何が真であり，何がまやかしであるかを見極める思考力が必要とされる。論理学は，正しい思考のあり方を研究する学問であるから，正しく思考する訓練を積み重ねることにより，もろもろの事象を論理的に処理できるようになるであろう。〔6009-9・78〕

久遠ナオミ著

あなたとわたしの境界線

自分の人生を生きる

46判並製200頁／1600円

人気心理カウンセラーが，アスペルガー症候群，ADHDをはじめとする大人の発達障害やカサンドラ症候群，人生の転機となる結婚・離婚などについて解説！　豊富なカウンセリング経験により，そこに潜む心理を紐解きます。

〔6117-4・20〕

佐藤悦成編著

愛知学院大学国際研究センター叢書 4

現 代 社 会 と 宗 教

A 5 判上製306頁／4000円

日本・アジア・欧米の各地域において現在機能している宗教を対象とし，そこでの人々の生活に密着している宗教の過去から現在を俯瞰しつつ，その課題と展望を論じた宗教研究の必読書。

〔6105-1・13〕

善家幸敏著

日本における宗教と政治

国家と宗教とがいかなる関係にあるかという問題を，我が国の主要な宗教，宗教史上の重要な事件と運動，代表的な信仰及び宗教観念等を縦割構成で，事項別に取り上げ，各事項毎に一般史と関連づけて記述されている。

A5判上製314頁／5500円　〔0375-3・04〕

スポーツ・健康科学

日本スポーツ法学会編

詳解スポーツ基本法

A 5 判並製388頁／3200円

2011年 6 月に制定された「スポーツ基本法」の解説書。制定に至る経緯を述べたうえで，スポーツ関係者がスポーツ基本法をどのように利用すべきかを具体的に示した。日本スポーツ法学会が総力をあげて執筆に取り組み，すべてのスポーツ関係者におくる。

〔8068- 7 ・11〕

菊幸一・齋藤健司・真山達志・横山勝彦編

スポーツ政策論

A 5 判並製522頁／3500円

スポーツ政策に関するわが国初の体系書。
第 1 編　スポーツ政策の理論と制度／第 2 編　国によるスポーツ政策／第 3 編　地域のスポーツ政策／第 4 編　特定スポーツ政策と他の政策サブシステム

〔8067- 0 ・11〕

吉田勝光著

スポーツと法の現代的諸問題

A5判上製266頁／5200円

スポーツ法学の基本から，実務的で具体的なスポーツ事故・スポーツ仲裁判断・住民訴訟，スポーツ審判，オリンピック・パラリンピックといったテーマにつき，法解釈論から立法論まで展開。

〔3400- 0 ・20〕

田中暢子ほか編著

実践で学ぶ！学生の社会貢献

スポーツとボランティアでつながる

B 5 判並製340頁／2700円

スポーツボランティアに焦点を当てつつも，広く社会貢献活動という枠組みから，その意義・基礎，対象者別の方法論まで，実践に役立つよう解説する教科書。巻末のサービス・ラーニング実習例は，実際の活動現場への橋渡しとなる。

〔8080- 9 ・18〕

グレン M. ウォン・川井圭司著

スポーツビジネスの法と文化

アメリカと日本

A 5 判並製396頁／3500円

いま，スポーツ界に何が求められるのか。学校スポーツの商業化，薬物，労使紛争，選手の海外流出などスポーツの今日的課題について日米のスポーツ法学者が比較文化の観点から議論を喚起。カラー図表・写真を多用し，わかりやすく解説する。スポーツ法，政策，経営，文化を学ぶすべての人に贈る必読書。

〔8070- 0 ・12〕

齋藤健司著

フランススポーツ基本法の形成

A 5 判上製1112頁／18000円

スポーツ法は，新しい現代法として近年著しい発展を遂げている。本書は，世界的にもその発展が著しいフランスのスポーツ基本法が特殊な法体系を備えるに至った歴史的過程を，スポーツ政策，立法過程，裁判例，関連する諸事実をもとに総合的に実証し，スポーツ法の構造と理論体系を初めて明らかにする。

〔3226- 6 ・07〕

高峰修編著

夢と欲望のオリンピック

その多様な姿

A5判並製288頁／3200円

「第 1 部　オリンピック概論」「第 2 部　オリンピックと政治」「第 3 部　オリンピックと経済」「第 4 部　オリンピックと社会」「第 5 部　オリンピックと文化」の構成で，オリンピックを多角的に分析する。

〔8084- 7 ・20〕

日本スポーツ法学会編

東京2020オリンピック・パラリンピックを巡る法的課題

A5判並製330頁／5000円

スポーツ仲裁，経費問題，コロナ対策とPlaybook，ジェンダー，復興五輪，人権問題，五輪汚職，代表選手選考，平和，環境問題などのテーマについての理論・実務両面からの研究成果。

〔8088-5・23〕

日比野幹生著

ドーピングの誘発と抑止

A5判上製198頁／4500円

アンチドーピング政策のための社会科学研究の現状を打開するために，エリートアスリートやコーチを対象として，当事者の経験などからドーピングに影響を与える要因を明らかにする。

〔8087-8・23〕

平塚卓也著

戦後体育行政の形成過程

A5判上製128頁／2700円

戦後体育行政の形成過程を事例として，スポーツ政策の政策形成過程を理論的かつ実証的に明らかにすることによって，スポーツ政策学研究の発展に貢献することを目的とする。

〔3436-9・23〕

小山啓太著

グリーンブックレット6

現代社会のスポーツ総合学Ⅰ

スポーツとともに生きるエキスパート達の提言

A5判並製118頁／800円

Chapter 1　スポーツマネージメント／Chapter 2　スポーツと教育／Chapter 3　プロフェッショナルスポーツ。

〔9226-0・12〕

歴史・語学・文学・随筆等

西尾林太郎著

大正デモクラシーの時代と貴族院

A5判上製448頁／6000円

本書は，貴族院の最大会派・研究会のリーダー水野直（子爵）の未刊行史料を駆使しつつ，〈大正デモクラシーの時代〉の議会政治を，従来の衆議院，政党の側からでなく，貴族院の側の視点で捉えた画期的研究である。従来，殆んど知られて来なかった互選議員選挙の実相も解明される。〔3196-X・05〕

西尾林太郎著

大正デモクラシーと貴族院改革

A5判上製398頁／5400円

明治・大正前半期における貴族院の動向と「病理」現象を明らかにし，改革の必要性を説き，後押しした吉野作造や美濃部達吉の言説に注目する。貴族院改革の政治的意義を論ずる研究書。

〔3345-4・16〕

柴田哲雄著

協力・抵抗・沈黙

汪精衛南京政府のイデオロギーに対する比較史的アプローチ

A5判上製460頁／8096円

本書は，第二次大戦時のいわゆる傀儡政権・汪精衛南京政府に関する本邦初の本格的な学術研究書であり，特にイデオロギーの諸相に関して解明した。本書の特筆すべき点は同時代のヴィシー政府との比較であろう。博士論文（京都大学人間・環境学）が基となり，学術振興会の研究成果公開促進費を交付。〔7085-5・09〕

栗田直樹著

平等の時代

A5判上製148頁／3000円

昭和20年8月の敗戦をはさむ数年は，日本人の平等に対する欲求が異様に高揚した「平等の時代」であった。有産者が一般大衆の平準化圧力や左翼化した右翼からの攻勢にさらされ，共産革命の予感が社会を覆ったこの時代を，当時を生きた人々の日記や回想を駆使してわかりやすく描き出す。〔3268-6・10〕

栗田直樹著

共産中国と日本人

A5判並製288頁／2900円

戦後日本が描いたさまざまな隣国の中国像を振り返り，日本人と中国人について考える。

〔3342-3・16〕

栗田直樹著

原敬日記を読む

A5判並製204頁／2500円

明治・大正の政治史を叙述し，藩閥政治に対して，政党という組織を支えとして立ち向かい政党内閣の樹立という日本憲政史上の偉業を成し遂げた原敬の日記を通じて，政治家のものの考え方を読み解く。

〔3371-3・18〕

柴田哲雄・やまだあつし編著

中国と博覧会〔第2版〕

中国2010年上海万国博覧会に至る道

A5判上製178頁／2300円

本著は科研の共同研究成果の一部であり，上海万博の開幕を機に上梓された。第一部では清朝末期の南洋勧業会から上海万博に至るまでの，各時期の中国中央・地方政府により実施された博覧会について論じた。第二部では日本の植民地・占領支配下での博覧会と中国・台湾の関わりについて考察した。〔7101-2・14〕

白春岩著

李鴻章の対日観

「日清修好条規」を中心に

A５判上製292頁／6000円

近代日中関係史のキーパーソンである「李鴻章」と，日清両国間のはじめての条約「日清修好条規」を中心に考察することで，新たな視点を提供する研究書。

〔7104-３・15〕

山中敬一著

プロイセン皇孫日本巡覧と吹田遊猟事件

ドイツ帝国東アジア進出と治外法権外交

A5判上製302頁／6000円

明治時代に来日した外国の皇族が19世紀の日本と世界の時空を駆け抜ける「旅行記」を歴史的背景事情の中に位置づけようとしたもの。

〔0701-1・22〕

中京大学社会科学研究所編

社研叢書16

東シベリアの歴史と文化

A5判上製284頁／3000円

16世紀後半からロシア人はウラルを越えて東進し，広大なシベリアを領土化していった。前書『西シベリアの歴史と社会』に続き，東シベリア，極東へのロシアの進出をめぐる諸問題を歴史，先住民，文化，宗教の面から探究した書。ポストソ連15年目の同地域の人口動態にかかわる問題についても言及。

〔7073-6・05〕

安村仁志編

社研叢書28

ロシアのシベリア進出史

A５判上製230頁／3000円

８本の論稿をもってロシアの東進，領土拡大の動きの全体を明らかにすることを目指し編集されたもの。巻末に主な河川を中心とする関連地名のリスト，年表，河川図。進出図，文献等を付す。１．南シベリアの先史文化　２．16世紀半ばまでのシベリア進出前史3.西シベリアへの進出／など

〔6098-６・11〕

山﨑眞次著

メキシコ先住民の反乱

敗れ去りし者たちの記録

46判上製232頁／3400円

政府やアセンダドによる不当な土地の強奪によって共同体を破壊され，武装蜂起したが道半ばで倒れた先住民農民たちの無念の思いを代弁する書。正史には綴られていない歴史の陰に光を当てた興味深い記録。

〔7102-９・15〕

乾昭文・山本充義・川口芳弘著

電気機器技術史

事始めから現在まで

A５判並製156頁／3000円

近世における電気工学の開幕以来，電気利用の範囲と規模の拡大の過程を，電気の発生，供給，利用に焦点を当てて，電機機器の発展経緯を歴史的にたどる。電気工学を学ぶための必読書。

〔8073-１・13〕

片岡寛光著

大リーダーの世界

A５判上製638頁／9800円

朱熹は，まだ10歳の頃，孟子の「聖人も我と類を同じくす」という言葉に触れ，「聖人もまた倣し易し」と発奮したという。リーダーは意志の産物であり，自己の肯定によって最もよく自分を含む人々の幸福の増進に貢献する。

〔3311-９・13〕

阪本英樹著

成文堂選書37

月を曳く船方

清末中国人の米欧回覧

46判上製210頁／2300円

明治元年(1868)，中国最初の外交使節団が紫禁城を出発した。蒲安臣使節団である。しかし，いままでこの使節団の記録は歴史の深い闇に埋もれてきた。本書は，主に中国側の史料によって使節団の全貌を解明し，東西文明史や比較文化論的観点からその歴史的意義を鋭く問いただした意欲作である。

〔9111-3・02〕

濱田英作著
成文堂選書36
中国漢代人物伝
46判上製228頁／2300円

今を去ること二千年前，前漢代の中国。そこには司馬遷を筆頭に，個性と自己主張の強い人間たちがひしめき，ドラマを織り成していた。本書は，中国正史の内，『史記』に続く『漢書』の登場人物を取り上げ，現代的な問題意識をもって，その姿を生き生きと描き出す。それは history となった story なのだ。〔9110-5・02〕

新里卓編著
専門学へのいざない
A 5 判並製274頁／2800円

「言語学」「文学」「社会学」「政治学」「国際関係学」「経済学」「経営学」「法学」の構成で，読者に学問の本質や楽しさを分かってもらうよう，各分野の専門家が「本気で」伝える入門書。〔7111-1・20〕

西谷尚徳著
グリーンブックレット⑧
国語表現 I
A 5 判並製96頁／800円

大学生として身に付けるべき基本的な国語表現はもとより，レポート作成や論文執筆における文章表現能力など，大学 4 年間での学修に必要な知識の習得について詳述した解説書。〔9234-5・13〕

西谷尚徳著
グリーンブックレット⑩
国語表現 II
A 5 判並製140頁／800円

大学生が身に付けるべき国語・文章表現を学ぶ好評の教材第 2 弾。大学でのレポートや論文から社会人生活までを視野に入れた理論実践編。〔9243-7・14〕

宇田川駿著
現代米語表現ワークブック
〔第 2 版〕
A 4 判並製68頁／1600円

簡単な単語はコワイ。英語学習者がよく経験するこんな思いも，本書で取り上げた単語やイディオムをきっかけとして，英語という言語の持っている面白さ，奥行きの深さに魅せられる。使いやすさ抜群の教科書。身近な単語が持っている様々な意味やイディオムの研究に取り組むことができる。〔9260-4・16〕

丹下博文著
NEGOTIATION and MARKET GLOBALIZATION
A 5 判上製156頁／2400円

本書は主に国際的な活動に関心のある研究者や実務家向けの専門書であるとともに，大学等における英語のリーディング（講読）または経営・経済系の講座の教科書や副読本，あるいは自習用の参考書として使用できるよう作成されています。〔9267-3・17〕

初宿正典著
成文堂選書18
新版　暇つぶしは独語で
ドイツ留学体験記ほか
46判上製296頁／2300円

若き頃のドイツ留学のさまざまな体験談と，著者の長年のドイツ語とのつきあいから得た豊富な話題が満載のドイツ語談義。新たにロマンティック街道の起点ヴュルツブルクでの 3 ヶ月間の滞在中の経験談を加えた新版。〔7089-3・10〕

藤森馨著
図書学入門
A 5 判上製164頁／2300円

図書を科学的にあつかう学問としての「図書学」の概説書。初学者も理解しやすく，解題・目録や装訂の歴史がわかる！〔7094-7・12〕

照屋佳男著
学際レクチャーシリーズ8
文学と哲学のあいだ
46判上製214頁／2233円

文学を哲学の認識源泉とのつながりにおいて捉え，更に文化の本質を論じる。特殊と普遍との相互的な関係を見失うことなく，文学や文化の最も基本的な，しかし最も見過されやすい側面に光を当て，読者を文学と文化の中心部へ案内する。
〔7049-3・91〕

照屋佳男著
学際レクチャーシリーズ11
文学から文化へ
〈特殊〉の再発見
46判上製242頁／2427円

文学は哲学に劣らぬ重要な知的活動の分野である。文学と文化について思索を重ねてきた著者が，文学の研究を基にして異文化理解の本質に迫る。
〔7055-8・93〕

内藤明著
学際レクチャーシリーズ18
うたの生成・歌のゆくえ
46判上製284頁／2500円

和歌・短歌を中心に，古代と近・現代を往還しながら，日本文学の基層にあるものを探り，今日を生きる人間と文化の問題を考える。Ⅰ自然，Ⅱ身体，Ⅲ都市，Ⅳ言葉・構造・主体。
〔7060-4・95〕

浜田泉著
中村光夫とフロベール
ロマン主義のあとさき
A5判上製334頁／6800円

近・現代文学に新境地を切り開いたG.フロベールと近代日本文学に彼を移植した昭和の文学者中村光夫。青春の熱情と憂悶，老年の知恵と哀しみを表示する東西の文学者に光を当て再検討する。
〔7109-8・19〕

浜田　泉著
成文堂選書47
夢の代価
ケルト／フランス・日本の近代文化
46判上製290頁／2500円

古代ガリア＝ケルト文化から中世を経て，ルソー，仏革命やナポレオンの興亡期，またバルザック，ユゴー，ネルヴァル，デュラスら近・現代文学の中に閲(えつ)ぎあい，滔々と流れるケルト・ロマン主義(ロマンしゅぎ)の精神。明治日本の先導期，西洋を究める叡才兆民。蓋世(がいせい)の英雄西郷にケルトの死生観，アニミスムが重なる……。
〔7079-4・07〕

植木哲著
成文堂選書51
法学と文学・歴史学との交錯
46判上製270頁／2500円

鷗外の恋人エリスを法律学的観点から特定したユニークな著作。『舞姫』を通じて読み解く法学と文学・歴史学に関する学際的研究。100年前の人捜しを通じ，戸籍簿，不動産登記簿，商業登記簿等の各種記録の集め，読み解く楽しみを味わう。日本民法の母法であるドイツ法との比較研究の大成果。
〔9202-4・10〕

山中敬一編
法に生きる
法曹を志す諸君へ
A5判並製308頁／2500円

検事総長・日弁連会長・高裁長官等の高名な実務経験者による貴重な体験談。法曹を志す若い皆様，特にLS学生への熱いメッセージ!!
〔0392-3・05〕

奥島孝康著
西北風
46判上製286頁／1845円

早稲田の杜を発したおおらかな西北風は，あるときは旅情に誘われるまま山懐へ，あるときは赤黒のラグビー・ジャージ軍団と共に世界へ，そしてまた憧憬の都パリの巷へと吹き渡り，爽やかな旋風を巻き起こす。学問と酒と，何よりもワセダを愛する奥島孝康早大総長が刻む青春の時。
〔9050-8・95〕

奥島孝康著

西　北　へ　の　旅　人

46判上製460頁／3500円

前早大総長が，ワセダを担った人々への深い思い，出会いと交遊，自らの生い立ちを語る随筆集。

〔9112-1・02〕

奥島孝康著

西　北　か　ら　の　旅　人

46判上製624頁／4000円

大学マネジメントやロースクールなどの法曹養成。大隈重信，小野梓また，早稲田大学の教育のあり方の根本と思われるものについて。さらには，ボランティア活動その他の社会活動や自身の生い立ちの記から，大学時代を回想したもの，読書遍歴や山行など様々なテーマで語るエッセイ。

〔9196-6・10〕

中山研一著

定　刻　主　義　者　の　歩　み

46判上製290頁／1800円

研究・教育の中で多くに方に支えられた一刑法学者の邂逅。生し立ち，少年時代，激動の時代であった戦中から戦後の清水高等商船学校，京都大学学生・院生時代，研究者としての過ごした京大，大阪市大，北陸大の日々，恩師の先生方について，法科大学院について，奥様との日々を綴る。

〔7081-7・07〕

「中山研一先生を偲ぶ」文集刊行委員会編

定　刻　主　義　者　逝　く

中山研一先生を偲ぶ

46判294頁／1500円

在りし日の中山研一先生を偲ぶ追悼文集。

〔7093-0・12〕

大谷實著

明　日　へ　の　挑　戦

46判上製218頁／1800円

個人主義の徹底，幸福の追求，人生の目的，人生行路……。同志社総長が語る新たな挑戦。

〔9128-8・04〕

大谷實著

続・明　日　へ　の　挑　戦

46判上製200頁／1800円

学者の生き方，教育のあり方……。法学者として，同志社総長として『生き方』の指針を示す。第1部／回顧と展望，第2部／現代のことば，第3部／同志社ブランド，第4部／生命の尊厳。

〔9182-9・08〕

大谷實著

我が人生，学問そして同志社

46判上製266頁／1900円

第1部　人生行路のあゆみ／第2部　人生問題／第3部　研究活動／第4部　同志社の将来。

〔9232-1・12〕

大谷實著

同志社総長『思い』を語る

46判上製234頁／1900円

後進に道を譲る願いを込めて同志社の過去を振り返り，未来への航路を拓くために……。同志社総長としての『思い』を記す。

〔9261-1・16〕

香川達夫著

かすみ草

「老松」「勿忘草」に次く3冊目の随筆集。第1章顧みれば80余年。第2章忘れじの国々。第3章心の草は霜枯れもなし。

46判並製208頁／1000円　〔9194-2・09〕

香川達夫著

帰らざる日々

戦争を経験した著者が，過去を振り返りながら，硬軟・動静の差を超えて，いくつかの話題を思いつくままに纏めた。時代の流れに翻弄されながらも，勉学の徒として生きてきた記録。

46判並製92頁／900円　〔9244-4・14〕

前田達明著

風紋の日々

本書は，著者が，これまでに法律学を研究する中で，その折々に書かれたエッセイを中心に4部構成で纏めたもので，著者の専門以外の一面を知る貴重な文集である。

46判上製338頁／2500円　〔7090-9・10〕

前田達明著

続・風紋の日々

法律学を研究する中でその折々に書かれたエッセイを中心に，「趣味悠々」「法の諸々」「徒然の草々」「信仰の折々」の四部構成でまとめ，著者の専門以外の一面を知る上で貴重な随筆集。

46判上製176頁／2500円　〔7110-4・19〕

佐伯千仞・井戸田侃・浅田和茂著

疾風怒涛　一法律家の生涯

佐伯千仞先生に聞く

佐伯博士は2006年に98歳の生涯を終えたが，傘寿を機にヒヤリングが行われた。本書はその記録である。戦前・戦中・戦後と激動の時代を刑法学者として戦後は弁護士としても活躍された博士の生涯は，まさに疾風怒涛であった。博士から見た滝川事件の真相，戦後の教職追放の経緯などが今明らかにされる。

46判上製244頁／2200円　〔7092-3・11〕

森下忠著

ある刑法学者の旅路

学生時代に志願囚となった刑法学者が，京都大学を中心とした大学紛争の嵐を越えて緊急避難，刑罰論，国際刑法の分野で大きな業績を挙げ活躍をした「愚直一筋」の生涯の記録。

46判上製314頁／3200円　〔7098-5・14〕

森下忠著

海外刑法の旅

著者が1964年から2003年までの40年間の間に，三たびパリ大学で在外研究に従事し，また，15回にわたって各種の国際会議に出席するため諸外国を訪れた際に印象に残った事柄を書き綴ったエッセー。

46判並製466頁／4500円　〔7107-4・17〕

西原春夫著
［聞き手］井田良・佐伯仁志・高橋則夫

私の刑法研究

刑法研究者としての生き方を通して「人生は大事なことほど偶然で決まる」という原理を探り出す。人はいかに生きるべきかについて数々の貴重な示唆と教訓を得ることのできる回顧録。

46判上製272頁／3000円　〔7105-0・15〕

曽根威彦著

我が刑法学の歳月

著者の半世紀近くにわたる刑法学との歩みを論説風・随筆風に記したもの。

46判上製188頁／1800円　〔7099-2・14〕

野村稔著

刑法と人生

筆者の刑事法研究会等に関連した「思い出」を纏めた随想集。

46判上製176頁／1800円　〔7103-6・15〕

田口守一著

刑事法学点描

刑事法学の根本問題を，研究生活を回顧しつつ，比較法の随想も交えて点描する。

46判上製196頁／1800円　〔7100-5・14〕

浅田和茂著

遠ざかる風景

私の刑事法研究

これまでの刑事法研究を振り返り，折々の雑感などを集めたもの。

46判上製130頁／1800円　〔7106-7・16〕

高内寿夫著

人権の精神

私たちが理解すべきただひとつのこと

高等学校での出張授業をきっかけに「人権とは何か」を考察したうえで，その基底にある「人間の尊厳」について検討し，最後に，人間の尊厳のさらに根源にある世界観についてまとめた書。

46判並製264頁／2400円　〔6120-4・21〕